

# 神戸大学データ資料集 2025

—データと資料が語る神戸大学の今の姿—

神戸大学データ資料集は、データを通して本学の特徴や状況を客観的な視点で把握することを目的に作成しています。過去からの推移や他大学との比較により、神戸大学の歩みや現状が分かりやすくまとめられています。

他大学との比較では、国立大学法人運営費交付金「成果を中心とする実績状況に基づく配分」において、規模や組織体制の観点から設定されたグループのうち、グループ④及び⑤に属する、本学を含む**16大学で比較**を行っています。

補足：2024年10月に東京医科歯科大学と東京工業大学が統合し、「東京科学大学」が設置されました。これに伴い、本資料集におけるデータの取扱いについては、出典元の違いにより、統合後の「東京科学大学」として一括して示している場合と、統合前の各大学（東京医科歯科大学・東京工業大学）別に示している場合があります。

#### グループ④

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学のうち、指定国立大学

東北大学、筑波大学、東京大学、東京科学大学、一橋大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学

#### グループ⑤

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学

北海道大学、千葉大学、東京農工大学、金沢大学、神戸大学、岡山大学、広島大学

国立大学の法人化（2004年）以降の本学における学部・研究科の主な沿革は以下の通りです。

2007年	4月	大学院文学研究科（修士課程）・文化科学研究科（博士課程後期課程）を改組・統合して大学院人文学研究科（博士課程）を設置。
		大学院総合人間科学研究科（博士課程）を改組して大学院国際文化科学研究科・人間発達環境学研究科（博士課程）を設置。
		大学院自然科学研究科（博士課程）を改組して大学院理学研究科・工学研究科・農学研究科・海事科学研究科（博士課程）を設置。
2008年	4月	大学院医学系研究科保健学専攻（博士課程）を改組して大学院保健学研究科（博士課程）を設置。 大学院医学系研究科を大学院医学研究科に改める。
2010年	4月	大学院システム情報学研究科（博士課程）を設置。
2016年	4月	大学院科学技術イノベーション研究科（修士課程）を設置。
2017年	4月	国際文化学部と発達科学部を統合再編し、国際人間科学部を設置。
2018年	4月	大学院科学技術イノベーション研究科（博士課程）を設置。大学院科学技術イノベーション研究科（修士課程）を（博士課程前期課程）に移行。
2021年	4月	海事科学部を改組し、海洋政策科学部を設置。
2023年	4月	医学研究科医療創成工学専攻（博士課程）を設置。
2025年	4月	医学部医療創成工学科を設置。
		システム情報学部を設置。

※本学の博士課程は医学研究科医科学専攻が4年一貫、他専攻が前期課程2年、後期課程3年です。

# 目次

## 概要

1. 概要・ランキング … 1

## 教育

2. 学生数★ … 8  
3. 学部一般選抜志願状況★ … 10  
4. 入学状況 -学部-★ … 12  
5. 入学状況 -大学院-★ … 14  
6. 学位授与状況 -授与率- … 15  
7. 進路・就職状況★ … 17  
8. 資格試験合格状況 … 25  
9. 学生生活状況 … 27  
10. 社会人教育★ … 30

## 研究

11. 国際的な研究論文 … 32  
12. 科学研究費★ … 38  
13. 日本学術振興会特別研究員 … 42  
14. 研究プログラムの採択状況 … 43  
15. 研究業績に関する主な受賞★ … 45

## 産学官連携

16. 産学官連携状況★ … 47  
17. 国内の大学・自治体・企業等との連携協定★ … 51  
18. 連携大学院等実施状況★ … 53  
19. 教育関係共同利用拠点 … 55

## 国際

20. 留学 … 57  
21. 海外大学との交流状況 … 61  
22. 外国人教員・研究者等交流状況 … 64  
23. 国際化の状況 … 66

## 附属病院

24. 附属病院 … 68

## 附属学校

25. 附属学校 … 72

## 社会貢献

26. 学外機関への参画状況 … 73

## 教職員

27. 教員 … 74  
28. 職員 … 78

## 財務

29. 財務 … 79

## 附属図書館・その他一般開放施設

30. 附属図書館・その他一般開放施設 … 86

★: Power BIツールを用いて、  
詳細なデータを閲覧可能です。

# 1. 概要・ランキング

## 1-1 神戸大学の概要

2025年5月1日現在

区 分		入学定員 (※1)	入学者数	総定員	在籍者数 (男性数/女性数)		
学生等数	学部	2,714	2,772	10,683	11,543	(7,387/4,156)	
	大学院	修士課程・博士課程前期課程	1,318	1,264	2,624	2,743	(1,843/900)
		博士課程・博士課程後期課程	423	330	1,349	1,612	(1,046/566)
		専門職学位課程	149	137	378	316	(214/102)
	合計	4,604	4,503	15,034	16,214	(10,490/5,724)	
	外国人留学生数	学部生 (内数)		大学院生 (内数)	研究生等	計	
		90	922	328	1,340	(694/646)	
附属学校	学級数		在籍者数 (※2)				
	45		1,287 [18]				
区 分		教員数 (※4)	附属学校教諭	その他職員数	計		
教職員数 (※3)		1,601 (承継内1,191)	110	2,718	4,429		
	女性教職員数	327	47	2,015	2,389		
	女性比率	20.4%	42.7%	74.1%	53.9%		
予算規模		2025年度 約922億円 (うち運営費交付金等 約197億円)					

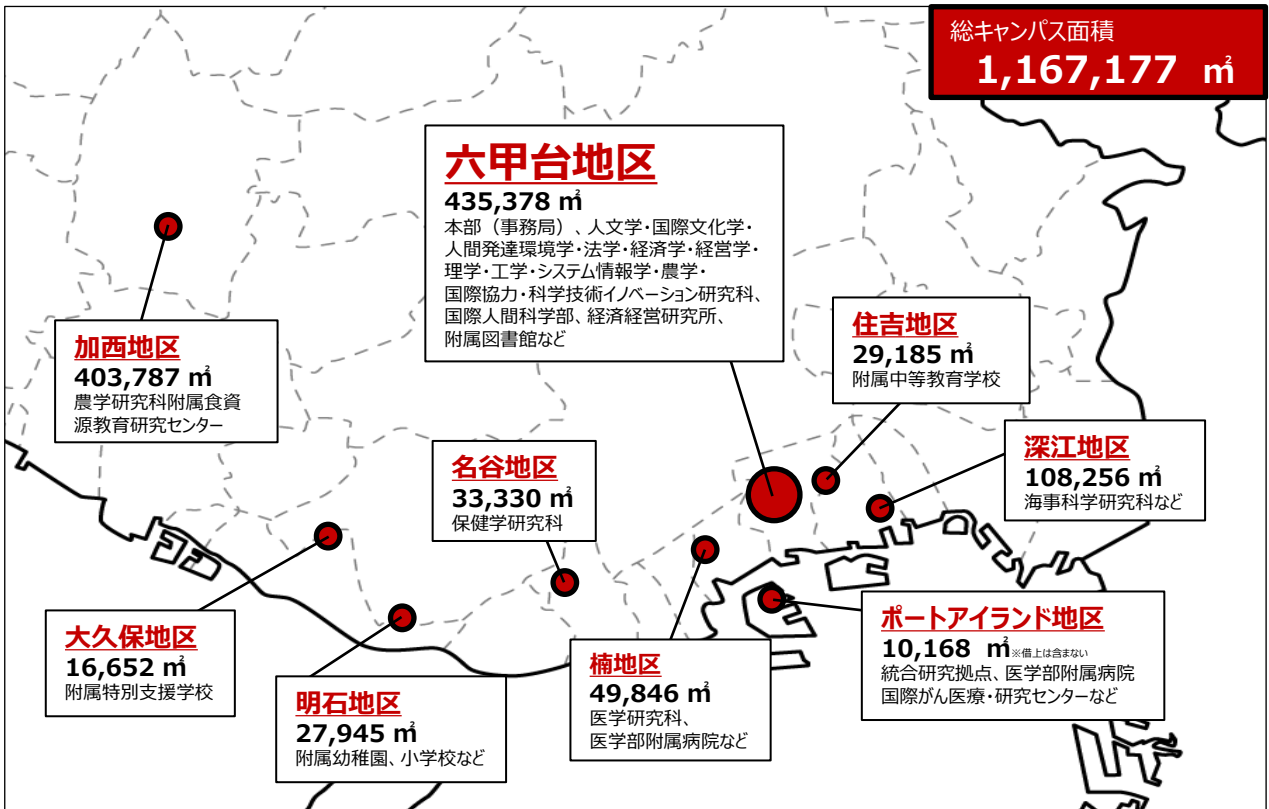
※1：入学定員は編入学定員を含む。

※2：在籍者数の[ ]は、帰国子女数を内数で示す。

※3：教職員数は休職者を含む。

※4：教員数は役員を含む。

## 主要キャンパス



学外オフィス等 [国内] 神戸大学東京オフィス

[海外] 全学海外拠点：神戸大学ブリュッセル拠点（ベルギー）、神戸大学北京拠点（中国）、神戸大学シアトル拠点（アメリカ合衆国）

部局海外拠点：神戸大学ポーランド拠点、神戸大学/パベシュ・ボイ大学国際協力センター（ルーマニア）、ハノイ神戸大学連絡拠点（ベトナム）、神戸大学・上海交通大学文理融合国際共同研究拠点（中国）、神戸大学テネシー拠点（アメリカ合衆国）

# 1-2 神戸大学の概要（詳細データ）

## 1-2-1 教職員数（現員）

2025年5月1日現在

	役員等	教授	准教授	講師	助教	助手	特命/特定教員	小計	教諭	事務系職員	医療系職員	特命職員	小計	合計
学長、理事、監事、特別顧問（※）	14							14 (12/2)					0	14 (12/2)
戦略企画室		1					1	2 (1/1)		3		3	6 (6/0)	8 (7/1)
産官学連携本部		2					1	3 (3/0)				7	7 (5/2)	10 (8/2)
地域連携推進本部							2	2 (1/1)					0	2 (1/1)
DX・情報統括本部		3	3			1	1	8 (6/2)					0	8 (6/2)
カーボンニュートラル推進本部							3	3 (3/0)				2	2 (1/1)	5 (4/1)
安全保障輸出管理室								0		1		1	2 (1/1)	2 (1/1)
大学文書史料室							1	1 (1/0)		1			1 (0/1)	2 (1/1)
学術研究推進機構								0		4		6	10 (6/4)	10 (6/4)
大学教育推進機構		11	8	4	7			16					0	46 (29/17)
国際連携推進機構			1					1 (0/1)					0	1 (0/1)
デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構							1	1 (1/0)				4	4 (3/1)	5 (4/1)
監査室								0		3			3 (2/1)	3 (2/1)
内部統制室								0		1			1 (1/0)	1 (1/0)
女性リーダー育成推進室							1	1 (0/1)					0	1 (0/1)
事務局	総務部							0		73		1	74 (41/33)	74 (41/33)
	企画部							0		29		2	31 (14/17)	31 (14/17)
	研究推進部							0		29		5	34 (18/16)	34 (18/16)
	財務部							0		56			56 (31/25)	56 (31/25)
	学務部							0		72		2	74 (32/42)	74 (32/42)
	施設部							0		31			31 (23/8)	31 (23/8)
	情報推進課							0		16		2	18 (10/8)	18 (10/8)
附属図書館							0		47		1	48 (19/29)	48 (19/29)	
人文学研究科・文学部		24	15	11	2		8	60 (42/18)		8			8 (4/4)	68 (46/22)
国際文化学研究所		30	11	13	3		6	63 (45/18)					0	63 (45/18)
人間発達環境学研究所		42	31	2	13		2	90 (66/24)					0	90 (66/24)
国際人間科学部			1	1	3			5 (1/4)		22		1	23 (9/14)	28 (10/18)
法学研究科・法学部		37	9		1	6	5	58 (41/17)		10		1	11 (4/7)	69 (45/24)
経済学研究科・経済学部		26	9	9		2	1	47 (39/8)		11			11 (2/9)	58 (41/17)
経営学研究科・経営学部		27	18		2	3	9	59 (45/14)		11		2	13 (6/7)	72 (51/21)
理学研究科・理学部		42	21	8	6	1	12	90 (80/10)		15		3	18 (9/9)	108 (89/19)
医学部								2						
附属病院		7	7	28	71			103					224 (172/52)	
附属病院国際がん医療・研究センター		1						5					5	
医学研究科		31	35	10	38			98		425	1,414	67	1,906 (338/1,568)	2,350 (699/1,651)
附属動物実験施設			1					1 (0/1)					1 (0/1)	
附属感染症センター		2	2		2			7 (3/4)					7 (3/4)	
保健学研究科		22	17	6	17		8	70 (41/29)		11		1	12 (5/7)	82 (46/36)
工学研究科・工学部		45	36	4	20	3	7	115 (104/11)		58		1	59 (32/27)	174 (136/38)
システム情報学研究所・システム情報学部		17	14		4		8	43 (39/4)					0	43 (39/4)
農学研究科・農学部		27	23		19		6	75 (63/12)		12			12 (5/7)	87 (68/19)
附属食資源教育センター		1	1		2			4 (3/1)		17			17 (15/2)	21 (18/3)
海事科学研究所・海事科学部		24	28	2	6	1	2	63 (56/7)		29			29 (17/12)	92 (73/19)
附属国際海事研究センター		1	2					3 (3/0)					0	3 (3/0)
附属練習船海神丸		1		1				2 (2/0)		8			8 (7/1)	10 (9/1)
国際協力研究所		11	8	1	2		4	26 (20/6)		5		3	8 (2/6)	34 (22/12)
科学技術イノベーション研究科		9	4					32 (34/11)		23		5	28 (10/18)	73 (44/29)
経済経営研究所		10	8		3	1	2	24 (17/7)		7			7 (2/5)	31 (19/12)
附属企業資料総合センター					1			1 (1/0)					0	1 (1/0)
バリュースクール		1						1 (1/0)					0	1 (1/0)
バイオシグナル総合研究センター		6	5		7	1		19 (17/2)					0	19 (17/2)
内海環境教育研究センター		3	1	1	1			8 (7/1)					0	8 (7/1)
都市安全研究センター		7	4					2 (12/1)					0	13 (12/1)
分子フォトサイエンス研究センター		3	2					2 (7/0)					0	7 (7/0)
海洋底層センター		4	1					5 (9/1)					0	10 (9/1)
社会システムイノベーションセンター		5						5 (2/3)					0	5 (2/3)
数理・データサイエンスセンター		5	1				3	9 (8/1)					0	9 (8/1)
計算社会科学研究センター		2	1	1				5 (5/0)					0	5 (5/0)
先端バイオ工学研究センター		2	1					22 (21/4)				1	1 (0/1)	26 (21/5)
先端膜工学研究センター		2			2			16 (17/3)				1	1 (0/1)	21 (17/4)
未来医学研究開発センター		1						8 (9/0)				3	3 (2/1)	12 (11/1)
次世代光散乱イメージング科学研究センター		1						1 (2/0)					0	2 (2/0)
ウェルビーイング先端研究センター		1						1 (0/1)					0	1 (0/1)
水素・未来エネルギー技術研究センター		1						1 (1/0)					0	1 (1/0)
研究基盤センター		1			2			3 (3/0)		4		2	6 (4/2)	9 (7/2)
環境保全推進センター			1		1			2 (1/1)		1			1 (1/0)	3 (2/1)
インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター		1	1		3			5 (3/2)		3	5	2	10 (1/9)	15 (4/11)
キャリアセンター							1	1 (0/1)				1	1 (0/1)	2 (0/2)
附属学校部								0		10			10 (5/5)	10 (5/5)
附属幼稚園								0	7				7 (1/6)	7 (1/6)
附属小学校								0	23				23 (16/7)	23 (16/7)
附属中等教育学校								0	47				47 (30/17)	47 (30/17)
附属特別支援学校								0	32				32 (14/18)	32 (14/18)
総計	14 (12/2)	500 (429/71)	331 (275/56)	103 (77/26)	238 (175/63)	18 (5/13)	411 (312/99)	1,615 (1,285/330)	109 (61/48)	1,056 (407/649)	1,419 (240/1,179)	130 (46/84)	2,714 (754/1,960)	4,329 (2,039/2,290)

(注1) (※) は、非常勤 (5名) を含む。

(注2) 代給採用者を含む。

(注3) ( ) は男性数/女性数

## 1-2-2 学生数等

2025年5月1日現在

学部	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数	備考	
文学部	100	515	106	400	442 (193/249)	・在籍者数の( )は男性数/女性数。 ・海事科学部は令和3年度入試より募集停止、3年次編入学入試を令和5年度より廃止。	
3年次編入学	若干名	0	0				
国際人間科学部	370	1,490	382	1,500	1,625 (590/1,035)		
3年次編入学	10	12	4				
法学部	180	1027	186	760	804 (444/360)		
3年次編入学	20	45	13				
経済学部	270	957	280	1,120	1,291 (975/316)		
3年次編入学	20	81	19				
経営学部	260	970	267	1,080	1,192 (805/387)		
3年次編入学	20	89	17				
理学部	153	742	156	662	725 (577/148)		
3年次編入学	25	114	25				
医学部	113	440	113	698	706 (457/249)		
2年次編入学	5	85	5				
医療創成工学科	25	113	29			25	29 (17/12)
保健学科	150	623	152			630	653 (115/538)
工学部	443	2,321	450	2,178	2,346 (1,985/361)		
3年次編入学	20	157	20				
システム情報学部	150	808	159	150	159 (131/28)		
農学部	160	619	172	660	692 (339/353)		
3年次編入学	10	20	6				
海事科学部					23 (22/1)		
海洋政策科学部	200	725	204	820	856 (737/119)		
3年次編入学	10	22	7				
小計	2,714	11,975	2,772	10,683	11,543 (7,387/4,156)		
大学院	修士(博士前期)					備考	
	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数		
人文学研究科	44	115	43	88	92 (37/55)	・在籍者数の( )は男性数/女性数。	
国際文化学研究科	47	135	48	94	105 (46/59)		
人間発達環境学研究科	91	150	93	178	182 (78/104)		
法学研究科	37	73	27	74	61 (39/22)		
経済学研究科	83	289	77	166	175 (112/63)		
経営学研究科	51	280	37	102	106 (52/54)		
理学研究科	122	194	130	244	271 (208/63)		
医学研究科(修士課程)	25	35	20	50	37 (20/17)		
医学研究科(博士課程前期課程)	15	35	19	30	40 (25/15)		
保健学研究科	79	117	75	158	157 (58/99)		
工学研究科	316	451	332	632	660 (561/99)		
システム情報学研究科	103	126	98	198	202 (195/7)		
農学研究科	120	162	125	240	264 (130/134)		
海事科学研究科	75	102	72	150	170 (154/16)		
国際協力研究科	70	76	28	140	138 (72/66)		
科学技術イノベーション研究科	40	50	40	80	83 (56/27)		
小計	1,318	2,390	1,264	2,624	2,743 (1,843/900)		
大学院	博士(博士後期)					備考	
	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数		
人文学研究科	20	24	18	60	95 (41/54)	・在籍者数の( )は男性数/女性数。	
国際文化学研究科	15	25	17	45	57 (24/33)		
人間発達環境学研究科	17	23	17	51	94 (50/44)		
法学研究科	18	19	15	54	53 (31/22)		
経済学研究科	20	17	13	60	75 (56/19)		
経営学研究科	32	27	21	96	106 (64/42)		
理学研究科	27	22	19	81	71 (57/14)		
医学研究科(博士課程)	120	121	117	440	523 (367/156)		
医学研究科(博士課程後期課程)	8	8	8	24	29 (26/3)		
保健学研究科	25	27	26	75	128 (61/67)		
工学研究科	42	16	16	126	113 (87/26)		
システム情報学研究科	12	9	9	36	51 (44/7)		
農学研究科	23	13	13	69	63 (35/28)		
海事科学研究科	11	3	3	33	41 (32/9)		
国際協力研究科	23	11	9	69	72 (40/32)		
科学技術イノベーション研究科	10	10	9	30	41 (31/10)		
小計	423	375	330	1,349	1,612 (1,046/566)		
大学院	専門職学位課程					備考	
	入学定員	志願者数	入学者数	総定員	在籍者数		
法学研究科	80	729	68	240	175 (110/65)	・在籍者数の( )は男性数/女性数。	
経営学研究科	69	243	69	138	141 (104/37)		
小計	149	972	137	378	316 (214/102)		
合計	4,604	15,712	4,503	15,034	16,214 (10,490/5,724)		
附属学校	学級数		在籍者数		備考		
附属幼稚園	6		119		・在籍者数の( )は、帰国子女を内数で示す。		
附属小学校	12		407				
附属中等教育学校	18		709 (18)				
附属特別支援学校	9		52				
計	45		1,287 (18)				

※2025年5月1日現在の学生数等であるため、秋入学者は含まない。

### 1-2-3 就職・進学状況

#### 2024年度 学部卒業生・大学院（修士・博士前期課程）修了者の進路状況

2025年5月1日現在

学部・研究科名	卒業生	進学者	就職者	就職者内訳			臨床研修医	その他
				企業等	官公庁	教員		
文学部	106	8	90	73	12	5	-	8
国際人間科学部	359	53	282	238	26	18	-	24
法学部	182	33	120	93	27	0	-	29
経済学部	278	15	221	202	19	0	-	42
経営学部	272	7	254	238	16	0	-	11
理学部	167	118	34	27	0	4	-	15
医学部（医学科）	119	0	1	1	0	0	110	8
医学部（保健学科）	160	62	95	95	0	0	-	3
工学部	555	445	95	84	11	0	-	15
農学部	163	122	37	29	8	0	-	4
海事科学部	37	14	22	22	0	0	-	1
海洋政策科学部	162	87	70	67	3	0	-	5
学部 合計	2,560	964	1,321	1,169	122	27	110	165
人文学研究科	34	11	19	14	2	3	-	4
国際文化学研究科	50	8	24	22	0	2	-	18
人間発達環境学研究科	76	9	48	32	9	7	-	19
法学研究科	38	6	24	18	6	0	-	8
経済学研究科	57	10	31	31	0	0	-	16
経営学研究科	47	9	25	25	0	0	-	13
理学研究科	115	22	90	84	3	3	-	3
医学研究科（バイオメディカルサイエンス専攻）	24	13	7	5	2	0	0	4
医学研究科（医療創成工学専攻）	12	1	11	10	1	0	0	0
保健学研究科	62	11	42	33	7	2	-	9
工学研究科	309	16	289	287	2	0	-	4
システム情報学研究科	77	3	71	71	0	0	-	3
農学研究科	115	11	101	95	6	0	-	3
海事科学研究科	79	4	74	73	1	0	-	1
国際協力研究科	67	17	35	20	13	2	-	15
科学技術イノベーション研究科	44	3	40	39	1	0	-	1
研究科 合計	1,206	154	931	859	53	19	0	121
法学研究科（法科大学院）	63							
経営学研究科（MBA）	67							
研究科 総計	1,336							

※「進学者」は、「大学院研究科」、「大学・学部」、「短期大学本科」、「専攻科」、「別科」、「専修学校・外国の学校等」の入学者の合計。

※「就職者」は、「自営業主等」、「常用労働者のうち、雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者」の合計。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「その他」は、公務員試験受験者、司法試験・公認会計士等の資格試験受験者を含む。

### 1-2-4 学位授与者数（博士号）

2025年5月1日現在

区分	旧制	1991.6までの累計		1991.7以降の累計		総累計
		課程	論文	課程	論文	
博士（学術）		192	47	1,296	150	1,685
博士（文学）		1		171	49	221
博士（法学）		22	24	216	40	302
博士（政治学）				90	12	102
博士（経済学）	37	5	81	417	117	657
博士（経営学）	25	4	46	416	79	570
博士（商学）	14	1	19	118	24	176
博士（理学）		10	21	705	84	820
博士（医学）		748	1,252	2,774	939	5,713
博士（保健学）				399	14	413
博士（工学）		36	51	1,206	290	1,583
博士（農学）		2	14	295	104	415
博士（商船学）				10	0	10
博士（海事科学）				40	6	46
博士（教育学）				44	3	47
博士（システム情報学）				11	0	11
博士（計算科学）				11	0	11
博士（科学技術イノベーション）				34	0	34
合計	76	1,021	1,555	8,253	1,911	12,816

# 1-2-5 土地建物面積

2025年5月1日現在

区分	土地	建物延面積	区分	土地	建物延面積		
	(m <sup>2</sup> )	(m <sup>2</sup> )		(m <sup>2</sup> )	(m <sup>2</sup> )		
<b>六甲台地区</b>			<b>楠地区</b>				
事務局	21,017	6,525	医学研究科・医学部	8,665	34,926		
保健管理センター			医学研究科附属動物実験施設				
情報基盤センター(本館)		1,208	医学研究科附属感染症センター				
自然科学系図書館		4,182	医学部附属病院	41,181	107,739		
神大会館		3,989	地域医療活性化センター	(1,502)	3,392		
大学教育推進機構グローバル教育センター							
山口鑑子記念館		148	小計	(1,502)	146,057		
			49,846				
法学研究科・法学部	103,097	27,737	<b>名谷地区</b>				
経済学研究科・経済学部				保健学研究科	33,330	17,575	
経営学研究科・経営学部				小計	33,330	17,575	
国際協力研究科			<b>深江地区</b>				
経済経営研究所		4,984	<b>深江地区</b>				
附属企業資料総合センター			海事科学研究科・海洋政策科学部	94,547	41,681		
社会科学系図書館		7,005	海事科学研究科附属国際海事研究センター				
講堂		749	海洋底探査センター				
社会科学系アカデミア館		6,676	KOBE UNIVERSITY SPORTS FIELD		106		
社会科学系フロンティア館		9,140	寄宿舍(白鷗寮)	13,709	11,368		
浄水場	352	0	小計	108,256	53,155		
六甲台1団地水源地	(190)	0	<b>その他の地区</b>				
人間発達環境学研究科・国際人間科学部	45,863	25,427	農学研究科附属食資源教育研究センター	403,787	7,063		
人間発達環境学研究科附属発達支援インスティテュート			内海域環境教育研究センター	3,122	1,183		
人間発達環境学研究科実習観察園	1,949	289	附属中等教育学校(住吉校舎)	29,185	11,843		
国際文化学研究科・国際人間科学部	68,347	40,934	附属小学校	27,945	4,219		
大学教育推進機構				附属幼稚園		1,236	
工学研究科・工学部・システム情報学研究科	194,555	43,441	附属特別支援学校	16,652	3,642		
都市安全研究センター				インターナショナル・レジデンス	2,500	4,416	
自然科学総合研究棟3号館			17,519	寄宿舍(国維寮)	5,235	3,640	
エレベーター棟			98	寄宿舍(住吉寮)	18,772	11,049	
情報基盤センター(分館)			1,111	氷の山体育所	(2,500)	95	
馬術練習場			148	鹿島体育所	(1,000)	98	
学生会館			2,721	淀川艇庫	434	745	
人文学研究科・文学部			10,372	新西宮艇庫	(205)	201	
瀧川記念学術交流会館			941	BT・インキュベーションセンター	(2,000)	3,059	
眺望館			998	統合研究拠点	7,668	9,240	
理学研究科・理学部			14,606	国際がん医療・研究センター	(6,395)	16,426	
バイオシグナル総合研究センター			4,278	旧住吉急急傾斜地	2,026	0	
自然科学総合研究棟1号館			5,781	小計	(12,100)	78,155	
自然科学総合研究棟2号館			5,825		517,326		
産官学連携本部			3,798	<b>職員宿舎</b>			
自然科学総合研究棟4号館			6,559	住吉宿舎	10,442	1,517	
研究基盤センター(アイトーブ部門)			2,650	工学部宿舎	工学部に含む	0	
研究基盤センター(機器分析部門)			1,267	加西宿舎	1,607	399	
研究基盤センター(極低温部門)			677	看護師宿舎	1,217	2,048	
共同実験室			208	踊松宿舎	1,171	368	
環境保全推進センター			274	赤塚山第二合同宿舎	住吉宿舎に含む	3,661	
農学研究科・農学部			18,836	青木合同宿舎	3,655	3,027	
ライフサイエンスラボラトリー			1,155	北青木合同宿舎	2,687	1,853	
旧工学部急傾斜地			198	生田合同宿舎	2,262	1,898	
小計			(190)	282,256	小計	23,041	14,771
			435,378		合計	(13,792)	591,969
						1,167,177	

※土地欄の( )は借地を示す。

# 1-3 神戸大学の位置

## 1-3-1 近隣国立大学との比較

大学名	神戸大学	京都大学	大阪大学	岡山大学	広島大学
学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学部</li> <li>国際人間科学部</li> <li>法学部</li> <li>経済学部</li> <li>経営学部</li> <li>理学部</li> <li>医学部</li> <li>工学部</li> <li>システム情報学部</li> <li>農学部</li> <li>海洋政策科学部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合人間学部</li> <li>文学部</li> <li>教育学部</li> <li>法学部</li> <li>経済学部</li> <li>理学部</li> <li>医学部</li> <li>薬学部</li> <li>工学部</li> <li>農学部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学部</li> <li>人間科学部</li> <li>外国語学部</li> <li>法学部</li> <li>経済学部</li> <li>理学部</li> <li>医学部</li> <li>歯学部</li> <li>薬学部</li> <li>工学部</li> <li>基礎工学部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学部</li> <li>教育学部</li> <li>法学部</li> <li>経済学部</li> <li>理学部</li> <li>医学部</li> <li>歯学部</li> <li>薬学部</li> <li>工学部</li> <li>環境理工学部</li> <li>農学部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合科学部</li> <li>文学部</li> <li>教育学部</li> <li>法学部</li> <li>経済学部</li> <li>理学部</li> <li>医学部</li> <li>歯学部</li> <li>薬学部</li> <li>工学部</li> <li>生物生産学部</li> <li>情報科学部</li> </ul>
大学院	<ul style="list-style-type: none"> <li>人文学研究科</li> <li>国際文化学術研究科</li> <li>人間発達環境学術研究科</li> <li>法学研究科 (法科大学院)</li> <li>経済学研究科</li> <li>理学研究科</li> <li>医学研究科</li> <li>経営学研究科 (経営専門職大学院)</li> <li>理学研究科</li> <li>医学研究科</li> <li>保健学研究科</li> <li>工学研究科</li> <li>システム情報学研究科</li> <li>農学研究科</li> <li>海事科学研究科</li> <li>国際協力研究科</li> <li>科学技術イノベーション研究科</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学研究科</li> <li>教育学研究科</li> <li>法学研究科 (法科大学院)</li> <li>経済学研究科</li> <li>理学研究科</li> <li>医学研究科</li> <li>歯学研究科 (公衆衛生大学院)</li> <li>薬学研究科</li> <li>工学研究科</li> <li>農学研究科</li> <li>人間・環境学研究科</li> <li>エネルギー科学研究科</li> <li>アジア・アフリカ地域研究研究科</li> <li>情報学研究科</li> <li>生命科学研究科</li> <li>総合生存学館</li> <li>地球環境学舎/学舎</li> <li>公共政策連携研究部/教育部 (公共政策大学院)</li> <li>経営管理研究部/経営管理教育部 (経営管理大学院)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人文学研究科</li> <li>人間科学研究科</li> <li>法学研究科</li> <li>経済学研究科</li> <li>理学研究科</li> <li>医学系研究科</li> <li>歯学研究科</li> <li>薬学研究科</li> <li>工学研究科</li> <li>基礎工学研究科</li> <li>国際公共政策研究科</li> <li>情報科学研究科</li> <li>生命機能研究科</li> <li>高等司法研究科 (法科大学院)</li> <li>(大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学) 連合小児発達学術研究科</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育学研究科 (教職大学院)</li> <li>社会文化科学研究科</li> <li>自然科学研究科</li> <li>環境生命自然科学研究科</li> <li>保健学研究科</li> <li>環境生命科学研究科</li> <li>医歯薬学総合研究科</li> <li>ヘルスシステム統合科学研究科</li> <li>法務研究科 (法科大学院)</li> <li>兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間社会科学研究科 (教職大学院)</li> <li>(法科大学院)</li> <li>先進理工系科学研究科</li> <li>統合生命科学研究科</li> <li>医系科学研究科</li> <li>スマートソサイエティ実践科学研究院</li> </ul>
附置研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済経営研究所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学研究所</li> <li>人文科学研究所</li> <li>医学生物学研究所</li> <li>エネルギー理工学研究所</li> <li>生存圏研究所</li> <li>防災研究所</li> <li>基礎物理学研究所</li> <li>経済研究所</li> <li>数理解析研究所</li> <li>複合原子力科学研究所</li> <li>東南アジア地域研究研究所</li> <li>iPS細胞研究所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>微生物病研究所</li> <li>産業科学研究所</li> <li>蛋白質研究所</li> <li>社会経済研究所</li> <li>接合科学研究所</li> <li>レーザー科学研究所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源植物科学研究所</li> <li>惑星物質研究所</li> <li>異分野基礎科学研究所</li> <li>文明動態学研究所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原爆放射線医学研究所</li> </ul>
附属学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>附属幼稚園</li> <li>附属小学校</li> <li>附属中等教育学校</li> <li>附属特別支援学校</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>附属幼稚園</li> <li>附属小学校</li> <li>附属中学校</li> <li>附属特別支援学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>附属幼稚園</li> <li>附属小学校</li> <li>附属中学校</li> <li>附属高等学校</li> </ul>

出典：各大学ホームページ

## 1-3-2 16大学間の比較

学部

大学名	入学定員	学部数
大阪大学	3,313	11
東京大学	3,063	10
京都大学	2,824	10
<b>神戸大学</b>	<b>2,574</b>	<b>11</b>
九州大学	2,549	12
北海道大学	2,528	12
広島大学	2,428	12
東北大学	2,418	10
千葉大学	2,317	11
岡山大学	2,220	11
筑波大学	2,159	9
名古屋大学	2,142	9
金沢大学	1,836	4
東京科学大学	1,384	8
一橋大学	955	5
東京農工大学	821	2

※編入学は含まない

(2025)

大学院

大学名	入学定員	入学定員 (M)	入学定員 (D)	入学定員 (P)	大学院数
東京大学	5,099	2,970	1,719	410	15
京都大学	3,803	2,353	1,116	334	18
大阪大学	3,038	2,038	920	80	15
九州大学	2,778	1,859	779	140	18
東北大学	2,749	1,861	768	120	15
筑波大学	2,598	1,905	627	66	3
東京科学大学	2,510	1,675	795	40	8
名古屋大学	2,475	1,693	732	50	13
北海道大学	2,392	1,649	643	100	21
<b>神戸大学</b>	<b>1,890</b>	<b>1,318</b>	<b>423</b>	<b>149</b>	<b>15</b>
広島大学	1,658	1,153	455	50	4
千葉大学	1,379	993	326	60	8
岡山大学	1,126	789	268	69	7
金沢大学	961	654	277	30	7
東京農工大学	806	630	136	40	5
一橋大学	789	455	136	198	7

(2025)

概要

1-3-3 世界ランキングによる比較

QS社・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	36
2	京都大学	57
3	東京工業大学	85
4	大阪大学	91
5	東北大学	109
6	名古屋大学	164
7	北海道大学 九州大学	170
9	早稲田大学	196
10	慶應義塾大学	215
11	筑波大学	350
12	広島大学	480
13	神戸大学	482
14	一橋大学	553
15	立命館大学	680

(2025-2026)

QS社・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	26
2	京都大学	28
3	東北大学	29
4	東京工業大学	33
5	九州大学	35
6	名古屋大学	36
7	大阪大学	40
8	北海道大学	42
9	慶應義塾大学	58
10	早稲田大学	59
11	筑波大学	63
12	神戸大学	86
13	広島大学	106
14	一橋大学 立命館大学	139

(2025-2026)

上海交通大学・世界大学学術ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	31
2	京都大学	46
3	東京科学大学 名古屋大学	101-150
5	北海道大学 慶應義塾大学 九州大学 大阪大学 東北大学 筑波大学	201-300
11	広島大学 沖縄科学技術大学院大学 大阪公立大学	401-500
14	神戸大学 岡山大学	501-600

(2025)

THE誌・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	26
2	京都大学	61
3	東北大学	103
4	大阪大学	151
5	名古屋大学	201-250
6	東京科学大学 九州大学	301-350
8	北海道大学 筑波大学	351-400
10	順天堂大学	501-600
11	広島大学 慶應義塾大学 神戸大学 会津大学	601-800
15	和歌山県立医科大学 早稲田大学	801-1000

(2025-2026)

THE誌・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	5
2	京都大学	13
3	東北大学	21
4	大阪大学	27
5	東京工業大学	32
6	名古屋大学	48
7	九州大学	62
8	北海道大学	82
9	筑波大学	87
10	東京医科歯科大学	94
11	広島大学	150
12	神戸大学	166
13	順天堂大学	169
14	慶應義塾大学	197
15	岡山大学 会津大学 東京医科大学 東京農工大学 早稲田大学	201-250

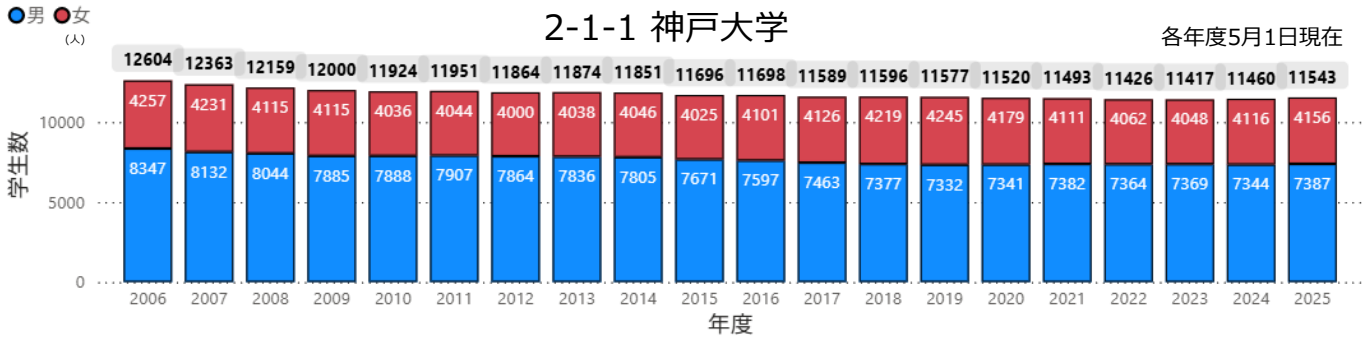
(2025)

出典:各発表機関ウェブサイト

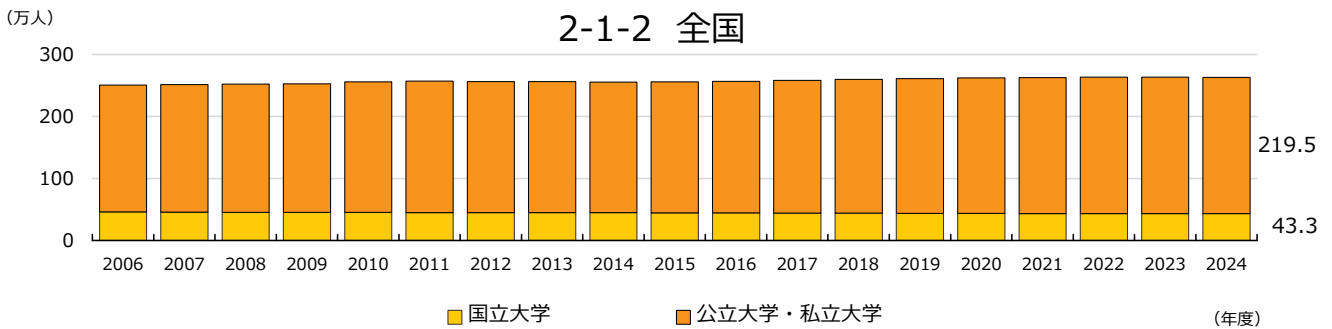
※「-」についてはその順位グループに属していることを示している。(例:「201-300」は、201位から300位のグループ)

## 2. 学生数

### 2-1 学生数の推移 — 学士課程 —

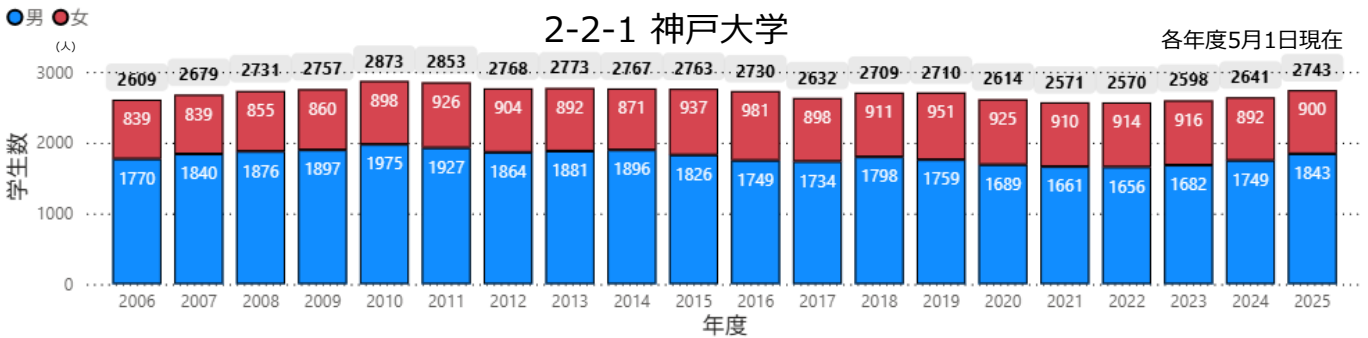


2-1-1詳細はこちら（学部別で閲覧可能、Power BIツールのグラフは全課程共通）  
 URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2_2025/)

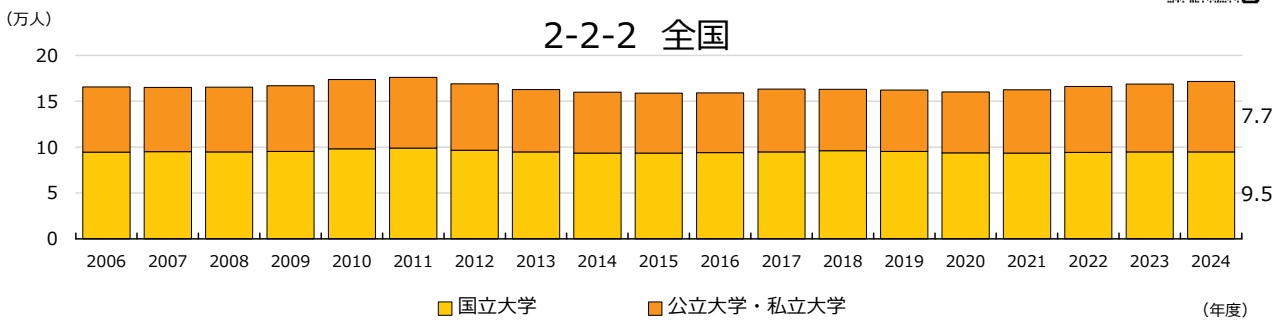


出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

### 2-2 学生数の推移 — 修士課程・博士課程前期課程 —

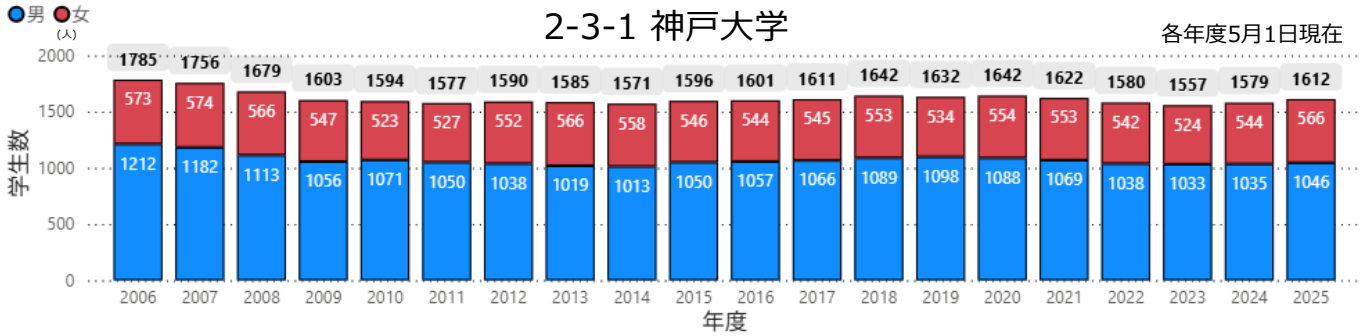


2-2-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）  
 URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2_2025/)

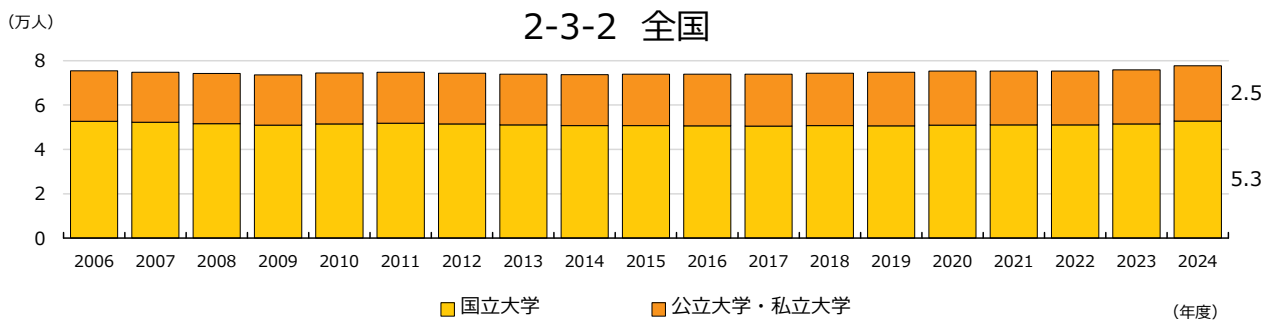


出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

## 2-3 学生数の推移 — 博士課程・博士課程後期課程 —

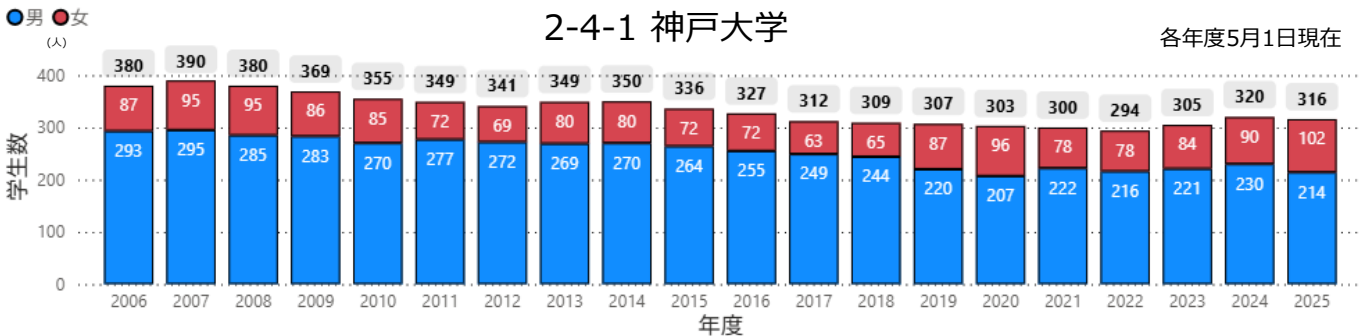


2-3-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）  
 URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2_2025/)

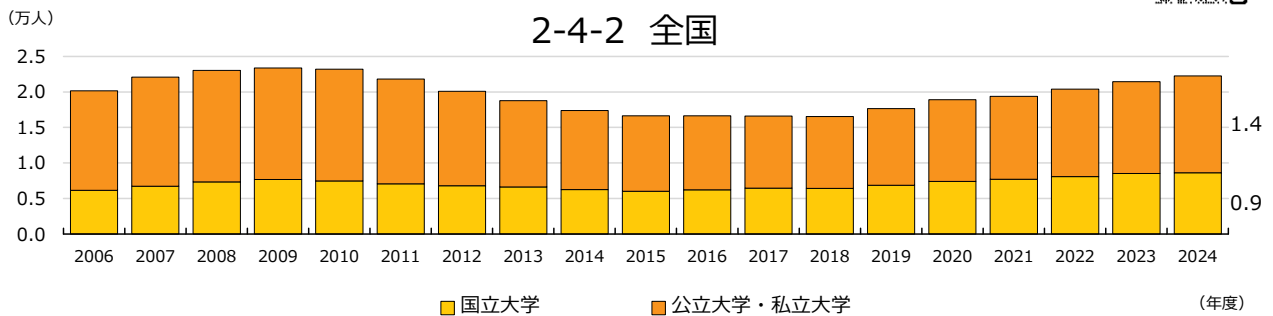


出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

## 2-4 学生数の推移 — 専門職学位課程 —



2-4-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）  
 URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/2_2025/)

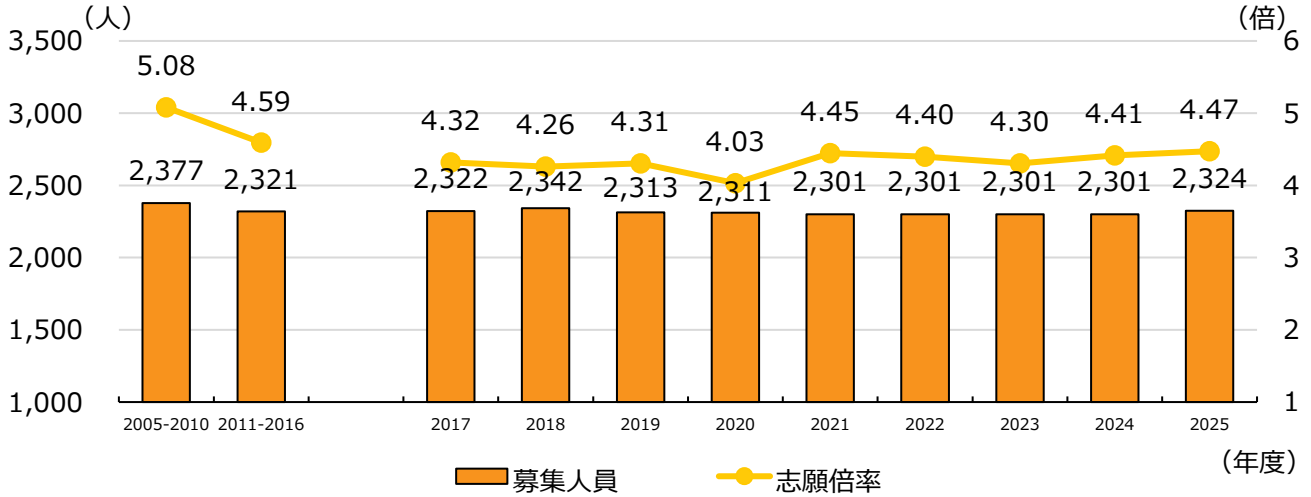


出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

### 3. 学部一般選抜志願状況

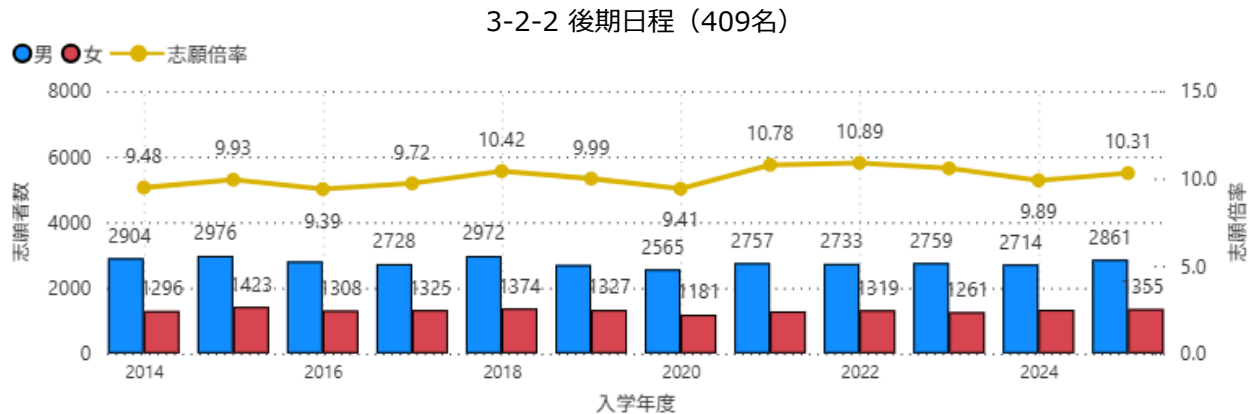
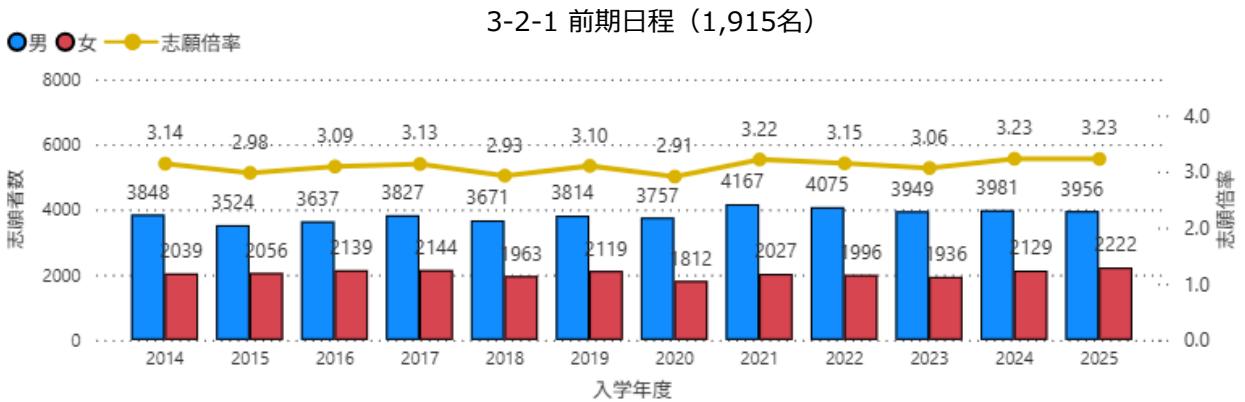
#### 3-1 学部一般選抜志願状況（推移）

○ 学部一般選抜（一般入試）の志願倍率は、2020年度（センター試験最終年度、新型コロナウイルス感染拡大）に法人化以降最低水準の4.03倍となったが、2021年度（共通テスト開始）以降は以前の水準を維持している。



#### 3-2 学部一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

○ 志願倍率は各学部で毎年変動しているが、全体では、前期日程（3-2-1）は3倍程度、後期日程（3-2-2）は10倍程度で推移している。  
 ○ 志願者の男女比は年度により異なるが、概ね2対1の割合で推移している。



※（ ）書きは各日程の2025年度募集人員

詳細はこちら（学部別・入試日程別で閲覧可能）  
 URL: [https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/3-2\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/3-2_2025/)



### 3-3 17大学及び全国の大学の志願状況・入学定員

3-3-1 17大学の状況（2024年度入試）

大学名	北海道	東北	筑波	千葉	東京	東京 医科歯科
募集人員	2,432人	1,719人	1,309人	2,069人	2,960人	212人
志願者数	9,482人	5,702人	6,250人	10,803人	9,432人	1,015人
志願倍率	3.9	3.3	4.8	5.2	3.2	4.8
合格者の入学率	94.9%	96.6%	94.5%	92.8%	99.6%	94.2%

大学名	東京農工	東京工業	一橋	金沢	名古屋	京都
募集人員	724人	892人	880人	1,551人	1,736人	2,643人
志願者数	3,697人	3,982人	4,404人	3,493人	4,449人	8,206人
志願倍率	5.1	4.5	5.0	2.3	2.6	3.1
合格者の入学率	91.5%	98.9%	98.5%	96.4%	98.4%	99.8%

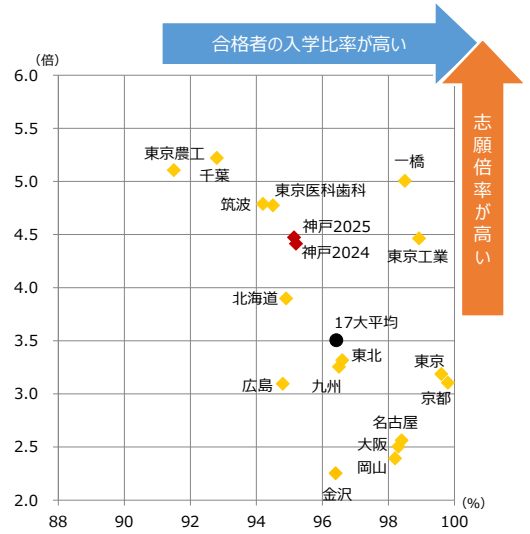
  

大学名	大阪	神戸	岡山	広島	九州	17大学平均	(参考) 神戸2025
募集人員	2,874人	2,301人	1,522人	2,009人	2,238人	1,769人	2,324人
志願者数	7,196人	10,156人	3,643人	6,218人	7,285人	6,201人	10,394人
志願倍率	2.5	4.4	2.4	3.1	3.3	3.5	4.5
合格者の入学率	98.3%	95.2%	98.2%	94.8%	96.5%	96.4%	95.1%

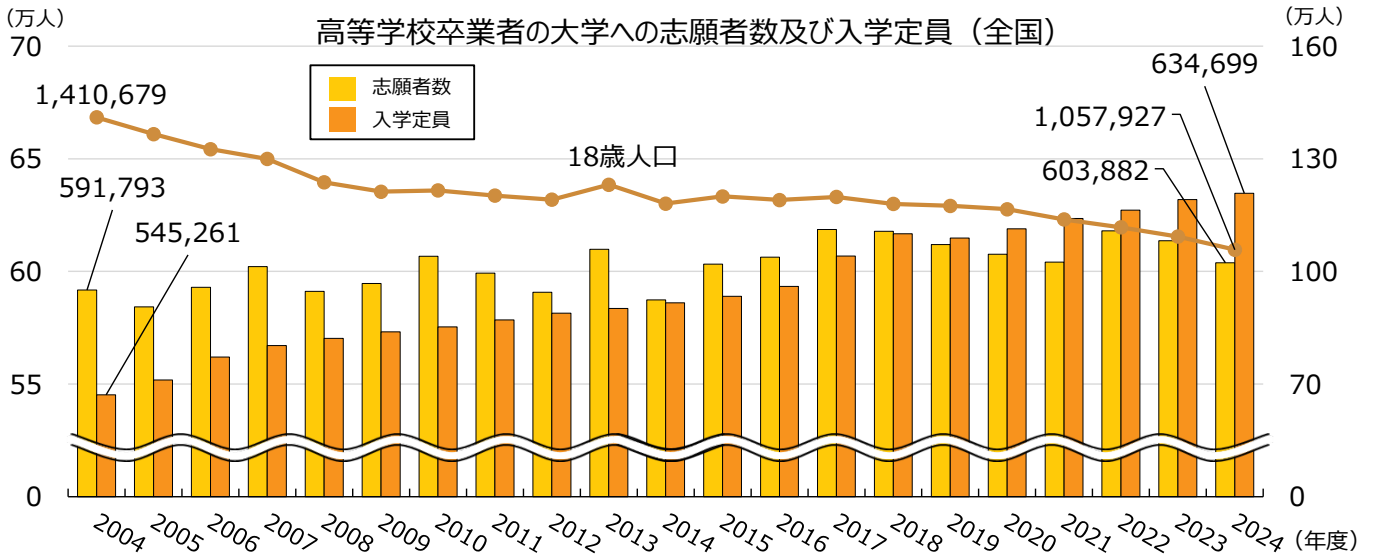
出典（募集人員・志願者数・志願倍率）：令和6年度国公立大学入学者選抜確定志願状況，文部科学省HP  
 出典（合格者の入学率）：朝日大学ランキング2026，各大学HP

\* 出典元のデータが統合前の各大学（東京医科歯科大学・東京工業大学）別となっているため、本学を含む17大学で比較しています。

3-3-2 17大学の状況（2024年度入試） 相関図



3-3-3 全国の大学志願者数及び入学定員（推移）



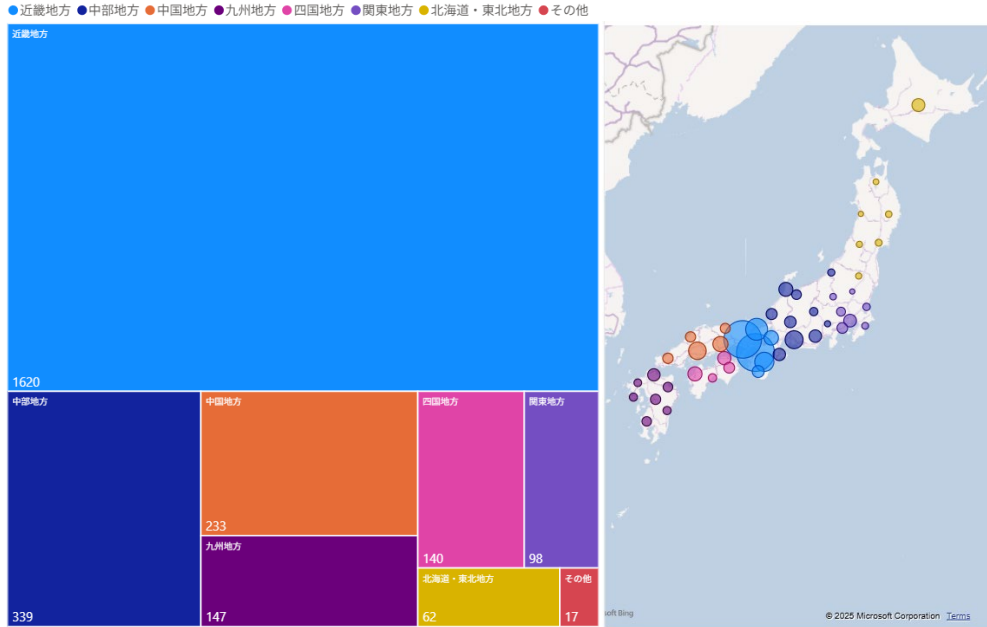
※18歳人口：3年前の中学校卒業生及び中等学校前期課程修了者より推定  
 出典：（志願者数）文部科学省 学校基本調査 （入学定員）全国大学一覧

# 4. 入学状況 — 学部 —

## 4-1 出身高校の所在地別入学者状況

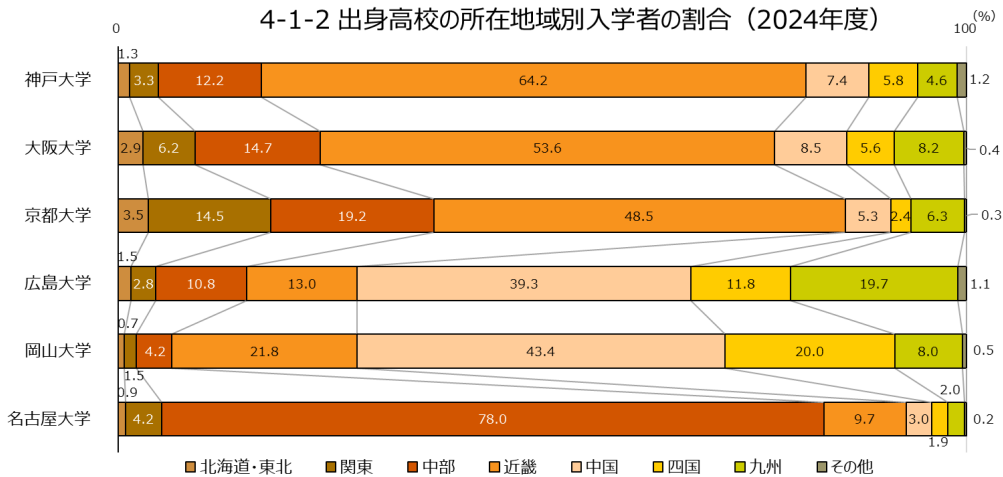
○ 神戸大学への入学者は中部地方以西を中心に全国に広く分布している。近畿地方の高校出身者が全体の約6割を占めており、そのうちの7割以上が大阪府または兵庫県に所在する高校の出身者である。

### 4-1-1 神戸大学（2025年度）



詳細はこちら（年度別・学部別で閲覧可能）

URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/4-1\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/4-1_2025/)



- 【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
- 【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
- 【中部地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
- 【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- 【その他】外国の学校等

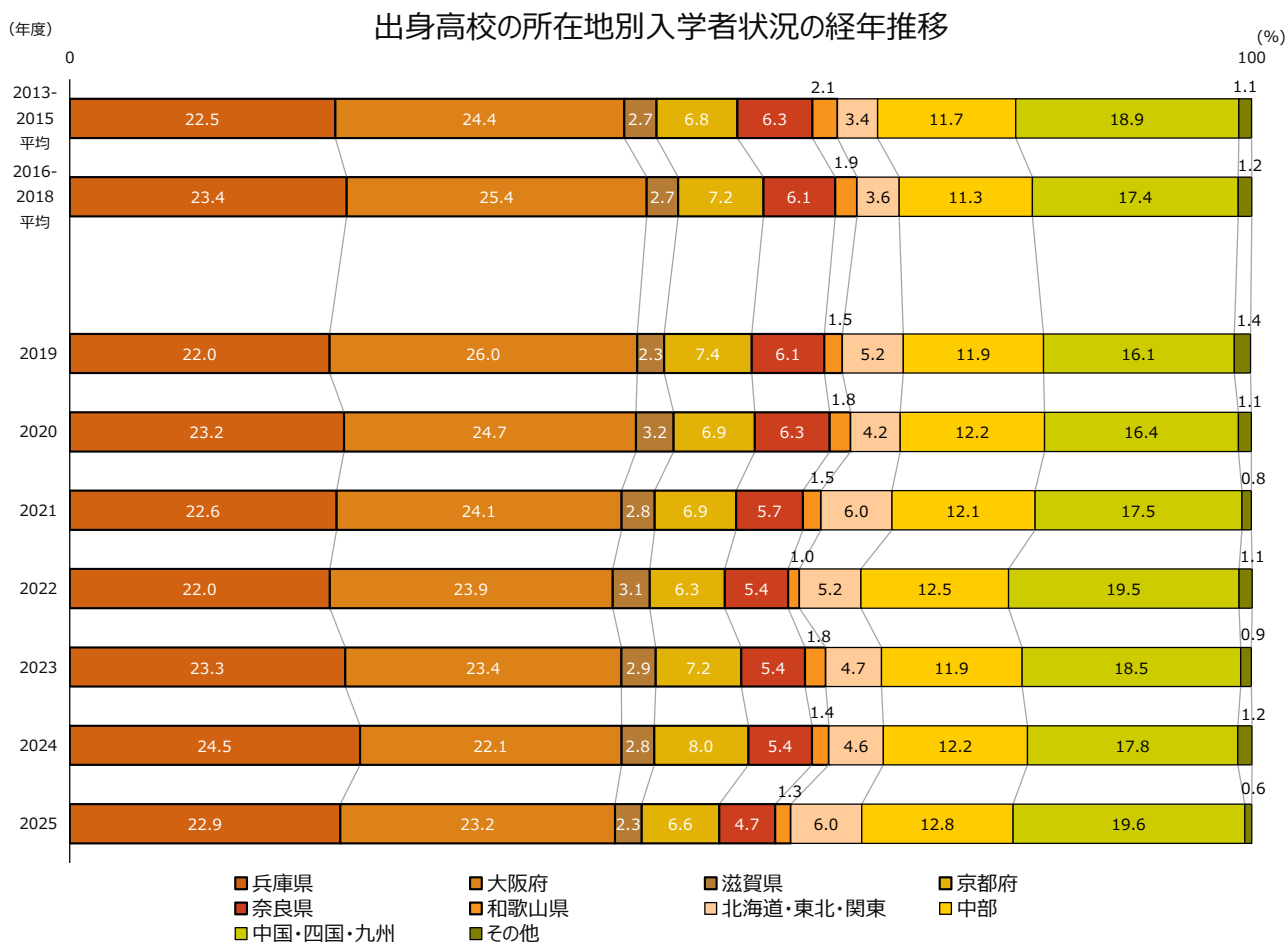
出典：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(8-G) 出身高校の所在地別入学者数」  
 ※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

## 4-2 出身高校の所在地別入学者状況の経年推移

教育

○ 出身地の割合は約20年間概ね変化がなく、入学者のおよそ6割強を近畿地方の高校出身者が占めている。

### 神戸大学



※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

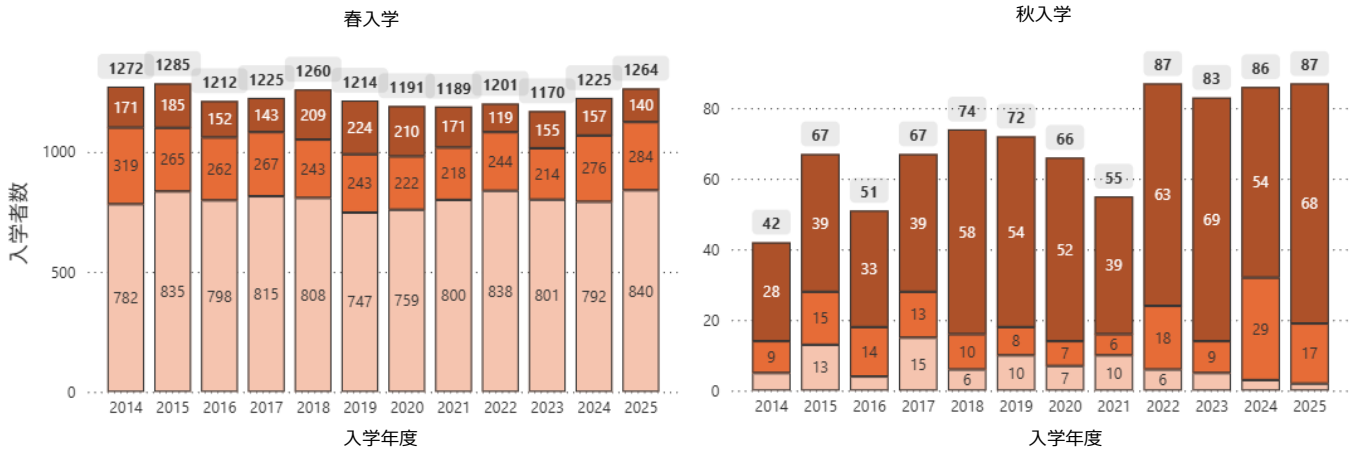
# 5. 入学状況 — 大学院 —

- 修士課程・博士課程前期課程においては、自然科学系の研究科へは本学出身者が入学する割合が高く、人文科学系、社会科学系及び医学系の研究科へは他学出身者が入学する割合が高い。
- 博士課程・博士課程後期課程においては、研究科によりばらつきはあるが、入学者の半数以上を本学出身者が占める研究科が多数である。

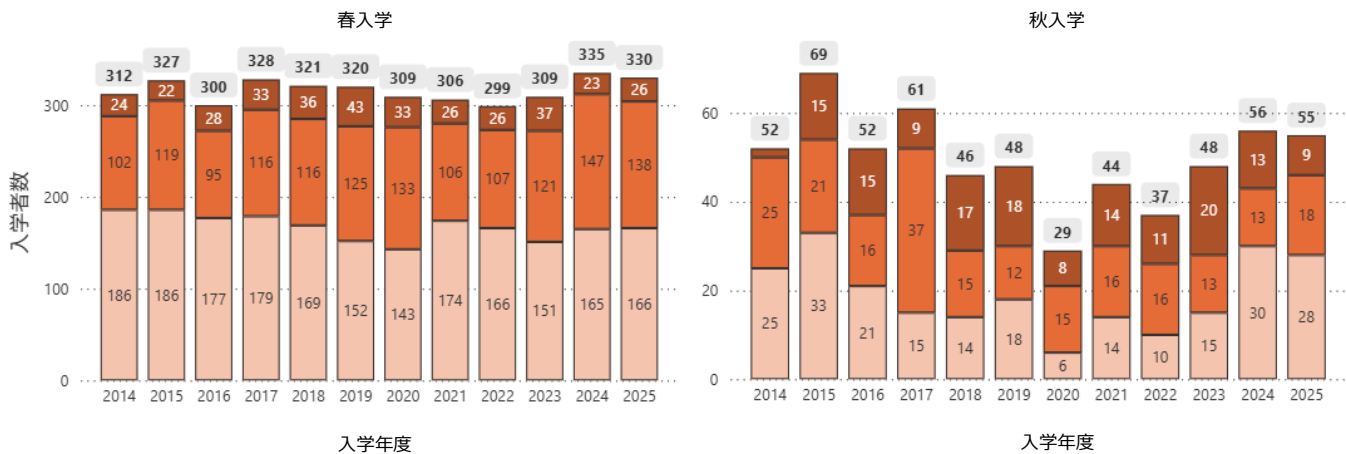
## 神戸大学

### 5-1 修士課程・博士課程前期課程

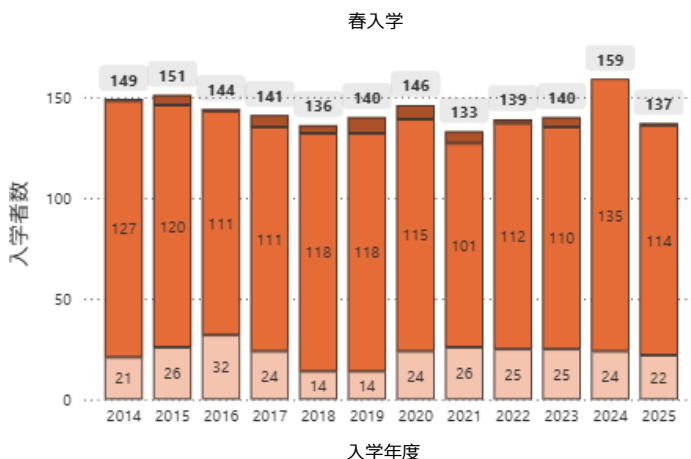
● 本学出身 ● 他学出身 ● その他（外国の学校を卒業した者等）



### 5-2 博士課程・博士課程後期課程



### 5-3 専門職学位課程



5-1~5-3詳細はこちら（研究科別で閲覧可能）

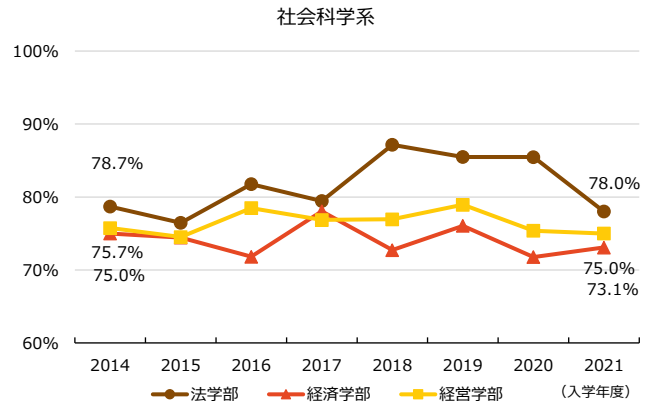
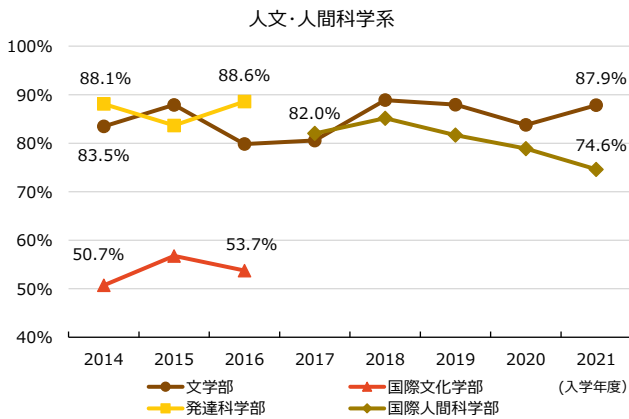
URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/5\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/5_2025/)



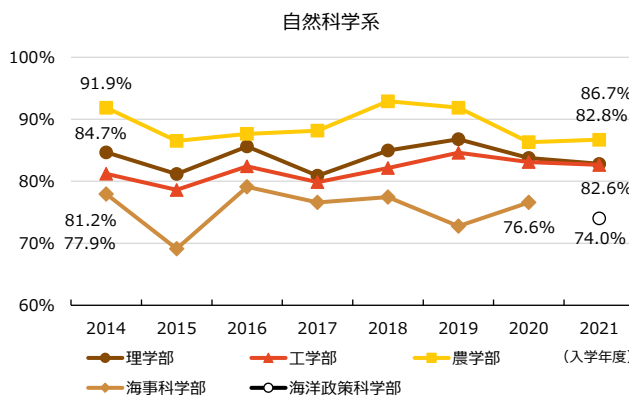
# 6. 学位授与状況 — 授与率 —

## 6-1 学士課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

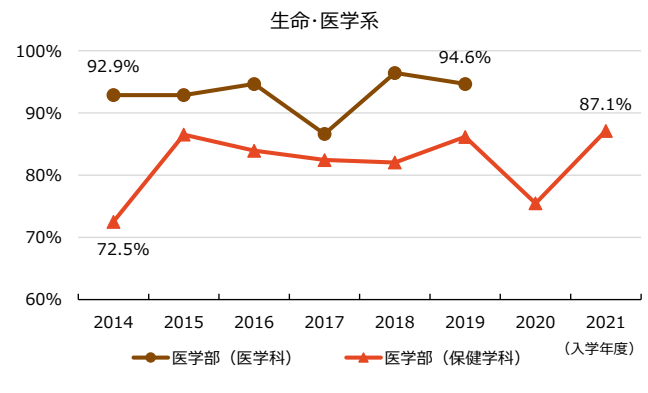
※授与率=修了者数/入学者数



※2017年に国際文化学部と発達科学部を再編統合し、国際人間科学部を設置している。



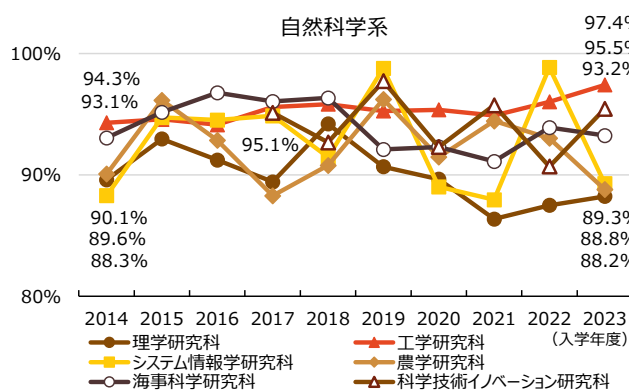
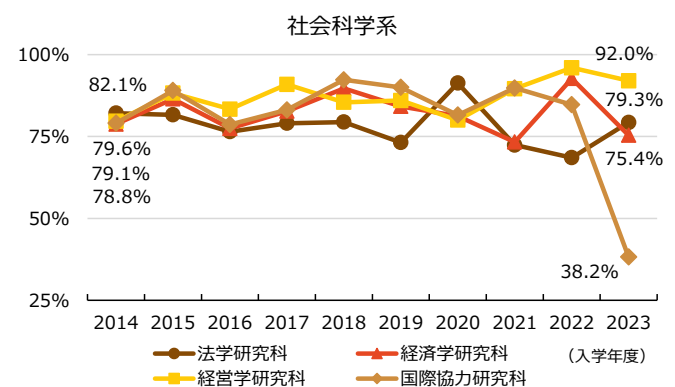
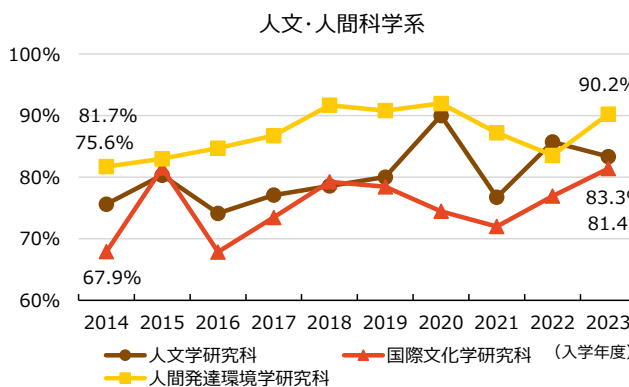
※2021年に海事科学部を改組し、海洋政策科学部を設置している。



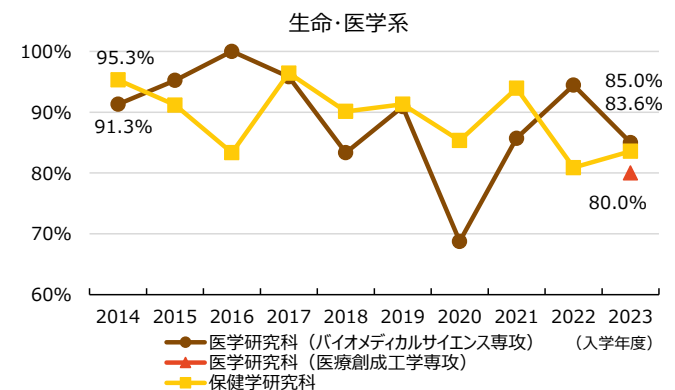
※医学部（医学科）は6年制のため2020、2021年度入学の学位取得者はいない。

## 6-2 修士課程・博士課程前期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率=修了者数/入学者数（秋入学者を含む。ただし、2023年度入学生は春入学者のみ。）

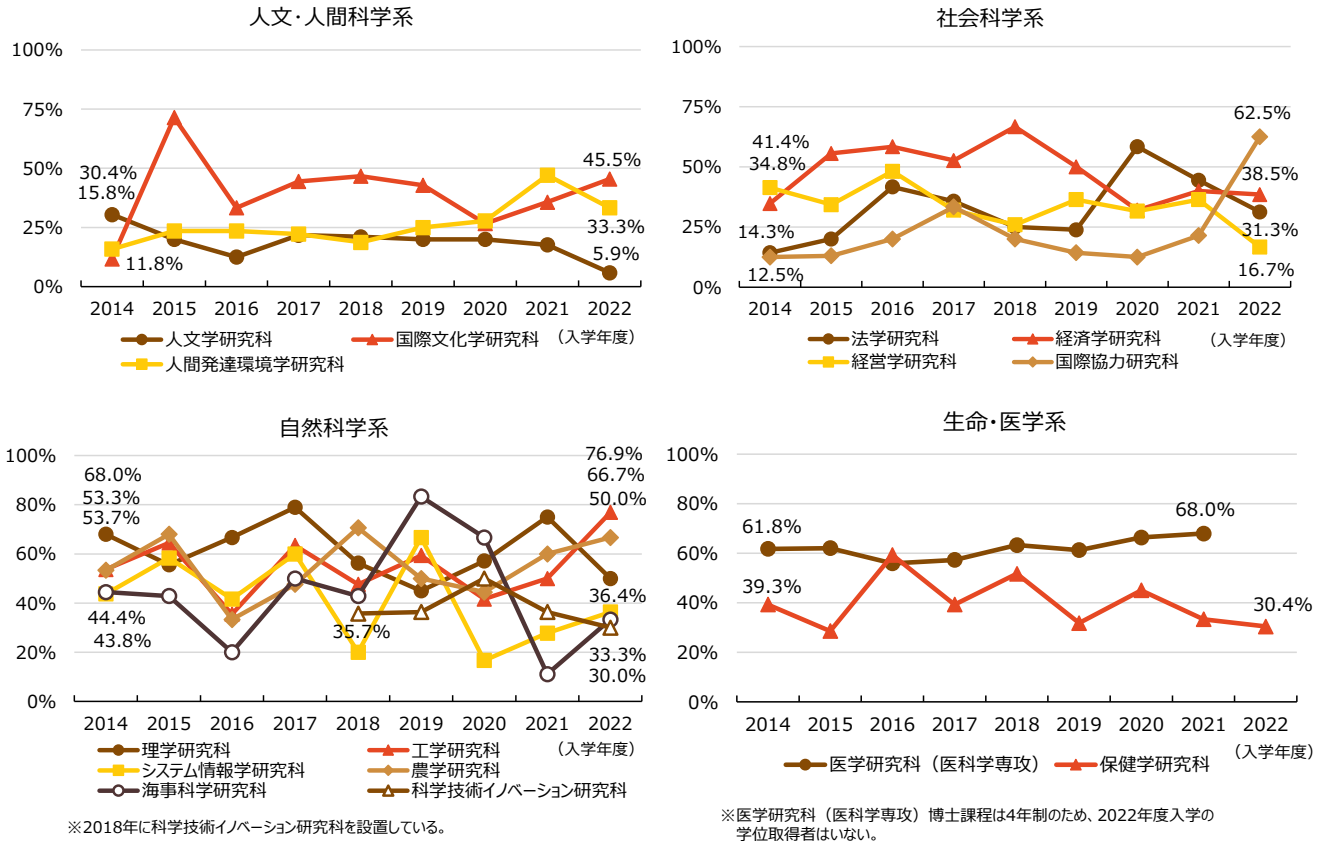


※2016年に科学技術イノベーション研究科を設置している。

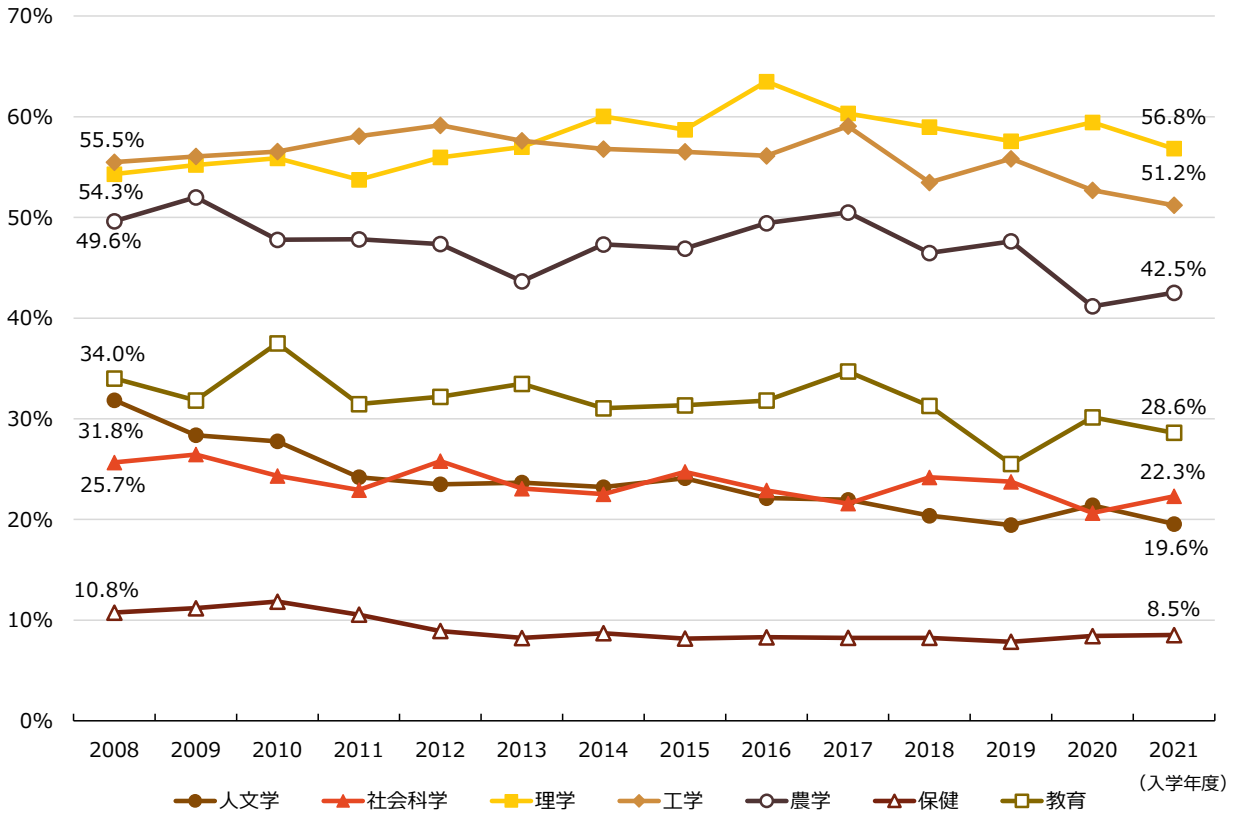


### 6-3 博士課程・博士課程後期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率＝修了者数/入学者数（秋入学者を含む。ただし、2022年度入学生は春入学者のみ。）



### 6-4 全国（入学年度別標準修業年限内修業率 博士課程専攻分野別）



出典：文部科学省 学校基本調査  
博士課程の「専攻分野別最低修業年数卒業者数/博士課程の専攻分野別入学者数」の推移を入学年度別に示した。

# 7. 進路・就職状況

## 7-1 学士課程卒業生の進路・就職状況

○ 文科系の学部では就職する学生の割合が高く、理科系の学部では医学部を除き、進学する学生の割合が高い。

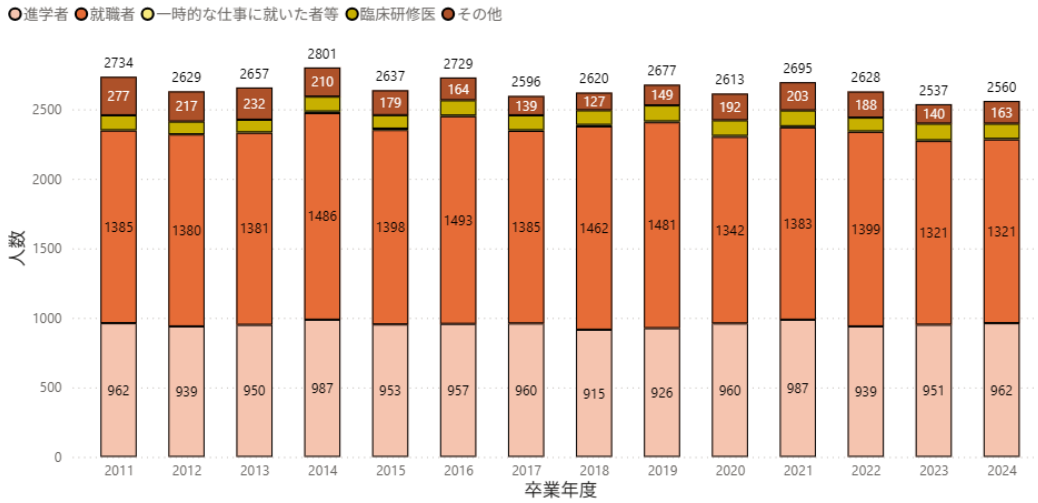
※各年度、修了直後の進路・就職状況である。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「一時的な仕事に就いた者等」とは、「(有期雇用労働者) - (雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者) + (臨時労働者)」である。

※「その他」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

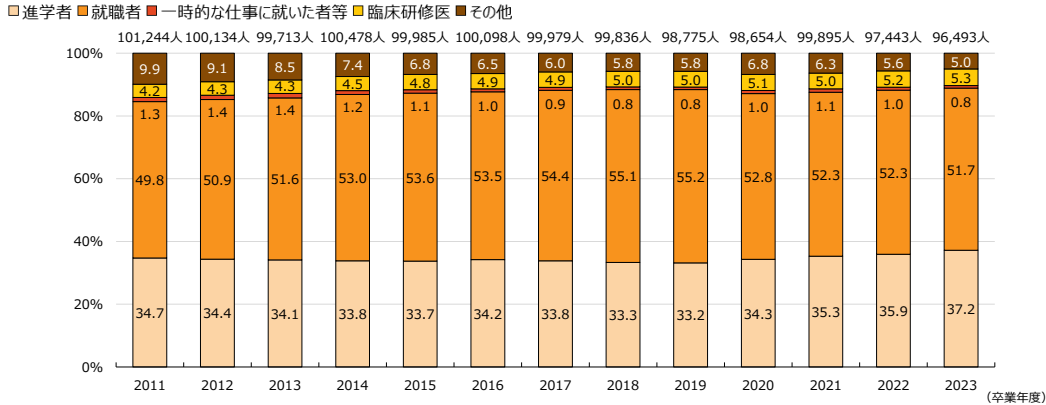
7-1-1 神戸大学



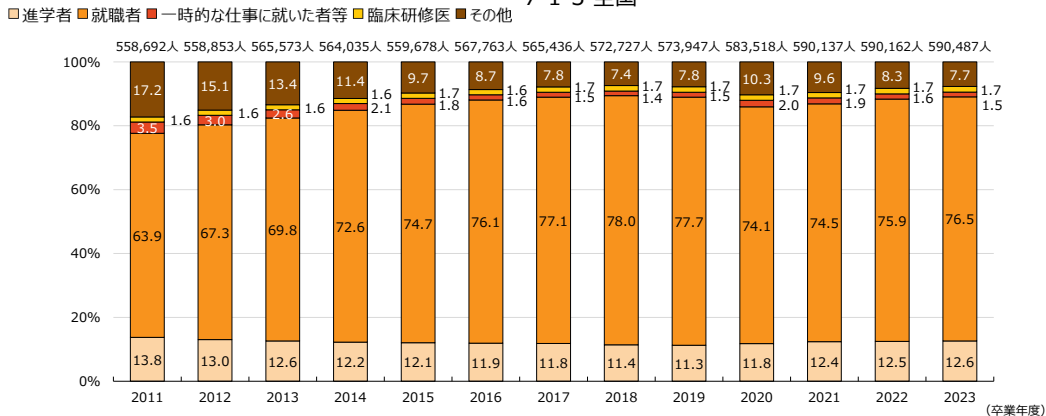
7-1-1詳細はこちら (学部別で閲覧可能、Power BIツールのグラフは全課程共通)  
URL: [https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7_2025/)



7-1-2 国立大



7-1-3 全国



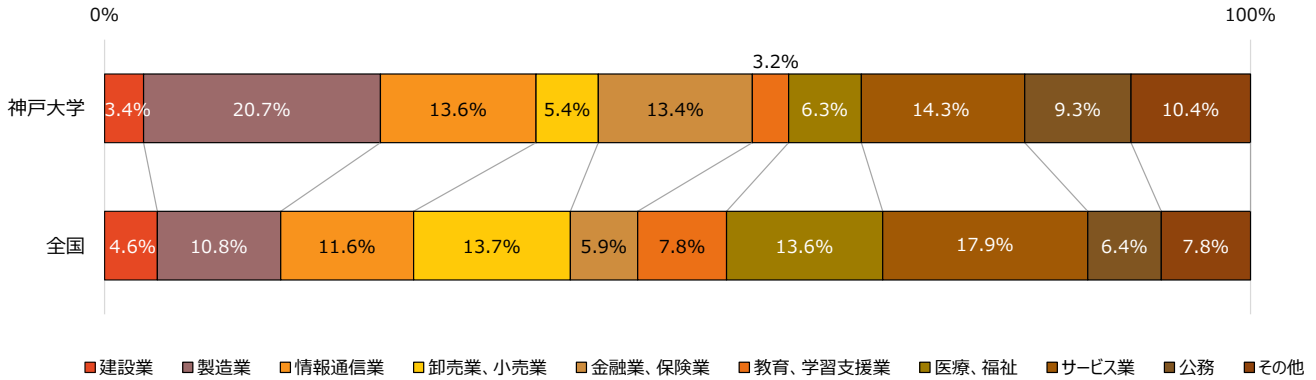
出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

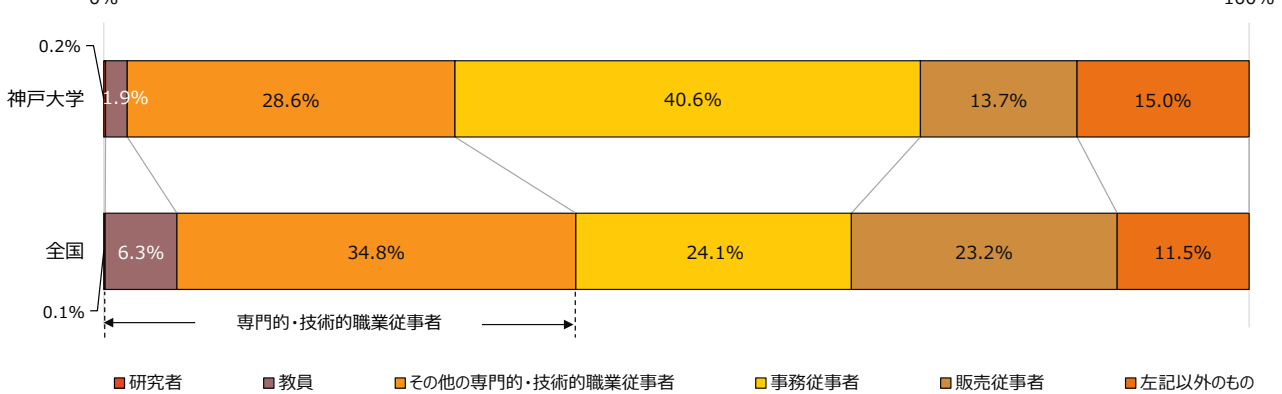
## 7-2 学士課程卒業生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較すると、産業別（7-2-1）では「製造業」「金融業、保険業」、職業別（7-2-2）では「事務従事者」の割合が高い。

7-2-1 2023年度卒業生 産業別就職状況



7-2-2 2023年度卒業生 職業別就職状況



※研究者：自然科学系研究者、人文・社会科学系等研究者

※教員：幼稚園教員、小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、大学教員、その他の教員(専修学校、各種学校又は学校以外のその他の教育施設において、学生・生徒に対する各種の教科や実技などの教育に従事するものをいう。事業体附属の教育施設において、職員に対する業務上必要な知識・技術・技能などの教育に専ら従事するもの、就業について一定の資格(免許)を必要とするものの養成施設において、就業に必要な知識・実技などの教育に従事するもの、少年院において、収容少年の教育に従事するもの、職業訓練施設において、職業に必要な技能の訓練・指導に従事するもの含まれる。)

※その他の専門的・技術的職業従事者：

農林水産技術者、製造技術者(開発)、製造技術者(開発を除く)、建築・土木・測量技術者、情報処理・通信技術者、その他の技術者、医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、医療技術者、その他の保健医療従事者、社会福祉専門職業従事者、法務従事者、その他の保健医療従事者、社会福祉専門職業従事者、法務従事者、経営・金融・保険専門職業従事者、宗教家、著述家、記者、編集者、美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者、音楽家、舞台芸術家、その他の専門的職業従事者

「日本標準職業分類(平成21[2009]年12月統計基準設定)」より抜粋  
出典：文部科学省 学校基本調査

## 7-3 修士課程・博士課程前期課程修了生の進路・就職状況

- 文科系の研究科において進学率が一定程度あり、学士課程卒業生とは異なる傾向がみられる。
- 近年進学者が減少傾向にあったが、2023年度に割合が上昇し、2024年度も同水準を維持している。

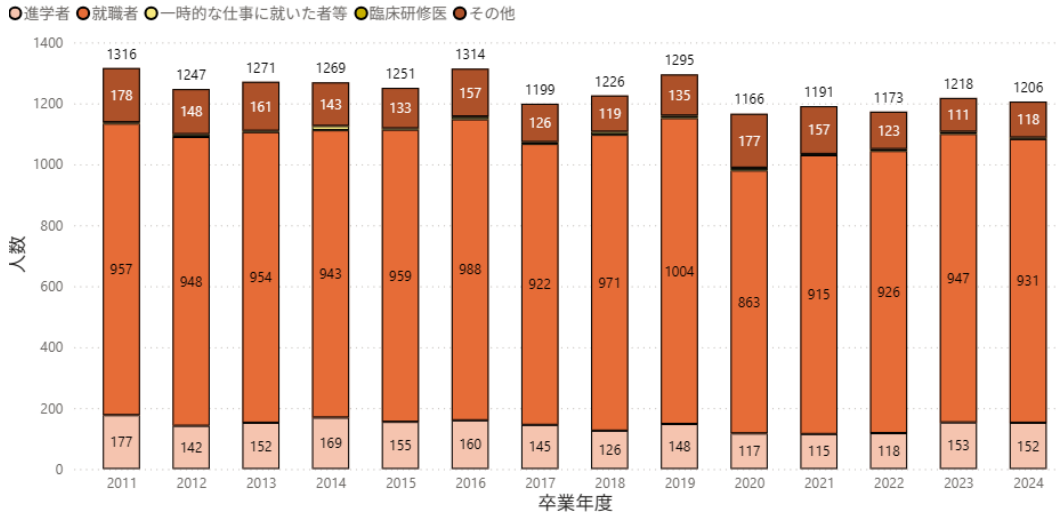
※各年度、修了直後の進路・就職状況である。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「一時的な仕事に就いた者等」とは、「(有期雇用労働者) - (雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者) + (臨時労働者)」である。

※「その他」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

7-3-1 神戸大学

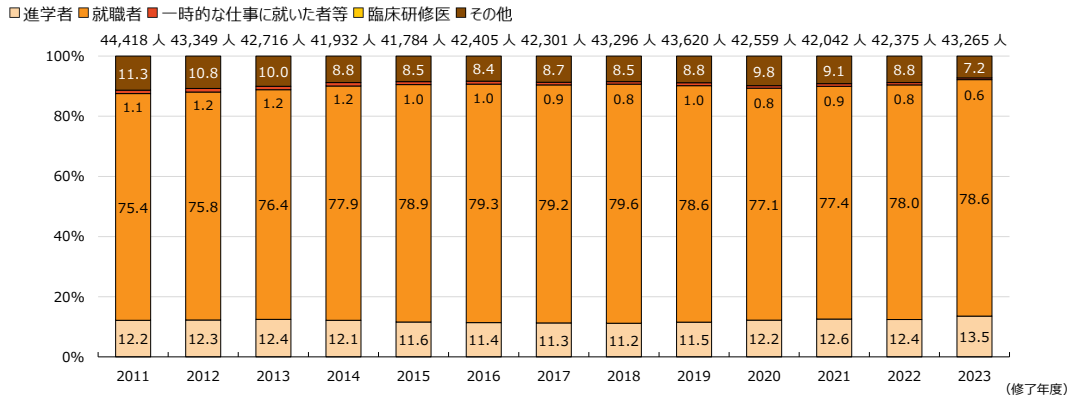


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても含む。

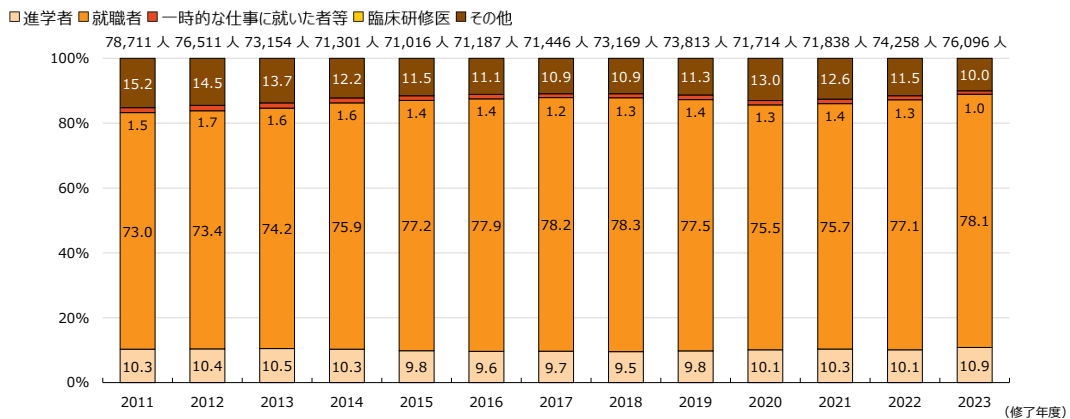
7-3-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）  
URL: [https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7_2025/)



7-3-2 国立大



7-3-3 全国



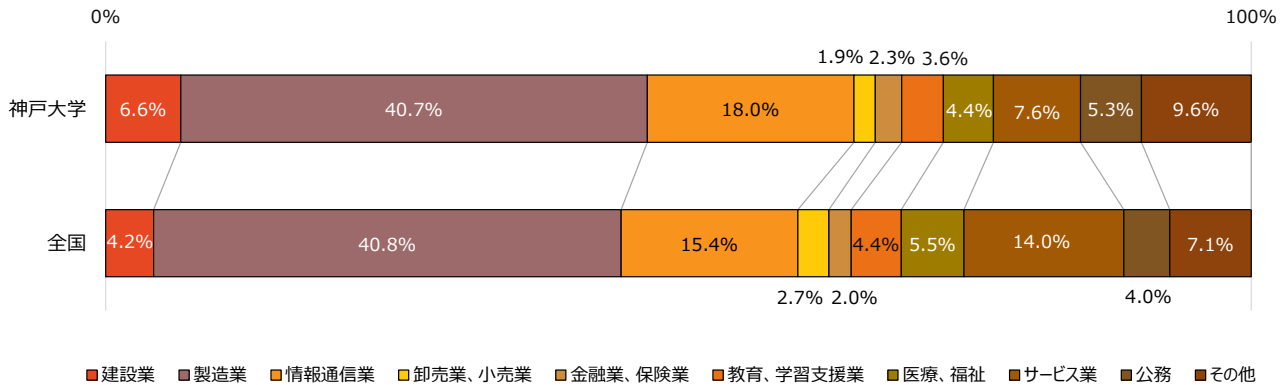
出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

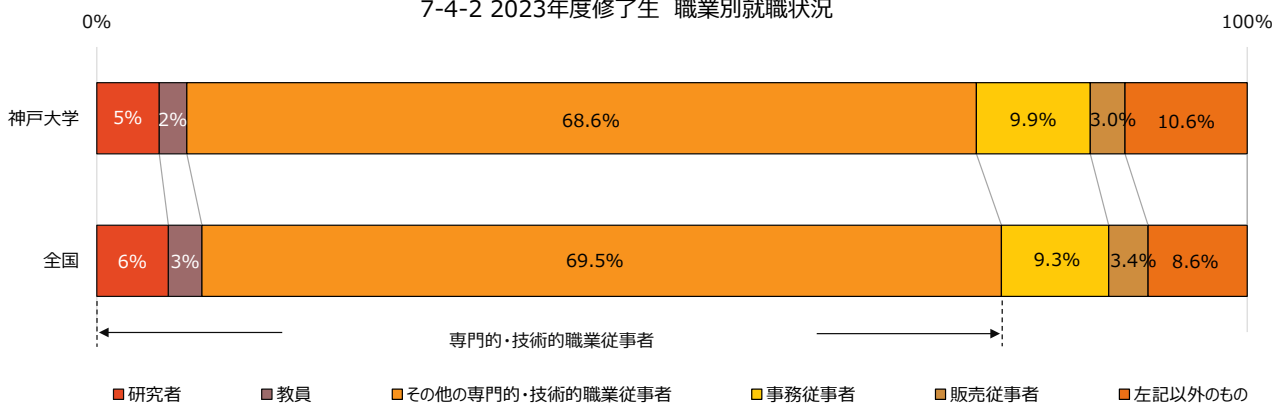
## 7-4 修士課程・博士課程前期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 産業別（7-4-1）のサービス業は、全国が約2倍だが、その他は、産業別（7-4-1）、職業別（7-4-2）ともに概ね全国と同様の傾向が見られる。

7-4-1 2023年度修了生 産業別就職状況



7-4-2 2023年度修了生 職業別就職状況



※研究者：自然科学系研究者、人文・社会科学系等研究者

※教員：幼稚園教員、小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、大学教員、その他の教員(専修学校、各種学校又は学校以外のその他の教育施設において、学生・生徒に対する各種の教科や実技などの教育に従事するものをいう。事業体附属の教育施設において、職員に対する業務上必要な知識・技術・技能などの教育に専ら従事するもの、就業について一定の資格(免許)を必要とするものの養成施設において、就業に必要な知識・実技などの教育に従事するもの、少年院において、収容少年の教育に従事するもの、職業訓練施設において、職業に必要な技能の訓練・指導に従事するもの含まれる。)

※その他の専門的・技術的職業従事者：

農林水産技術者、製造技術者(開発)、製造技術者(開発を除く)、建築・土木・測量技術者、情報処理・通信技術者、その他の技術者、医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、医療技術者、その他の保健医療従事者、社会福祉専門職業従事者、法務従事者、その他の保健医療従事者、社会福祉専門職業従事者、法務従事者、経営・金融・保険専門職業従事者、宗教家、著述家、記者、編集者、美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者、音楽家、舞台芸術家、その他の専門的職業従事者

「日本標準職業分類(平成21[2009]年12月統計基準設定)」より抜粋  
出典：文部科学省 学校基本調査

# 7-5 博士課程・博士課程後期課程修了生の進路・就職状況

○ 就職者の割合は毎年変動しているが、6割程度で推移している。

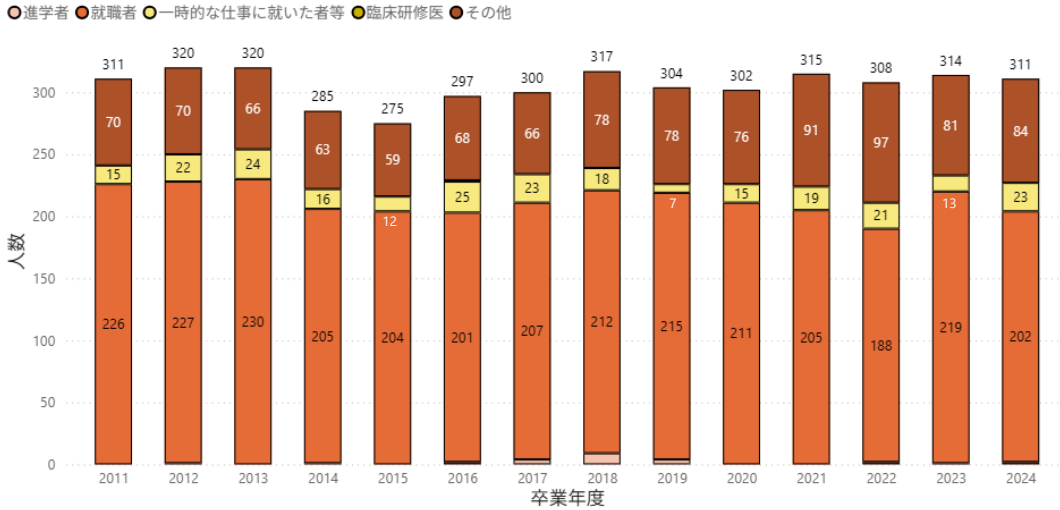
※各年度、修了直後の進路・就職状況である。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「一時的な仕事に就いた者等」とは、「(有期雇用労働者) - (雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者) + (臨時労働者)」である。

※「その他」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

## 7-5-1 神戸大学

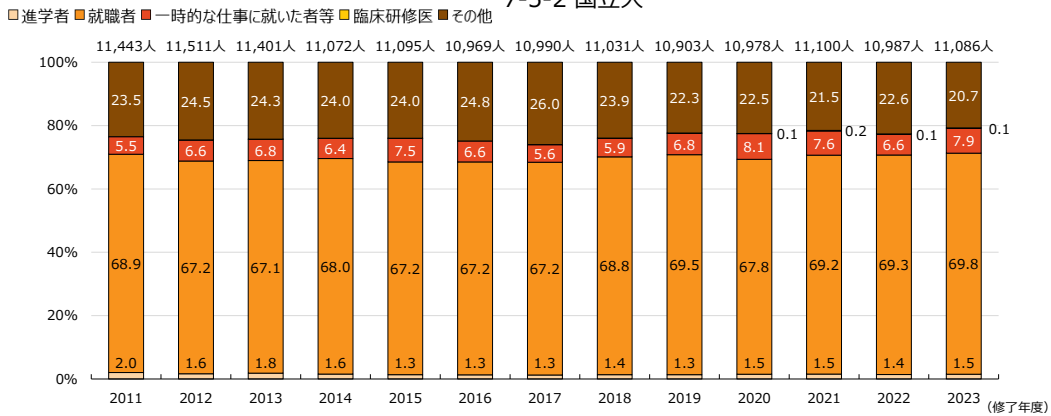


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても計上。

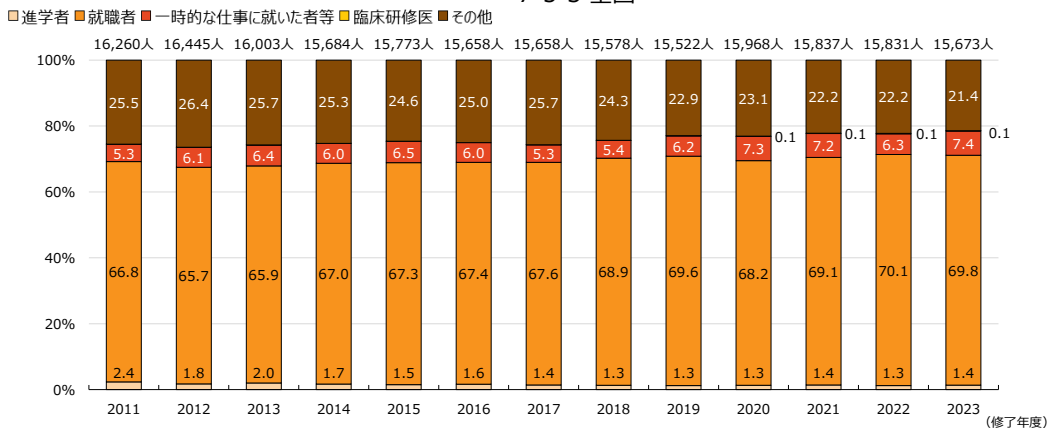
7-5-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）  
URL: [https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7_2025/)



## 7-5-2 国立大



## 7-5-3 全国



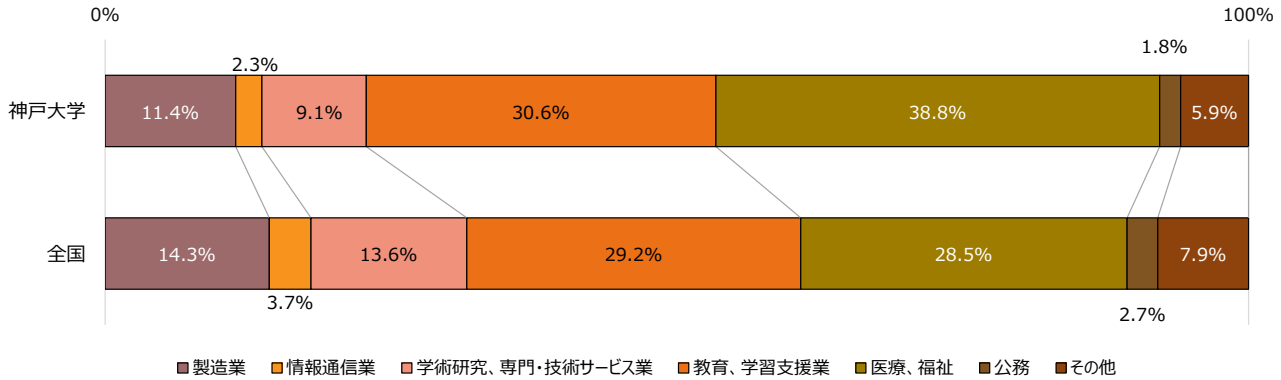
出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

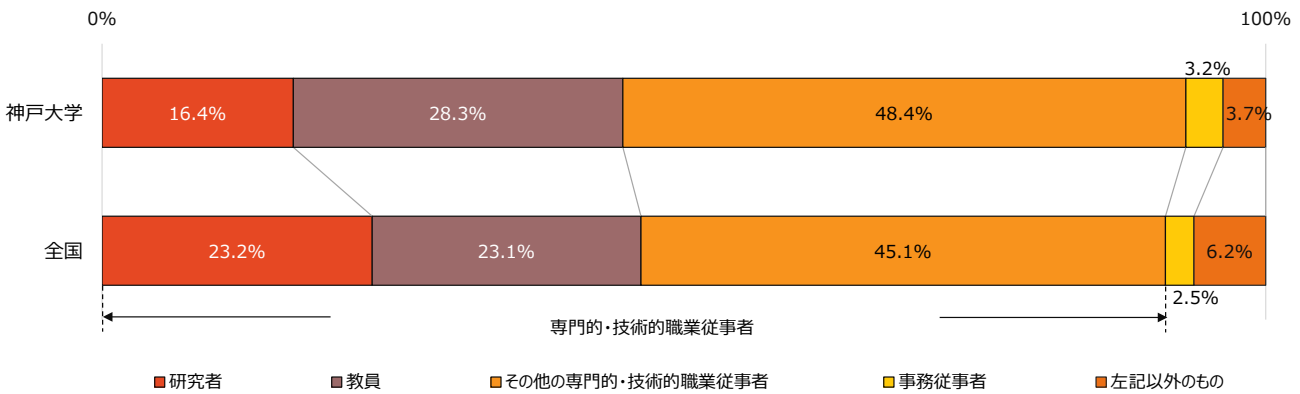
## 7-6 博士課程・博士課程後期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較すると、産業別（7-6-1）では「医療、福祉」の割合が高く、職業別（7-6-2）では「教員」の割合が高い。

7-6-1 2023年度修了生 産業別就職状況



7-6-2 2023年度修了生 職業別就職状況



※研究者：自然科学系研究者、人文・社会科学系等研究者

※教員：幼稚園教員、小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、大学教員、その他の教員(専修学校、各種学校又は学校以外のその他の教育施設において、学生・生徒に対する各種の教科や実技などの教育に従事するものをいう。事業体附属の教育施設において、職員に対する業務上必要な知識・技術・技能などの教育に専ら従事するもの、就業について一定の資格(免許)を必要とするものの養成施設において、就業に必要な知識・実技などの教育に従事するもの、少年院において、収容少年の教育に従事するもの、職業訓練施設において、職業に必要な技能の訓練・指導に従事するもの含まれる。)

※その他の専門的・技術的職業従事者：

農林水産技術者、製造技術者（開発）、製造技術者（開発を除く）、建築・土木・測量技術者、情報処理・通信技術者、その他の技術者、医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、医療技術者、その他の保健医療従事者、社会福祉専門職業従事者、法務従事者、その他の保健医療従事者、社会福祉専門職業従事者、法務従事者、経営・金融・保険専門職業従事者、宗教家、著述家、記者、編集者、美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者、音楽家、舞台芸術家、その他の専門的職業従事者

「日本標準職業分類(平成21[2009]年12月統計基準設定)」より抜粋  
出典：文部科学省 学校基本調査

## 7-7 専門職学位課程修了生の進路・就職状況

○ 就職者の割合は例年 5 割前後で推移していたが、2023年度以降は増加傾向にある。

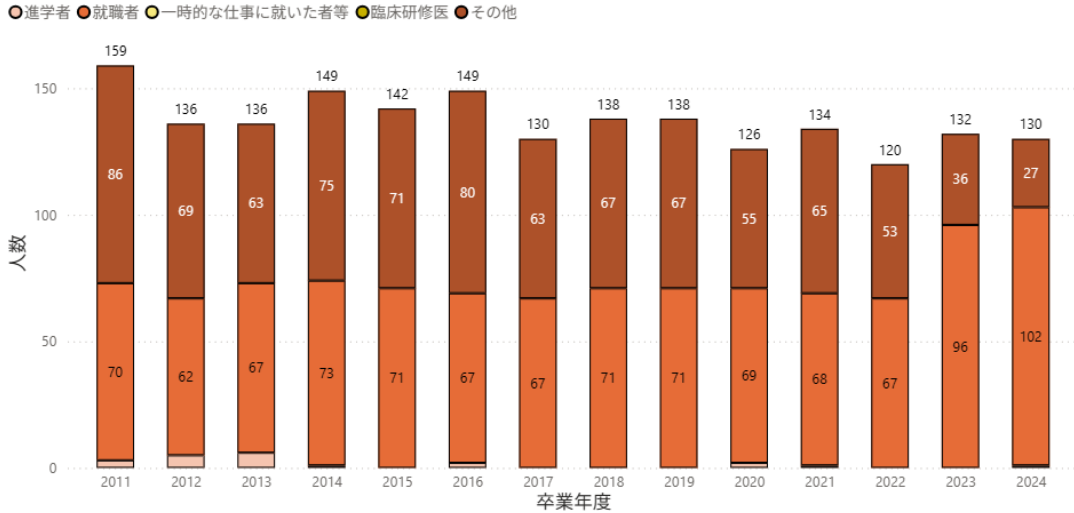
※各年度、修了直後の進路・就職状況である。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「一時的な仕事に就いた者等」とは、「(有期雇用労働者) - (雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者) + (臨時労働者)」である。

※「その他」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

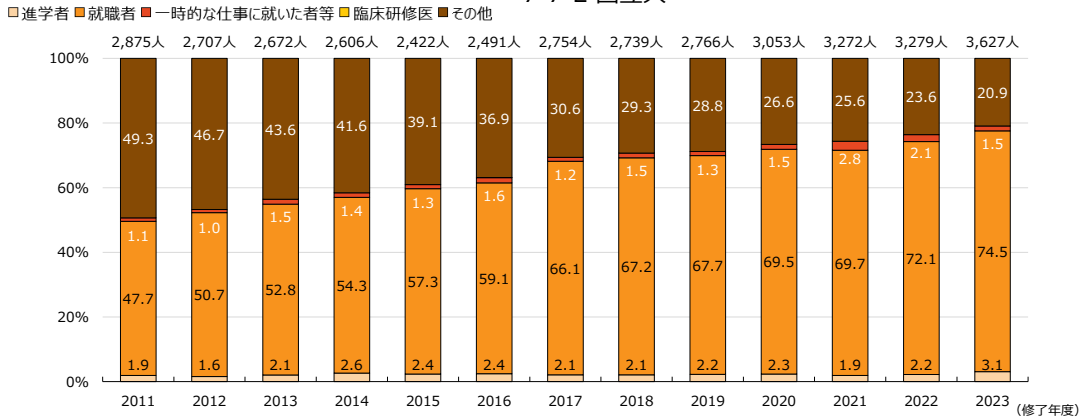
7-7-1 神戸大学



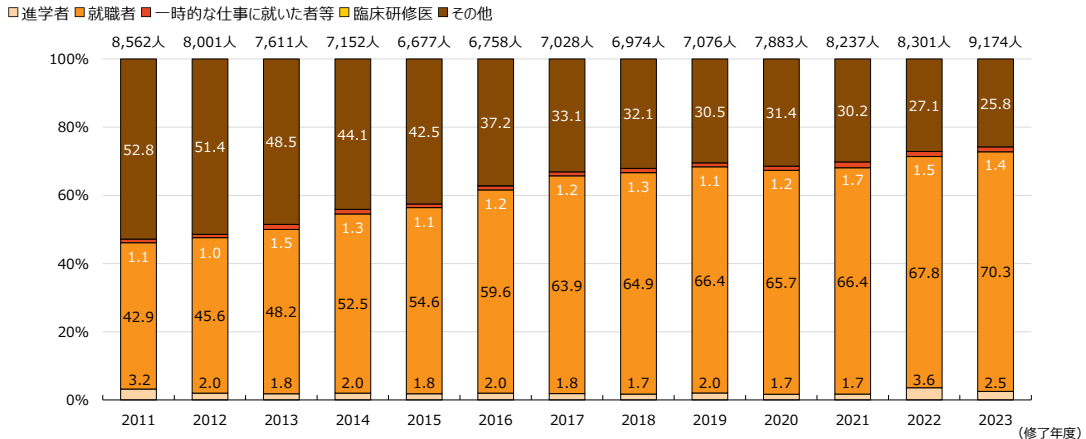
7-7-1詳細はこちら（研究科別で閲覧可能、再掲・Power BIツールのグラフは全課程共通）  
URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/7_2025/)



7-7-2 国立大



7-7-3 全国



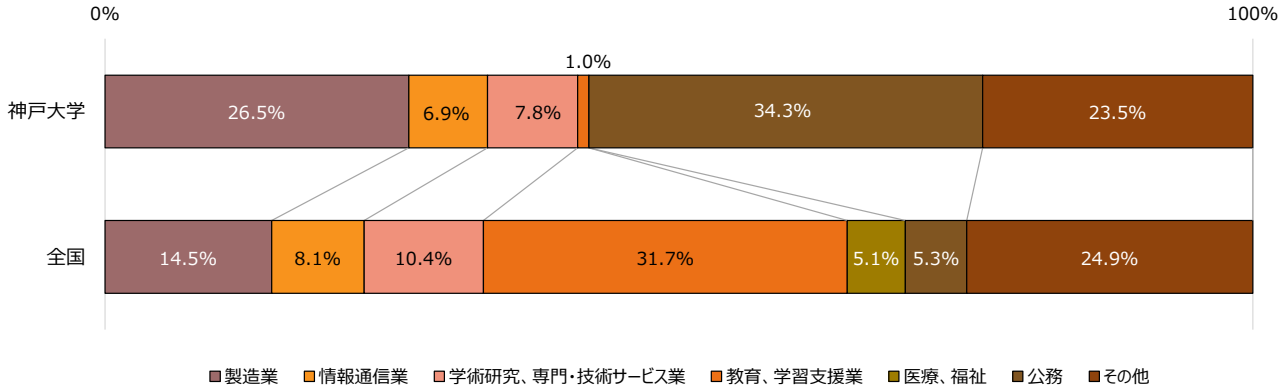
出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

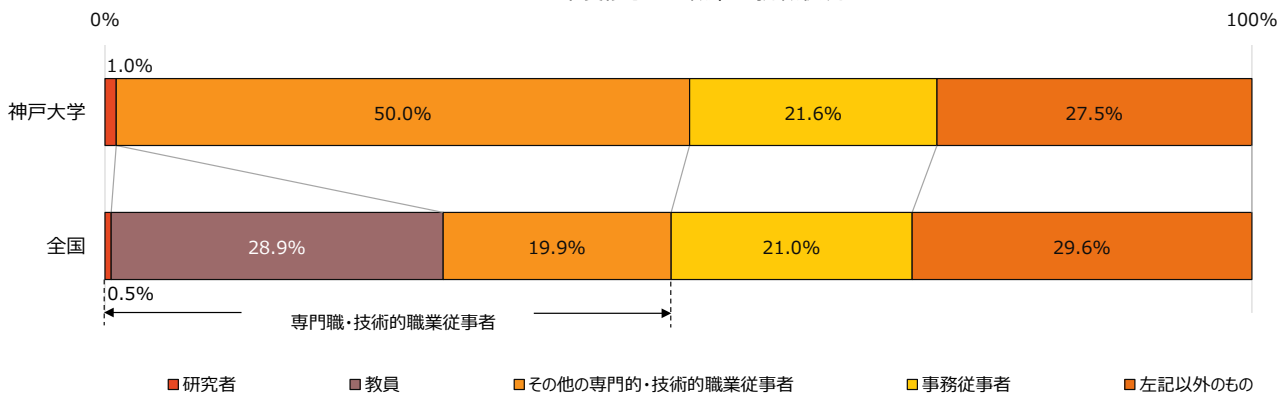
## 7-8 専門職学位課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較すると、産業別（7-8-1）では「製造業」「公務」、職業別（7-8-2）では「その他専門的・技術的職業従事者」の割合が高い。

7-8-1 2023年度修了生 産業別就職状況



7-8-2 2023年度修了生 職業別就職状況



※研究者：自然科学系研究者、人文・社会科学系等研究者

※教員：幼稚園教員、小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、大学教員、その他の教員(専修学校、各種学校又は学校以外のその他の教育施設において、学生・生徒に対する各種の教科や実技などの教育に従事するものをいう。事業体附属の教育施設において、職員に対する業務上必要な知識・技術・技能などの教育に専ら従事するもの、就業について一定の資格(免許)を必要とするものの養成施設において、就業に必要な知識・実技などの教育に従事するもの、少年院において、収容少年の教育に従事するもの、職業訓練施設において、職業に必要な技能の訓練・指導に従事するもの含まれる。)

※その他の専門的・技術的職業従事者：

農林水産技術者、製造技術者(開発)、製造技術者(開発を除く)、建築・土木・測量技術者、情報処理・通信技術者、その他の技術者、医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、医療技術者、その他の保健医療従事者、社会福祉専門職業従事者、法務従事者、その他の保健医療従事者、社会福祉専門職業従事者、法務従事者、経営・金融・保険専門職業従事者、宗教家、著述家、記者、編集者、美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者、音楽家、舞台芸術家、その他の専門的職業従事者

「日本標準職業分類(平成21[2009]年12月統計基準設定)」より抜粋  
出典：文部科学省 学校基本調査

# 8. 資格試験合格状況

## 8-1 司法試験合格状況

○ 毎年上位の合格率を維持しつつ、安定して司法試験合格者を輩出している。

【合格率推移（上位20大学）】

順位	2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			2025年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	愛知大	66.7%	2	京都大	68.0%	119	京都大	68.4%	188	慶應義塾大	59.4%	146	京都大	58.5%	128
2	京都大	61.6%	114	東京大	60.9%	117	一橋大	67.2%	121	愛知大	55.6%	5	愛知大	55.6%	5
3	一橋大	58.2%	64	一橋大	60.0%	66	慶應義塾大	60.0%	186	京都大	49.3%	107	慶應義塾大	50.0%	118
4	慶應義塾大	55.1%	125	慶應義塾大	57.5%	104	東京大	59.0%	186	一橋大	48.8%	60	東京大	50.0%	116
5	東北大	51.3%	20	東北大	56.3%	27	神戸大	48.6%	71	東京大	47.5%	121	一橋大	47.7%	61
6	山梨学院大	50.0%	2	愛知大	50.0%	2	名古屋大	47.2%	42	中央大	45.9%	83	早稲田大	46.2%	150
7	東洋大	50.0%	1	神戸大	48.6%	54	早稲田大	44.7%	174	早稲田大	42.1%	139	東北大	43.4%	49
8	早稲田大	49.8%	115	大阪大	45.9%	51	大阪大	42.9%	78	大阪大	40.7%	72	神戸大	41.2%	56
9	岡山大	48.5%	16	早稲田大	44.8%	104	中央大	39.3%	90	神戸大	37.5%	51	中央大	40.5%	77
10	東京大	48.2%	96	創価大	37.5%	12	北海道大	37.8%	28	同志社大	36.9%	41	関西学院大	35.4%	17
11	名古屋大	45.5%	25	大阪市立大	36.6%	15	岡山大	36.4%	12	九州大	34.6%	37	北海道大	35.1%	26
12	神戸大	41.6%	47	九州大	33.3%	22	同志社大	33.3%	29	名古屋大	31.1%	32	同志社大	33.3%	40
13	大阪大	40.9%	47	南山大	33.3%	5	筑波大	33.3%	17	南山大	27.8%	5	九州大	31.0%	26
14	獨協大	40.0%	2	筑波大	32.7%	18	愛知大	33.3%	2	上智大	27.3%	12	千葉大	29.6%	16
15	同志社大	35.5%	39	日本大	32.0%	24	成蹊大	33.3%	1	専修大	27.3%	9	大阪大	28.6%	48
16	中央大	31.8%	83	同志社大	30.9%	25	創価大	32.4%	12	広島大	26.5%	9	名古屋大	28.6%	32
17	筑波大	31.7%	19	岡山大	30.8%	8	東北大	30.5%	25	北海道大	26.2%	17	専修大	25.9%	7
18	創価大	30.8%	12	関西大	28.3%	15	専修大	28.6%	10	大阪公立大	25.0%	9	広島大	24.3%	9
19	首都大東京	29.6%	24	北海道大	27.8%	15	明治大	27.4%	29	金沢大	25.0%	4	金沢大	22.7%	5
20	関西学院大	29.4%	10	近畿大	27.3%	3	法政大	25.0%	15	関西学院大	24.4%	10	福岡大	22.6%	7

【既修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2023年度			2024年度			2025年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	京都大	73.6%	81	愛知大	100.0%	1	愛知大	100.0%	2
2	東京大	69.7%	69	横浜国立大	50.0%	1	北海道大	61.1%	11
3	一橋大	64.4%	56	慶應義塾大	47.2%	34	京都大	51.0%	26
4	筑波大	64.3%	9	東京大	45.8%	22	東京大	48.6%	17
5	慶應義塾大	59.9%	82	九州大	42.9%	18	金沢大	44.4%	4
6	創価大	54.5%	6	南山大	42.9%	3	早稲田大	40.4%	46
7	神戸大	52.5%	42	京都大	41.2%	21	琉球大	40.0%	2
8	大阪大	51.8%	43	金沢大	40.0%	2	一橋大	36.1%	13
9	名古屋大	50.0%	14	大阪公立大	37.5%	3	広島大	35.7%	5
10	北海道大	50.0%	11	同志社大	35.7%	20	慶應義塾大	33.9%	19
11	早稲田大	43.5%	77	大阪大	35.5%	27	東北大	33.8%	22
12	岡山大	42.9%	3	関西学院大	35.0%	7	神戸大	33.3%	16
13	専修大	37.5%	3	早稲田大	34.0%	50	専修大	33.3%	3
14	広島大	36.4%	4	岡山大	33.3%	1	千葉大	32.1%	9
15	明治大	33.9%	21	広島大	33.3%	5	関西学院大	31.8%	7
16	金沢大	33.3%	2	中央大	31.7%	26	九州大	31.0%	9
17	千葉大	32.4%	12	神戸大	30.5%	18	名古屋大	28.6%	12
18	中央大	31.9%	37	千葉大	30.0%	9	大阪公立大	25.0%	3
19	九州大	31.1%	14	北海道大	29.4%	5	同志社大	24.6%	14
20	同志社大	30.9%	17	一橋大	28.1%	9	明治大	21.1%	12

【未修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2023年度			2024年度			2025年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	法政大	42.1%	8	愛知大	40.0%	2	関西学院大	34.8%	8
2	愛知大	33.3%	2	同志社大	33.3%	3	一橋大	33.3%	7
3	東京都市大	33.3%	2	大阪公立大	30.8%	4	愛知大	33.3%	2
4	成蹊大	33.3%	1	慶應義塾大	29.0%	9	同志社大	30.0%	3
5	慶應義塾大	32.5%	13	中央大	27.8%	5	専修大	25.0%	3
6	東京大	27.7%	23	大阪大	23.5%	8	東京大	23.8%	20
7	京都大	27.7%	13	専修大	21.4%	3	中央大	23.1%	3
8	名古屋大	26.7%	8	一橋大	21.1%	4	神戸大	22.7%	5
9	専修大	25.0%	5	近畿大	20.0%	1	早稲田大	21.7%	10
10	一橋大	23.8%	5	筑波大	19.4%	7	関西大	20.0%	3
11	東北大	23.5%	4	九州大	18.5%	5	南山大	20.0%	2
12	南山大	22.2%	2	関西大	16.7%	3	福岡大	19.2%	5
13	早稲田大	19.7%	13	琉球大	15.8%	3	北海道大	19.0%	4
14	同志社大	18.2%	2	金沢大	14.3%	1	日本大	17.4%	4
15	大阪大	17.4%	8	桐蔭横浜大	14.3%	1	大阪公立大	16.7%	2
16	関西学院大	16.7%	3	東京大	13.9%	11	東北大	15.8%	3
17	西南学院大	16.7%	1	名古屋大	12.5%	3	慶應義塾大	13.8%	4
18	広島大	16.7%	1	千葉大	11.8%	2	明治大	13.6%	3
19	中央大	16.2%	6	早稲田大	11.5%	6	九州大	13.3%	4
20	桐蔭横浜大	15.4%	2	神戸大	11.1%	2	駒澤大	10.5%	2
(25)	神戸大	11.1%	2						

出典：法務省ホームページ「司法試験の結果について」

※このランキングは法科大学院卒業生のみを対象とし、予備試験合格者については含めていない。

## 8-2 各種資格試験・採用試験合格状況

○ 各種資格試験・採用試験において、毎年安定して合格者を輩出している。

8-2-1 国家公務員総合職			8-2-2 弁理士			8-2-3 公認会計士			8-2-4 一級建築士		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者
1 (1)	東京大	77	1 (1)	大阪大	18	1	慶應義塾大	171	1	日本大	142
2 (2)	京都市大	69		京都大	18	2	早稲田大	131	2	東京理科大	103
3	立命館大	64	3 (3)	東京大	16	3	明治大	81	3	近畿大	92
4	早稲田大	55	4 (4)	東京工業大	15	4	中央大	63	4	芝浦工業大	84
5 (3)	千葉大	45	5 (5)	名古屋大、 慶應義塾大	11	5 (1)	東京大	60	5	早稲田大	66
6 (4)	大阪大	44			11	6 (2)	京都大	55	6	工学院大	61
7 (5)	岡山大	43	7 (6)	九州大、 東北大、 東京理科大、 早稲田大	9	7 (3)	神戸大	54	7 (1)	神戸大	54
8 (6)	広島大	42				8	同志社大	52	8	明治大	52
9	慶應義塾大	39				9 (4)	一橋大、 立命館大	50	9	名古屋工業大	45
10	明治大	37				10	法政大	43			
18 (12)	神戸大	21	13 (9)	神戸大	3						
18.0 (11.7)	神戸大 過去三カ年平均	21.7	10.0 (7.7)	神戸大 過去三カ年平均	4.0	7.3 (2.7)	神戸大 過去三カ年平均	49.3	8.7 (1.3)	神戸大 過去三カ年平均	53.0

8-2-5 技術士			8-2-6 医師国家試験			8-2-7 看護師		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格率	順位	大学名	合格者
1 (1)	九州大	110	1	自治医科大	100.0%	1	順天堂大[医療看護]	200
2 (2)	北海道大	105	2	国際医療福祉大	99.2%	2	聖隷クリストファー大	147
3 (3)	京都大	100	3	兵庫医科大	99.1%	3	北里大、 日本赤十字看護大	140
4 (4)	東京大	97	4	産業医科大	99.0%		杏林大	139
5	日本大	88	5	順天堂大	98.5%	5	藤田医科大	134
6	早稲田大	71	6	日本医科大	98.4%	6	埼玉県立大	127
7 (5)	東北大	63	7	名古屋市立大	98.3%	8	川崎医療福祉大、 九州看護福祉大、 日本赤十字広島看護大	125
8 (6)	大阪大	54	8	東京医科大	97.3%			
9	東京理科大	52	9	防衛医科大学校	97.2%			
10	大阪公立大	51	10 (1)	群馬大	97.1%			
14 (9)	神戸大	37	33 (11)	神戸大、大分大	94.7%	217 (19)	神戸大	66
17.0 (12.3)	神戸大 過去三カ年平均	36.3	47.3 (21.3)	神戸大 過去三カ年平均	92.5%	184.3 (11.7)	神戸大 過去三カ年平均	73.7

8-2-8 臨床検査技師			8-2-9 作業療法士			8-2-10 理学療法士		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者
1	杏林大	110	1	国際医療福祉大[保健医療]	70	1	新潟医療福祉大	119
2	北里大[医療衛生]、 藤田医科大	102	2	帝京平成大[健康メディカル]	58	2	帝京科学大	114
			3	川崎医療福祉大	57	3	順天堂大	111
4	熊本保健科学大	95	4	熊本保健科学大、 北海道医療大	49	4	帝京平成大[健康メディカル]	92
5	国際医療福祉大[福岡保健医療]	76				5	国際医療福祉大	91
6	神戸常盤大	74	6	北里大	46	6	藍野大、 SBC東京医療大学大	89
7	国際医療福祉大[成田保健医療]	73	7	杏林大、 新潟医療福祉大	45	8	九州栄養福祉大	85
8	岐阜医療科学大	72				9	健康科学大	84
9	帝京大	70	9	兵庫医科大、 藤田医科大、 森ノ宮医療大	44	10	日本医療科学大	83
10	川崎医療福祉大	66						
43 (1)	神戸大、熊本大	34				107 (10)	神戸大	16
36.7 (4.7)	神戸大 過去三カ年平均	36.7	81 (11)	神戸大	13			
68.3 (2.0)	神戸大 過去三カ年平均	17.0				98.0 (6.0)	神戸大 過去三カ年平均	19.0

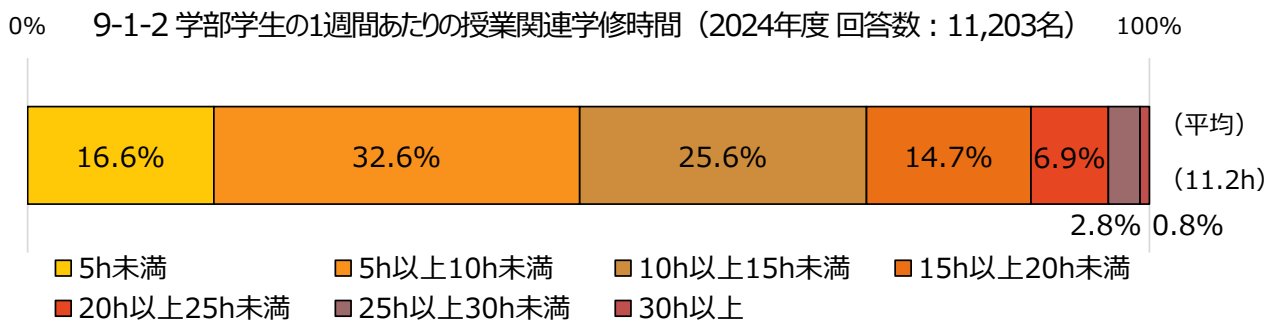
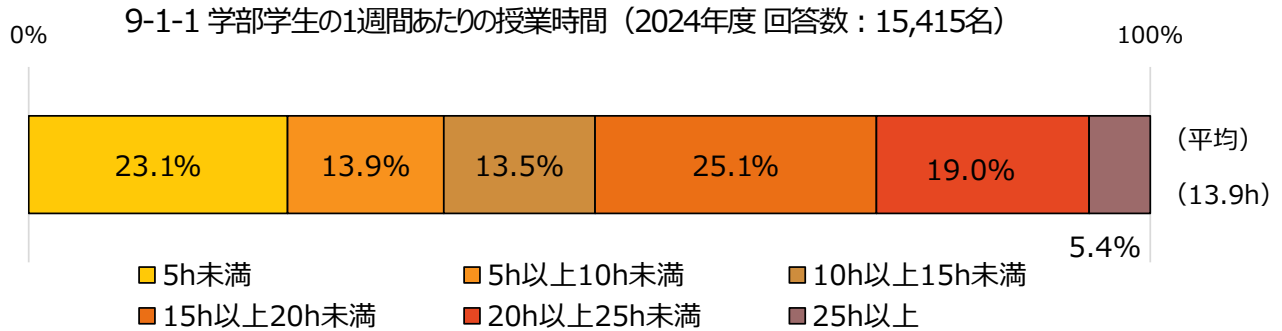
※合格者数は(人)  
カッコ内は国立大学内の順位

出典：朝日新聞出版  
「大学ランキング2026年版」より作成。  
※データは2024年の数値、過去三カ年平均値は2022～2024年の平均値  
(技術士のみ2023年の数値、2021～2023年の平均値)

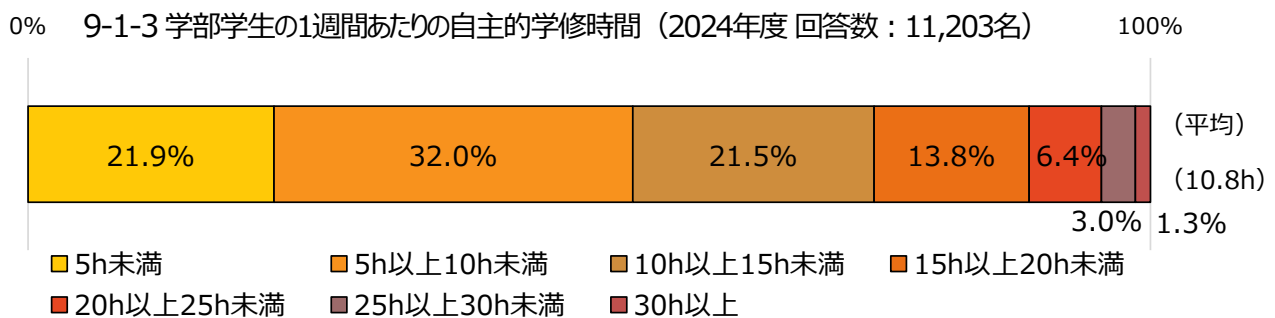
## 9. 学生生活状況

### 9-1 学部学生の学修時間等について

- 1週間あたりの授業時間（9-1-1）は、「5時間未満」「15時間以上20時間未満」の割合が高い。
- 1週間あたりの授業関連学修時間（9-1-2）と自主的学修時間（9-1-3）は、どちらも「5時間以上10時間未満」の割合が高い。



授業関連学修時間… 履修している授業に関連した学修や、ゼミ・卒業論文・卒業研究等に関する学修  
 （授業の予習・復習、課題やレポートの作成、定期試験の準備、資料検索、実験準備、実験実施、発表準備、論文執筆等）



自主的学修時間… 授業関連時間以外で、自主的に行った学修  
 （資格試験学習、語学学習、大学院試験対策、就職試験対策、フィールドワーク、インターンシップ、ボランティア、セミナー、  
 クラブ・サークル活動、教養のための読書等）

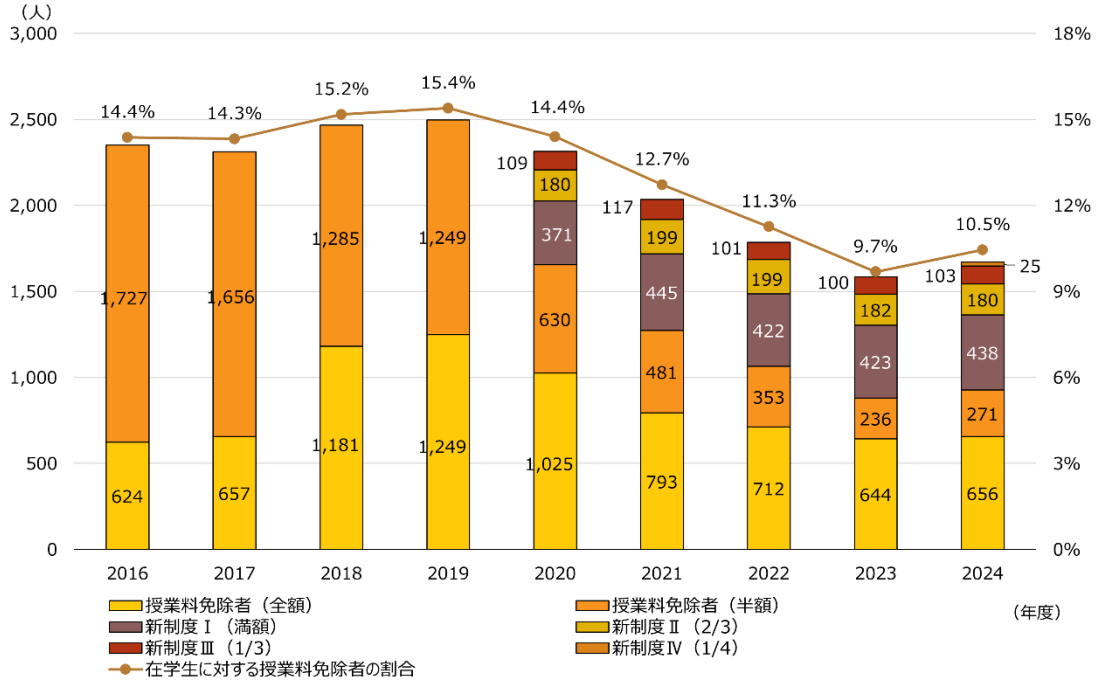
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

出典：神戸大学「学修の記録」全学集計結果

## 9-2 経済支援（授業料免除及び奨学金）について

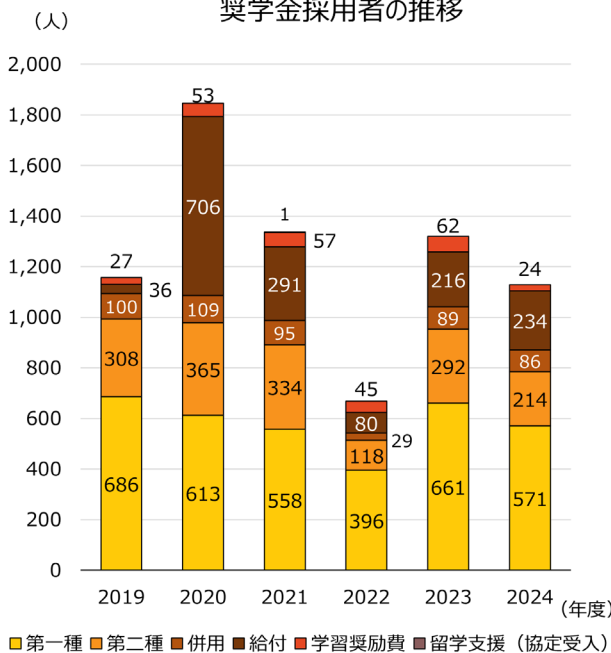
- 2020年度より「高等教育の修学支援新制度」が実施され、学部学生等を対象に、給付奨学金と授業料減免の組み合わせによる支援を実施している。大学院生へは、これまでどおり授業料免除の支援を継続している。
- 2020年度以降、授業料免除者数は減少していたが、2024年度は新制度Ⅱ（2/3免除）以外の免除制度で増加し、全体として増加に転じた。

9-2-1 授業料免除者とその割合

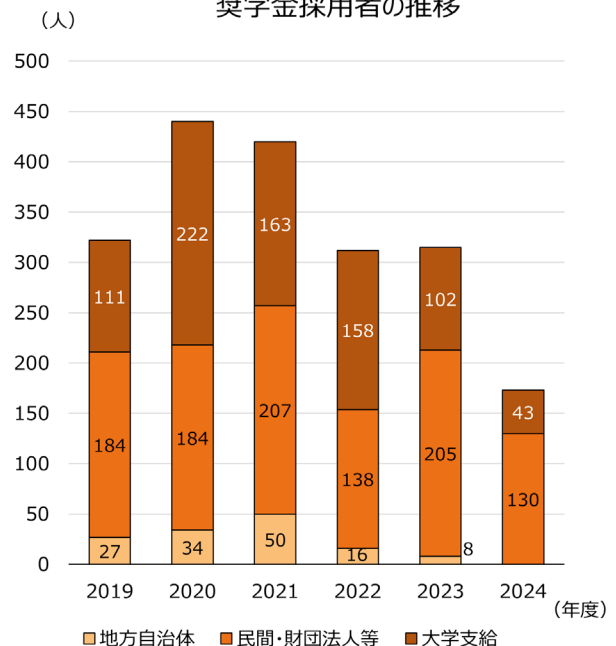


※授業料免除者については、前後期の平均値

9-2-2 日本学生支援機構の奨学金採用者の推移



9-2-3 日本学生支援機構以外の奨学金採用者の推移



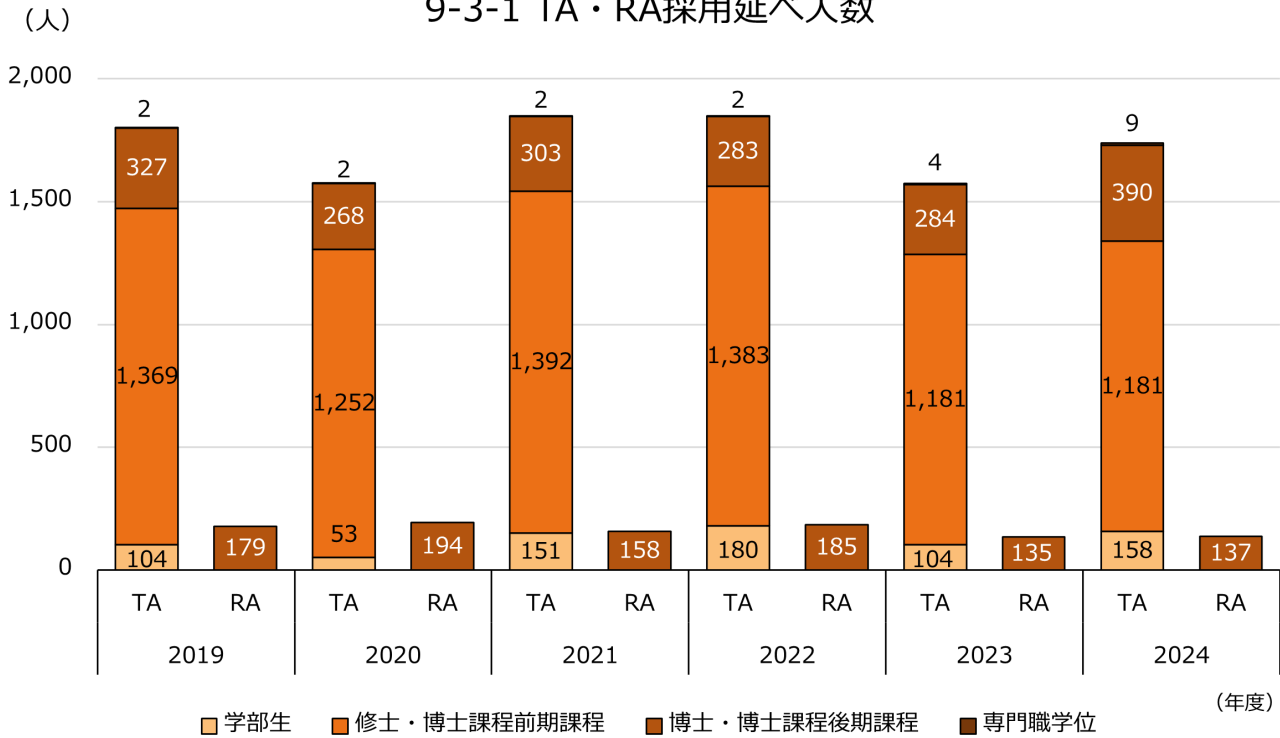
※日本学生支援機構の内訳

- 第一種：第一種（無利息）のみ受給している学生
- 第二種：第二種（利息付）のみ受給している学生
- 併用：第一種、第二種併用して受給している学生
- 給付：給付型を受給している学生（2018年度から開始）
- 学習奨励費：学習奨励費（私費外国人学生対象の給付型奨学金）を受給している学生
- 留学支援（協定受入）：海外留学支援制度(協定受入)により受給している学生

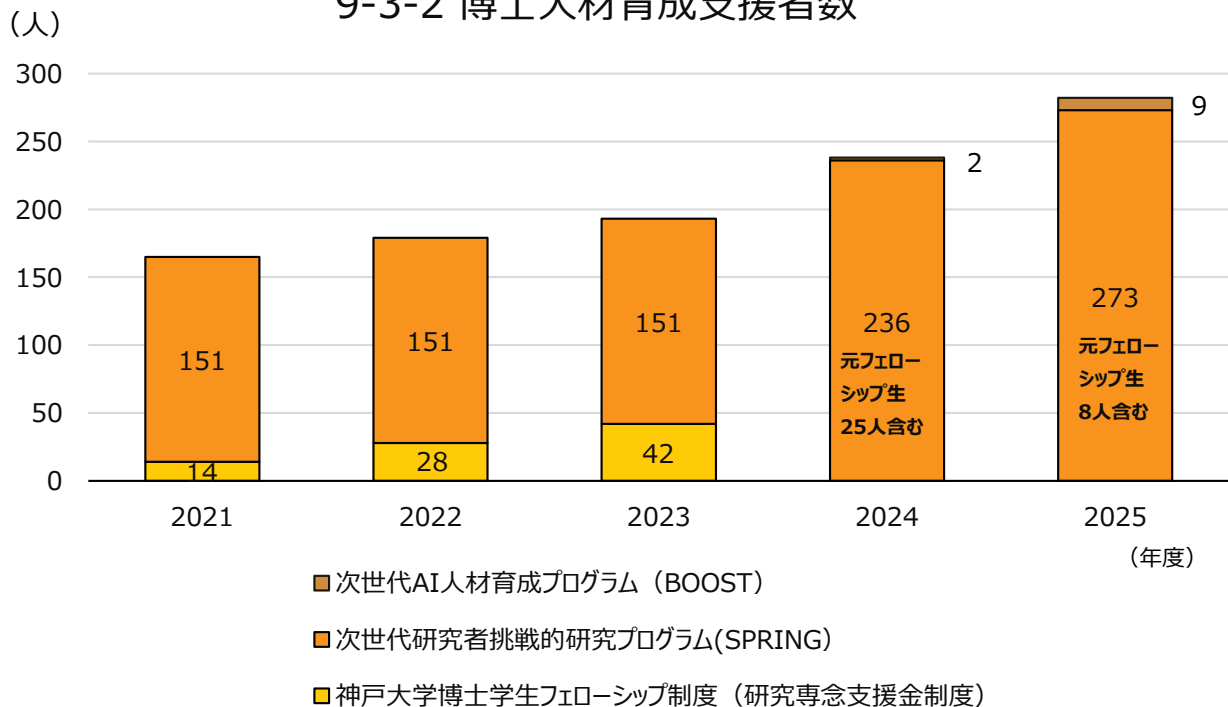
### 9-3 経済支援（その他）について

- ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）として学生を雇用（9-3-1）することで、学生への経済的支援を図るとともに、教育的効果を高めるための学修サポートを提供している。
- 「神戸大学博士学生フェロースHIP制度（研究専念支援金制度）」（2021年3月設立）の他、科学技術振興機構（JST）の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」及び「次世代AI人材育成プログラム」（2024年4月採択）により、優秀な博士人材への経済的支援を実施している（9-3-2）。

9-3-1 TA・RA採用延べ人数



9-3-2 博士人材育成支援者数



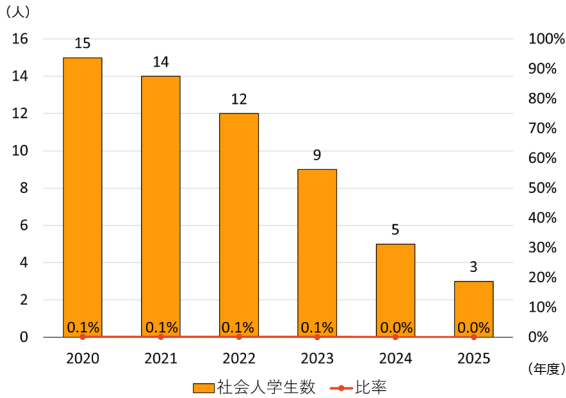
# 10. 社会人教育

## 10-1 社会人学生数

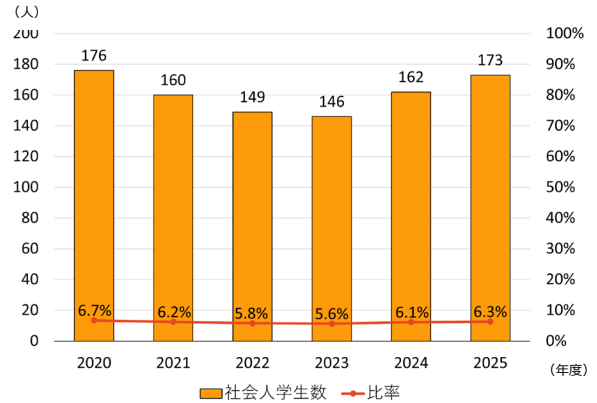
○ 学士課程における社会人学生数はわずかであるが、上位課程になるにつれて比率が上昇している。

基準日：各年度5月1日

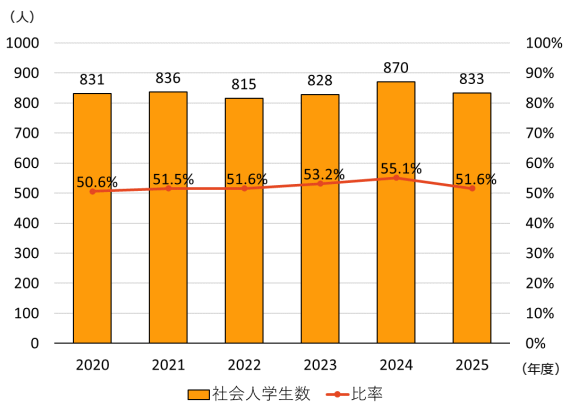
10-1-1 社会人学生数（学士課程）



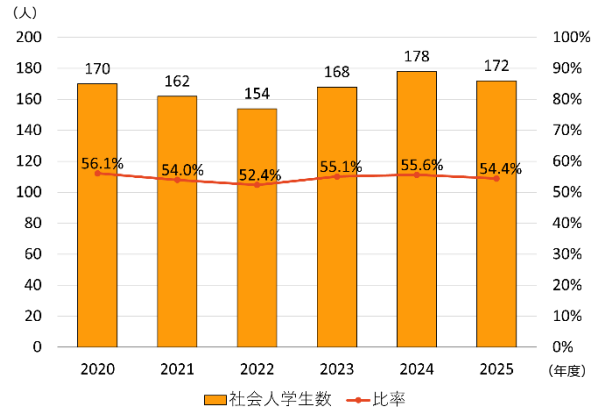
10-1-2 社会人学生数（修士課程・博士課程前期課程）



10-1-3 社会人学生数（博士課程・博士課程後期課程）



10-1-4 社会人学生数（専門職学位課程）

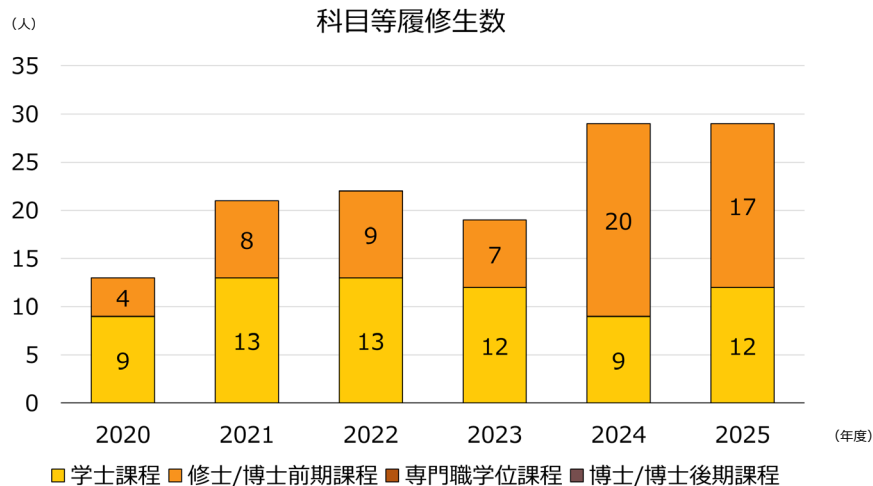


※「社会人学生数」は、（1）職に就いている者（給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事に現に就いている者）、（2）給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事から既に退職した者、（3）主婦・主夫の合計。

## 10-2 科目等履修生数

○ 年度によりばらつきはあるが、2024年度以降、修士課程・博士前期課程の科目等履修生数の割合が高くなっている。

基準日：各年度5月1日



## 10-3 リカレント教育プログラム・公開講座

- 複数の部局において、多様な受講対象者に向けたリカレント教育プログラムを開講している。
- 2024年度は5研究科・1学部において公開講座を開講した。

### リカレント教育プログラム

【2024年度】

部局名	取組・事業名	取組・事業内容	受講対象者	募集人数 (人)	受講人数 (人)
国際人間科学部	学ぶ楽しみ発見プログラム	言語によるコミュニケーションが可能な知的障害のある青年に対して、学ぶことの楽しさを感じ、自己理解や他者理解、社会認識を深め、人格を陶冶する機会を提供するプログラム	高等学校あるいは特別支援学校高等部を卒業している方で療育手帳をもっている方	10	12
国際文化学研究所	ローカル・グローバルと公・民をつなぐ観光リカレント教育	グローバルなコミュニケーション能力を持つ観光地域づくり人材を育成するプログラム	企業、自治体・公共団体、DMO（観光地域づくり法人）	20	5
保健学研究科	地域共生社会の牽引人材を育成する重層支援DXに関するリカレント教育	高齢者の生活障害因子に対応できる高い問題解決力、数理・データサイエンスの知識に基づく介護現場のリアルデータを活用できる力を身に付けるプログラム	地域高齢者事業従事者、自治体関係者、その他医療職・介護職関係者、博士課程前期課程学生	-	31
科学技術イノベーション研究科	先端理系人材のイノベーション指向リスキリング	アントレプレナーシップとデータサイエンス・データテックの研究開発力を兼ね備える科学技術イノベーション人材を育成するプログラム	企業等において先端研究開発の実績を有する理系人材	40	46
数理・データサイエンスセンター	DX基礎講座 ①データサイエンス・AI基礎 ②Python基礎演習	DX基礎講座は、組織内DX課題を解決するDX人材の育成を目的としたe-ラーニングプログラム	企業や自治体、教育機関等の就業者等	-	669
数理・データサイエンスセンター	DX応用講座 ③データサイエンス・AI実践ハンズオン	数理統計と機械学習の基礎知識からPythonによる実装までを一気通貫で学習するプログラム	初等的なデータサイエンス・AIおよびPythonプログラミングを習得済みの方	-	57
数理・データサイエンスセンター	テーマ別課題解決型PBL ④テーマ別課題解決型PBL	自ら課題を発見し、ITツール等を用いてその課題を解決できるDXやAIの実務者のための実践的なプログラム	DXやAIの実務者	30程度	7
先端スマート技術研究開発センター	AIスマート空調技術リスキリングプログラム	研究成果を活用した企業に在籍する研究者や技術者に対する講習、実習、演習などを実施するリスキリングプログラム	企業に在籍する研究者や技術者	20程度	21

### 公開講座

【2024年度】

部局名	事業区分	プログラム・講座名	受講対象者	受講人数
工学部	公開講座	神戸大学が拓く未来に向けた工学	一般社会人、大学生、高校生（高校生以上）	143
人文学研究所	公開講座	まちづくり地域歴史遺産活用講座2024	一般市民	10
人文学研究所	公開講座	まちづくり地域歴史遺産活用講座2024オプションプログラム古文書解説講座	一般市民（まちづくり講座受講生）	22
人文学研究所	公開講座	人文学を解き放つII	一般市民、学生	49
国際文化学研究所	公開講座	ロシアの横顔	一般社会人、学生（中学生以上）	48
医学研究所	公開講座	コロナ禍後の健康管理・未来医療について	一般社会人、学生等	97
保健学研究科	公開講座	最新の研究から家庭の保健・医療へ	一般市民、学生（高校生以上）	147
海事科学研究科	公開講座	神戸からの船出～近代日本・貨客船の光彩～	一般市民、学生（高校生以上）	72

詳細はこちら

URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/10-3\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/10-3_2025/)



# 11. 国際的な研究論文

## 11-1 インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング

- 本学の2014年1月から2024年12月の11年間における高被引用論文数（各研究分野における被引用数が世界の上位1%に入る、卓越した論文の数）は、国内で17位、大学に限ると12位となっている。
- 20位以内にランクインした国立大学は、全て国立大学法人運営費交付金の「成果を中心とする実績状況に基づく配分」のグループ分けによる、グループ④及び⑤（主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学:16大学）に属する。
- ただし、データ元の「Web of Science™」（以下、WoS）は自然科学・生命医学系の学術論文を中心に収録しているデータベースであることに留意が必要である。（「11.国際的な研究論文」全体の項目について）

順位	機関名	高被引用論文数	当該機関の論文数に占める割合
1	東京大学	1,709	1.7%
2	京都大学	1,040	1.5%
3	国立研究開発法人 理化学研究所	702	2.3%
4	大阪大学	631	1.1%
5	東北大学	577	1.1%
6	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	569	3.3%
7	名古屋大学	539	1.3%
8	九州大学	494	1.2%
9	東京科学大学	452	1.1%
10	国立研究開発法人 国立がん研究センター	437	4.0%
11	北海道大学	401	1.0%
12	筑波大学	345	1.2%
13	慶應義塾大学	333	1.3%
14	広島大学	291	1.2%
15	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	274	1.1%
16	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	265	1.9%
<b>17</b>	<b>神戸大学</b>	<b>256</b>	<b>1.2%</b>
18	早稲田大学	214	1.3%
19	岡山大学	196	1.1%
20	横浜市立大学	188	1.8%

出典：クオリテイト・アナリティクス・ジャパン株式会社プレスリリース「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関2025年版」  
 ※当データは、同社が提供する学術文献データベース「Web of Science™」の収録レコードをもとにした引用動向の統計データベース「Essential Science Indicators™」に収録されている世界の研究機関情報から、同データベースの22研究分野において被引用数が上位1%の高被引用論文を集計し、ランキング化したものである。

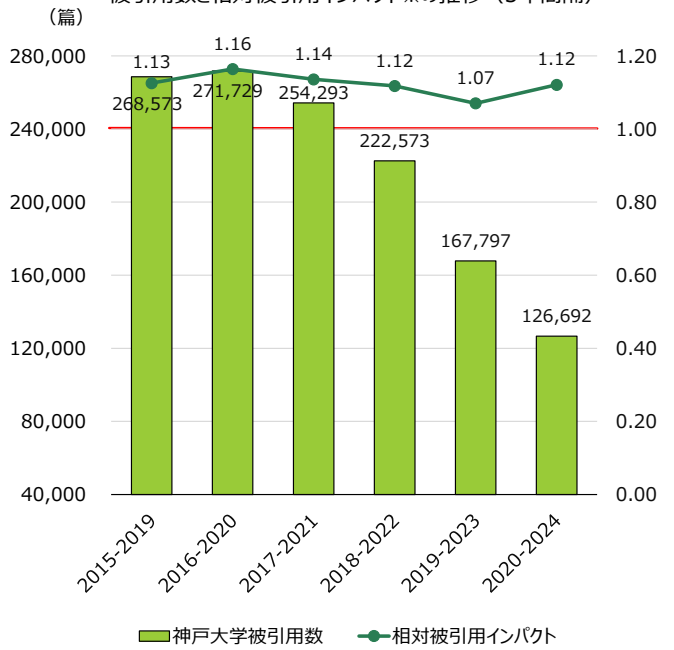
## 11-2 論文の量と質についての比較 — 推移 —

- Web of Science収録論文数（11-2-1）は高止まりしており、世界シェアは低下傾向にある。
- 被引用数は、過去の論文であるほど増えるため傾向を一概には読み取れないが、被引用数上位1%論文数（11-2-3）及び上位10%論文数（11-2-4）は、近年停滞している。

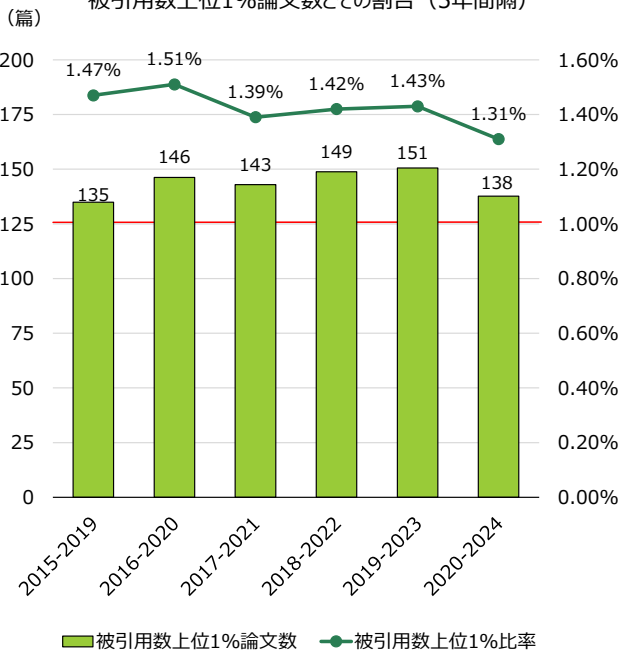
11-2-1 神戸大学のWoS収録論文数と世界シェアの推移（5年間隔）



11-2-2 神戸大学のWoS収録論文における被引用数と相対被引用インパクト※の推移（5年間隔）



11-2-3 神戸大学のWoS収録論文における被引用数上位1%論文数とその割合（5年間隔）



11-2-4 神戸大学のWoS収録論文における被引用数上位10%論文数とその割合（5年間隔）

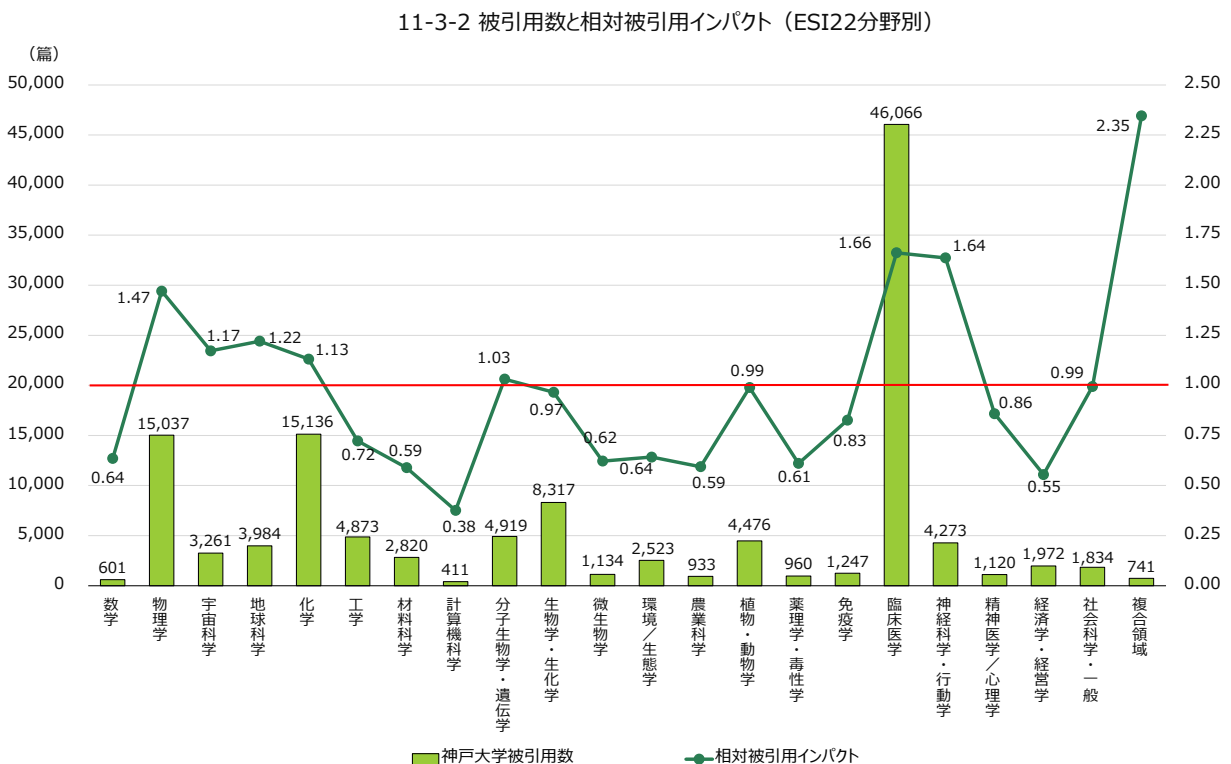
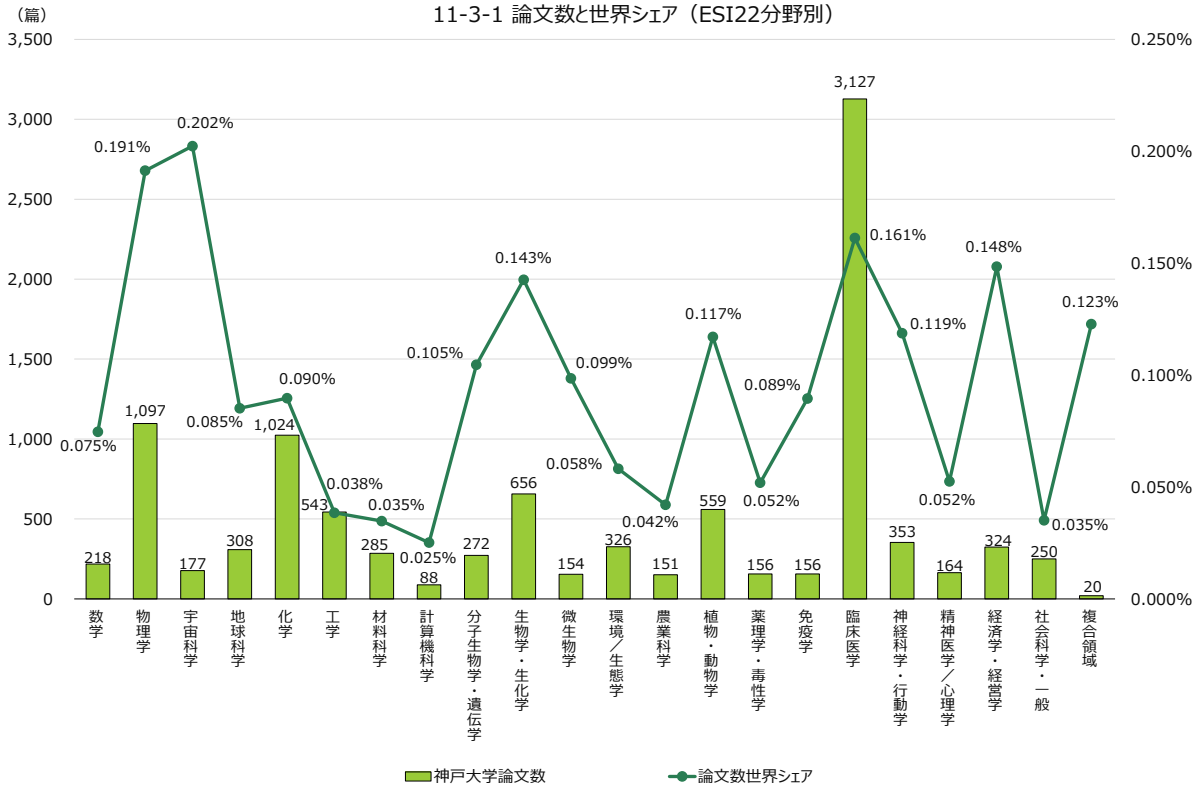


出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、本データは2025年8月5日現在の数値である。

※相対被引用インパクト：各分野における1論文あたりの被引用数を世界平均1.0とした場合の相対的な割合を示す数値。

# 11-3 論文の量と質についての比較 – ESI22分野別 –

- InCites™を用いて、本学の研究をESI22分野別に比較した結果、論文数は、臨床医学、物理学、化学などが多く、世界シェアは、宇宙科学、物理学、臨床医学などが高くなっている（11-3-1）。
- 相対被引用インパクト（11-3-2）が世界平均1.0を超える分野は、学術的影響力の高い研究成果が多く生み出されていることを示している。

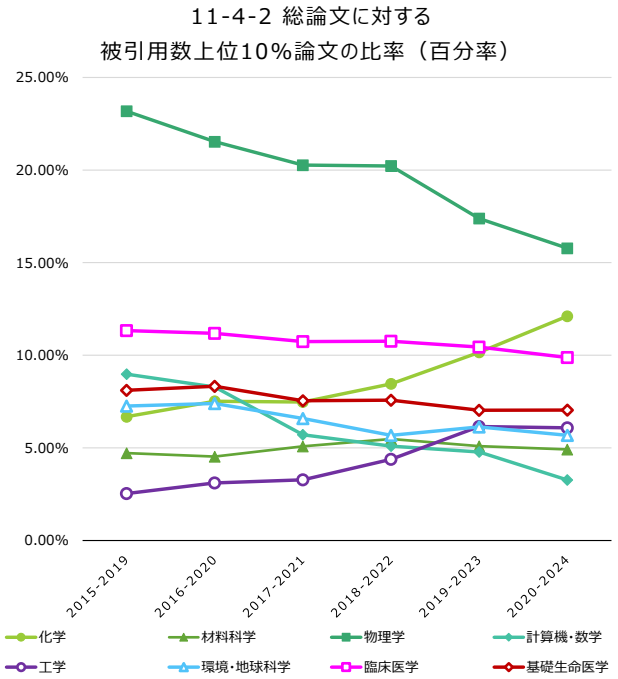
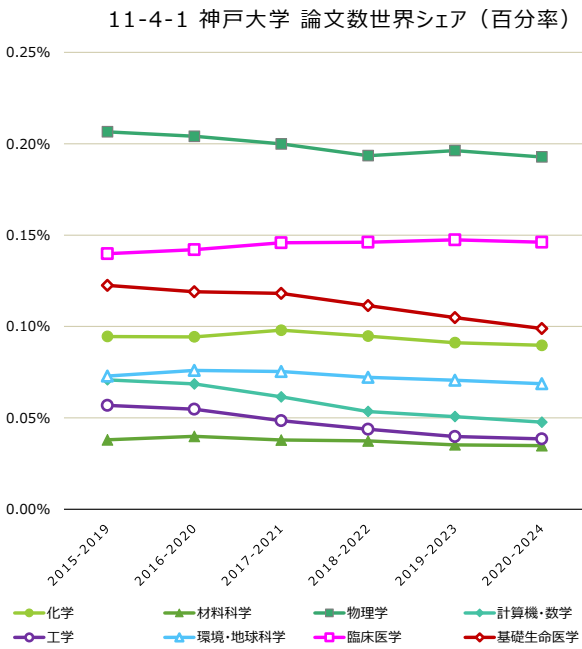


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2020～2024年の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、「Essential Science Indicators™」の22分野別でデータを分析した。なお、本データは2025年8月5日現在の数値である。

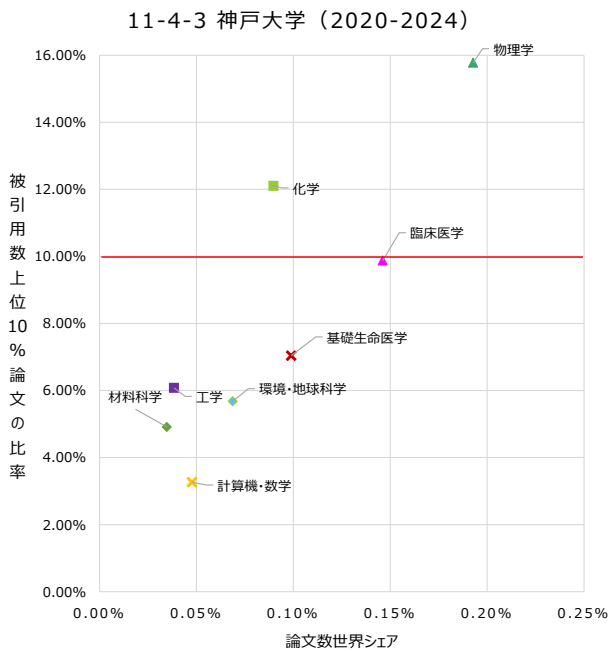
# 11-4 論文の量と質についての比較 – NS 8 分野別 –

○ 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が定義した研究ポートフォリオ8分野別に、本学の論文を分析した結果である。本学では量（11-4-1）、質（11-4-2）ともに物理学分野が突出しているが、低下傾向にある一方、質（11-4-2）の面で化学分野が上昇傾向にある。

## 推移（2015-2024年、5年間隔）



## マッピング

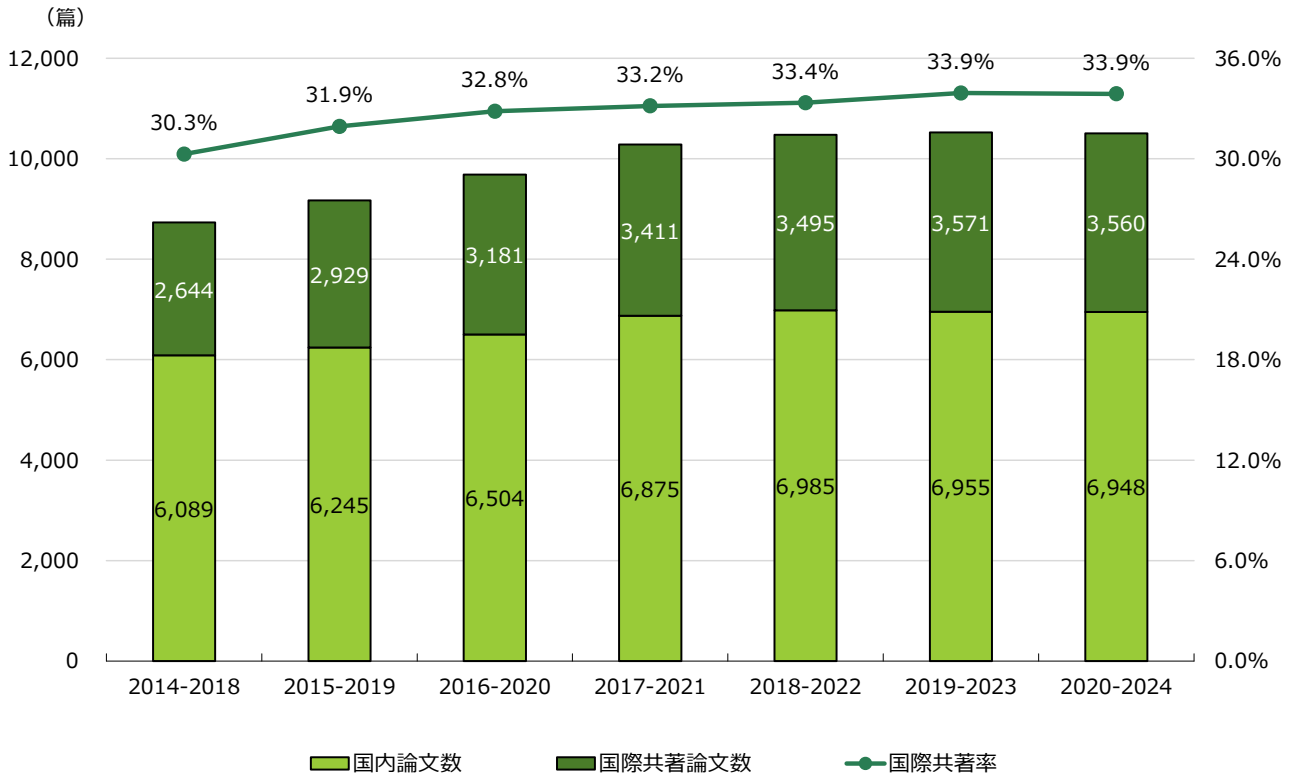


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、科学技術・学術政策研究所「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2015」において用いられていた「研究ポートフォリオ8分野（ESI22分野のうち19分野を再分類したもの）」別にデータを分析した。共著論文のカウント方法は整数カウント法である。また、本データは2025年8月5日現在の数値である。

## 11-5 論文の量と質についての比較 - 国際共著 -

○ 本学の国際共著論文数・国際共著率（11-5-1）は、近年、横ばい傾向にある。分野別（11-5-2）では、物理学や天文学が特に高く、その他幅広い分野で国際連携による研究が促進されている。

11-5-1 神戸大学の国際共著論文数の推移（5年毎の合計値）



11-5-2 神戸大学の国際共著論文の多い分野（2020-2024年の合計）

分野名 (Web of Science252分野)	国際共著論文数	国際共著率
Physics, Particles & Fields (物理学、粒子、界)	492	84.97%
Astronomy & Astrophysics (天文学、宇宙物理学)	260	70.08%
Engineering, Chemical (工学、化学)	192	60.76%
Biochemistry & Molecular Biology (生化学、分子生物学)	167	36.62%
Materials Science, Multidisciplinary (物質科学、総合)	165	36.91%
Chemistry, Multidisciplinary (化学、総合)	150	40.11%
Environmental Sciences (環境科学)	134	45.73%
Plant Sciences (植物学)	111	30.08%
Chemistry, Physical (化学、物理)	110	35.14%
Polymer Science (高分子科学)	109	49.55%
Physics, Multidisciplinary (物理学、総合)	107	58.15%
Physics, Applied (物理学、応用)	102	29.74%
Economics (経済学)	97	34.28%
Physics, Nuclear (物理学、核)	95	87.16%
Neurosciences (神経科学)	88	32.12%
Oncology (腫瘍学)	88	15.07%
Geosciences, Multidisciplinary (地球科学、総合)	85	51.52%

※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」より、2つのドキュメントタイプ (Article, Review) の論文についてデータを分析した。  
また、本データは2025年8月5日現在の数値である。

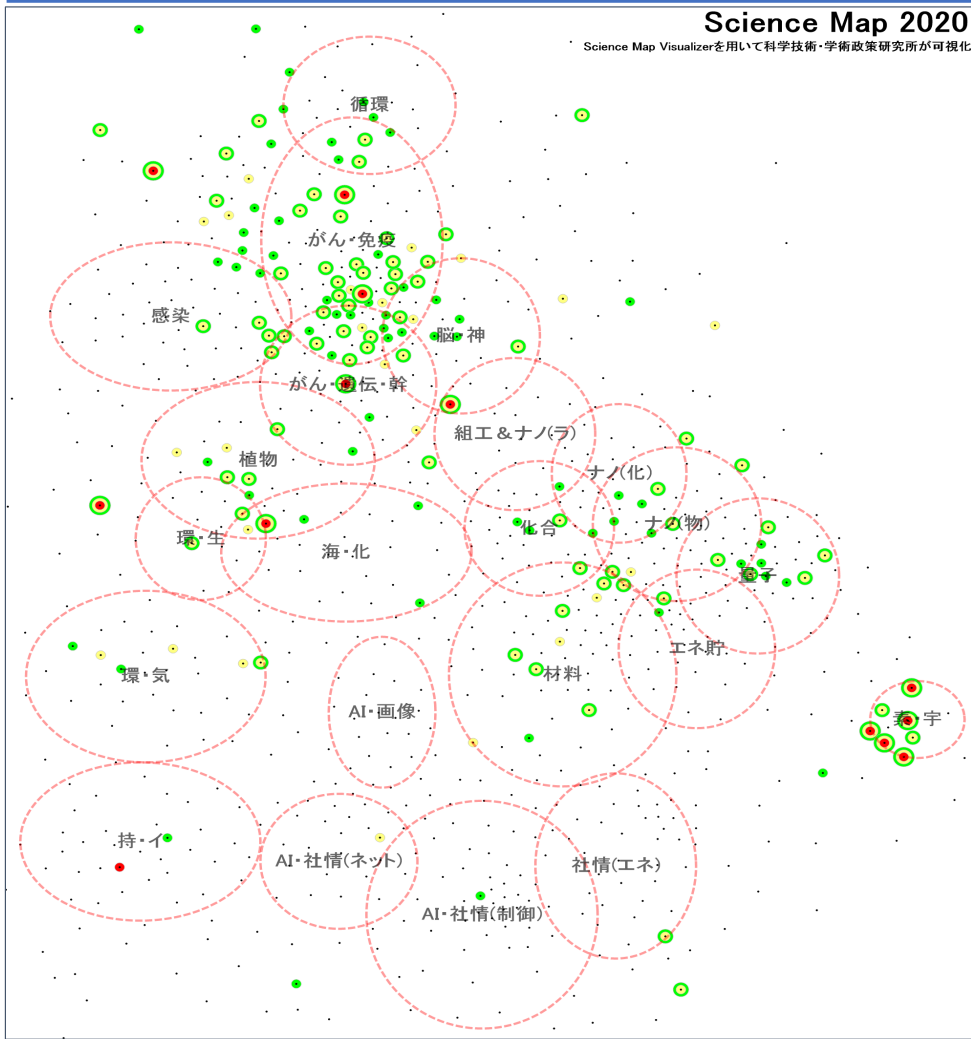
# 11-6 サイエンスマップから見る本学の強みである研究領域

- 本学では従来からの強みである「がんゲノム解析・遺伝子・幹細胞研究」、「植物科学研究」、「素粒子・宇宙論研究」の3分野に加え、「がん・免疫研究」、また「脳・神経研究」と「組織工学&ナノサイエンス研究(ライフサイエンス)」、「海洋汚染・化学物質研究」と「環境・生態系研究」(及び「植物科学研究」)といった学際分野でも世界をリードする研究を行っている(11-6-1)。
- コアペーパーは減少しているものの、サイティングペーパーは堅調に増加しており、特に「素粒子・宇宙論研究」周辺領域が国際的に注目されている(11-6-2)。

**サイエンスマップとは？**

論文データベース分析により国際的に注目を集めている研究領域を定量的に把握し、それらが、互いにどのような位置関係にあるのか、どのような発展を見せているのかを示した科学研究的地図。

11-6-1 神戸大学



- 研究領域のコアペーパー、サイティングペーパー(Top10%)、サイティングペーパーに入っている場合
- 研究領域のサイティングペーパー(Top10%)に1件入っている場合
- 研究領域のサイティングペーパー(Top10%)、サイティングペーパーに入っている場合 (2件以上)
- 参考していない場合

11-6-2

神戸大学	コアペーパー		サイティングペーパーのうち Top10%論文		サイティングペーパー	
	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数
サイエンスマップ2008	12	21	79	188	100	592
サイエンスマップ2010	26	33	100	207	118	642
サイエンスマップ2012	21	53	76	284	106	821
サイエンスマップ2014	16	41	79	278	114	926
サイエンスマップ2016	13	49	86	334	133	1,038
サイエンスマップ2018	15	73	100	479	131	1,214
サイエンスマップ2020	13	49	104	374	143	1,259

出典：文部科学省 科学技術・学術政策研究所, NISTEP REPORT No. 196 (2023年3月)、No. 187 (2020年11月)、No. 178 (2018年10月)、No. 169 (2016年9月)、No. 159 (2014年7月)

**研究領域群名**

- 【循環】循環器系疾患研究
- 【感染】感染症研究
- 【がん・免疫】がん・免疫研究
- 【がん・遺伝・幹】がんゲノム解析・遺伝子・幹細胞研究
- 【脳・神】脳・神経研究
- 【組工&ナノ(ラ)】組織工学&ナノサイエンス研究(ライフサイエンス)
- 【植物】植物科学研究
- 【ナノ(化)】ナノサイエンス研究(化学)
- 【ナノ(物)】ナノサイエンス研究(物理学)
- 【化合】化学合成研究
- 【環・生】環境・生態系研究
- 【環・気】環境・気候変動研究
- 【海・化】海洋汚染・化学物質研究
- 【量子】量子情報処理・物性研究
- 【エネ貯】エネルギー貯蔵研究
- 【材料】材料研究
- 【素・宇】素粒子・宇宙論研究
- 【AI・画像】AI関連研究(画像認識)
- 【AI・社情(ネット)】AI・社会情報インフラ関連研究(ネットワーク)
- 【AI・社情(制御)】AI・社会情報インフラ関連研究(自動制御)
- 【社情(エネ)】社会情報インフラ関連研究(エネルギー等)
- 【持・イ】持続可能な発展・イノベーション研究

**用語**

**研究領域**

2015～2020年の6年間に発行された論文の中で、各年、ESI22分野の被引用数Top1%論文に対し、「共引用」を用いたグループ化を行うことにより得られた919の領域。

**コアペーパー**

各研究領域を構成しているTop1%論文。

**サイティングペーパー**

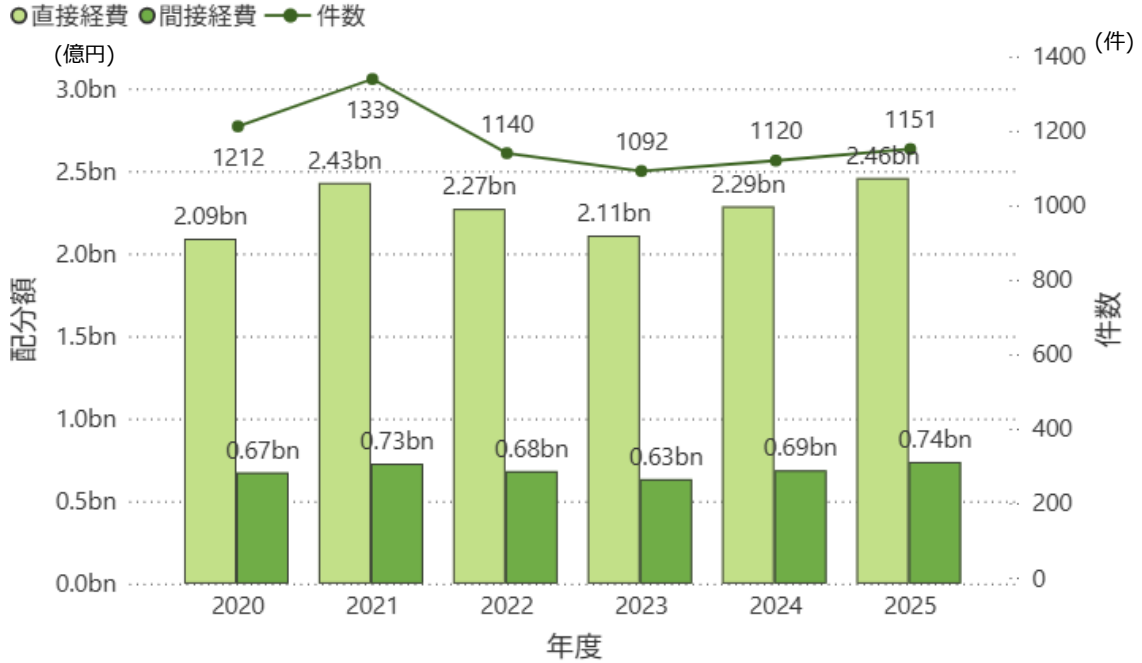
コアペーパーを引用している論文。

# 12. 科学研究費

## 12-1 科学研究費助成事業採択（交付内定）状況

○ 科学研究費助成事業全国の傾向と同様の傾向にあったが、2023年度以降神戸大学は直接経費、間接経費、件数の全てにおいて微増している。

12-1-1 神戸大学



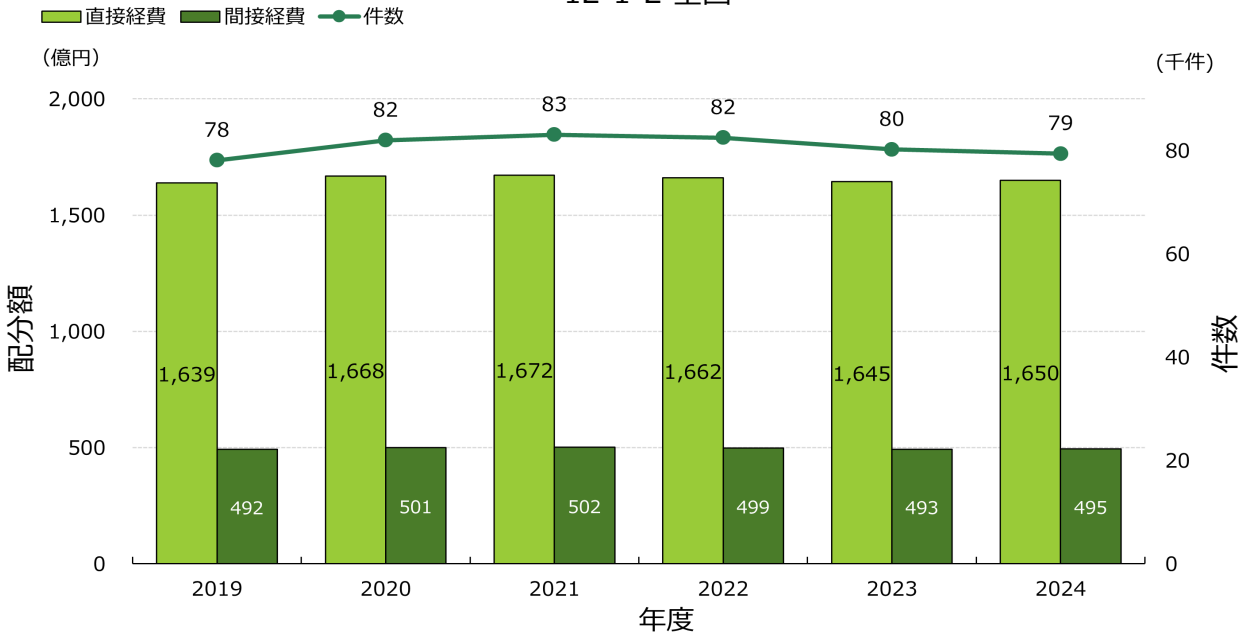
※科学研究費のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(A)」（計画研究、公募研究）、「学術変革領域研究(B)」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的萌芽研究」（※2017年以降は「挑戦的研究」（特設審査領域を除く））、「若手研究」、「研究活動スタート支援」、「国際共同研究加速基金」（国際先導研究、海外連携研究、国際共同研究強化(B)）について集計した。

詳細はこちら

URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/12-1.12-5\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/12-1.12-5_2025/)



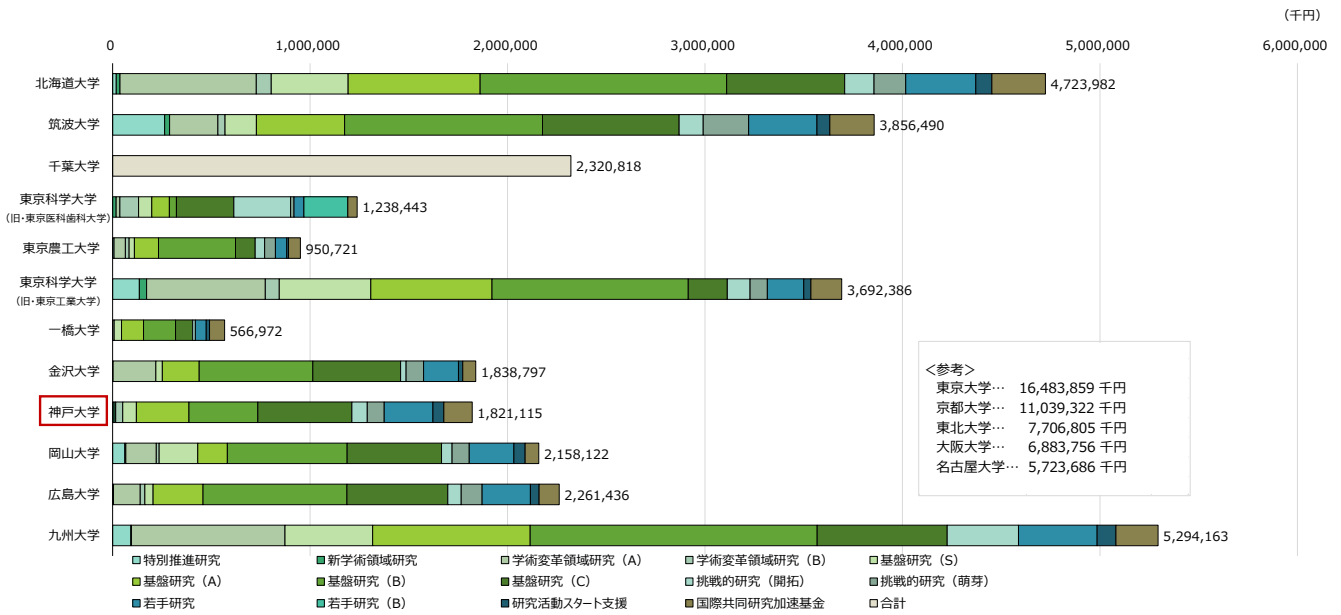
12-1-2 全国



※科学研究費のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(A)」（計画研究、公募研究）、「学術変革領域研究(B)」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的萌芽研究」（※2017年以降は「挑戦的研究」（特設審査領域を除く））、「若手研究」、「研究活動スタート支援」について集計した。

出典：文部科学省「令和6年度科学研究費助成事業の配分について」

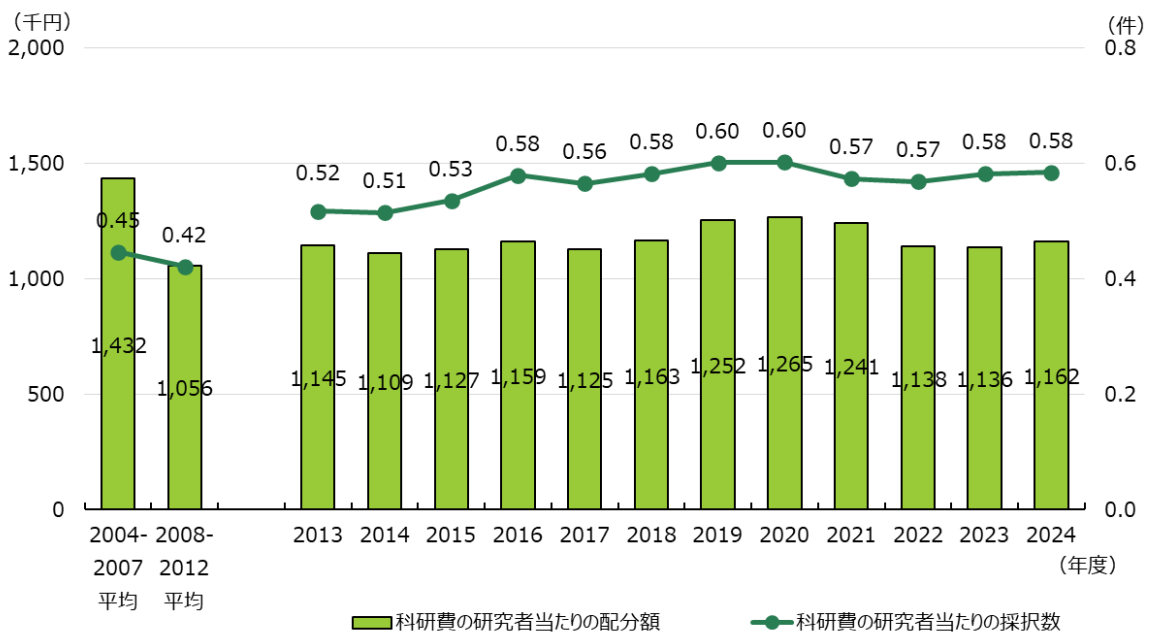
## 12-2 2024年度科学研究費助成事業獲得状況



※本学を含む17大学を比較対象とし、各大学財務諸表（2024年度版）より科学研究費の明細が示されているものを集計した。  
 ※配分額は直接経費相当額のみを示しており、研究分担者分も含む。  
 ※「新学術領域研究」は「学術変革領域研究（学術研究支援基盤形成）」を含む。  
 ※神戸大学の「国際共同研究加速基金」については、国際先導研究、海外連携研究、国際共同研究強化(B)を集計した。

## 12-3 科研費の研究者当たりの配分額・採択数 — 推移 —

○ 科研費の研究者当たりの配分額及び採択数は2009年に底を打ち、近年は緩やかな増加傾向にあったが、2021年度以降は減少傾向となっている。

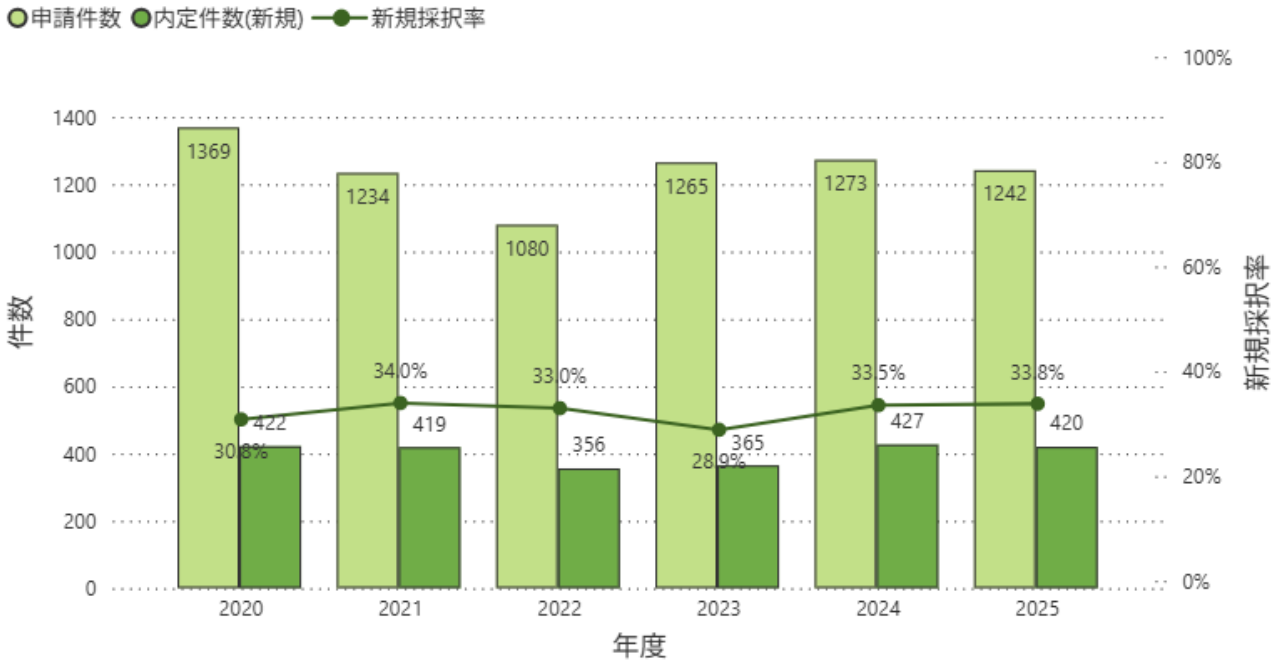


※科研費の研究者当たりの配分額 = 採択額（直接経費） / 科研費応募資格者  
 ※科研費の研究者当たりの採択数 = 科研費採択件数（新規 + 継続） / 科研費応募資格者  
 ※このデータは第4期中期目標・中期計画におけるKPIの算出方法と一部異なる。

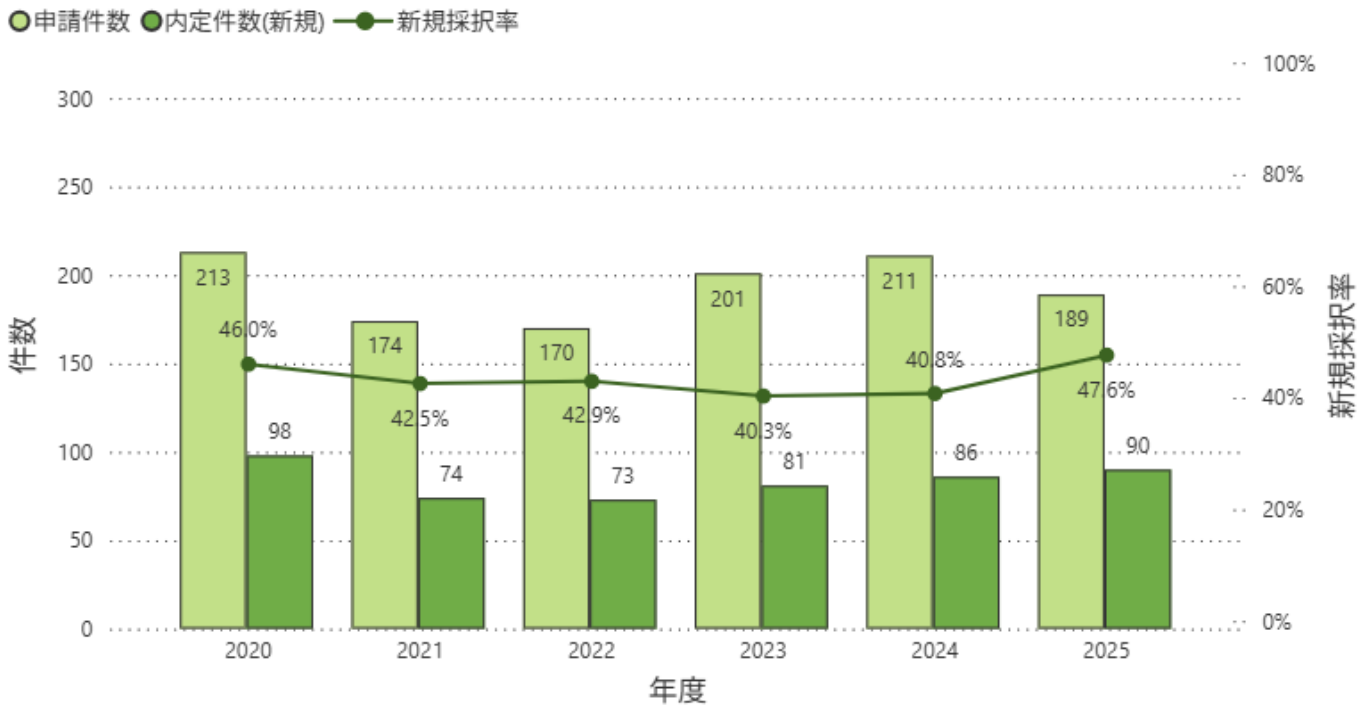
## 12-4 科研費種目の応募件数と新規採択件数 — 推移 —

○ 科研費の若手種目の内定件数（新規）は、2022年度以降増加している。

12-4-1 全種目



12-4-2 若手種目



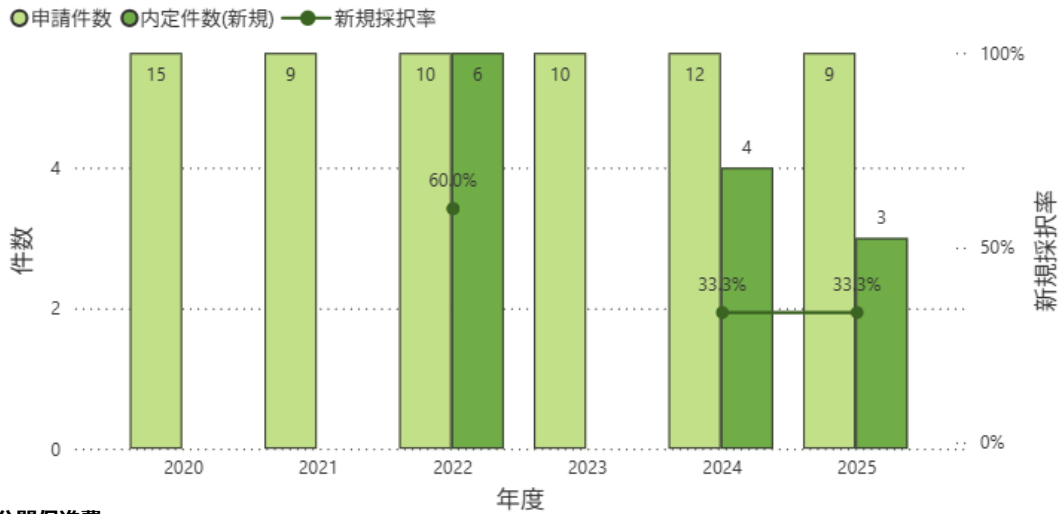
詳細はこちら

URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/12-4\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/12-4_2025/)



## 12-5 研究成果公開促進費 — 推移 —

○ 申請件数、内定件数(新規)は2024年度以降微減している。



### ○研究成果公開促進費

科学研究費助成金の種目で、研究成果の公开发表、重要な学術研究の成果の発信及び、データベースの作成・公開について助成することによって、我が国の学術の振興と普及に資するとともに、学術の国際交流に寄与することを目的とするものであり、優れた研究成果の公的流通の促進を図るもの。

詳細はこちら

URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/12-1.12-5\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/12-1.12-5_2025/)



## 12-6 2021-2025年度科学研究費助成事業新規採択状況

○ 過去5年間の科学研究費（新規採択分）において、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしている中区分は14件ある。特に「経済学、経営学およびその関連分野」については第4位と、高い順位となっている。

大区分	(研究分野)	中区分数	本学が中区分別採択数上位10機関にランクインしている中区分名	順位	新規採択件数(件)	配分額(直接経費)(千円)
A	(人文学・社会科学)	10	思想、芸術およびその関連分野	10	42.0	64,800
			法学およびその関連分野	9	43.0	76,200
			政治学およびその関連分野	5	35.3	59,950
			経済学、経営学およびその関連分野	4	131.0	223,700
C	(工学系科学)	8	土木工学およびその関連分野	10	25.0	150,000
			建築学およびその関連分野	7	27.0	72,100
			航空宇宙学、船舶海洋工学およびその関連分野	8	18.0	76,100
D		7	化学工学およびその関連分野	6	36.0	159,600
F	(農学・環境学)	5	社会経済農学、農業工学およびその関連分野	5	28.0	115,500
H		3	生体の構造と機能およびその関連分野	9	21.0	44,700
I	(医歯薬学)	11	ブレインサイエンスおよびその関連分野	10	20.0	86,400
			内科学一般およびその関連分野	10	89.0	154,400
			生体情報内科学およびその関連分野	5	63.0	119,100
			恒常性維持器官の外科学およびその関連分野	7	83.0	126,700

出典：文部科学省「令和7年度科学研究費助成事業の配分について」

※2021年度から2025年度科学研究費（新規採択分）のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究及び公募研究）、学術変革領域研究(A)（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(B)」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的研究」（特設審査領域を除く）、「若手研究」及び「国際共同研究加速基金（国際先導研究及び海外連携研究）」について分類したもののうち、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしているものを集計した。

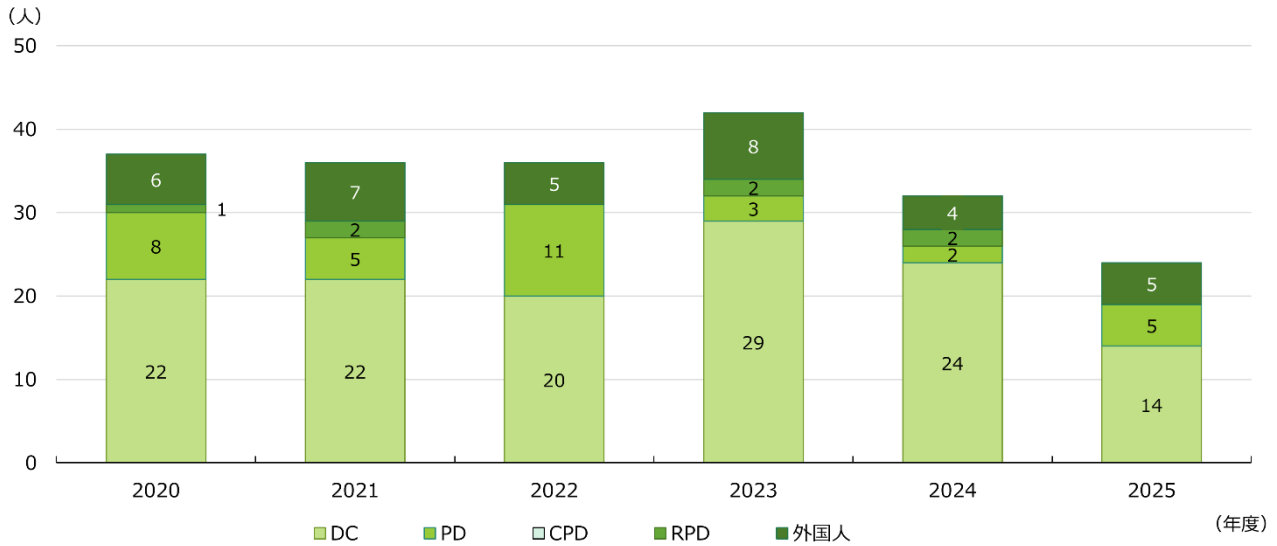
（対応する中区分が複数ある小区分については、件数、配分額を按分して集計）

※中区分は、科研費審査区分である。

# 13. 日本学術振興会特別研究員

## 13-1 全学の採択状況 — 新規 —

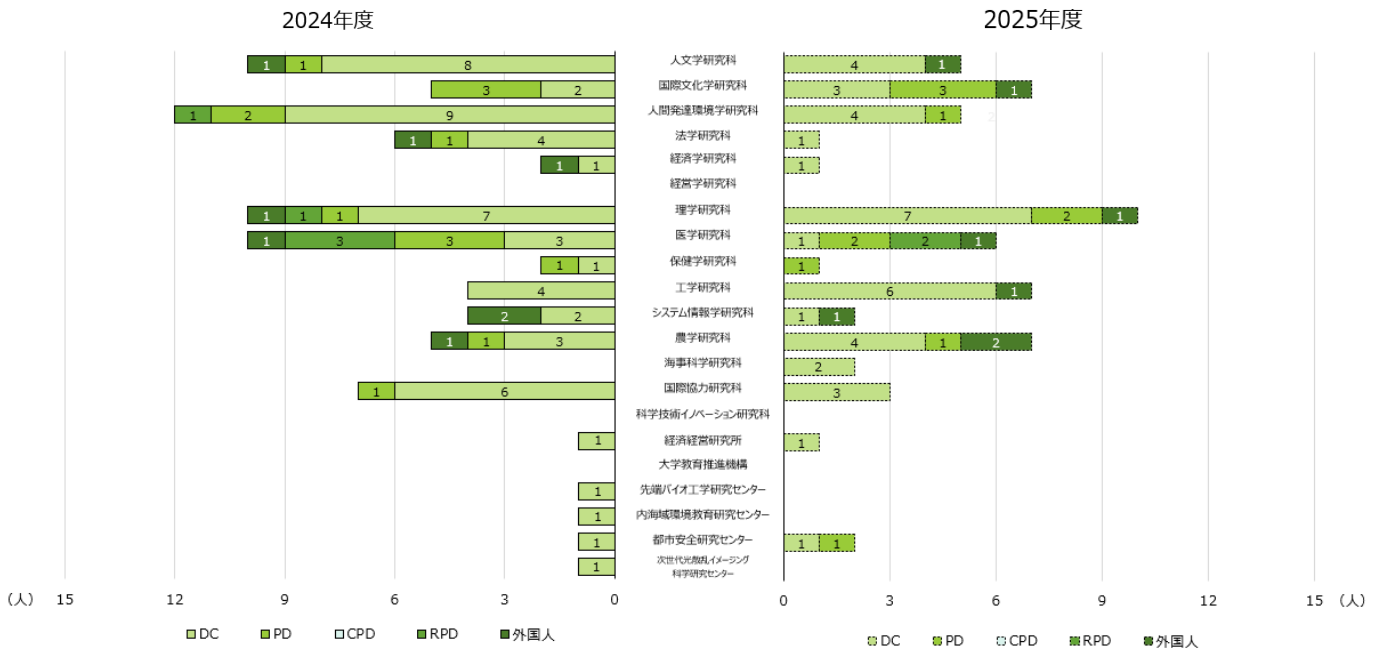
○ 日本学術振興会特別研究員の新規受入れ状況について、年度によりばらつきはあるが、減少傾向にある。



※2025年度データは2025年5月1日時点。

## 13-2 研究科別受入れ状況 — 在籍者 —

○ 文系・理系関係なく全学的に受け入れており、2025年度は理学研究科での受入れが最も多くなった。



※2024年度データは2024年度内に在籍した者を集計。2025年度データは2025年5月1日時点で在籍している者を集計。

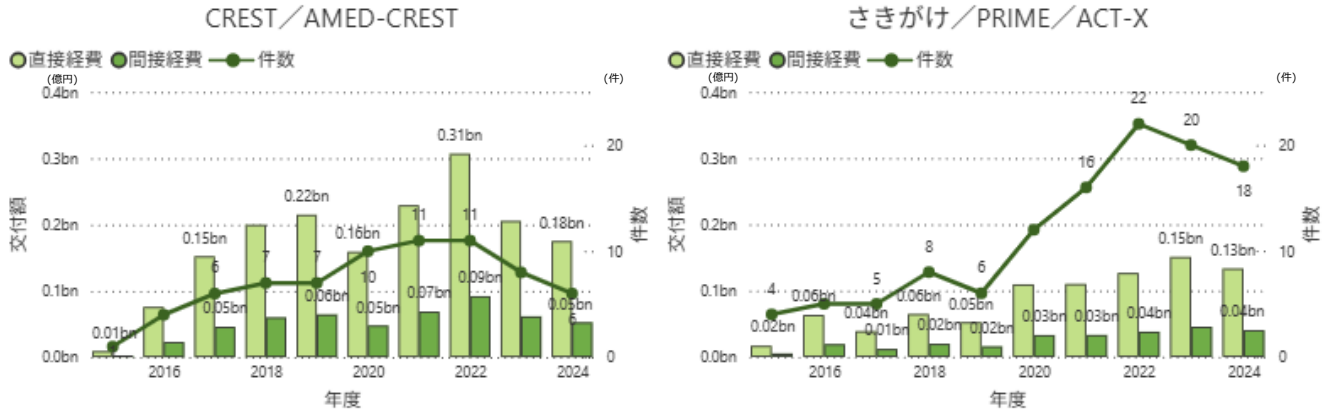
- DC : 博士課程に在籍中の日本学術振興会特別研究員
- PD : 博士の学位を取得後5年未満の日本学術振興会特別研究員
- CPD : 日本国内及び海外の大学その他の研究期間で研究に専念する日本学術振興会特別研究員
- RPD : 博士の学位取得者で、過去5年以内に出産又は子の養育のため研究活動を一定期間中断していた日本学術振興会特別研究員
- 外国人 : 博士の学位を取得前後の日本学術振興会外国人特別研究員

# 14. 研究プログラムの採択状況

## 14-1 戦略的創造研究推進事業/革新的先端研究開発支援事業

○ 近年、採択件数は減少傾向にあり、これに伴い交付額も減少している。

### 14-1-1 CREST/AMED-CREST、さがしげ/PRIME/ACT-X 交付額と採択数



※グラフの「交付額」及び「採択数」には、分担研究分も含む。  
 ※2014年度以前のCRESTには、AMED設立に伴い、2015年度以降AMED-CRESTへ承継された課題を含む。

### 14-1-2 CREST/AMED-CREST、さがしげ/PRIME/ACT-X 2024年度継続中のプログラム一覧 (2025年7月1日現在)

事業区分	プログラム名・取組名	部局名
CREST	データ駆動型の次世代微生物進化育種	先端バイオ工学研究センター
CREST	幾何学的古典場の理論と無限次元データ科学の連携による作用素学習	理学研究科
CREST	幾何学的離散力学を核とする構造保存的システムモデリング・シミュレーション基盤	理学研究科
CREST	腸-脳機能コネクティクスによる腸内感覚の機能解明と操作	医学研究科
AMED-CREST	高齢者難治性骨髄疾患を担う神経ネットワークの探索と機能解析に基づく臨床応用のための技術基盤の創出	医学部附属病院
AMED-CREST	老化研究支援・推進に関する研究開発	医学研究科
さがしげ	マルチグループ構造化感染症モデルの数学的解析と実用化	システム情報学研究科
さがしげ	緊急時における公益事業を中心とした企業間連携と住民間協働体制の構築	経営学研究科
さがしげ	顕微操作技術による初期胚の不安定なゲノムの分配システムの解明	農学研究科
さがしげ	剛直成分含有ポリマーの完全バイオ循環空間デザイン	科学技術イノベーション研究科
さがしげ	障害者のための省学習データ音声・音響認識技術の開発	都市安全研究センター
さがしげ	情報分子が拓く植物による菌根菌への寄生能力獲得と制御	理学研究科
さがしげ	量子環境ノイズ情報を組み入れる高忠実度量子制御技術の開拓	科学技術イノベーション研究科
PRIME	ストレスレジリエンスの個体差を生み出す分子・神経回路基盤の解明	医学研究科
PRIME	核内膜プロテオスタシスの制御	医学研究科
PRIME	個体老化における視床下部タニサイトのネクチン-1の機能と作用機構	医学研究科
PRIME	社会ストレスに対する生体ネットワーク統合情報研究	医学研究科
PRIME	若年期体細胞モザイクの発生要因・拡大原理の解明とその制御による新規治療基盤の創出	医学研究科
ACT-X	グラニュール MEMS 振動発電	工学研究科
ACT-X	個人特性を考慮したナースコール発生予測モデルの作成	保健学研究科
ACT-X	攻撃耐性を備えたセキュアな基盤ソフトウェアの研究	工学研究科
ACT-X	聴覚的注意のモデリング：動的因果モデルと深層学習の連携	システム情報学研究科
ACT-X	疲労時五感の定式化と疲労時能力をAIで補正する五感拡張装置の開発	工学研究科
ACT-X	網羅的タンパク電位決定手法の開発による光合成環境適応機構の解明	先端バイオ工学研究センター

○ 「CREST」

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、国が定める戦略目標の達成に向けて、課題型基礎研究を推進し、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズを創出するためのチーム型研究プログラム。

○ 「AMED-CREST」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの創出に向けて国際的に高い水準の成果を目指すユニット型研究プログラム。

詳細はこちら

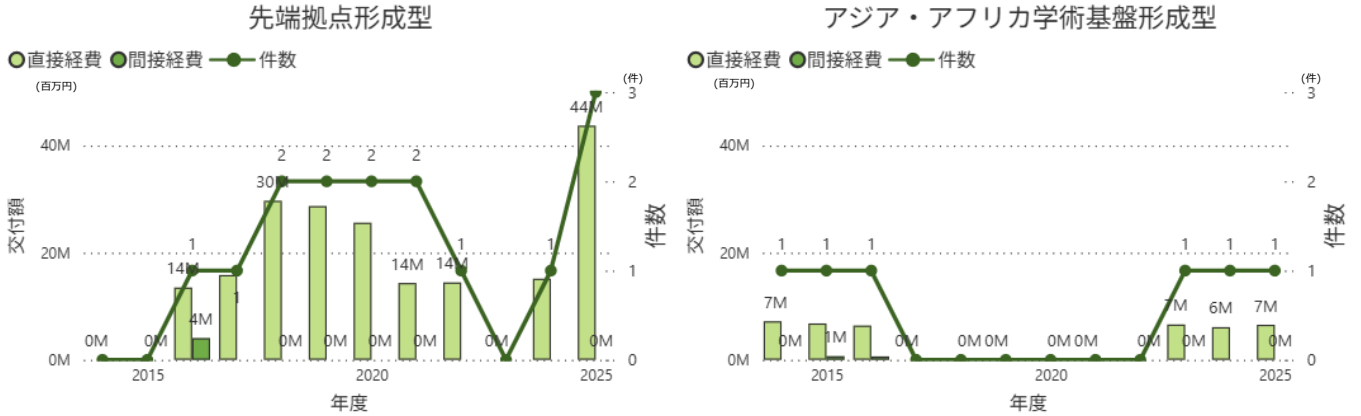
URL : [https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/14-1\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/14-1_2025/)



## 14-2 研究拠点形成事業

○ 2025年度（2025年7月1日現在）、先端拠点形成型 3 件、アジア・アフリカ学術基盤形成型 1 件、計 4 件のプログラムが採択されている。

### 14-2-1 先端拠点形成型、アジア・アフリカ学術基盤形成型 交付額と採択数



### 14-2-2 先端拠点形成型、アジア・アフリカ学術基盤形成型 2024年度継続中のプログラム一覧（2025年7月1日現在）

事業区分	プログラム・取組名	部局名
先端拠点形成型	「雰囲気学」国際研究拠点形成	人文学研究科
先端拠点形成型	生体膜の分子機構を理解し活用するための国際研究拠点形成	バイオシグナル総合研究センター
先端拠点形成型	地球益実現に向けた社理連携による南極ガバナンス国際研究拠点の構築	国際協力研究科
アジア・アフリカ学術基盤形成型	テラヘルツ分子科学アジア研究拠点	分子フォトサイエンス研究センター

#### ○ 研究拠点形成事業

我が国において先端的かつ国際的に重要と認められる研究課題、または地域における諸課題解決に資する研究課題について、我が国と世界各国の研究教育拠点機関をつなぐ持続的な協力関係を確立することにより、当該分野において世界的水準または地域における中核的な研究交流拠点の構築とともに、次世代の中核を担う若手研究者の育成を目的とした、日本学術振興会（JSPS）による事業。

詳細はこちら

URL : [https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/14-2\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/14-2_2025/)



# 15. 研究業績に関する主な受賞

## 15-1 神戸大学出身者による受賞状況

2025年7月現在

賞名	受賞年	氏名	所属/出身
エリザベス女王工学賞	2022	佐川 真人	神戸大学工学部卒 神戸大学大学院工学研究科修了
日本学士院賞	2018	清野 進	神戸大学医学部卒
武田医学賞	2014	高井 義美	神戸大学医学部卒／神戸大学大学院医学研究科（医学博士）
日本国際賞	2012	佐川 真人	神戸大学工学部卒 神戸大学大学院工学研究科修了
ノーベル賞（生理学・医学賞）	2012	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
ミレニアム技術賞	2012	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
文化勲章	2012	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
ウルフ賞（医学部門）	2011	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
紫綬褒章	2011	清野 進	神戸大学医学部卒
恩賜賞・日本学士院賞	2010	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
京都賞（先端技術部門）	2010	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
日本学士院会員	2010	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
文化勲章	2010	脇田 晴子	神戸大学文学部卒
アルバート・ラスカー医学研究賞（基礎医学研究賞）	2009	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
ガードナー国際賞	2009	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
武田医学賞	2008	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
朝日賞	2007	山中 伸弥	神戸大学医学部卒
紫綬褒章	2003	高井 義美	神戸大学医学部卒／神戸大学大学院医学研究科（医学博士）
ウルフ賞（化学部門）	2001	野依 良治	兵庫師範学校男子部附属小学校卒 （神戸大学附属小学校の前身）
ノーベル賞（化学賞）	2001	野依 良治	兵庫師範学校男子部附属小学校卒 （神戸大学附属小学校の前身）
文化勲章	2000	野依 良治	兵庫師範学校男子部附属小学校卒 （神戸大学附属小学校の前身）
日本国際賞	1998	江崎 玲於奈	兵庫県師範学校附属小学校高等科 （神戸大学附属中等教育学校の前身）
朝日賞	1997	河合 隼雄	神戸工業専門学校卒 （神戸大学工学部の前身）
朝日賞	1992	野依 良治	兵庫師範学校男子部附属小学校卒 （神戸大学附属小学校の前身）
朝日賞	1990	佐川 真人	神戸大学工学部卒 神戸大学大学院工学研究科修了
紫綬褒章	1989	岩井 誠三	兵庫県立医科大学医学部卒 （神戸大学医学部の前身）
文化勲章	1974	江崎 玲於奈	兵庫県師範学校附属小学校高等科 （神戸大学附属中等教育学校の前身）
ノーベル賞（物理学賞）	1973	江崎 玲於奈	兵庫県師範学校附属小学校高等科 （神戸大学附属中等教育学校の前身）

詳細はこちら

URL : [https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/15\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/15_2025/)

## 15-2 所属教員（若手除く）による受賞状況

2025年7月現在

賞名	受賞年	氏名	所属/出身
紫綬褒章	2019	金井 壽宏	経営学研究科
日本学士院会員	2018	根岸 哲	社会システムイノベーションセンター
日本学士院賞	2018	清野 進	医学研究科
日本学士院会員	2018	大塚 啓二郎	社会システムイノベーションセンター
日本学士院賞	2017	戸田 達史	医学研究科
武田医学賞	2014	高井 義美	医学研究科
文化功労者	2013	中井 久夫	医学部
日本学士院会員	2012	西村 和雄	社会科学系教育研究府
文化功労者	2011	五百旗頭 真	法学研究科
紫綬褒章	2011	清野 進	医学研究科
女性化学賞	2011	相馬 芳枝	自然科学研究科
朝日賞	2008	戸田 達史	医学研究科
紫綬褒章	2007	岡村 均	医学系研究科
紫綬褒章	2007	春日 雅人	医学系研究科
武田医学賞	2007	春日 雅人	医学系研究科
紫綬褒章	2000	天野 明弘	経営学部
日本学士院会員	1999	三宅 一郎	法学部
日本学士院会員	1995	河本 一郎	法学部
紫綬褒章	1994	三嶋 豊	医学部
ウルフ賞	1994	西塚 泰美	医学部
京都賞（基礎科学部門）	1992	西塚 泰美	医学部
日本学士院会員	1991	西塚 泰美	医学部
紫綬褒章	1989	岩井 誠三	医学部
アルバート・ラスカー医学研究賞（基礎医学研究賞）	1989	西塚 泰美	医学部
ガードナー国際賞	1988	西塚 泰美	医学部
文化勲章	1988	西塚 泰美	医学部
文化功労者	1987	西塚 泰美	医学部
朝日賞	1986	西塚 泰美	医学部
日本学士院賞	1986	西塚 泰美	医学部
武田医学賞	1982	西塚 泰美	医学部

詳細はこちら

URL : [https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/15\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/15_2025/)

## 15-3 所属教員（若手）による受賞状況

2025年7月現在

賞名	受賞年	氏名	所属/出身
科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞	2023	杉本 泰	工学研究科
科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞	2022	近藤 侑貴	理学研究科
科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞	2018	日出 颯り	工学研究科
科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞	2018	末次 健司	理学研究科
科学技術・学術政策研究所 科学技術への顕著な貢献（ナイスステップな研究者）	2017	西田 敬二	科学技術イノベーション研究科
日本学術振興会賞	2017	野中 哲士	人間発達環境学研究科
科学技術・学術政策研究所 科学技術への顕著な貢献（ナイスステップな研究者）	2016	源 利文	人間発達環境学研究科
科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞	2016	倉重 佑輝	システム情報学研究科
科学技術・学術政策研究所 科学技術への顕著な貢献（ナイスステップな研究者）	2016	末次 健司	理学研究科
科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞	2015	佐藤 隆太	工学研究科

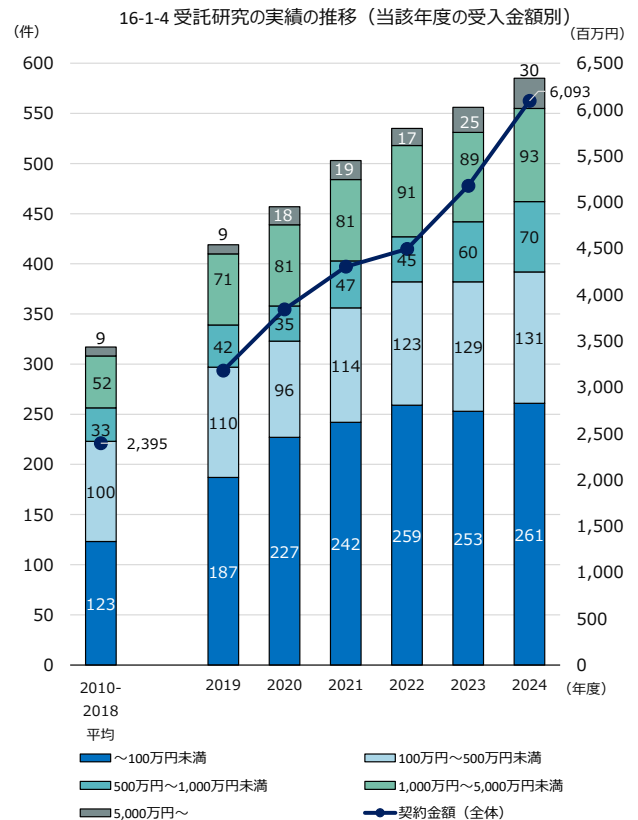
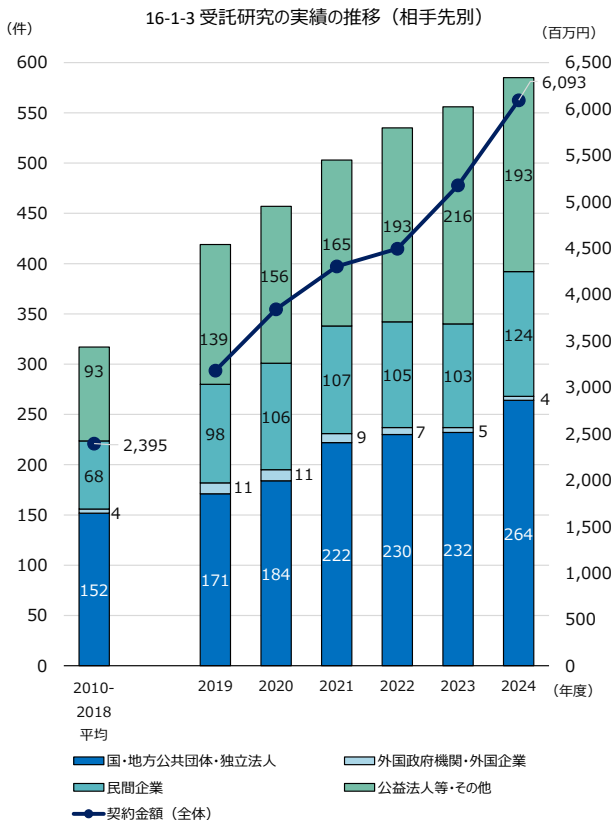
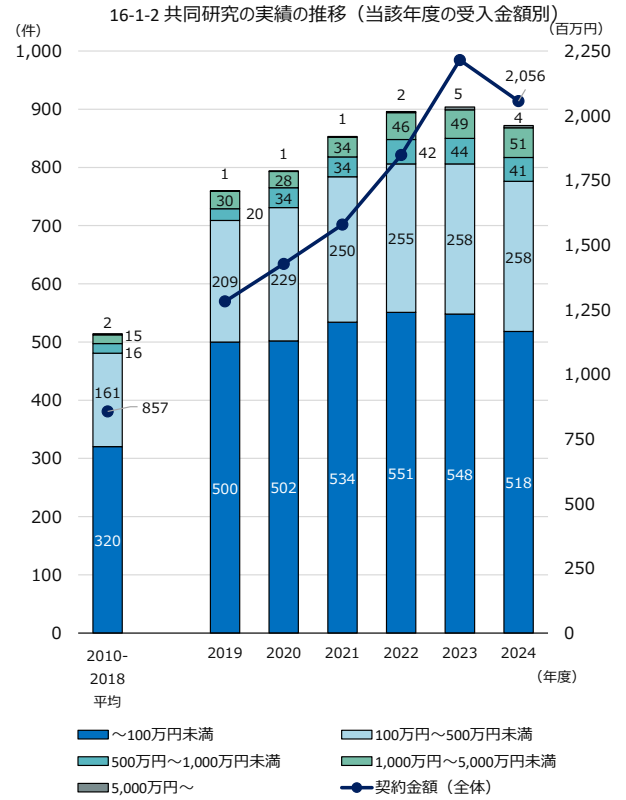
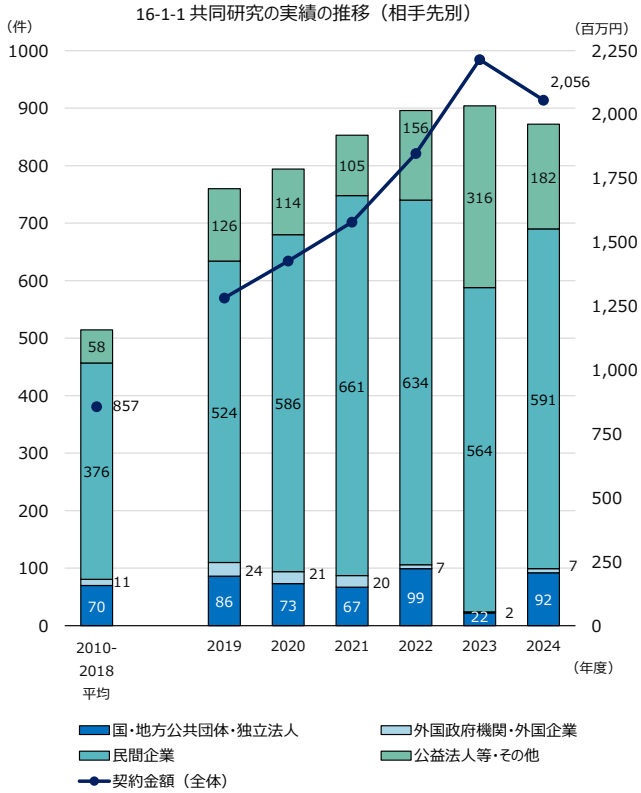
詳細はこちら

URL : [https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/15\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/15_2025/)

# 16. 産学官連携状況

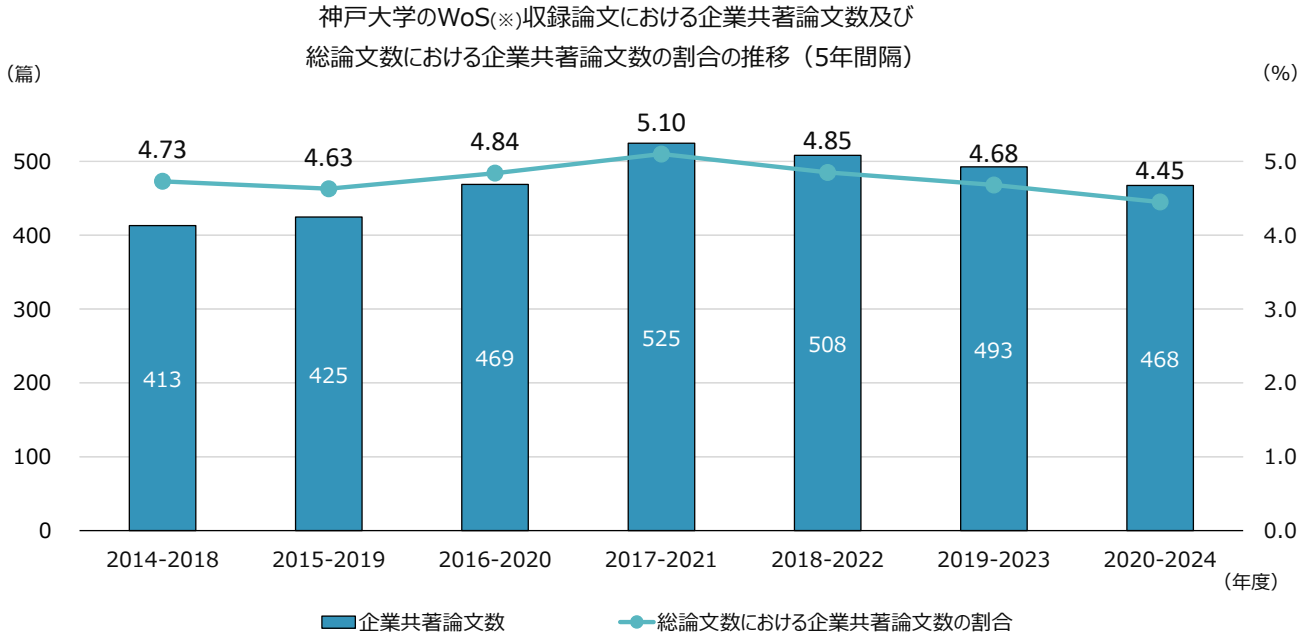
## 16-1 共同研究・受託研究の状況

- 共同研究の件数、受入金額は近年増加してきたが、2024年度は減少した（16-1-1、16-1-2）。共同研究の件数については、2024年度は「国・地方公共団体・独立法人」が前年度と比べ大きく増加した（16-1-1）。
- 受託研究の件数、受入金額は増加傾向で推移している（16-1-3、16-1-4）。



## 16-2 企業共著論文数の推移

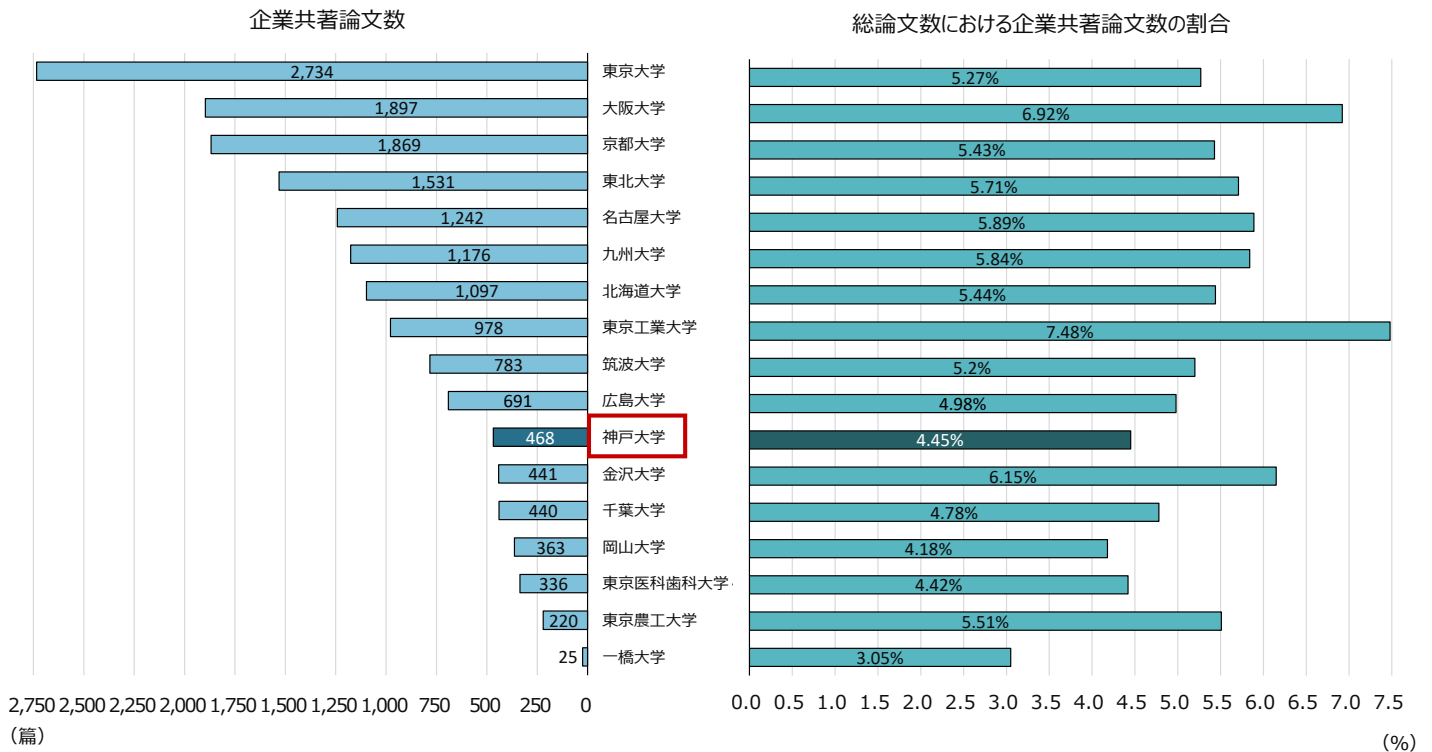
○ 企業共著論文数は増加してきたが、近年減少傾向にある。



出典：「InCites™」によりWoS(※)収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、データは2025年8月5日現在の数値である。  
 ※「WoS」＝「Web of Science™」（クラリベイト・アナリティクス社が提供する学術文献データベース）の略。

## 16-3 企業共著論文の状況 – 17大学間の比較 –

○ 17大学のうち、神戸大学の企業共著論文数は11位であった。また、総論文数における企業共著論文数の割合は14位であった。

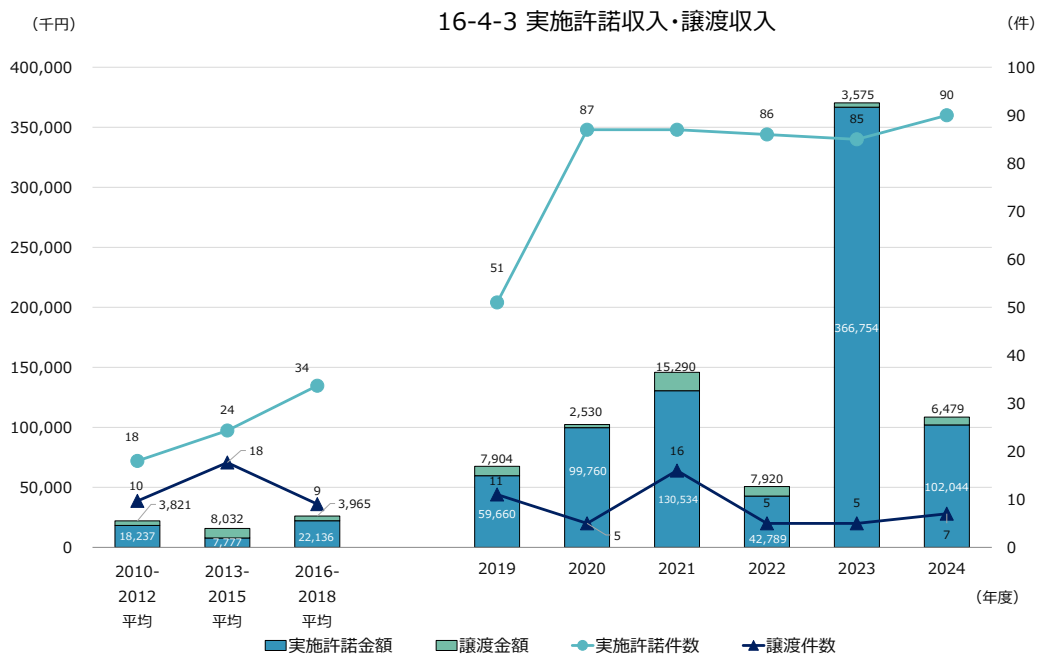
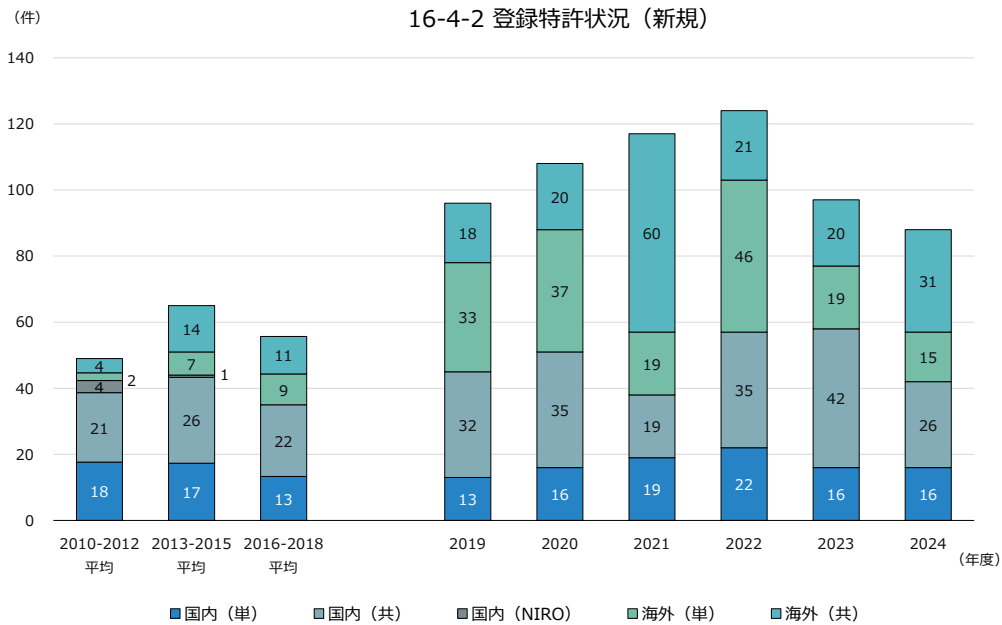
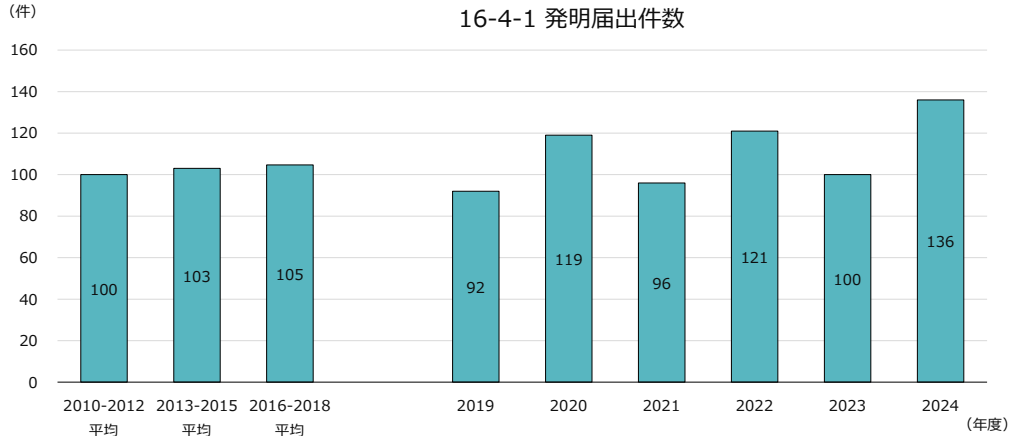


出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、各大学における2020-2024の5年間の累計値及び割合を分析した。なお、データは2025年8月5日現在の数値である。

\* 出典元のデータが統合前の各大学（東京医科歯科大学・東京工業大学）別となっているため、本学を含む17大学で比較しています。

## 16-4 神戸大学の知的財産の状況

- 発明届出件数（16-4-1）は、過去15年間、100件程度/年で安定的に推移している。
- 登録特許（16-4-2）は、2019年度以降は増加傾向にあったが、2023年度以降減少している。
- 実施許諾収入及び譲渡収入（16-4-3）について、実施許諾件数は、2020年度に大きく増加して以降、同水準を維持している。実施許諾金額は、2023年度に大幅に増額したが2024年度は平年並みとなった。



## 16-5 主な大学発ベンチャー企業

- 本学では累計140社のベンチャー企業を設立している。
- 「株式会社科学技術アントレプレナーシップ（2016年設立）」、「株式会社神戸大学イノベーション（KUI、2020年設立、本学100%出資）」、「株式会社神戸大学キャピタル（KUC、2021年設立）」は、大学発ベンチャー企業の立ち上げのための出資や創業期における支援を行っており、本学における研究成果の事業化及びベンチャー企業の設立は加速している。

2025年5月1日現在

法人名	設立年	事業の概要
株式会社LogIQ	2025	研究成果活用事業及び関連事業（海事関係者、港湾関係者、物流関係者の経営戦略に係るコンサルティング業務及び経営戦略・政策支援ツールの開発業務）
一般社団法人むつ小川原海洋気象観測センター	2024	国立大学法人神戸大学との連携のもと、青森県にある「むつ小川原洋上風況観測試験サイト」の管理・運営を行う。
一般社団法人SSTI	2024	社会科学及び科学技術の振興と社会実装を目的とする事業、児童及び青少年の健全な育成を目的とする活動
株式会社bLink Technologies	2024	小規模サイクルシェア用のプラットフォームの提供、顧客データ分析サービス提供
株式会社Neuspective	2024	手術や医療現場から見える、医療従事者の業務負担低減を目的とするAIプロダクト。
株式会社UPE Japan	2024	電源装置・パワーエレクトロニクス機器の研究開発、設計・試作、製造、販売、技術コンサルティングなど
光オンデマンドケミカル株式会社	2024	光オン・デマンド有機合成法による有用化学品（ホスゲン化生成物）の小規模多品種での化学品生産
Arborea合同会社	2023	森林、林業、木材加工に関するコンサルティング、イベント運営
Integrated Health Science株式会社	2023	健康増進・疾病予防といった健康ソリューションの健康関数①計測評価サービス事業、健康経営検診サービス事業、健康経営支援サービス事業、健康関数②計測バイオマーカー開発事業、上記に関するコンサルティング及び研究開発・マーケティング支援サービス事業
センツフェス株式会社	2023	香り成分ならびにそれらを含む香料を用いた商品の企画・製造・販売
一般社団法人健康スポーツ総合ラボ	2023	運動教室やイベントの企画運営、地域スポーツの普及推進
株式会社Redge	2023	医療機器等の開発製造販売
株式会社TCNプライム	2023	医療用カテーテルなどの開発業務
株式会社エイチ・ツー・オーKUカーボンニュートラルデザイン	2023	空調システムの導入コンサルティング
株式会社セカフィー	2023	電子機器のハードウェアセキュリティ性能確保に向けた、脅威分析および対策支援
株式会社バイオコード	2023	バイオインフォマティクスベンチャー（DNA合成など）
DsD合同会社	2022	サービス業（飲食業・商業施設など）の業務改善・効率化 農林水産業・製造業・まちづくりにおける意思決定支援
バンクセラビー株式会社	2022	すい臓がんの治療薬・早期診断薬開発
ミラミ株式会社	2022	経営コンサルティング業務 ※筑波大学から経産省への報告で神戸大学が関連すると整理
株式会社Function	2022	人流ビッグデータの効率的な活用を目的としたフレームワークの開発。
株式会社PITTAN	2022	微量生体成分分析技術の開発、及び超小型かつ超高速分析装置を用いたヘルスケアサービスの展開
株式会社TearExo	2022	体外診断用医薬品並びに体外診断用医療機器の研究・開発・製造・販売、それにおける学術的・技術的サービス及び情報提供、輸出入
株式会社テラアクソン	2022	人工知能などを活用した高度 ICT/ICT システムの企画・コンサルティング・開発設計保守などの管理
株式会社ビヨ・ファーマ	2022	医師、薬剤師という業に関わる専門家達自身が薬局(Pharmacy)や病院などの医療機関の枠を越えて(Beyond)、人やペットにアプローチすることで健康長寿をサポートする
Bean to bar chocolate NAGANO	2021	菓子製造販売
Kogo株式会社	2021	人工知能及び深層学習に関してのトレーニング及び戦略相談
ユニテック株式会社	2021	環境設備の開発、コンサルティング
株式会社Mediest	2021	AIを用いた医療ソフトウェアの開発およびデータ解析受託業務
株式会社イムノロック	2021	薬物経皮吸収技術と二酸化炭素経皮投与療法の開発、ディレコート（炭酸(ガス)ペースト）の製造販売
株式会社エムアンドパートナーズ	2021	情報処理機器・装置・システムの製造及び販売
株式会社日本消費者深層心理研究センター	2021	マーケティング・リサーチ会社。消費者の深層心理を心理学的な手法を駆使して探り出し、それを企業のマーケティング戦略に役立てる。
CO2TECH株式会社	2020	炭酸ガス経皮吸収療法に用いる製剤の研究開発
レラテック株式会社	2020	風況観測・解析・予測評価、コンサルティング
株式会社Acorn	2020	建築設計事務所の経営
株式会社Digeon	2020	AI開発、システム開発
株式会社バックス・バイオイノベーション	2020	バイオテクノロジー及びその関連技術を移転・活用して、微生物等による有用物質生産に関する受託サービスや、自社製品開発等を行う統合型バイオファウンドリー企業

※2020年以降を掲載。

詳細はこちら

URL: [https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/16-5\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/16-5_2025/)

# 17. 国内の大学・自治体・企業等との連携協定

○ 国内の数多くの大学・自治体・企業等と連携し、教育・研究・医療等の分野において、社会発展に寄与している。

## 17-1 近畿地方の連携先との大学間連携協定等

2025年5月1日現在

協定先区分	協定名称	締結年度	終了年度
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と株式会社みなと銀行との包括連携協定	2025	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と三田市との包括的な連携協力に関する協定	2024	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と姫路市との包括連携に関する協定	2024	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と東洋紡株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2022	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と株式会社ダイセルとの包括的な産学連携推進に関する協定	2022	
地方自治体(等)	兵庫県立工業技術センターとの連携に関する協定	2022	
地方自治体(等)・民間企業(等)	国立大学法人神戸大学、兵庫県、株式会社神戸新聞社、公益財団法人地球環境戦略研究機関、株式会社三井住友銀行による脱炭素社会の推進に関する包括連携協定	2022	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と株式会社ラジオ関西との連携に関する協定	2022	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学とエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社との包括連携協定	2022	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と株式会社サンテレビジョンとの連携に関する協定	2021	
地方自治体(等)・民間企業(等)	国立大学法人神戸大学、株式会社三井住友銀行、神戸市によるひょうご・神戸地域におけるスタートアップ・エコシステム形成促進に関する産官学連携協定	2021	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と株式会社ノーリツとの包括的な産学連携推進に関する協定	2021	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学とエア・ウォーター株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2021	
大学(等)	国立大学法人神戸大学と公立大学法人兵庫県立大学との連携に関する協定	2017	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と小野薬品工業株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2017	
国(等)	国立大学法人神戸大学と国土交通省近畿地方整備局との連携・協力に関する協定	2015	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と神戸市教育委員会との連携に関する協定	2015	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と阪神高速道路株式会社との連携に関する協定	2015	
大学(等)・地方自治体(等)	サイバー空間の脅威に対処するための連携及び協力に関する協定（兵庫県警本部、兵庫県立大学）	2015	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と株式会社神戸新聞社との連携に関する協定	2014	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学とバンドー化学株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2014	
国立研究開発法人	独立行政法人（現国立研究開発法人）防災科学技術研究所兵庫県耐震工学研究センターと国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	2014	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と神戸市との連携に関する協定	2013	
地方自治体(等)	三木市と国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	2013	
大学(等)	京都大学、大阪大学及び神戸大学における相互の協力に関する協定	2013	
地方自治体(等)	神戸大学と兵庫県教育委員会との連携に関する協定	2013	
国立研究開発法人	国立大学法人神戸大学と独立行政法人（現国立研究開発法人）理化学研究所計算科学研究機構との計算科学、計算機科学及びこれらに関連する分野における連携・協力に関する協定	2012	
地方自治体(等)	教員養成のための連携協力に関する協定（大阪府豊能地区（豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町）教育委員会）	2012	
大学(等)	国立大学法人神戸大学と国立大学法人京都大学との計算科学分野における連携協力に関する協定	2010	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と兵庫県との連携に関する協定	2010	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と篠山市（現・丹波篠山市）との連携協力に関する協定	2010	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と株式会社カネカとの包括的な産学連携推進に関する協定	2010	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と加西市との連携協力に関する協定	2009	
民間企業(等)	連携協力協定（本州四国連絡高速道路株式会社）	2009	
民間企業(等)	神戸大学と池田銀行（現・池田泉州銀行）の連携協力に関する協定	2009	
大学(等)	国立大学法人神戸大学と学校法人神戸薬科大学との連携に関する協定	2007	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と川崎重工業株式会社との産学連携の推進に関する協定	2006	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と神戸市灘区との連携協力に関する協定	2004	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と小野市との連携協力に関する協定	2004	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と兵庫県朝来郡生野町（現・朝来市）との連携協力に関する協定	2004	

## 17-2 近畿地方以外の連携先との大学間連携協定等

2025年5月1日現在

協定先区分	協定名称	締結年度	終了年度
大学(等)	一橋大学、神戸大学及び大阪公立大学における教育交流に関する協定	2022	
民間企業(等)	株式会社クレディセゾンと国立大学法人神戸大学による連携協定	2018	
国(等)	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構と国立大学法人神戸大学との間における包括的連携・協力関係の推進に関する協力協定	2017	
大学(等)	国立大学法人神戸大学と国立大学法人徳島大学との連携に関する協定	2017	
大学(等)	国立大学法人神戸大学、国立大学法人東北大学及び大学共同利用機関法人人間文化研究機構との歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業における連携・協力に関する基本協定書	2017	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学とアステラス製薬株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	2017	
地方自治体(等)	国立大学法人神戸大学と中津市との連携に関する協定	2016	
国(等)	国立大学法人神戸大学と独立行政法人国際協力機構との連携協定	2015	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と一般社団法人日本プロジェクト産業協議会との連携協力に関する協定	2014	
民間企業(等)	国立大学法人神戸大学と一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携協力に関する協定	2014	2022
国立研究開発法人	国立大学法人神戸大学と独立行政法人（現国立研究開発法人）海洋研究開発機構との包括連携協定	2012	
大学(等)	国立大学法人神戸大学と国立大学法人東北大学との災害科学分野における連携協力に関する協定	2011	
大学(等)	一橋大学、神戸大学及び大阪市立大学における教育交流に関する協定	2009	2021

※このページにて記されている連携協定は神戸大学が締結した「大学間連携協定等」であり、部局において締結された連携協定については記載していない。  
 ※独立行政法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターは2018年4月1日「国立研究開発法人」となった。

詳細はこちら

URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/17\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/17_2025/)



## 18. 連携大学院等実施状況

- 各研究科において、多様な分野で官・民・病等の組織との連携講座、寄附講座、共同研究講座を設けており、2025年7月1日時点で49講座となっている。
- 寄附講座、共同研究講座等も増加しており、それぞれ37、21講座・研究部門となっている。

## 18-1 連携講座一覧（2025年7月1日現在の履歴一覧）

部局	講座区分	講座・研究部門	連携先	開始年度	終了年度 (予定)
海事科学研究科	連携講座	量子科学技術海洋応用講座	(国研)量子科学技術研究開発機構	2025	
経営学研究科	連携講座	人的資本経営講座	(株)インソース	2024	
医学研究科	連携講座	内科系講座/放射線医学分野/先進循環器画像診断学部門	(国研)国立循環器病研究センター	2024	
経営学研究科	連携講座	M&A戦略設計講座	(株)日本M&Aセンターホールディングス	2023	
保健学研究科	連携講座	パブリックヘルス講座/予防医療学分野	(国研)医薬基盤・健康・栄養研究所	2023	
経営学研究科	連携講座	ファミリービジネス講座	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	2023	
医学研究科	連携講座	微生物感染症学講座/感染制御学分野/先端感染症制御学部門	(公財)神戸医療産業都市推進機構	2023	
医学研究科	連携講座	外科系講座/眼科学分野/難治性網膜視神経変性治療学部門	(地独)神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院	2022	
医学研究科	連携講座	内科系講座/精神医学分野/精神疾患高度医療探索学部門	兵庫県立ひょうごこころの医療センター	2020	
工学研究科	連携講座	環境エネルギー材料学講座	(国研)日本原子力研究開発機構	2018	
システム情報学研究科	連携講座	知能統合講座	(国研)理化学研究所 革新知能統合研究センター	2018	
理学研究科	連携講座	応用感生学講座	気象庁気象研究所	2016	
医学研究科	連携講座	外科学講座/心臓血管外科学分野/心臓血管外科先端医療学	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	2015	
理学研究科	連携講座	生物制御科学講座	住友化学(株) 健康・農業関連事業研究所	2015	
医学研究科	連携講座	内科学講座/循環器内科学分野/循環器高度医療探索学部門	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	2015	
保健学研究科	連携講座	リハビリテーション科学講座/健康情報科学分野	(国研)情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター	2013	
医学研究科	連携講座	外科系講座/小児高度専門外科学分野	兵庫県立こども病院	2013	
システム情報学研究科	連携講座	大規模計算科学講座	(国研)理化学研究所 計算科学研究センター	2013	
医学研究科	連携講座	内科系講座/小児先端医療学分野	兵庫県立こども病院	2013	
理学研究科	連携講座	惑星地球変動史講座	(国研)海洋研究開発機構、大学共同利用機関 法人自然科学研究機構 国立天文台	2013	
工学研究科	連携講座	ケミカル・バイオセンシング講座	(国研)産業技術総合研究所	2011	
医学研究科	連携講座	地域社会医学・健康科学講座/規制科学分野	(独)医薬品医療機器総合機構	2011	
理学研究科	連携講座	理論生物化学講座	(国研)理化学研究所 計算科学研究機構	2011	
システム情報学研究科	連携講座	応用計算科学講座	(国研)海洋研究開発機構	2010	
工学研究科	連携講座	製剤設計生産工学講座	アステラス製薬(株)	2010	
工学研究科	連携講座	開智型ものづくり講座	川崎重工(株) 技術開発本部	2009	
工学研究科	連携講座	生物機能工学講座	(公財)サントリー生物有機化学研究所	2009	
医学研究科	連携講座	内科系講座/システム病態生物学分野	(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療センター	2008	
医学研究科	連携講座	微生物感染症学講座/感染症フィールド学分野	兵庫県立健康科学研究所	2008	
システム情報学研究科	連携講座	ソーシャルロボティクス講座	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007	
システム情報学研究科	連携講座	応用システム講座	三菱電機(株)	2007	
工学研究科	連携講座	化学エネルギー変換プロセス学講座	(国研)産業技術総合研究所 関西センター	2007	
海事科学研究科	連携講座	海洋環境計測科学講座	(国研)海洋研究開発機構	2007	
医学研究科	連携講座	外科系講座/整形外科学分野/リハビリテーション運動機能学部門	兵庫県立総合リハビリテーションセンター、兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター	2007	
人間発達環境学研究科	連携講座	環境先端科学講座	(国研)国立環境研究所、(国研)産業技術総合研究所	2007	
工学研究科	連携講座	機能適応モデル講座	(国研)情報通信研究機構	2007	
工学研究科	連携講座	局所場反応・物性解析学講座	(国研)産業技術総合研究所 関西センター	2007	
理学研究科	連携講座	構造解析化学講座	(公財)高輝度光科学研究センター	2007	
農学研究科	連携講座	食料生産フィールド科学講座	兵庫県立農林水産技術総合センター	2007	
国際文化学研究科	連携講座	先端コミュニケーション論講座	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007	
工学研究科	連携講座	地域減災計画講座	総務省消防庁 消防大学校 消防研究センター	2007	
理学研究科	連携講座	発生生物学講座	(国研)理化学研究所 生命機能科学研究センター	2007	
医学研究科	連携講座	微生物感染症学講座/感染・免疫学分野/ウイルス感染部門、免疫制御部門、遺伝子医薬部門	(国研)医薬基盤・健康・栄養研究所	2007	
人文学研究科	連携講座	文化資源論講座	(公財)大和文庫、(独)国立文化財機構奈良国立博物館	2007	
医学研究科	連携講座	生理学・細胞生物学講座/発生・再生医学分野	(国研)理化学研究所 生命機能科学研究センター	2002	
医学研究科	連携講座	内科系講座/放射線腫瘍学分野/粒子線医学部門	兵庫県立粒子線医療センター	2001	
医学研究科	連携講座	生化学・分子生物学講座/超微構造生物学分野	(公財)高輝度光科学研究センター	2000	
経営学研究科	連携講座	経営戦略システム設計講座	アクセンチュア(株)	1999	
経営学研究科	連携講座	マネジメント・システム設計講座	(株)野村総合研究所	1998	

## 18-2 寄附講座一覧（2025年7月1日現在の履歴一覧）

部局	講座区分	講座・研究部門	連携先	開始年度	終了年度 (予定)
医学研究科	寄附講座	地域社会医学・健康科学講座/橋渡し科学分野/地域臨床研究支援・支援専門員養成部門	姫路市	2025	2029
法学研究科	寄附講座	未延財団グローバル比較法講座	(公財)未延財団	2024	2028
科学技術イノベーション研究科	寄附講座	生体制御学講座	(医)桜希会	2023	2025
農学研究科	寄附講座	アクアフォトミクス研究分野	ドクターリセラ(株)	2021	2026
医学研究科	寄附講座	外科系講座/形成外科学分野/足病医学部門	Cell Exosome Therapeutics(株)	2021	2024
医学研究科	寄附講座	外科系講座/整形外科学分野/関節温存・再建外科学部門	スミス・アンド・ニューフェー(株)、ジンマー・バイオメット(同)、オリンパステルモバイオマテリアル(株)、Arthrex Japan(同)	2021	2025
医学研究科	寄附講座	地域社会医学・健康科学講座/AI・デジタルヘルス科学分野	シミックホールディングス(株)、BIPROGY(株)、旭化成ファーマ(株)、NTTブレシジョンメディスン(株)、三井住友銀行	2019	2030
バイオシグナル総合研究センター	寄附講座	シグナル分子応答研究部門/革新的疾患バイオマーカー開発(住友電工グループ社会貢献基金)研究分野	(公財)住友電工グループ社会貢献基金	2018	2022
医学研究科	寄附講座	外科系講座/災害・救急医学分野/先進救命救急医学部門	兵庫県病院事業管理者	2018	2025
医学研究科	寄附講座	外科系講座/整形外科学分野/脊椎外科学部門	(株)サージカル・スパイン、(株)SMI	2018	2025
医学研究科	寄附講座	地域社会医学・健康科学講座/健康創造推進学分野	神戸市	2018	2023
医学研究科	寄附講座	外科学講座/国際がん医療・研究推進学分野/①先端医療テクノロジー開発・応用学部門②先進的がん医療・研究推進学部門	シスメックス(株)	2017	2022
医学研究科	寄附講座	外科系講座/腎泌尿器科学分野/泌尿器先端医療開発学部門	(株)メディカロイド	2016	2025
医学研究科	寄附講座	外科学講座/低侵襲外科学分野	兵庫県、養父市	2015	2025
医学研究科	寄附講座	地域社会医学・健康科学講座/医学教育学分野/地域医療支援学部門	兵庫県	2015	2029
医学研究科	寄附講座	内科系講座/小児科学分野/小児神経学・発達行動小児科学部門	神戸市	2015	2027
医学研究科	寄附講座	病理学講座/病理診断学分野/病理ネットワーク学部門	北播磨総合医療センター	2014	2022
医学研究科	寄附講座	地域社会医学・健康科学講座/地域連携病理学分野	兵庫県病院事業管理者	2013	2027
工学研究科	寄附講座	サステナブルケミストリー(日本触媒)寄附講座	(株)日本触媒	2012	2017
医学研究科	寄附講座	外科系講座/リハビリテーション機能回復学分野	神戸河町	2012	2026
医学研究科	寄附講座	外科系講座/腎泌尿器科学分野/泌尿器先端医療開発学部門	(株)アダチ	2012	2016
医学研究科	寄附講座	生化学・分子生物学講座/シグナル統合学分野/病態シグナル学部門	エーザイ(株)	2012	2017
医学研究科	寄附講座	生理学・細胞生物学講座/細胞生理学分野/分子代謝医学部門	MSD(株)、ノボノルディスクファーマ(株)、興和創薬(株)、大正富山医薬品(株)	2012	2021
医学研究科	寄附講座	内科系講座/立証検査医学分野(シスメックス)	シスメックス(株)	2012	2027
工学研究科	寄附講座	持続的住環境創成(積水ハウス)寄附講座	積水ハウス(株)	2010	2016
医学研究科	寄附講座	外科系講座/形成外科学分野/美容医科学部門	(医)康雄会西病院	2009	2011
医学研究科	寄附講座	地域社会医学・健康科学講座/リハビリテーション医学分野	兵庫県	2009	2014
医学研究科	寄附講座	内科系講座/小児科学分野/こども急性疾患学部門	神戸市	2009	2027
医学研究科	寄附講座	内科学講座/リウマチ学分野	富山化学工業(株)	2008	2013
医学研究科	寄附講座	内科学講座/循環器内科学分野/不整脈先端治療学部門	日本メドトロニック(株)、アボットメディカルジャパン(株)R4.4〜ベoston・サイエンティフィックジャパン(株)	2008	2027
医学系研究科	寄附講座	内科系講座/小児科学分野/こども発育学部門	(医)バルモア病院	2008	2012
医学部	寄附講座	膠原病学(富山化学工業)寄附講座	富山化学工業(株)	2007	2011
バイオシグナル研究センター	寄附講座	細胞核情報伝達研究分野	三木谷 研一	2006	2008
医学系研究科	寄附講座	内科学講座/へき地医療学分野	兵庫県	2005	2009
医学系研究科	寄附講座	外科系講座/形成外科学分野/美容医科学部門	シスメックス(株)	2004	2012
医学系研究科	寄附講座	臨床薬効評価学講座	三共(株)	2004	2008
医学部	寄附講座	膠原病学(日本抗体研究所)寄附講座	(株)日本抗体研究所	2002	2006

## 18-3 共同研究講座一覧（2025年7月1日現在の履歴一覧）

部局	講座区分	講座・研究部門	連携先	開始年度	終了年度 (予定)
システム情報学研究科	共同研究講座	スマート環境システム講座	ユニテック(株)	2025	2027
医学研究科	共同研究講座	地域社会医学・健康科学講座/医療システム学分野/地域医療・健康システム開発部門	(株)パソナグループ	2025	2027
医学研究科	共同研究講座	内科系講座/精神医学分野/生物学的精神医学部門	大塚製薬(株)	2025	2027
科学技術イノベーション研究科	共同研究講座	エッセンシャルヘルスケア科学講座	(株)日本トリム	2023	2025
科学技術イノベーション研究科	共同研究講座	ヘルスケアソリューション科学講座	サントリーウェルネス(株)	2023	2025
科学技術イノベーション研究科	共同研究講座	外科学講座/国際がん医療・研究推進学分野/先端医療テクノロジー開発・応用学部門	シスメックス(株)	2023	2025
先端バイオ工学研究センター	共同研究講座	出光興産バイオものづくり共同研究部門	出光興産(株)	2023	2025
理学研究科	共同研究講座	惑星計算学習学講座	(株)Preferred Networks	2023	2027
科学技術イノベーション研究科	共同研究講座	機能性ガス分離膜共同研究講座	(株)ルネッサンス・エナジー・リサーチ	2022	2022
医学研究科	共同研究講座	生化学・分子生物学講座/分子細胞生物学分野/生体シグナル制御学部門	JCRファーマ(株)	2022	2024
医学研究科	共同研究講座	内科学講座/消化器内科学分野/新規治療探索学部門	エーザイ(株)	2022	2026
科学技術イノベーション研究科	共同研究講座	バイオ・環境講座/イノベーション・コスメトロジー共同研究講座	(株)リードヘルスケア、(株)Dstyleホールディングス	2021	2027
科学技術イノベーション研究科	共同研究講座	バイオ・環境講座/コスメティック・イノベーション共同研究講座	プロテックスジャパン(株)	2020	2020
医学研究科	共同研究講座	糖尿病・内分泌・総合内科学分野/先進代謝疾患治療開発学部門	日本ベーリンガーインゲルハイム(株)	2019	2021
医学研究科	共同研究講座	内科系講座/放射線医学分野/先進医用画像診断学部門	GEヘルスケアジャパン(株)	2019	2028
医学研究科	共同研究講座	内科系講座/放射線医学分野/放射線医学部門	キヤノンメディカルシステムズ(株)	2019	2026
理学研究科	共同研究講座	惑星学専攻・惑星科学研究センター/高性能プロセスコデザイン部門	(株)テラピクセル・テクノロジーズ	2019	2021
医学研究科	共同研究講座	内科系講座/精神医学分野/病態シグナル学部門	エーザイ(株)	2018	2025
工学研究科	共同研究講座	サステナブルケミストリー(日本触媒)共同研究講座	(株)日本触媒	2017	2019
保健学研究科	共同研究講座	経口ワクチン創薬研究開発講座	GROVACC(株)	2015	2017

詳細はこちら

URL:[https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/18\\_2025/](https://www.kobe-u.ac.jp/ja/about/datashiryoushuu/18_2025/)

# 19. 教育関係共同利用拠点

- 2014年度に教育関係共同利用拠点※への認定申請を行い、以下の3施設について認定された。
- 2018年度、2023年度に新たな拠点名で再度認定申請を行い、2028年度までの継続が決定している。

※複数大学が連携して実施することが効果的・効率的な教育上の取組や学生支援に関し、複数大学が共同で利用するための施設。当該施設が、大学教育の充実に特に資するときは、教育関係共同利用拠点として、文部科学大臣の認定を受けることができる。

## 内海域環境教育研究センター マリンサイト

【 拠点名 内海域の海洋生物・生態系と環境管理を学ぶ教育共同利用拠点 】

### 19-1-1 2024年度共同利用状況（学内を除く）

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	15	59	274
公立大学	3	11	49
私立大学	4	5	25
民間・独立行政法人等	4	53	102
外国の研究機関	0	0	0
計	26	128	450



### 19-1-2 2024年度実施プログラム（抜粋）

課題	概要
奈良女子大学 臨海実習	奈良女子大学理学部3年生対象。 無脊椎動物・微細藻類・海藻の多様性や生態について学ぶ。

## 大学院農学研究科附属 食資源教育研究センター

【 拠点名 農場と食卓をつなぐ先端農業フィールド教育拠点 】

### 19-1-3 2024年度共同利用状況（学内を除く）

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	3	9	14
公立大学	8	169	302
私立大学	7	75	120
民間・独立行政法人等	12	379	454
外国の研究機関	0	0	0
計	30	632	890



### 19-1-4 2024年度実施プログラム（抜粋）

課題	概要
大阪公立大学 大動物診療実習	利用大学開講科目「大動物診療実習」を本学で実施。6/25～6/27および10/22～10/24のそれぞれ2泊3日で、ウシの検診・給餌・去勢・肢端の包帯法・身体検査・血液検査・血液代謝プロファイルなどの実習を行った。
大阪公立大学 食料生産実習 帝塚山学院大学 レクリエーション現場実習	9/9～9/10の1泊2日で、ウシの取扱い・体型測定・鼻紋採取・給餌、農作業機器の操作、サツマイモの収穫などの実習を行った。本実習に先立ち、5/11にはイネとサツマイモの植え付けを体験した。
吉備国際大学 フィールド実習Ⅳ	本学提供のプログラム「農業DX」を活用した。11/9に作物系・果樹系・畜産系のスマート農機について実習を行った。
京都産業大学 先端生命科学特別研究Ⅰ	本学提供のオーダーメイド型プログラム「農場から食卓まで」を活用した。10/31～11/1の日程で、イネ・サツマイモ・ナシの収穫・調製、ウシの基本・体重測定・給餌について実習を行った。
兵庫県立大学 特別フィールドワーク	本学提供オーダーメイド型プログラム「農場から食卓まで」を活用した。10/27にウシの給餌・鼻紋採取、イネ・サツマイモの収穫・調製などの実習を行った。
公立鳥取環境大学 農村の持続的発展	本学提供オーダーメイド型プログラム「農場から食卓まで」を活用した。7/7にバレイショの収穫・調製、タマネギの調製などについて実習を行った。
神戸女学院大学 演習 I a I クラス	本学提供のオーダーメイド型プログラム「農場から食卓まで」を活用した。9/5～9/6の日程で、ブドウ果実の観察と収穫・調整、キャベツの追肥、ハクサイの定植、ダイコンの播種、ウシの基本・給餌などの実習を行った。
兵庫県立農業大学校 実習	本学提供のプログラム「農業と遺伝資源」を活用した。2/14にウシの遺伝的多様性と但馬牛の飼養管理などを実習した。

## 大学院海事科学研究科附属 練習船海神丸 ※2022年度より「深江丸から新船「海神丸」へ変更

【 拠点名 海洋分野に関わる海事技術・海洋環境・ヒューマンファクタを学ぶ海上アクティブラーニング教育環境の共同利用拠点 】

### 19-1-5 2024年度共同利用状況（学内を除く）

区 分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	1	47	47
公立大学	1	10	20
私立大学	4	55	82
民間・独立行政法人等	1	22	22
外国の研究機関	0	0	0
計	7	134	171



### 19-1-6 2024年度実施プログラム（抜粋）

課 題	概 要
大阪公立大学 船舶工学特殊講義	当該科目では、船用機関および船舶推進装置の基礎を教授している。その中で、実際の船舶運航実務を乗船実習を通して理解する。操練や船橋当直、機関当直を体験し、運航実務に触れる。また、推進性能調査を行い、船舶推進に関わる動力、負荷および熱効率について理解を深める。
中京大学 応用心理学実習	船橋当直や機関当直の実習および船内の生活を通して、①海上でのコミュニケーション、②ヒューマンエラーの防止・安全運航、③船内生活の居住性・快適性について体験し、学ぶこと、また実生活や他産業への応用について考えることを目的とする。
帝塚山大学 心理科学基礎論 I	海神丸での実習を通して、海事科学ならびに海上交通心理学についての理解を深めることを目的とする。なお、海神丸の船内実習については、本大学院海事科学研究科教員の協力の下、実施する。
神戸女学院大学 演習 I	演習 I Bの体験学習の一環として船舶実習を実施することにより、船舶運航の概要、乗組員間で行われる実際の指示命令、航海当直と海上交通安全、乗組員の作業環境、乗組員の行動について学ぶ。
大阪大学 人間行動学実験実習Ⅲ	各種産業現場の一つとして海上輸送現場を知るために海神丸に乗船し、船舶における救命・消火設備、航海当直と海上交通安全、機関当直と機関室内安全、海洋汚染防止について学ぶ。
大阪大学 循環経済と海洋造物の長寿命化	1年生を主対象に、船舶海洋構造物の長寿命化についての11回の学内座学講座の仕上げとして、練習船海神丸により大阪湾内を日帰り航海する乗船実習を行う。専門教育ではなく、海事に関する一般に実際に触れることで、船舶海洋構造物に関する理解と関心を深めることを目的とする。船体溶接継手の構造詳細などについて船体内部で、船舶の振動疲労損傷について機関室で、船舶の防食塗装について甲板上・船内などで解説を行う。また、学生ホールで必要な座学講義も行う。なお、海神丸の船内実習については、本大学院海事科学研究科教員の協力の下、実施する。
大阪大学 流れを見る/流れを知る (流体力学入門)	1年生を主対象に、船舶流体力学を含む流体力学に関する11回の学内座学講座の仕上げとして、練習船海神丸により大阪湾内を日帰り航海する乗船実習を行う。専門教育ではなく、海事に関する一般に実際に触れることで、船舶流体力学を含む流体力学に関する理解と関心を深めることを目的とする。船舶が水上を航行する際のケルビン波や、橋脚などの後流に現れるカルマン渦などをデッキからの観察で、あるいは、船舶の運動、推進に関する流体力学を甲板上・船内などで解説を行う。また、学生ホールで必要な座学講義も行う。
甲南大学 科学と産業政策（集中）	兵庫県や神戸市に集積する研究施設、および、神戸・瀬戸内海地域の産業施設を見学しながら、科学技術振興に関する産業政策について学び、自ら立案できる能力を養成することを目的としている。2024年度カリキュラムにおいて、本大学院海事科学研究科が所有する練習船海神丸への乗船および座学を通じて、神戸・瀬戸内海地域における海事科学・産業の重要性について学ぶとともに、海洋環境等に関する「海洋教育」の一端に触れる。

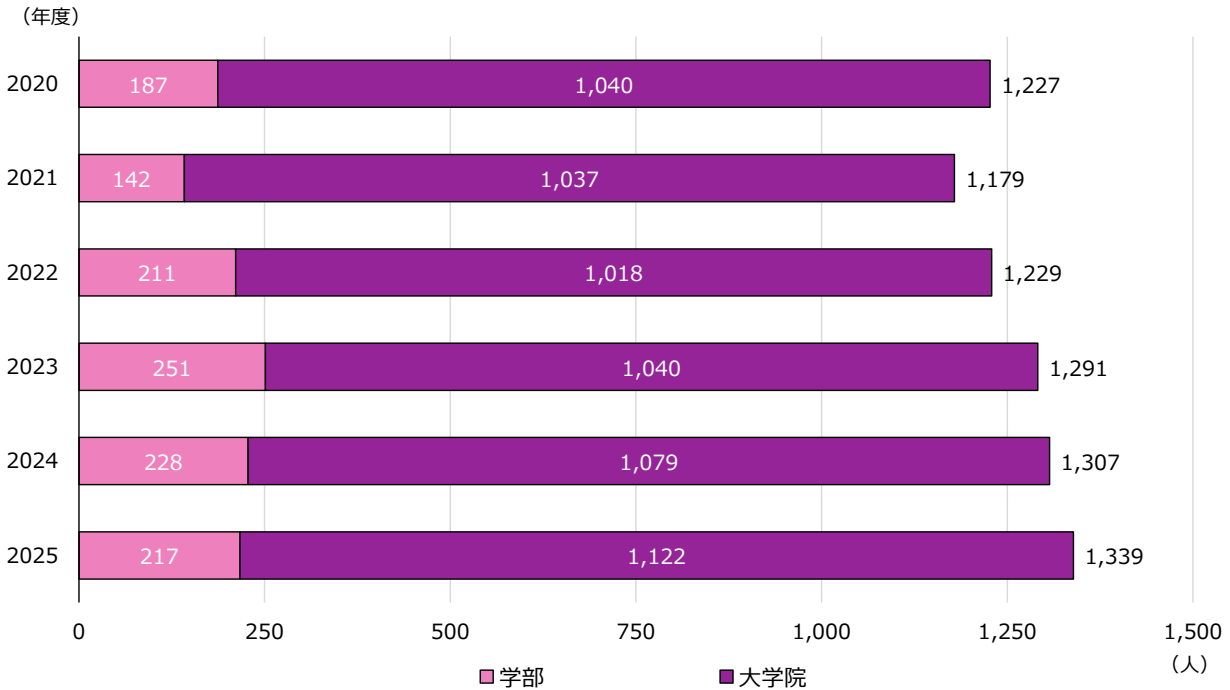
# 20. 留学

## 20-1 外国人留学生受入れ状況 – 在籍段階別 –

○ 2020年度及び2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により留学生の受入れが減少したが、本学においては2022年度以降、年々回復している。

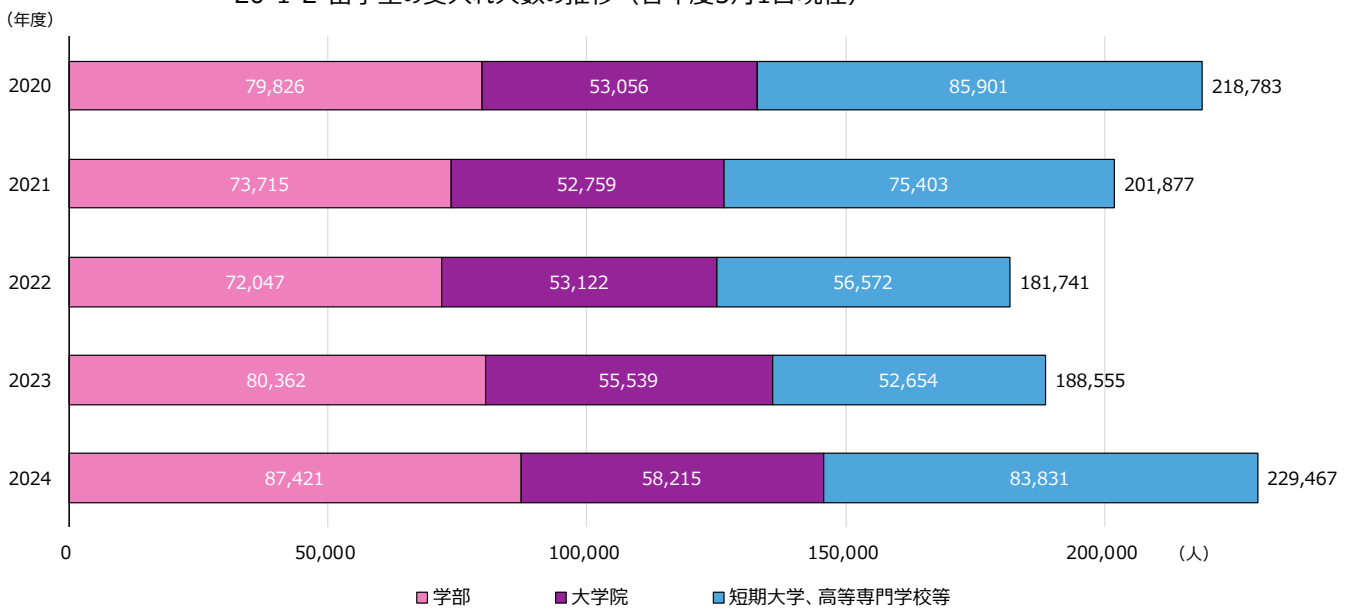
### 神戸大学

20-1-1 留学生の受入れ人数の推移（各年度5月1日現在）



### 全国

20-1-2 留学生の受入れ人数の推移（各年度5月1日現在）



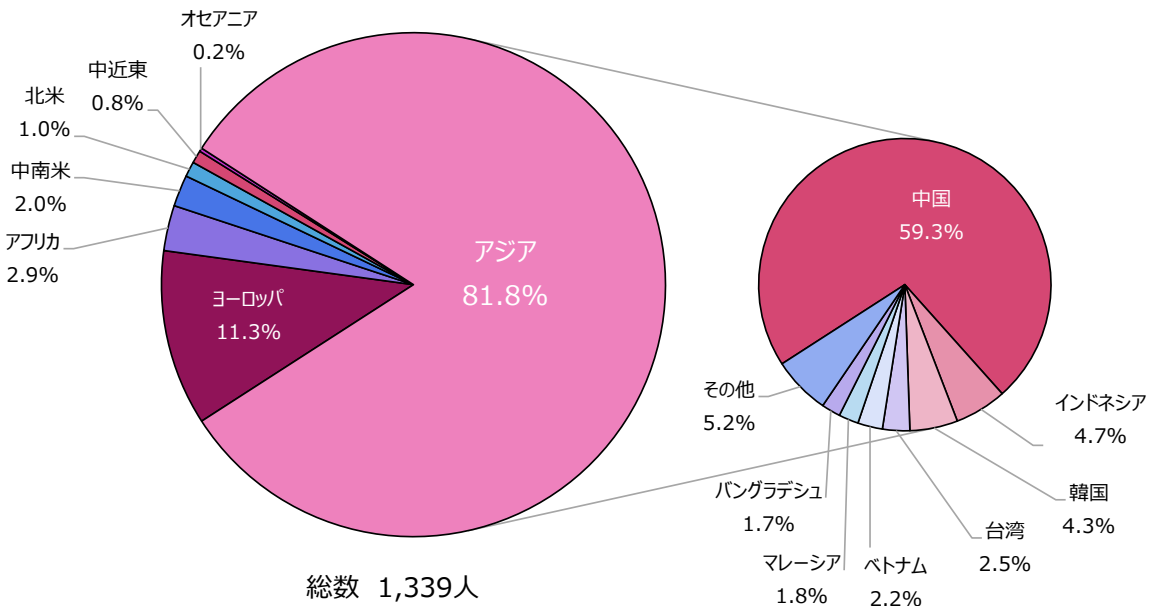
出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

## 20-2 外国人留学生受入れ状況 — 地域別 —

○ 留学生の出身地域別割合は、アジア出身の留学生が80%超（うち中国が約60%）であり（20-2-1）、全国と比較すると、ヨーロッパ出身の留学生の割合が高い（20-2-2、20-2-3）。

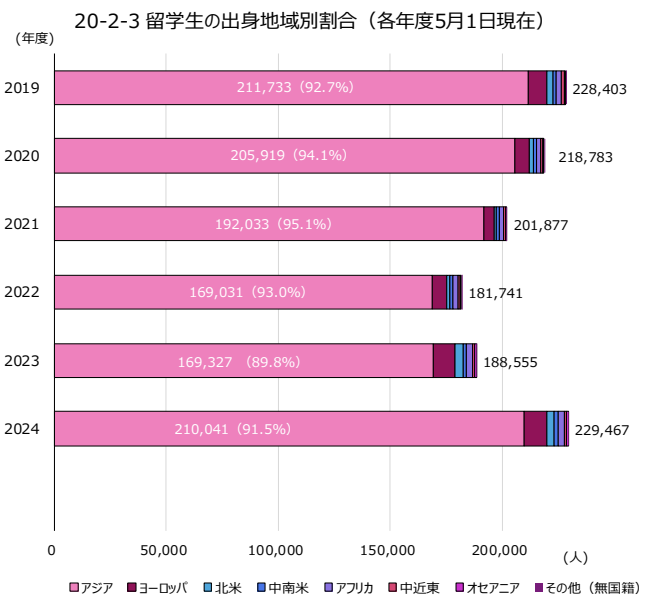
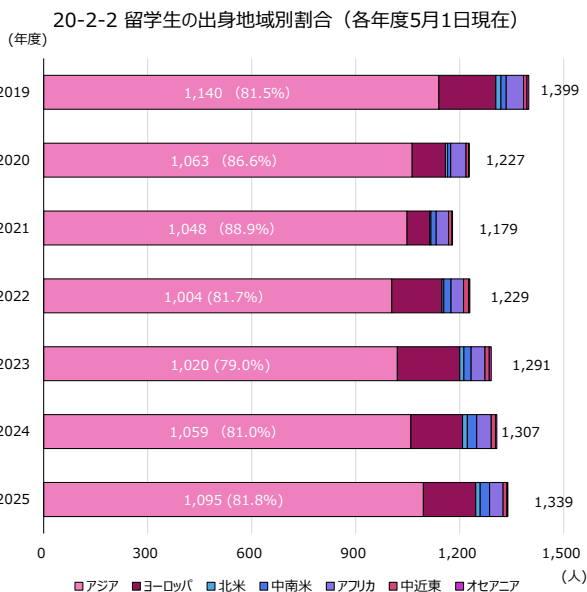
### 神戸大学

20-2-1 受入れ留学生数の地域別割合（2025年5月1日現在）



### 神戸大学

### 全国



出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

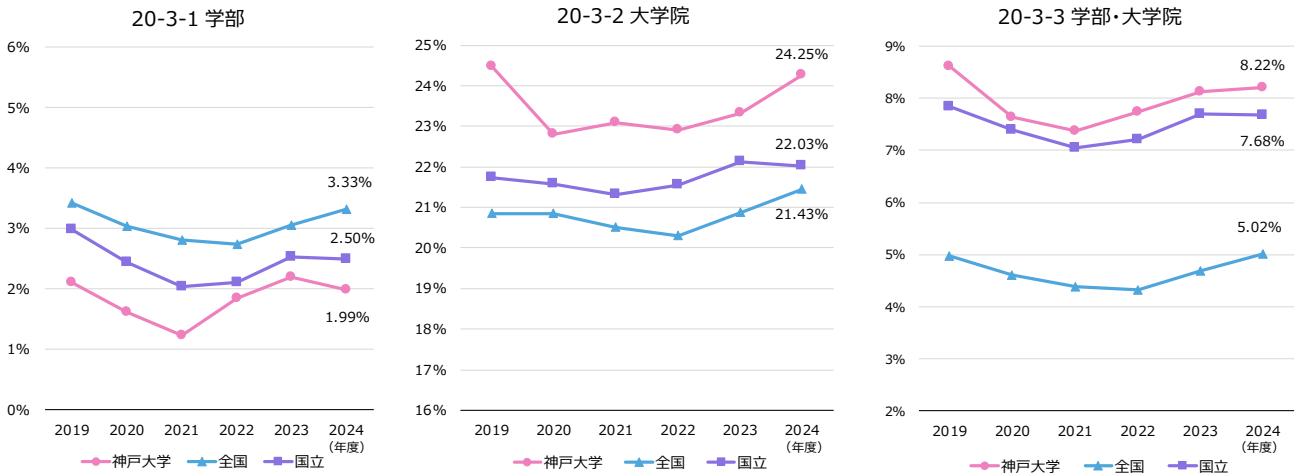
※（ ）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。

※ 全国の留学生には、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、準備教育課程の留学生を含む。

※ 小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

## 20-3 在籍学生に占める外国人留学生の比率

○ 全国の大学及び国立大学と比較すると、本学の学部留学生の割合（20-3-1）は低く、大学院留学生の割合（20-3-2）は高くなっている。

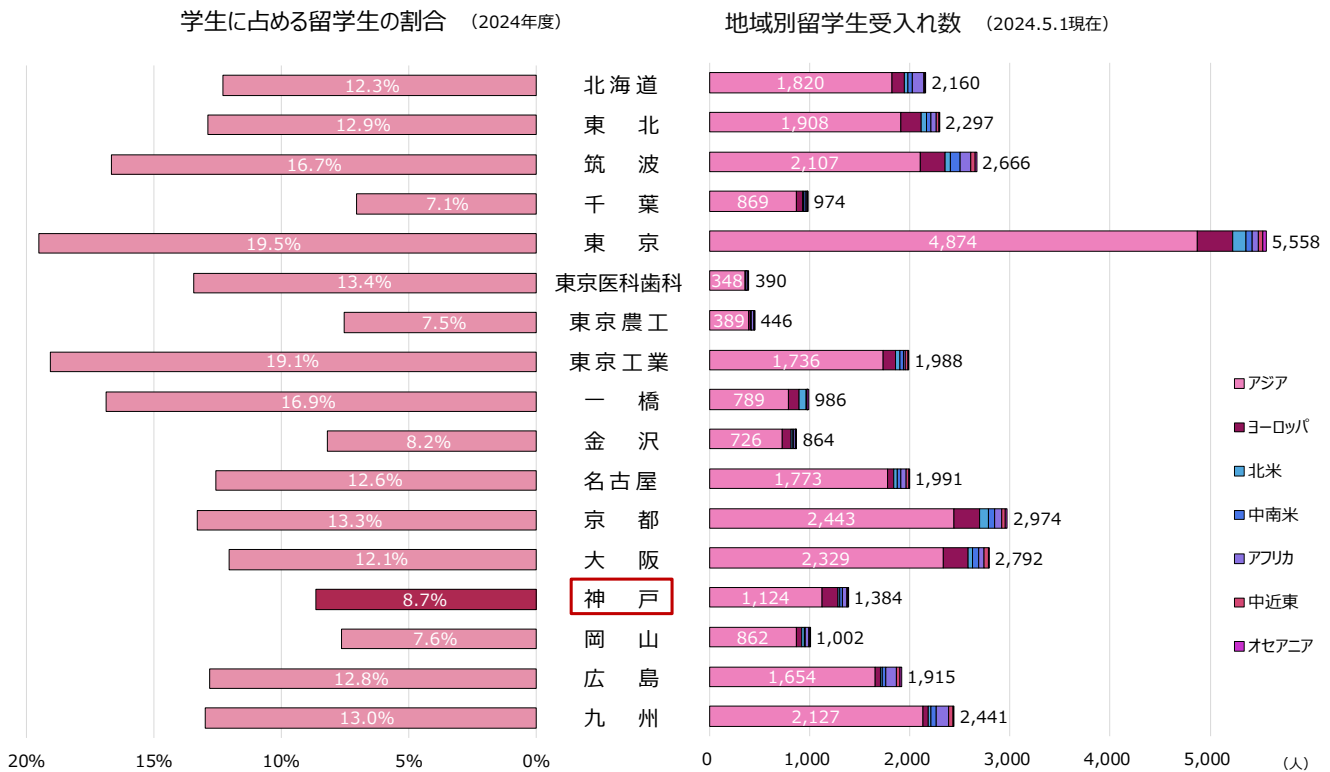


出典（全国・国立）：（留学生数）JASSO「外国人留学生在籍状況調査」、（学生数）文部科学省「学校基本調査」

※留学生比率（学部・大学院留学生比率）=（学部留学生数+大学院留学生数）÷（学部学生数+大学院学生数）×100

## 20-4 17大学の外国人留学生受入れ状況

○ 本学の学生に占める留学生の割合は8.7%であり、17大学間の比較では低い割合となっている。



出典（学生数）：大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」(7-A) 学生数 ※別科や専攻科を含む

出典（留学生数）：大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」(11) 国費留学生、私費留学生、留学生以外の外国人学生 ※留学生以外の外国人学生は含まない

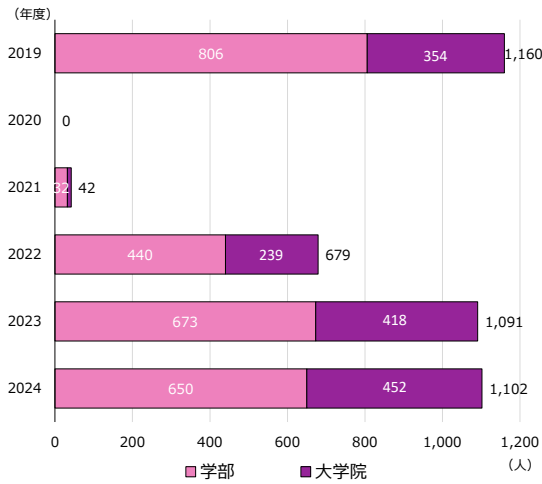
※留学生の割合 = (学部留学生数 + 大学院留学生数) ÷ (学部学生数 + 大学院学生数) × 100

\* 出典元のデータが統合前の各大学（東京医科歯科大学・東京工業大学）別となっているため、本学を含む17大学で比較しています。

## 20-5 学生の海外派遣状況 — 在籍段階別 —

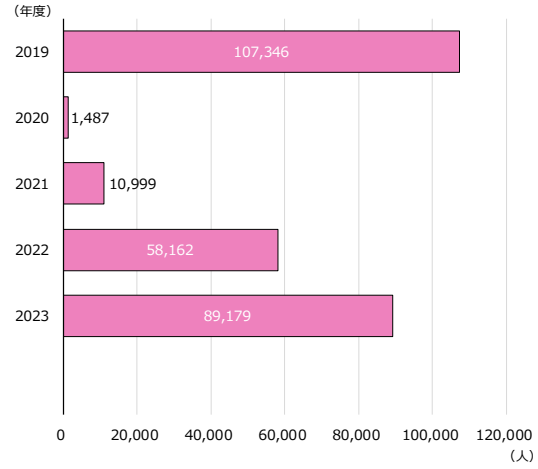
○ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度及び2021年度は派遣人数が激減したが、2022年度から増加に転じ、2023年度以降の本学の派遣人数は、2019年度並みに回復している。

20-5-1 神戸大学



※各年度4月1日～3月31日に派遣した人数。  
※神戸大学（20-5-1）、※全国（20-5-2）ともにJASSO「日本人学生留学状況調査」

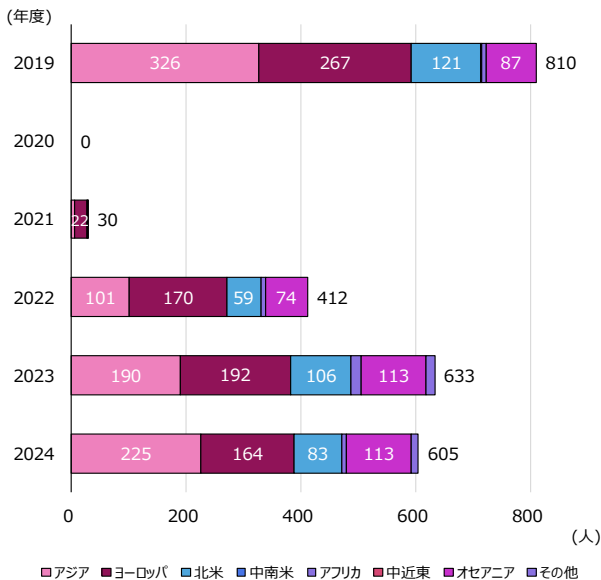
20-5-2 全国



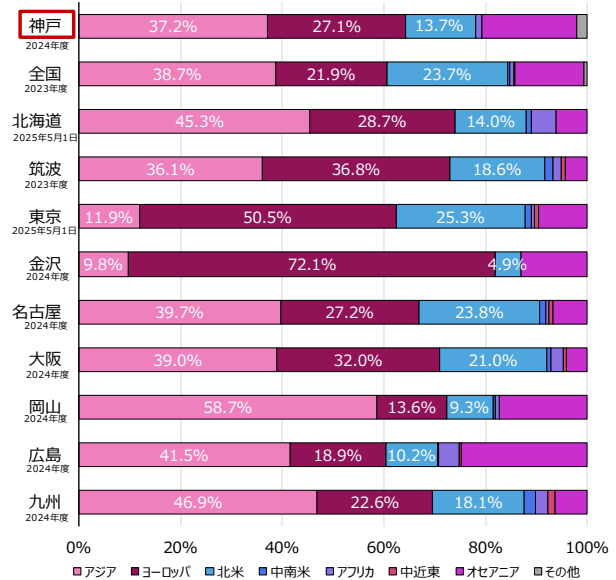
## 20-6 学生の海外派遣状況 — 地域別 —

○ 本学学生の海外派遣数については、アジアやオセアニアへの派遣比率が高く、北米への派遣比率が低めとなっている。

20-6-1 神戸大学



20-6-2 各大学



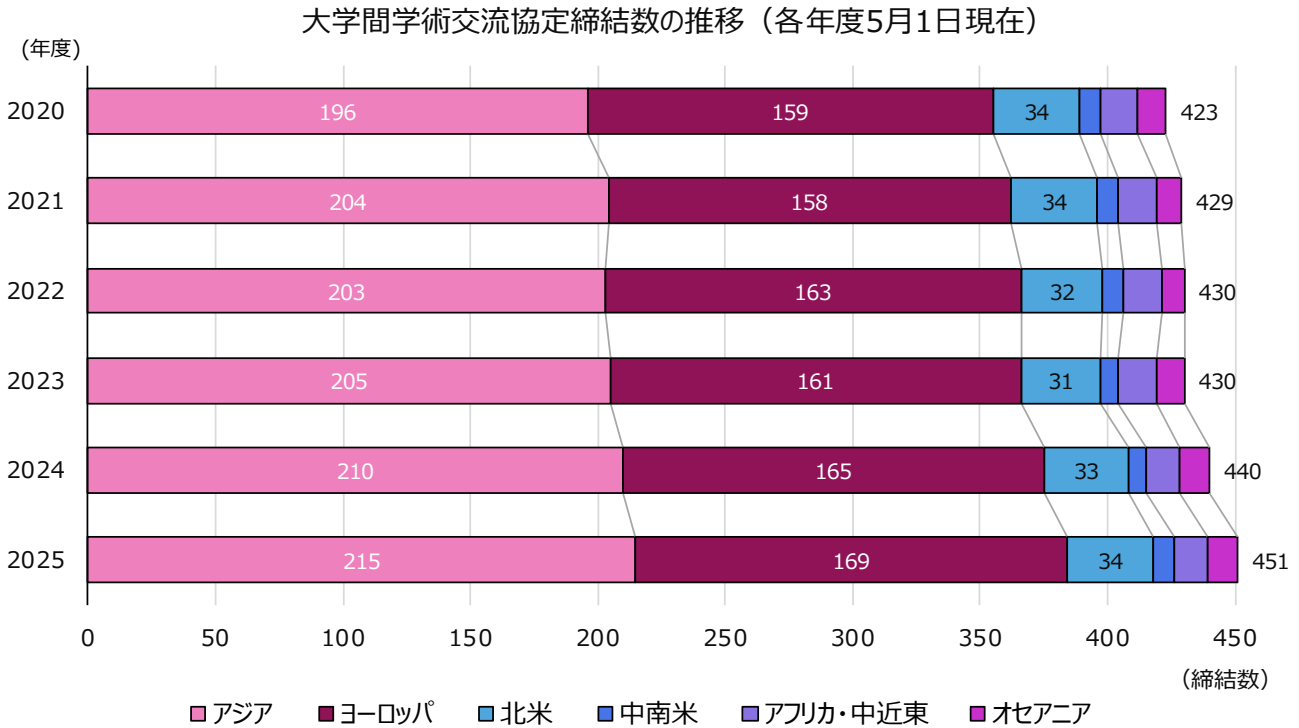
出典（全国）：JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」  
※「協定等に基づく日本人学生派遣数」と参考として記載されている「協定等に基づかない日本人学生留学状況（在籍学校において把握している限り）」の合計。  
出典（各大学）：各大学のHP等

※20-6-2のグラフ内には、比較的割合の大きいアジア、ヨーロッパ、北米の割合のみ記載している。  
※以下のとおり、大学によって定義が異なるので、単純比較はできない。  
北海道大学…一人が一度に複数か国に留学した場合には、各国1名としてカウントしている  
筑波大学、東京大学、金沢大学、大阪大学、広島大学…定義の記載なし  
名古屋大学…海外留学の種類・目的は交換留学、研究、語学研修、学位取得等  
神戸大学…単位授与を伴うプログラムに基づくもの  
岡山大学…スーパーグローバル大学創成支援事業の実績値より  
九州大学…外国人留学生を含む総数

# 21. 海外大学との交流状況

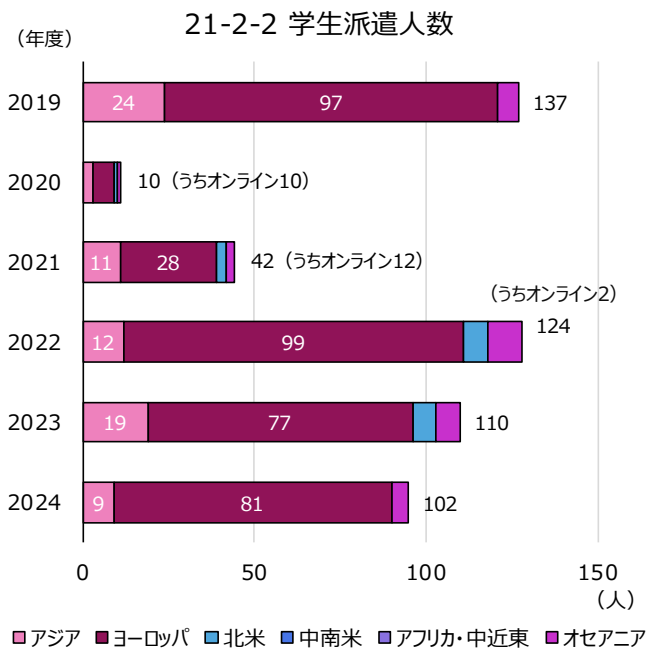
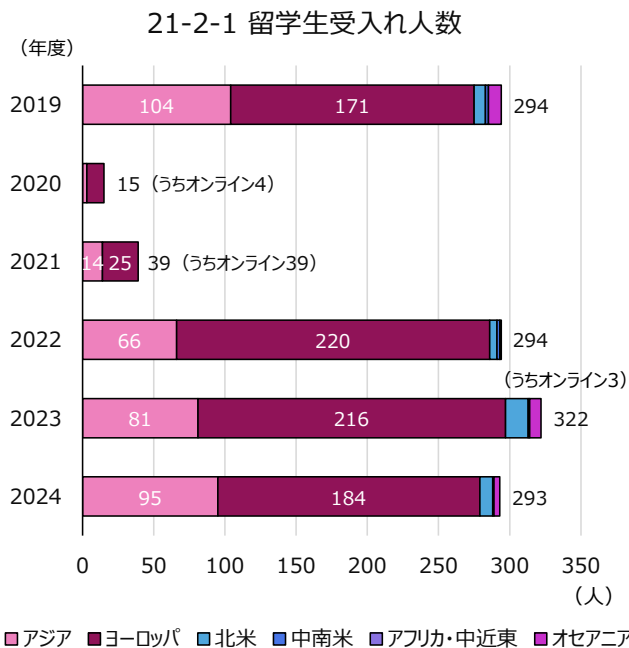
## 21-1 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

○ 大学間学術交流協定締結数は、近年、アジアとヨーロッパで全体の8割程度を占めている。



## 21-2 大学間学術交流協定に基づく留学生受入れ・学生派遣状況

○ 2020年度及び2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受入れ（21-2-1）・派遣（21-2-2）ともに激減した。2022年度以降、受入れ人数は回復し以前の水準に戻っているが、派遣人数は近年減少傾向にある。



## 21-3 ダブルディグリープログラムによる交流学生数

○ 修士課程における派遣・受入れが多くを占めている。2020年度以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、特に受入れが減少し、回復が遅れている。

○神戸大学におけるダブルディグリープログラム実施状況（2025年3月31日現在）

部局	共同設置機関国	共同設置機関校	先方における関係部局	課程	派遣										受入れ											
					2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034						
人文学研究科	中国	北京外国語大学	北京日本学研究中心	修士	1	1	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	2	1	0	-	-	-	0	0	0
国際文化学研究科	ベルギー	ルーヴン大学	人文学研究科 ヨーロッパセンター	修士	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0
	イタリア	ナポリ東洋大学	-		0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	2	1	2	2	0	0	0	0	1	0	0	
	ドイツ	ハムブルク大学	人文科学部		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	1	0	0
	フランス	パリ・シテ大学	地理・歴史・経済・社会科学研究科		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0
法学研究科	英国	エセックス大学	-	修士	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	2	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	
	ポーランド	ヤグウォン大学	ヨーロッパ研究科		1	1	1	0	1	0	0	0	0	-	2	1	3	0	3	0	0	1	1	-	-	
経済学研究科	ベトナム	貿易大学 ※	-	修士 (受入れのみ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	-	-	-	-		
	ベルギー	ルーヴン大学	ヨーロッパセンター・人文学部・経済経営学部		1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	
	英国	エセックス大学	-		-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	
	中国	北京外国語大学	北京日本学研究中心		-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	2	3	5	5	3	5	4	4	4	4	
	中国	武漢大学	外国語文学学院		-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	2	4	0	3	2	3	1	2	2	2	
	ベトナム	貿易大学 ※	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
経営学研究科	ベトナム	貿易大学	日本語学部	学士 (受入れのみ) (受入れのみ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	1	1	2	0	0	0	
	中国	武漢大学	外国語文学学院		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	3	1	1	2	2	
	ベルギー	ルーヴン大学	人文学部		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	
	英国	シェフィールド大学	マネジメントスクール		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	1	-	-	-	-
医学研究科	インドネシア	ガジャマダ大学	医学・公衆衛生・看護学部	博士	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	0	1	1	1	
	タイ	マヒドン大学	シリート病院医学部		0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	
保健学研究科	インドネシア	ガジャマダ大学	医学・公衆衛生・看護学部	修士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	タイ	チロロンコン大学	看護学部		-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
工学研究科	台湾	国立台湾大学	工学院	博士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	
海事科学研究科	ナミビア	ナミア大学	農業工学自然科学部	博士 (コチフボ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	0	-	-	-	1	
	フランス	パリ・シテ大学	社会人文科学部		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	ベルギー	ブリュッセル自由大学 (蘭語系)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
国際協力研究科	インドネシア	ガジャマダ大学	地理学部	修士 (受入れのみ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	インドネシア	ガジャマダ大学	経済学研究科		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	インドネシア	ガジャマダ大学	経済経営研究科		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ベトナム	貿易大学 ※	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ベトナム	貿易大学 ※	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
国際協力研究科	韓国	高麗大学校	国際大学院	修士	0	3	3	3	2	3	5	5	2	1	3	1	1	2	5	2	0	2	1	0	0	
	中国	復旦大学	国際関係・公共事務学院		0	2	0	2	3	2	2	1	3	0	0	3	2	2	2	0	0	0	0	0	0	
	中国	イーストアングリア大学	国際開発学部		0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	英国	ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院	-		0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
	英国	サセックス大学	教育社会学研究科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	米国	ピッツバーグ大学	公共国際問題研究大学院		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計					4	8	7	11	9	6	7	8	8	2	26	37	26	28	31	24	8	19	13	16		

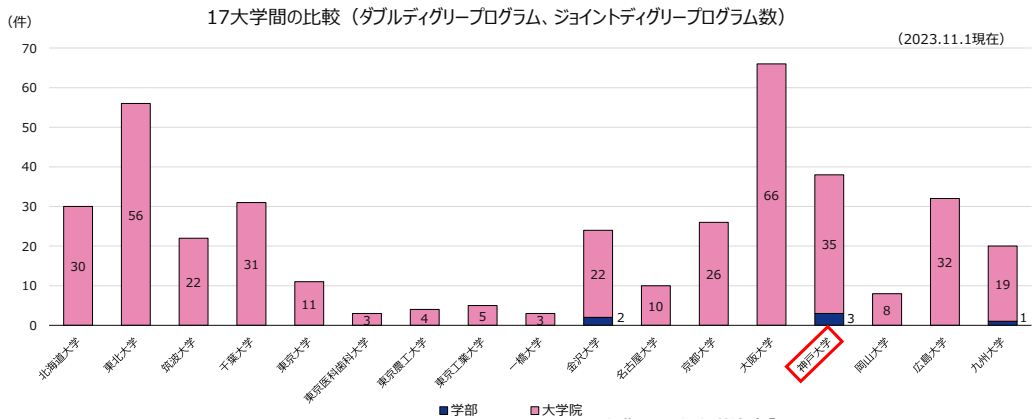
※4研究科（法学・経済学・経営学・国際協力）による、受入れのみの修士課程のダブルディグリープログラム。（2021年7月受入終了）

※□は、募集していないことを示す。

## 21-4 ダブルディグリー、ジョイントディグリープログラム

— 17大学間の比較 —

○ 国立大学17校のうち、神戸大学のダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム数は学部・大学院を合計すると3位であった。

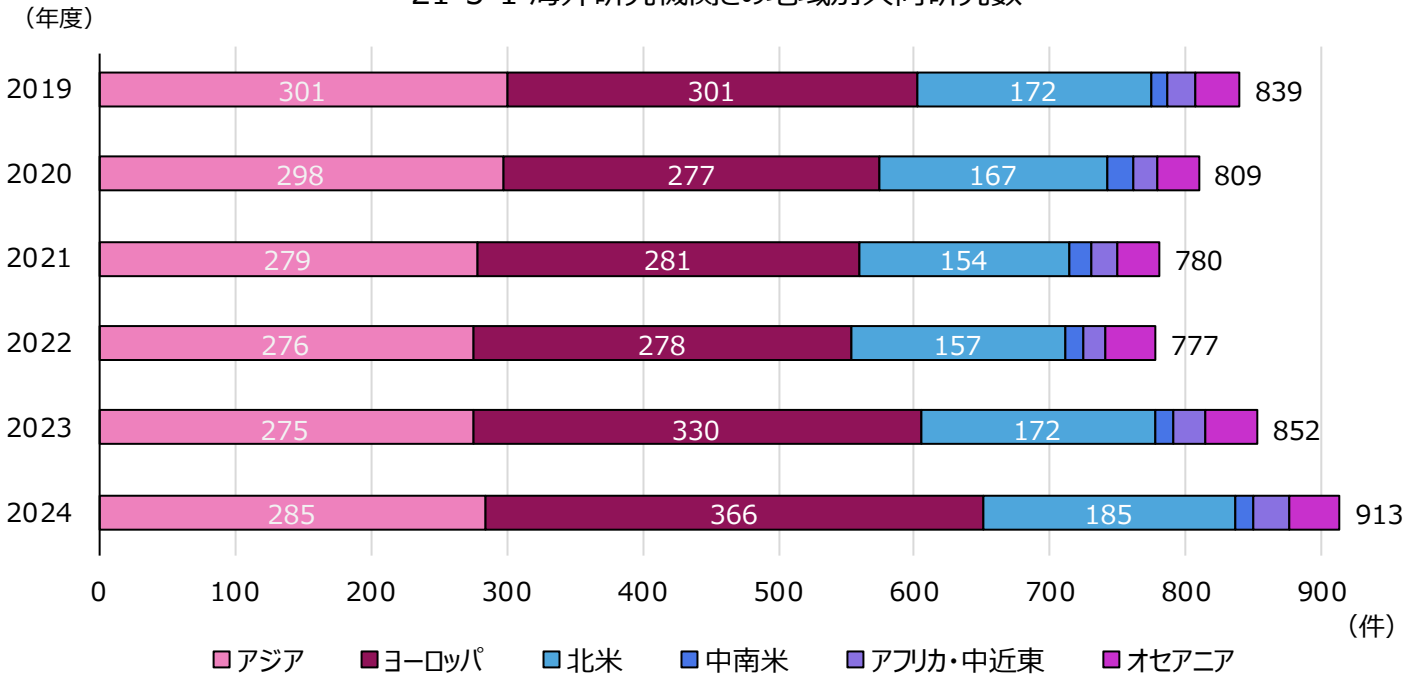


出典：国立大学協会「Study abroad at National Universities in Japan」  
\* 出典元のデータが統合前の各大学（東京医科歯科大学・東京工業大学）別となっているため、本学を含む17大学で比較しています。

## 21-5 海外研究機関との国・地域別共同研究数

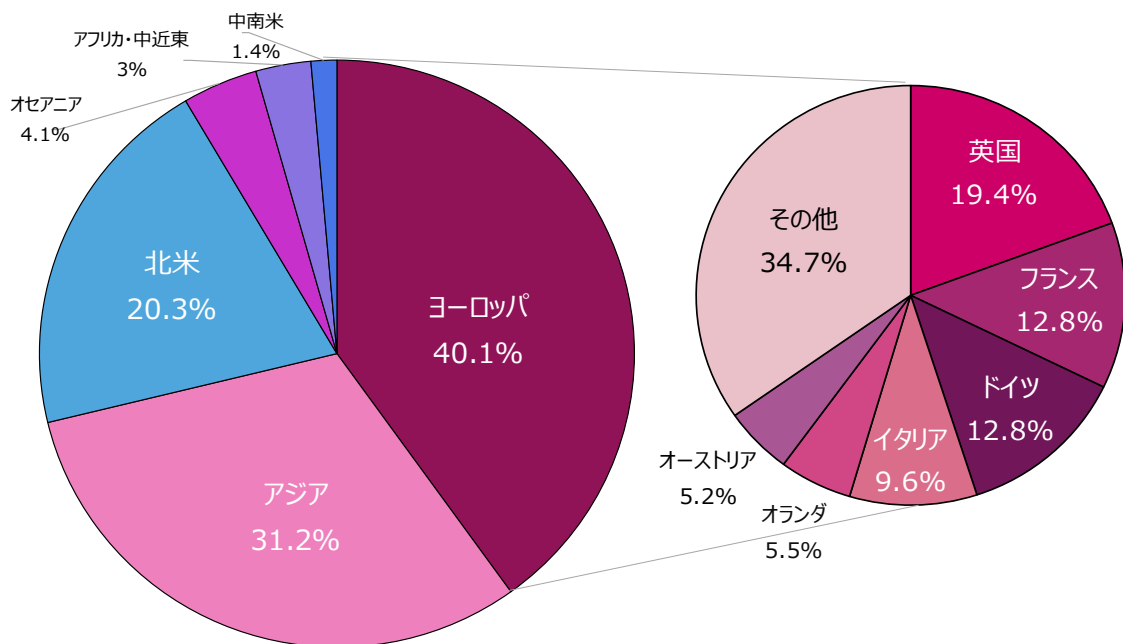
- 海外研究機関との共同研究については、アジア、ヨーロッパ、北米との共同研究が全体の9割程度を占めている。
- 地域別（21-5-1）では、近年、ヨーロッパとの共同研究の割合が最も高い傾向にある。ヨーロッパの国別（21-5-2）では、英国、フランス、ドイツの順になっており、その他さまざまな国との共同研究が行われている。

### 21-5-1 海外研究機関との地域別共同研究数



※海外研究機関とは海外の大学、研究所等を指す。

### 21-5-2 海外研究機関との共同研究の国・地域別割合（2024年度）

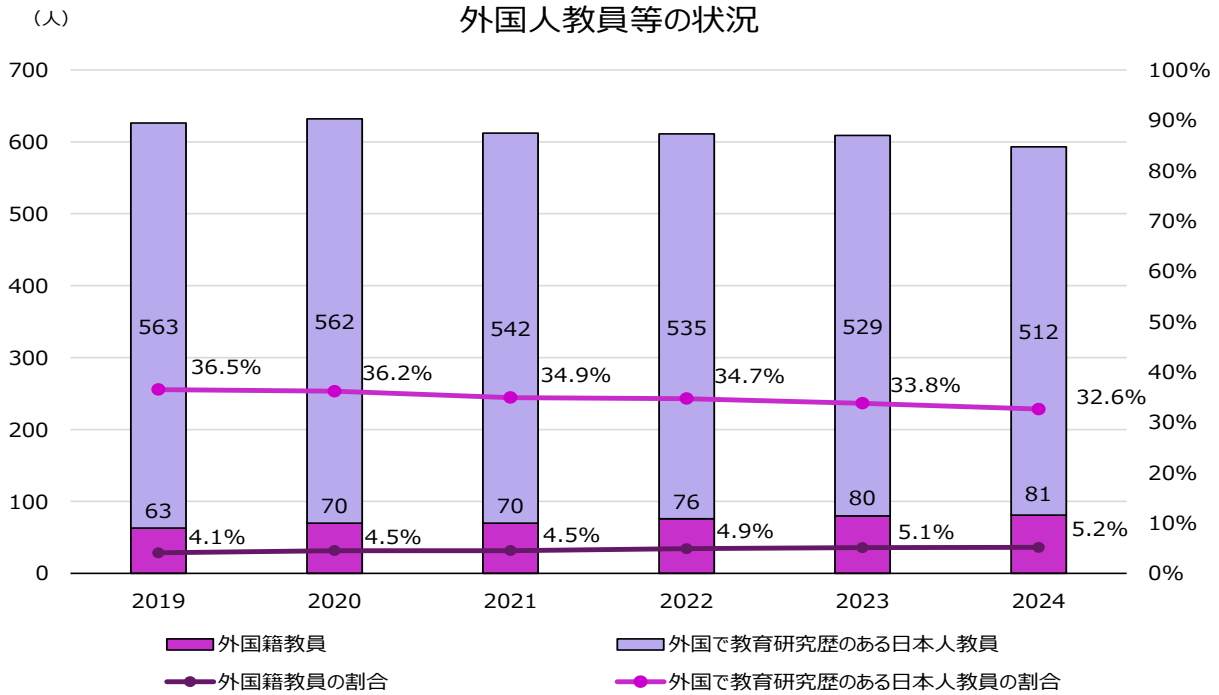


※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

# 22. 外国人教員・研究者等交流状況

## 22-1 外国人教員等の状況

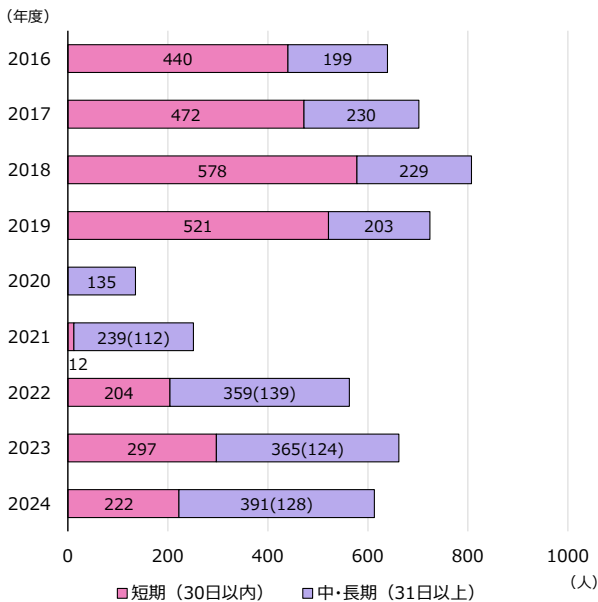
○ 外国籍教員数・割合は増加傾向にある一方、外国で教育研究歴のある日本人教員数・割合は、減少傾向にある。



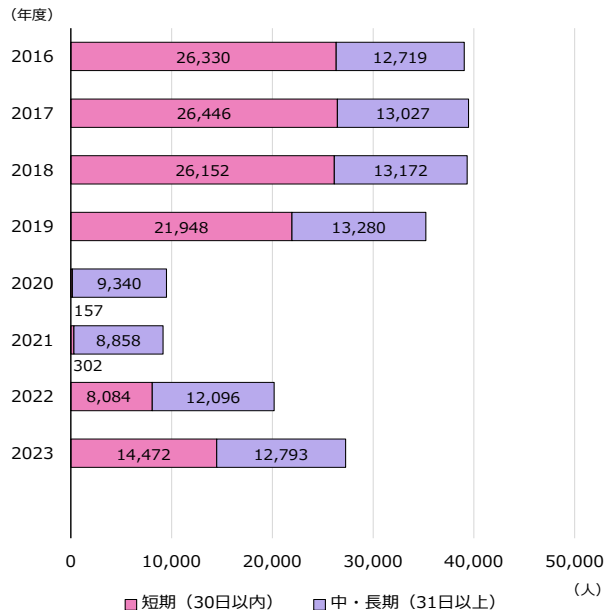
## 22-2 外国人研究者受入れ数の推移

○ 本学における外国人研究者受入れ数については、2014年度以降は600～800名程度で推移していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、短期受入れ数、中・長期受入れ数ともに大幅に減少した。

22-2-1 神戸大学における期間別外国人研究者受入れ数



22-2-2 国公私立大学・独立行政法人等の期間別受入れ研究者数

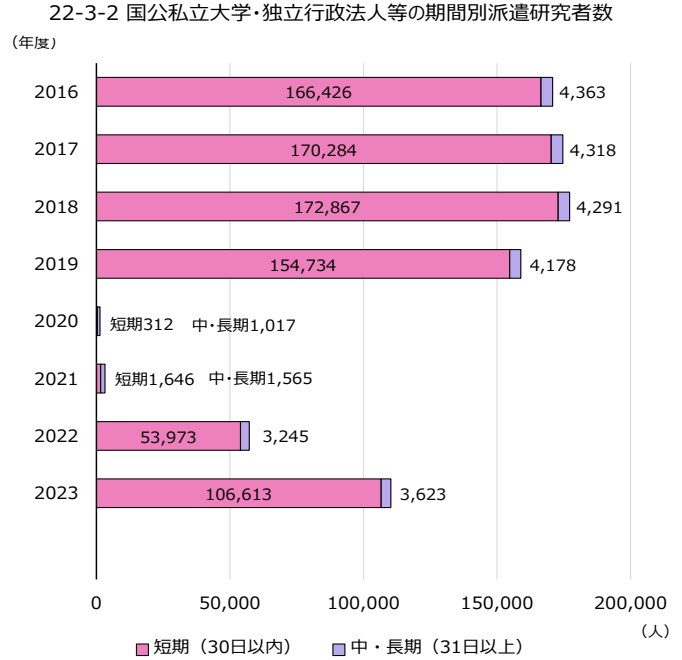
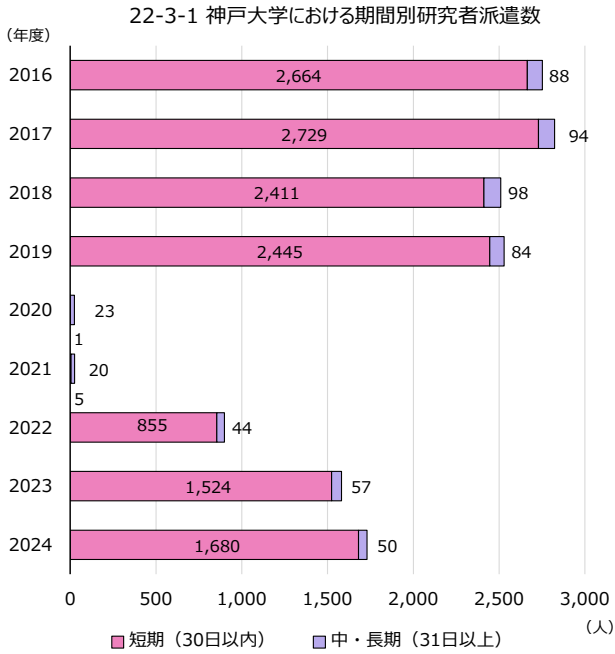


2020年度までは学生を除いた数値、2021年度以降は一部の学生(※)を含んだ数値(括弧内の数字は学生の内数を示す)。  
 ※雇用契約を締結し、職務を与え研究に従事している博士課程在籍学生。

出典(右): 文部科学省「国際研究交流の概況」

## 22-3 研究者海外派遣数の推移

- 本学では「若手教員長期海外派遣制度」の実施により、毎年、長期で研究者を派遣している。
- 2020年度及び2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、派遣数が大幅に減少した。その後は年々回復傾向にあるが、未だ以前の水準に達していない。



出典 (右) : 文部科学省「国際研究交流の概況」

# 23. 国際化の状況

## 23-1 主要大学との比較

○ 他大学と比較すると、本学は、外国での教育・研究経験のある教員の割合（23-1-2）は比較的高いが、外国人教員の割合（23-1-1）や外国人留学生の割合（23-1-4）は低い水準にある。

23-1-1 外国人教員の割合

順位	大学名	外国人教員数	本務教員数	外国人教員の割合
1	東北大学	345	3,184	10.8%
2	北海道大学	224	2,388	9.4%
3	広島大学	157	1,696	9.3%
4	大阪大学	296	3,332	8.9%
5	名古屋大学	205	2,308	8.9%
6	京都大学	295	3,504	8.4%
7	九州大学	202	2,458	8.2%
8	筑波大学	145	1,767	8.2%
9	東京工業大学	78	1,036	7.5%
10	千葉大学	78	1,295	6.0%
11	岡山大学	79	1,435	5.5%
12	<b>神戸大学</b>	<b>81</b>	<b>1,575</b>	<b>5.1%</b>
13	東京大学	203	3,961	5.1%
14	金沢大学	39	1,003	3.9%
15	東京医科歯科大学	22	886	2.5%

(令和6年5月1日時点)

23-1-2 外国での教育・研究経験のある教員の割合

順位	大学名	外国での教育・研究経験のある教員数	専任教員数	外国での教育・研究経験のある教員の割合
1	広島大学	759	1,714	44.3%
2	九州大学	980	2,305	42.5%
3	北海道大学	922	2,337	39.5%
4	<b>神戸大学</b>	<b>609</b>	<b>1,566</b>	<b>38.9%</b>
5	岡山大学	566	1,475	38.4%
6	東北大学	1,117	3,141	35.6%
7	名古屋大学	718	2,292	31.3%
8	東京医科歯科大学	263	856	30.7%
9	千葉大学	357	1,304	27.4%
10	大阪大学	1,011	3,698	27.3%
11	筑波大学	478	1,790	26.7%
12	金沢大学	323	1,224	26.4%
13	東京大学	1,494	5,962	25.1%
14	東京工業大学	294	1,203	24.4%
15	京都大学	618	3,484	17.7%

(令和5年度実績)

参考	神戸大学 (R6)	593	1,575	37.7%
----	-----------	-----	-------	-------

23-1-3 外国での教育・研究経験のある教員1人当たりの学生数

順位	大学名	全学生数	外国での教育・研究経験のある教員数	外国での教育・研究経験のある教員1人当たりの学生数
1	東京医科歯科大学	3,085	263	11.73
2	東北大学	18,219	1,117	16.31
3	東京大学	28,596	1,494	19.14
4	九州大学	18,956	980	19.34
5	北海道大学	18,057	922	19.58
6	広島大学	15,701	759	20.69
7	名古屋大学	16,177	718	22.53
8	岡山大学	13,536	566	23.92
9	大阪大学	24,285	1,011	24.02
10	<b>神戸大学</b>	<b>16,363</b>	<b>609</b>	<b>26.87</b>
11	金沢大学	10,589	323	32.78
12	東京工業大学	10,641	294	36.19
13	筑波大学	17,418	478	36.44
14	京都大学	23,219	618	37.57
15	千葉大学	14,117	357	39.54

(令和5年度実績)

参考	神戸大学 (R6)	16,473	593	27.78
----	-----------	--------	-----	-------

23-1-4 外国人留学生の全学生に対する割合

順位	大学名	外国人留学生数	全学生数	外国人留学生の割合
1	東京工業大学	1,705	10,670	16.0%
2	東京大学	4,078	29,482	13.8%
3	筑波大学	2,002	17,483	11.5%
4	九州大学	2,121	19,100	11.1%
5	東京医科歯科大学	329	3,084	10.7%
6	名古屋大学	1,702	16,107	10.6%
7	京都大学	2,346	23,201	10.1%
8	東北大学	1,746	18,338	9.5%
9	北海道大学	1,653	18,055	9.2%
10	広島大学	1,445	15,858	9.1%
11	大阪大学	2,037	24,244	8.4%
12	<b>神戸大学</b>	<b>998</b>	<b>16,473</b>	<b>6.1%</b>
13	岡山大学	774	13,670	5.7%
14	金沢大学	607	10,785	5.6%
15	千葉大学	600	14,257	4.2%

(令和6年5月1日時点)

23-1-5 日本人学生の海外留学生の全学生に対する割合

順位	大学名	単位取得を伴う海外留学生経験者数	全学生数 (外国人留学生・在日外国人を除く)	海外留学生の割合
1	千葉大学	2,581	13,145	19.6%
2	東京医科歯科大学	279	2,509	11.1%
3	九州大学	977	16,297	6.0%
4	筑波大学	831	14,763	5.6%
5	岡山大学	526	12,587	4.2%
6	東北大学	743	17,816	4.2%
7	<b>神戸大学</b>	<b>633</b>	<b>15,346</b>	<b>4.1%</b>
8	金沢大学	392	9,752	4.0%
9	東京工業大学	347	8,691	4.0%
10	広島大学	467	13,891	3.4%
11	東京大学	734	23,639	3.1%
12	北海道大学	405	15,781	2.6%
13	大阪大学	484	20,804	2.3%
14	名古屋大学	321	13,897	2.3%
15	京都大学	270	20,341	1.3%

(令和5年度実績)

参考	神戸大学 (R6)	605	15,401	3.9%
----	-----------	-----	--------	------

出典：

(23-1-1, 23-1-4)

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」  
(<https://portal.niad.ac.jp/prtr/table.html>) を加工して作成

(23-1-2, 23-1-3)

独立行政法人 日本学術振興会「スーパーグローバル大学創成支援事業  
令和5年度（2023年度）フォローアップ結果」(<https://www.jsps.go.jp/j-sgu/follow-up.html>) を加工して作成

(23-1-5)

独立行政法人 日本学術振興会「スーパーグローバル大学創成支援事業  
成果指標データ（事業期間における全採択大学分）」  
([https://www.jsps.go.jp/j-sgu/final\\_report.html](https://www.jsps.go.jp/j-sgu/final_report.html)) を加工して作成

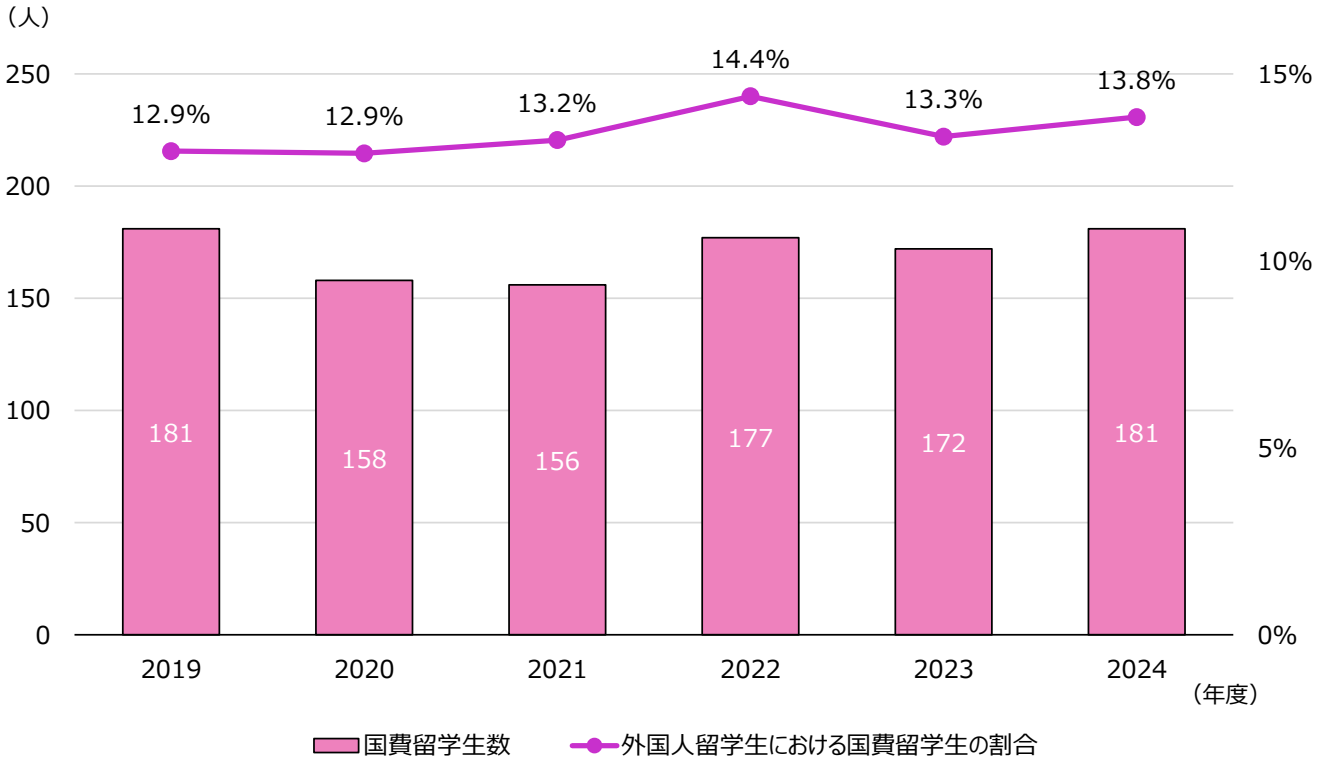
17大学のうち、スーパーグローバル大学創成支援事業採択大学と比較

- ※ 外国人教員数：外国人教員のみ
- ※ 外国での教育・研究経験のある教員数：外国人教員に加え、国外の大学での学位取得、通算1年以上以上教育研究に従事した日本人教員を含む
- ※ 外国人留学生：在留資格が「留学」の者のみ計上
- ※ 日本人学生の海外留学生者数：2022年4月1日から2023年3月31日までに海外の大学において留学を開始した日本人学生数
- ※ 全学生数：非正規課程の学生を含む

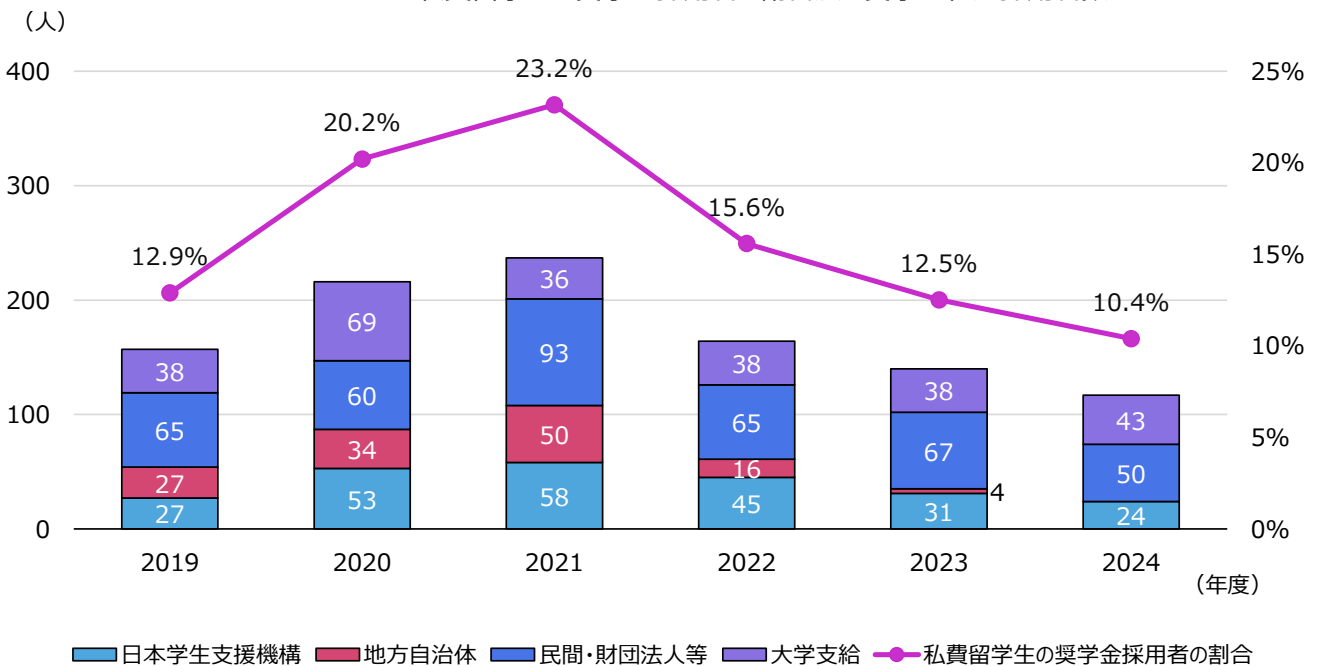
## 23-2 留学生への経済支援について

- 2020年度及び2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により国費留学生数（23-2-1）が減少したが、その後は以前の水準に回復している。
- 奨学金採用者数（23-2-2）は、近年は減少傾向にある。奨学金種別（23-2-2）では、例年、民間・財団法人等の割合が高くなっている。

23-2-1 外国人留学生における国費留学生の割合及び国費留学生数



23-2-2 私費留学生の奨学金採用者の割合及び奨学金種別採用者数



※日本学生支援機構による奨学金は「留学生受入れ促進プログラム（旧：文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度）」の採用者数を集計している。

# 24. 附属病院

## 24-1 附属病院の病床数・常勤医師数・常勤看護師数

○ 2017年度に国際がん医療・研究センター（以下、ICCRC）を設置し、病床数が増加した。2025年度は前年度と比較すると、常勤看護師は2025年度も引き続き増加傾向にある。

病床数		常勤医師数	常勤看護師数
一般病棟	精神病棟		
1,008	46	328	1,080

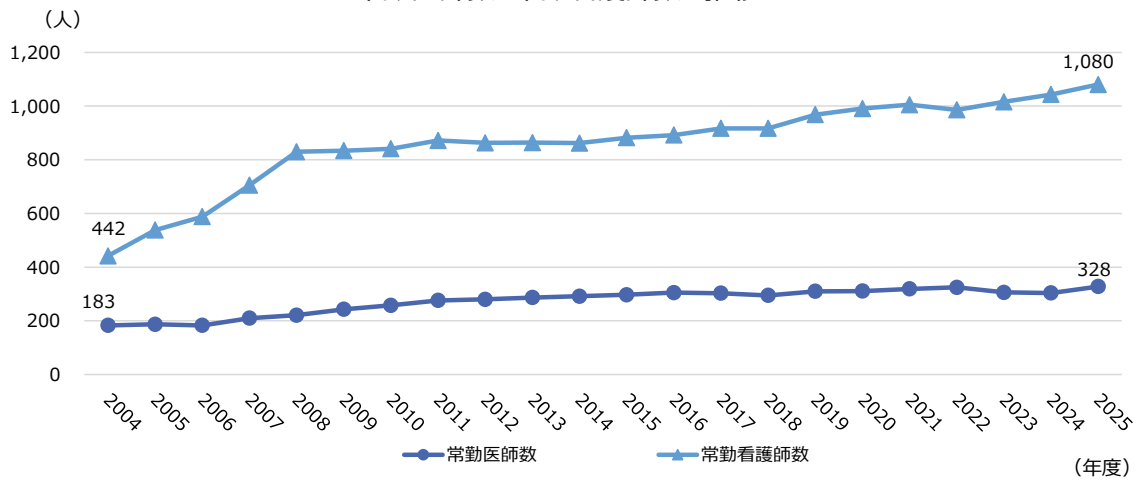
(うちICCRC120床)

(うちICCRC10名)

(うちICCRC51名)

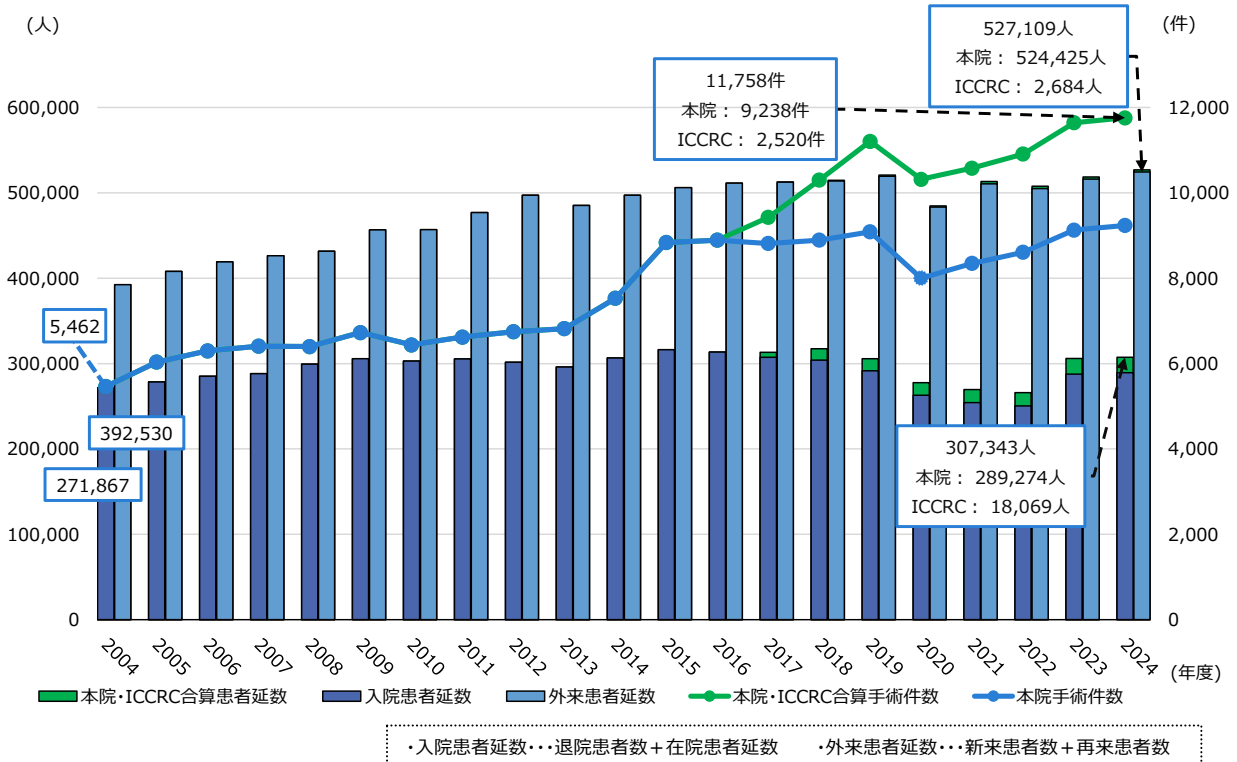
2025年5月1日現在

常勤医師数と常勤看護師数の推移



## 24-2 附属病院の患者数と総手術件数の推移

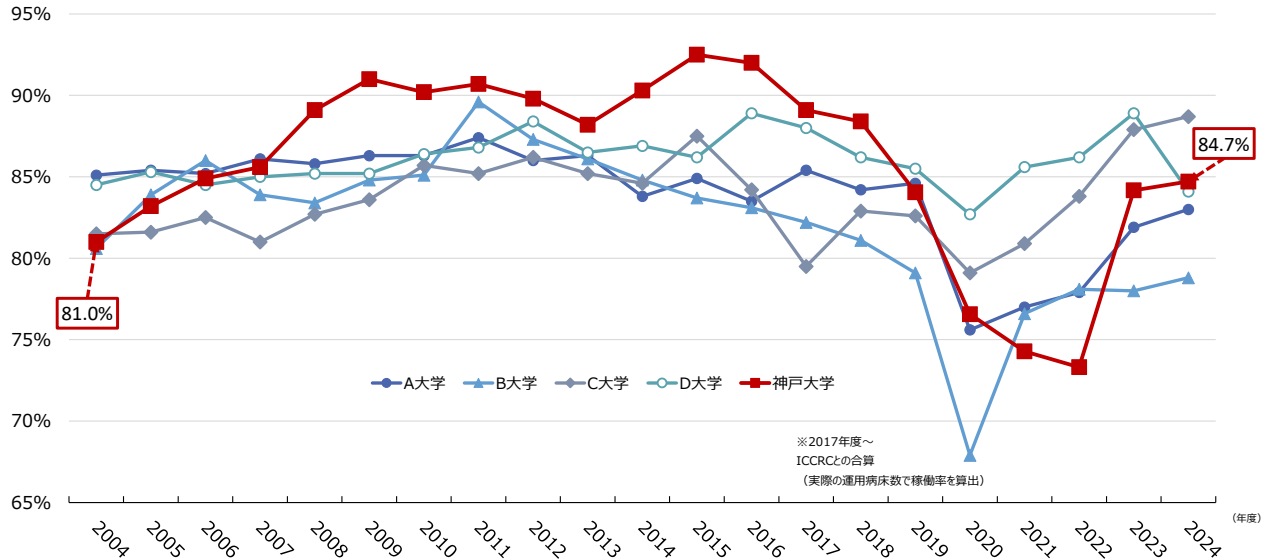
○ 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け減少したが、外来患者数は早期に回復し、2024年度の手術件数は2020年度以前の水準を超えた。



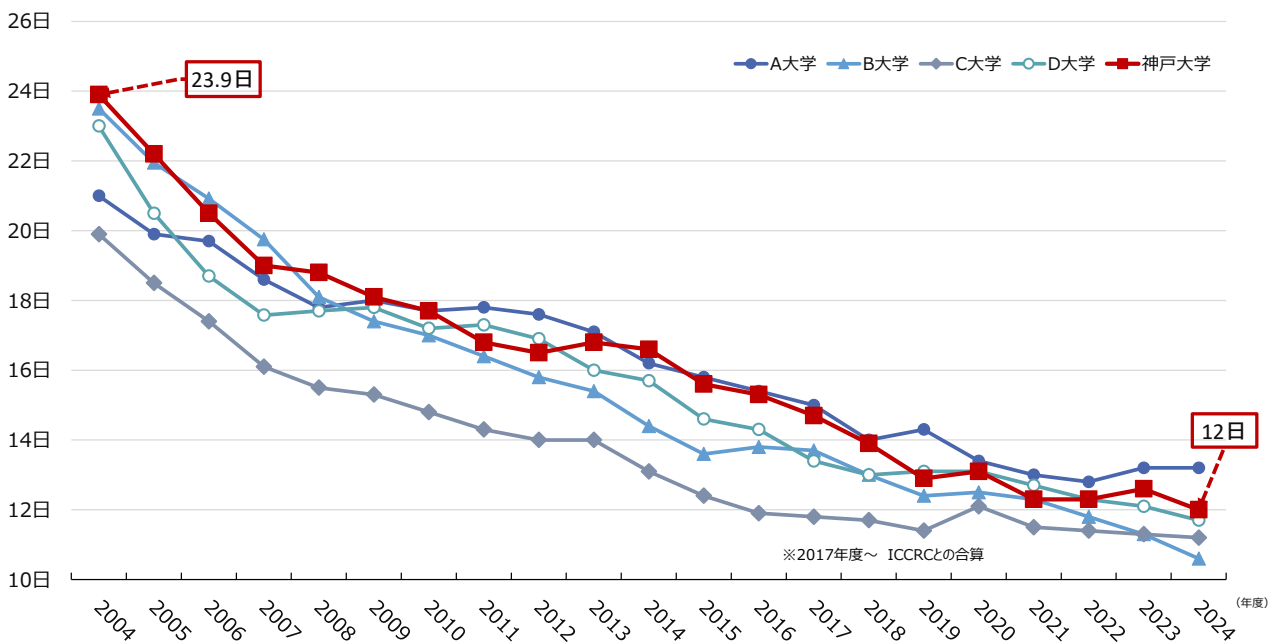
## 24-3 附属病院の病床稼働率・平均在院日数の推移

○ 本学の病床稼働率（24-3-1）は下落傾向が続いていたが、2023年度に大幅に上昇し、2024年度は84.7%となり引き続き上昇傾向にある。2024年度の平均在院日数（一般病床）（24-3-2）は12日となり、近年で最も短くなった。

24-3-1 病床稼働率の推移（2004～2024年度）  
病床数が同規模である国立5大学について比較



24-3-2 平均在院日数（一般病床）の推移（2004～2024年度）  
病床数が同規模である国立5大学について比較



《参考》 (千円)

大学名	病床数	運営費交付金 (令和6事業年度)	大学名	病床数	運営費交付金 (令和6事業年度)
A大学	1,086床	4,033,256	C大学	989床	4,448,795
B大学	999床	5,104,724	D大学	845床	2,827,580
<b>神戸大学</b>	<b>994床</b>	<b>2,847,564</b>			

出典（病床稼働率、平均在院日数（一般病床）、病床数）：この報告に用いたデータは、国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けたものである。（承認番号：202-20250821）

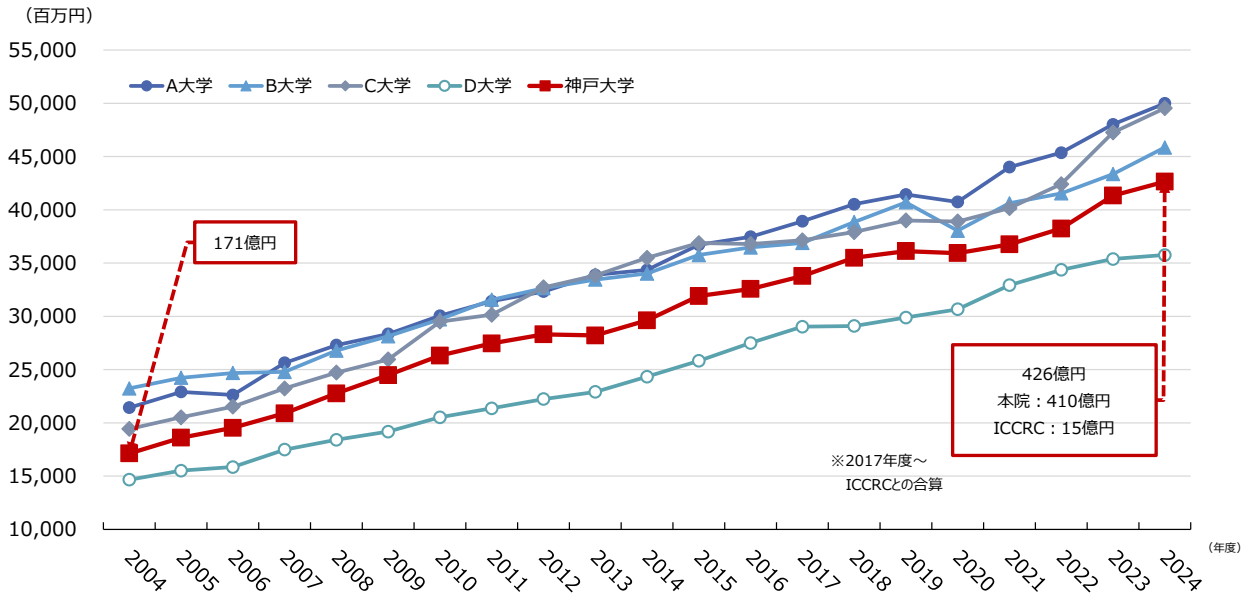
出典（運営費交付金）：各大学の財務諸表（附属病院の運営費交付金収益）

※本学の病床数は2025年5月1日時点の運用病床数

## 24-4 附属病院の診療報酬請求額の推移

○ 本学の2024年度診療報酬請求額は426億円であり、法人化時（2004年度）の約2.5倍となっている。

診療報酬請求額の推移（2004～2024年度）  
病床数が同規模である国立5大学について比較

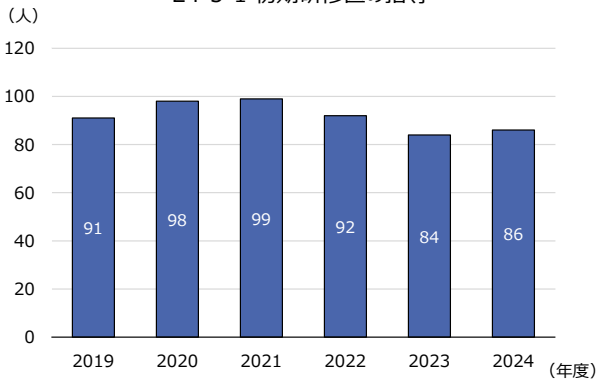


出典（診療報酬請求額）：この報告に用いたデータは、国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けたものである。（承認番号：202-20250821）

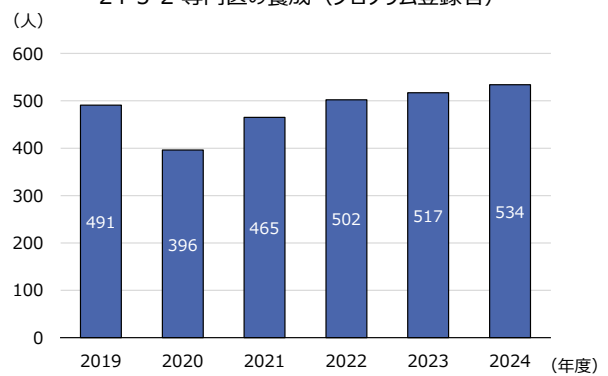
## 24-5 附属病院の取り組み —教育・研究への貢献—

○ 2024年度、本学では初期研修医（24-5-1）を86人受け入れ、専門医（24-5-2）を534人養成した。また、新薬等開発のための臨床試験（治験）（24-5-3）の件数は145件であった。

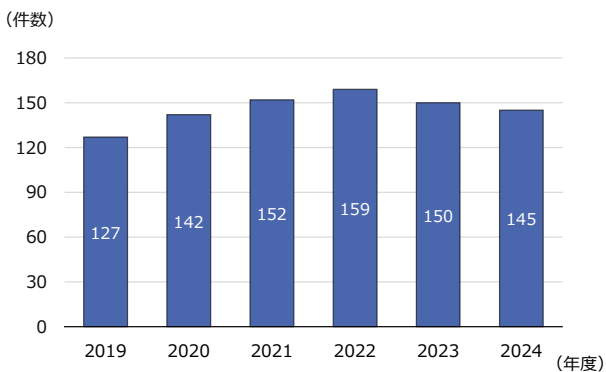
24-5-1 初期研修医の指導



24-5-2 専門医の養成（プログラム登録者）



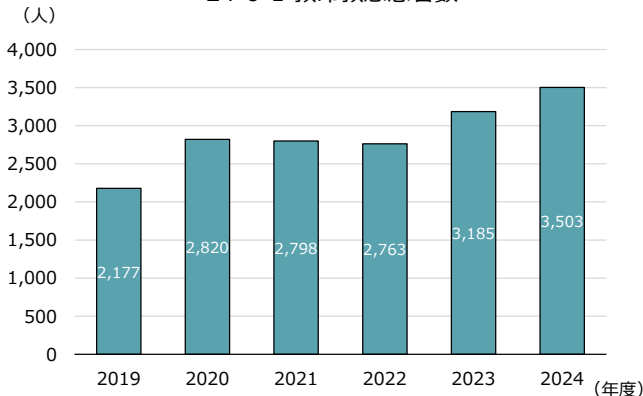
24-5-3 新薬等開発のための臨床試験（治験）



## 24-6 附属病院の取り組み —地域医療への貢献—

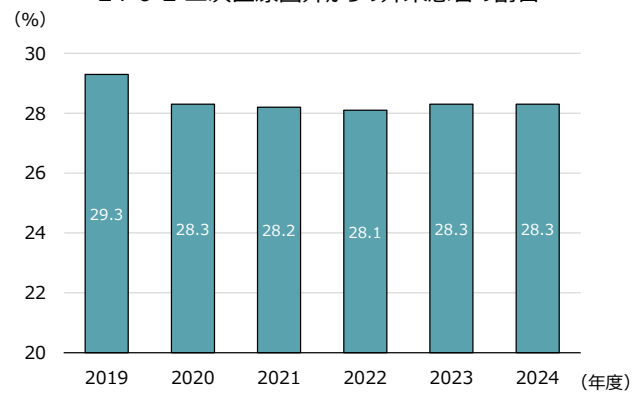
○ 毎年、恒常的に地域医療への貢献に取り組んでいる。とりわけ、救命救急患者（24-6-1）の積極的な受入れを進めている。

24-6-1 救命救急患者数

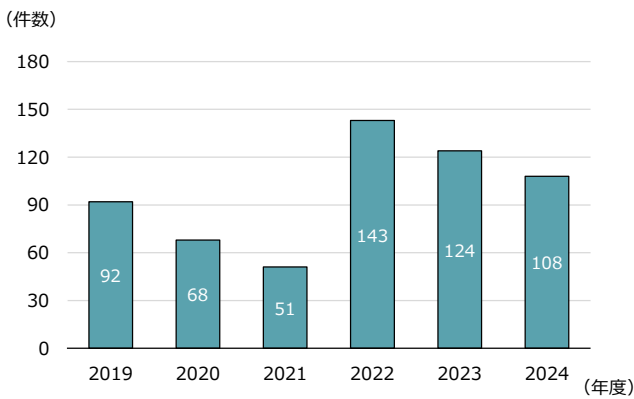


出典：国立大学病院データベースセンターHP

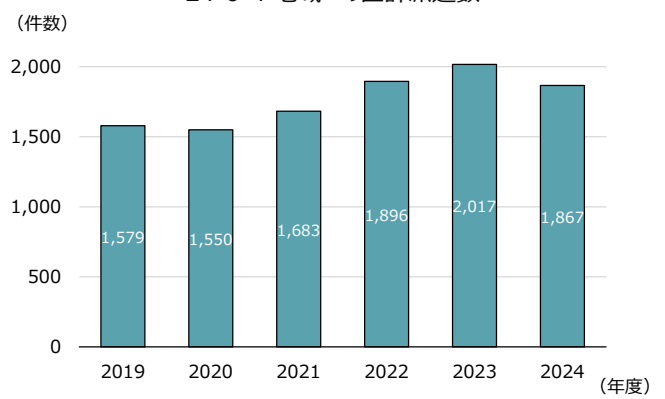
24-6-2 二次医療圏外からの外来患者の割合



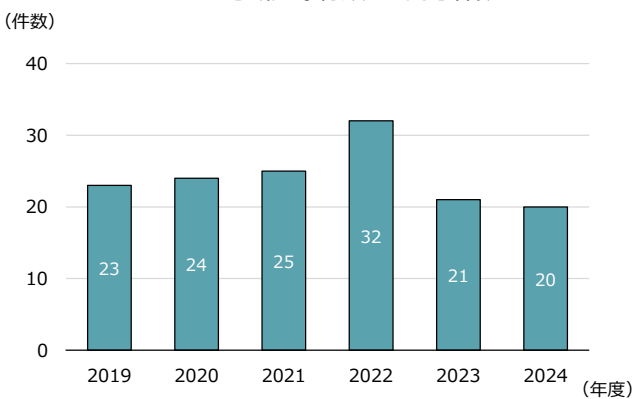
24-6-3 公開講座等（セミナー）の主催数



24-6-4 地域への医師派遣数



24-6-5 地域医療行政への関与件数



# 25. 附属学校

## 基本データ

25-1 2025年5月1日現在

附属学校園	生徒数	クラス数	教諭数
附属幼稚園	119	6	7
附属小学校	407	12	23
附属中等教育学校	709	18	47
附属特別支援学校	52	9	32
計	1,287	45	109

## 中等教育学校卒業生の進路状況

中等教育学校では、2015年3月に初めての卒業生を輩出し、それ以降主に大学等へ進学している。

25-2 2025年5月1日現在 単位：人

区分	2024年3月卒業			2025年3月卒業		
	男	女	計	男	女	計
国公立大学	28	29	57	27	23	50
海外の大学	0	0	0	0	0	0
私立大学（大学校含む）	9	6	15	8	17	25
短期大学	0	0	0	0	0	0
各種・専門学校	0	0	0	0	0	0
就職：企業等	0	0	0	0	0	0
就職：公務員	0	0	0	0	0	0
進学準備	17	16	33	22	14	36
卒業生数	54	51	105	57	54	111

## 教育実習等の実施

附属学校部では、神戸大学の学生を中心に教育実習や介護等体験を実施している。

## 神戸大学day等の開催

【神戸大学day】2025年5月実施

中等教育学校では、毎年、神戸大学の学部ガイダンスや講義を受講できる「神戸大学day」を実施しており、2025年度は、13の学部・学科の協力のもと中等教育学校で開催し、3・4・5年生の生徒342名が受講した。

【連携授業】2024年12月実施

2024年度に、経済学部と連携授業を開催し（神戸大学経済学部(六甲台第1キャンパス)で実施）、小学校及び中等教育学校から43名の児童生徒が参加し、大学の授業を受講した。



(文部科学省事業)

- 附属幼稚園・小学校
  - ・2013年度～2016年度 研究開発学校指定
  - （2017年度～2019年度 研究開発学校延長指定）
- 附属幼稚園
  - ・2024年度～2027年度 研究開発学校指定
- 附属中等教育学校
  - ・2013年度～2016年度 研究開発学校指定
  - （2017年度～2019年度 研究開発学校延長指定）
  - ・2015年度～2019年度 スーパーグローバルハイスクール (SGH) 指定
  - ・2020年度～2024年度 スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定
  - ・2025年度～2029年度 スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定

【主な進学先】

(国公立大学)

神戸大学、東京大学、京都大学、北海道大学、東北大学、名古屋大学、大阪大学、九州大学、富山大学、島根大学、広島大学、徳島大学、鹿児島大学、京都市立芸術大学、大阪公立大学、兵庫県立大学、奈良県立医科大学 他

(私立大学)

早稲田大学、同志社大学、立命館大学、関西学院大学 他

25-3 2025年5月1日現在

附属学校園	実習の種類	実習者数 (人)
附属幼稚園	教育実習	9
附属小学校		33
附属中等教育学校		60
附属特別支援学校	介護等体験	28
		115

## 海外交流事業

小学校においては、「グローバルキャリア人の基本的資質の育成」を目指し、2025年度はオーストラリアクイーンズランド州プリズブンのアイアンサイド校の受入れを行った。

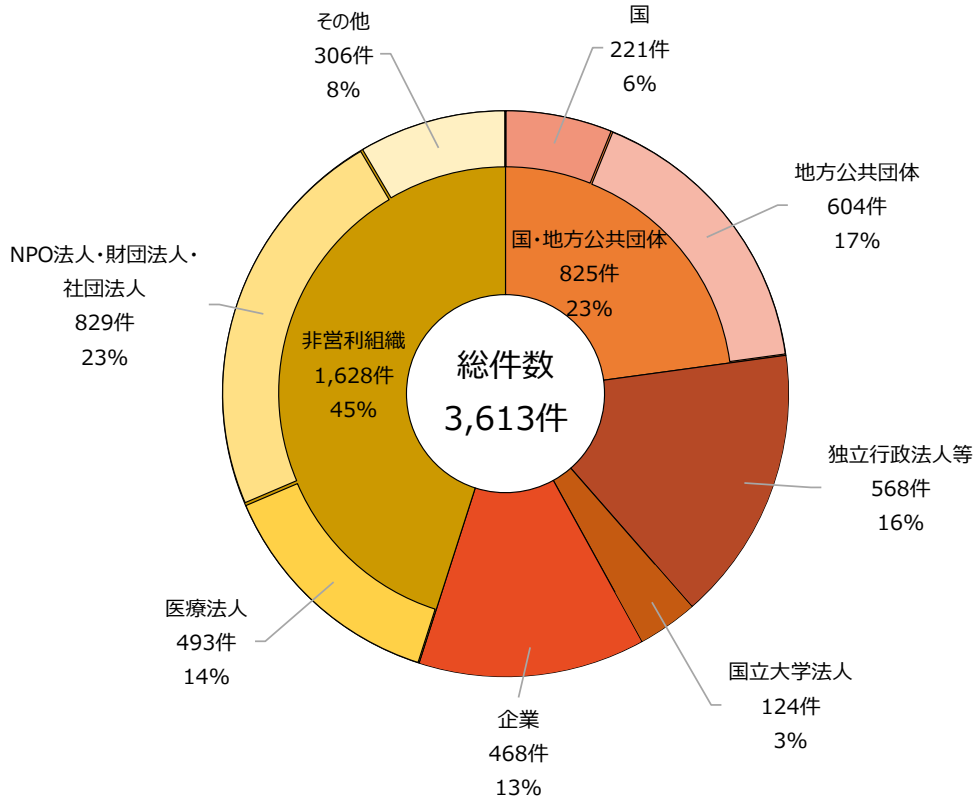
中等教育学校においては、2024年度、5名の生徒を「ASEP2024」参加のため、台湾の高雄師範大学附属高級中学校、高雄市立路竹高級中学校に派遣した。15名の生徒を英国研修に派遣し、交流協定校のComberton Village Collegeで課題研究の発表等の交流を行った。



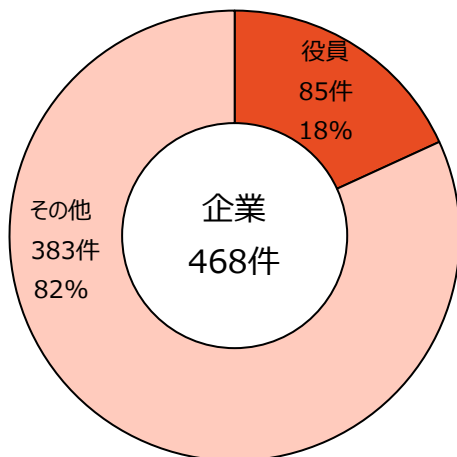
## 26. 学外機関への参画状況

- 本学教員の学外機関への参画状況（26-1）について、国・地方公共団体及び独立行政法人等への参画が39%、企業及び非営利組織への参画が58%となっている。
- 企業への参画件数（26-2）468件のうち、85件（18%）は役員としての参画である。

26-1 組織別参画状況（2024年度）



26-2 企業への参画状況（2024年度）



小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

2024年度に当該機関から委嘱されているものが対象（2024年以前より継続しているものを含む）。1教員が複数機関から委嘱されている場合については、複数カウントしている。

他大学等で教育に従事する者（非常勤講師等）及び、短期兼業は除く。

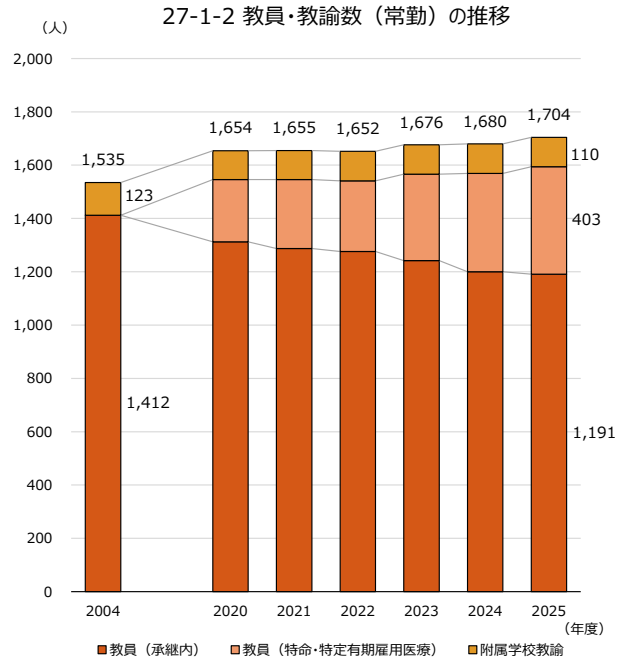
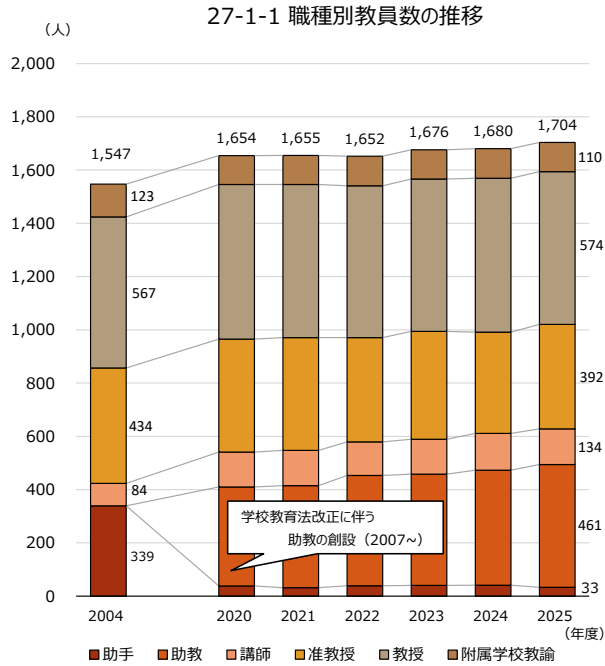
# 27. 教員

## 27-1 教員数の推移等

○ 法人化した2004年度以降、常勤教員のうち、承継内教員は減少する一方、特命教員及び特定有期雇用医療教員は増加している。

### 教員（神戸大学）

各年度5月1日現在

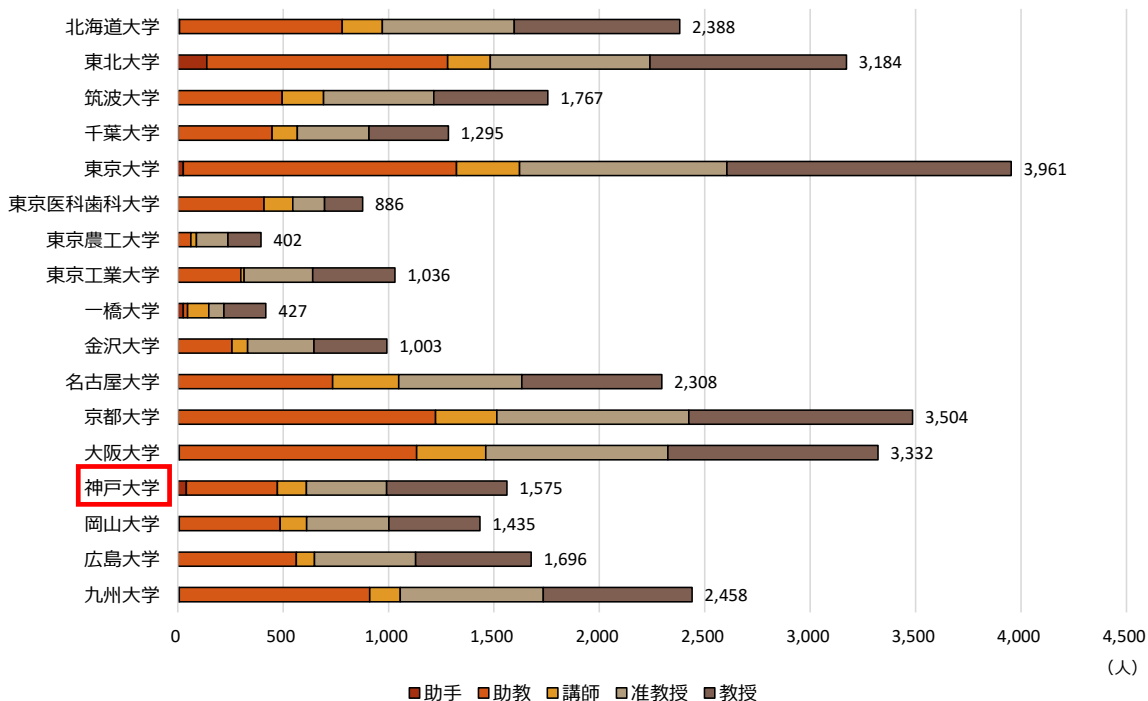


※1 (27-1-2) 2004年度のみ休職者を含まない現員数を記載している。  
 ※2 教員は役員を含まない。

### 教員（全国）

#### 27-1-3 教員数 17大学間の比較

2024年5月1日現在



出典：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」  
 \* 出典元のデータが統合前の各大学（東京医科歯科大学・東京工業大学）別となっているため、本学を含む17大学で比較しています。

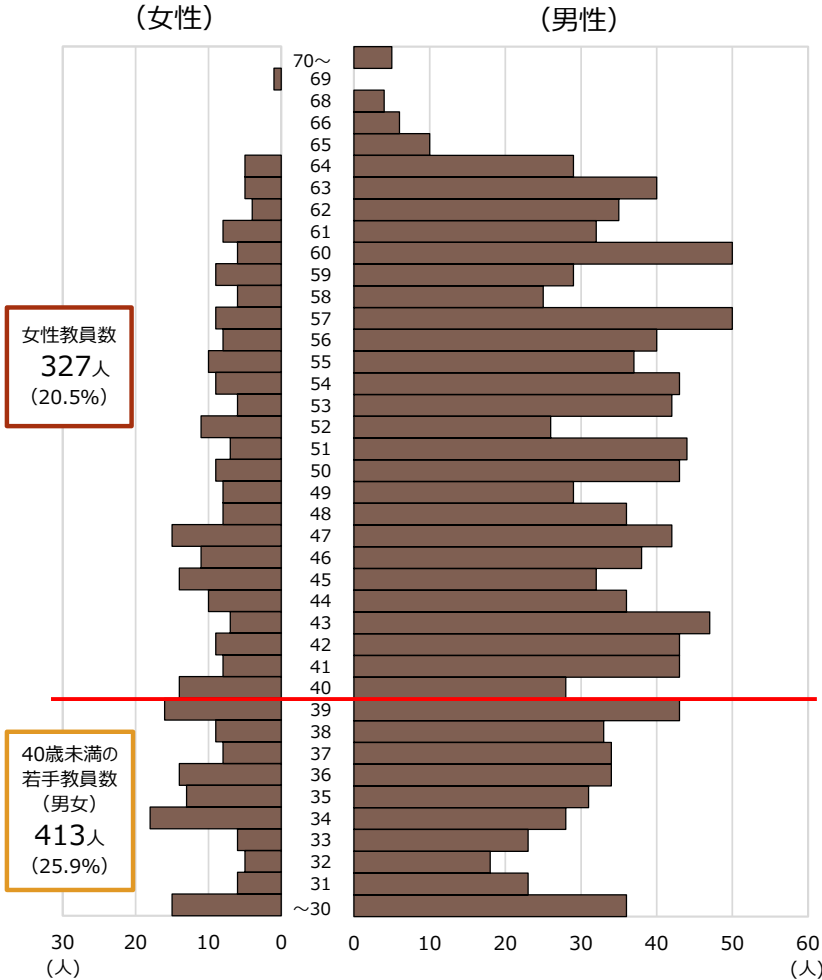
## 27-2 若手教員・女性教員の推移等

- 年齢が高くなるほど男性の比率が高くなっている（27-2-1）。
- 若手教員（40歳未満の教員）数・比率（27-2-2）及び女性教員数・比率（27-2-3）は、増加傾向にある。

各年度5月1日現在

27-2-1 男女別・年齢別・職種別教員数（神戸大学）

2025年5月1日現在



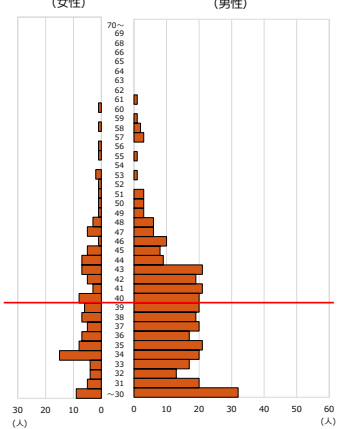
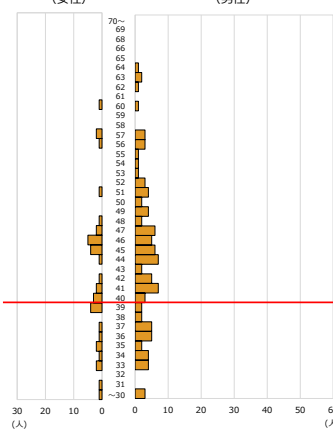
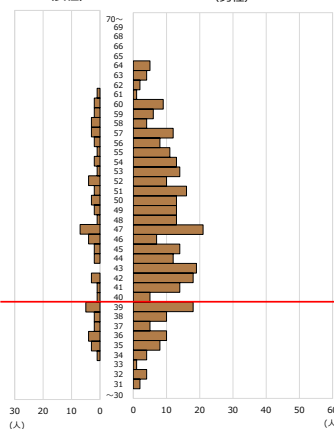
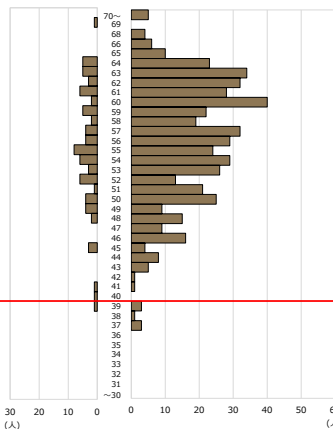
(職種別内訳)

27-2-4 教授 574人  
(女性 77人、13.4%  
若手 8人、1.4%)

27-2-5 准教授 392人  
(女性 66人、16.8%  
若手 79人、20.2%)

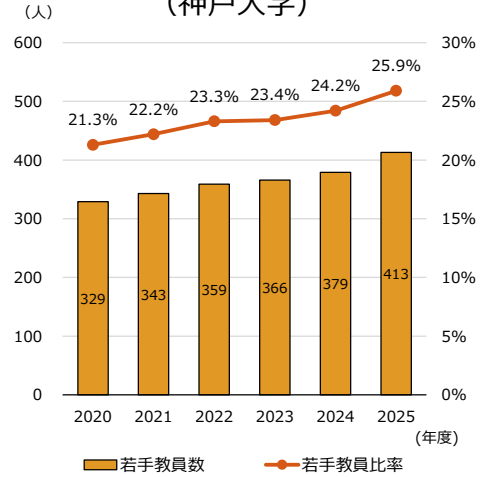
27-2-6 講師 134人  
(女性 37人、27.6%  
若手 40人、29.9%)

27-2-7 助教 461人  
(女性 124人、26.9%  
若手 269人、58.4%)

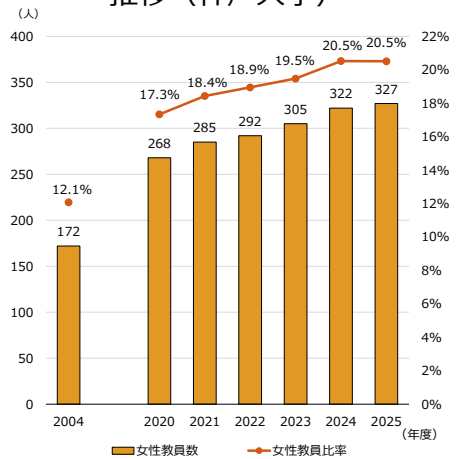


※その他：助手（33人）  
※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者は含む。

27-2-2 若手教員数・比率の推移（神戸大学）

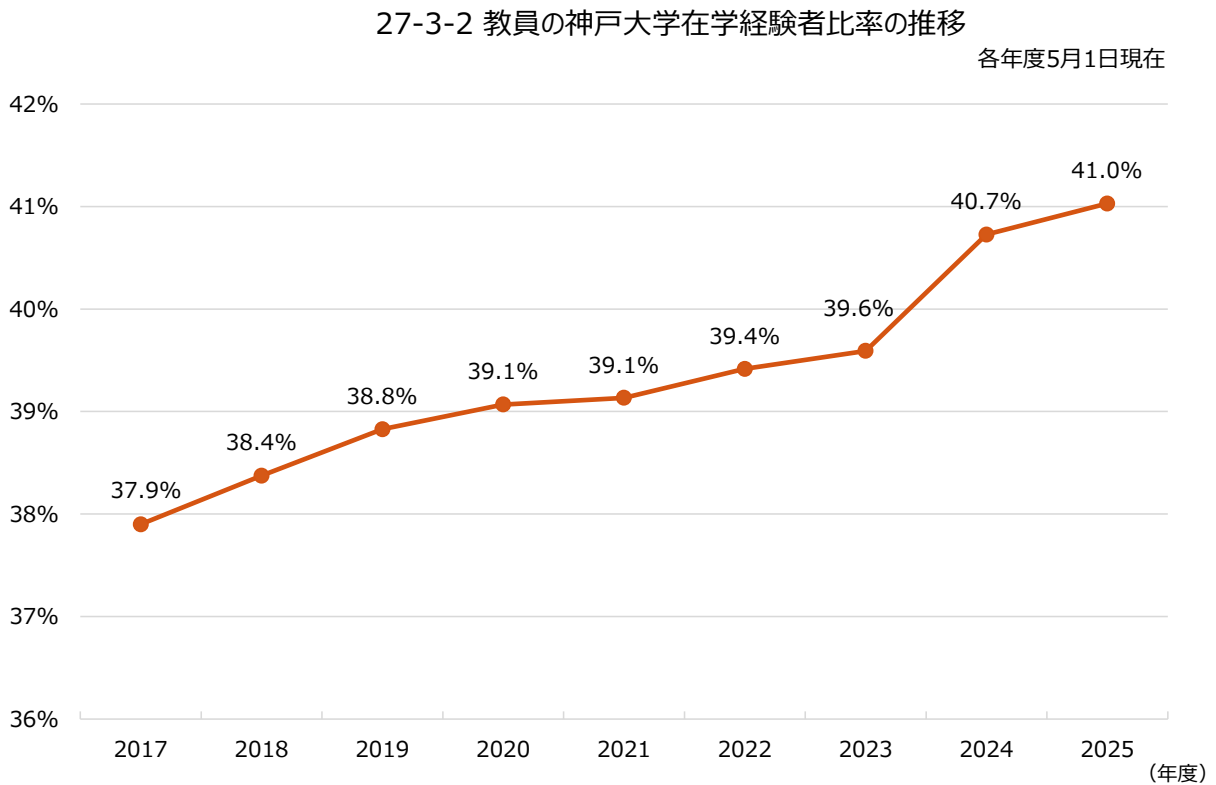
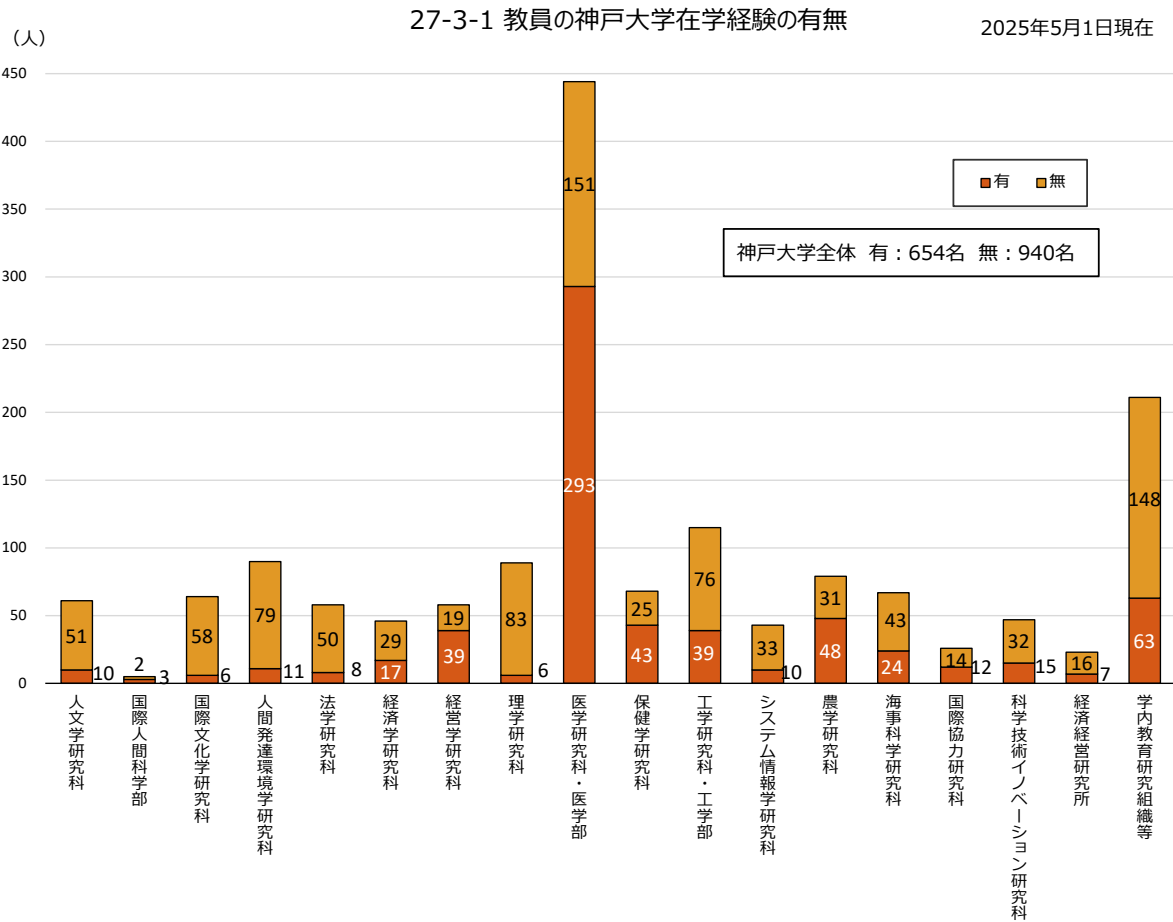


27-2-3 女性教員数・女性教員比率の推移（神戸大学）



## 27-3 教員の神戸大学在学経験者

○ 神戸大学在学経験者の比率（27-3-2）は増加傾向にあり、2024年度以降40%を超えている。



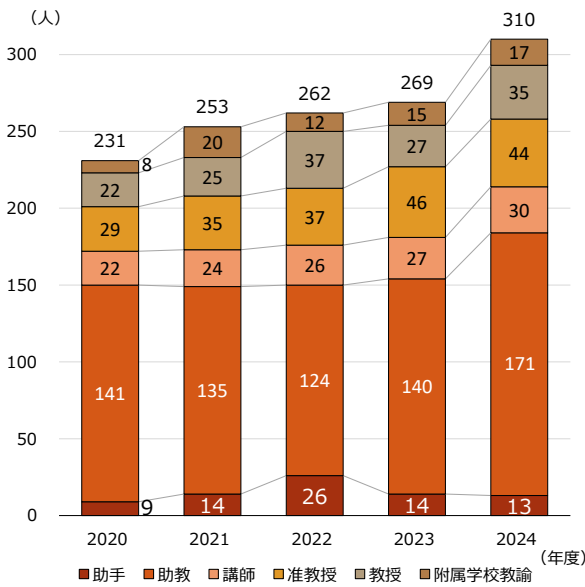
※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者は含む。

## 27-4 教員採用の推移

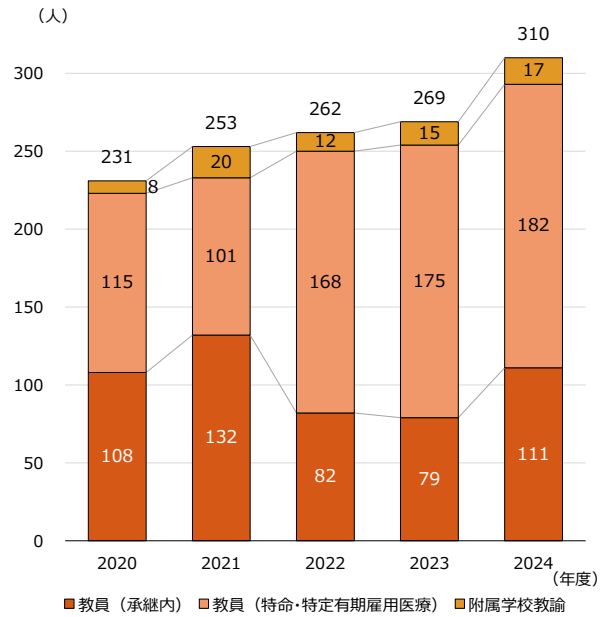
- 2024年度は前年度と比較して多くの職種で採用者が増加し、例年よりも増加率が高くなった（27-4-1、27-4-2）。
- 若手教員（40歳未満の教員）（27-4-3）及び女性教員（27-4-4）の採用比率は近年減少傾向にあったが、2024年度はそれぞれ増加に転じた。

各年度5月1日現在

27-4-1 職種別教員採用数の推移  
(神戸大学)

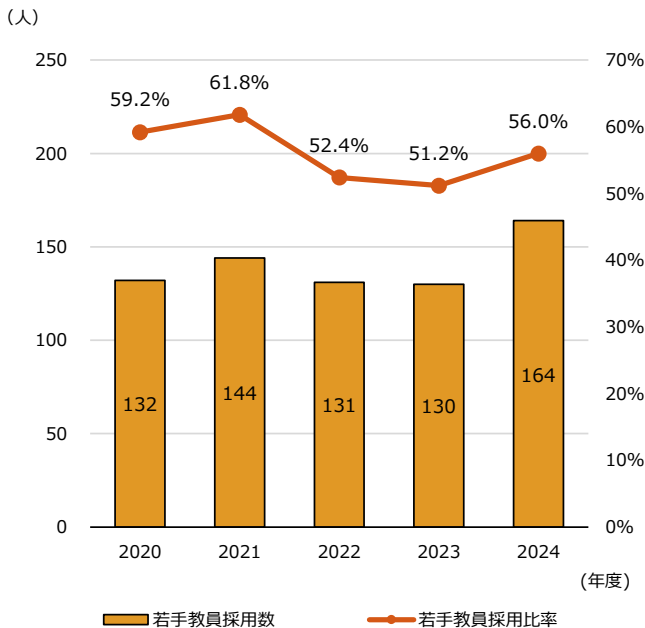


27-4-2 教員・教諭採用数（常勤）の推移  
(神戸大学)

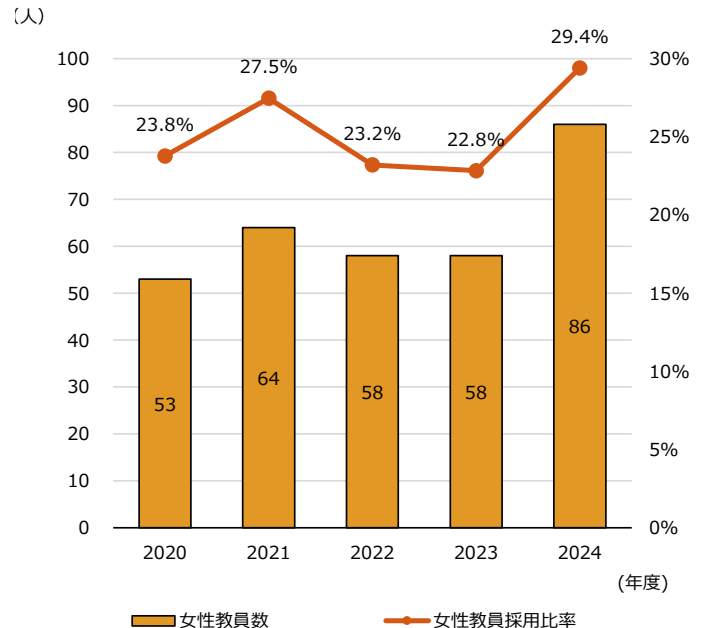


※特命教員等の昇任等に伴う退職・採用のケースを含む。

27-4-3 若手教員採用数・比率の推移  
(神戸大学)



27-4-4 女性教員採用数・比率の推移  
(神戸大学)

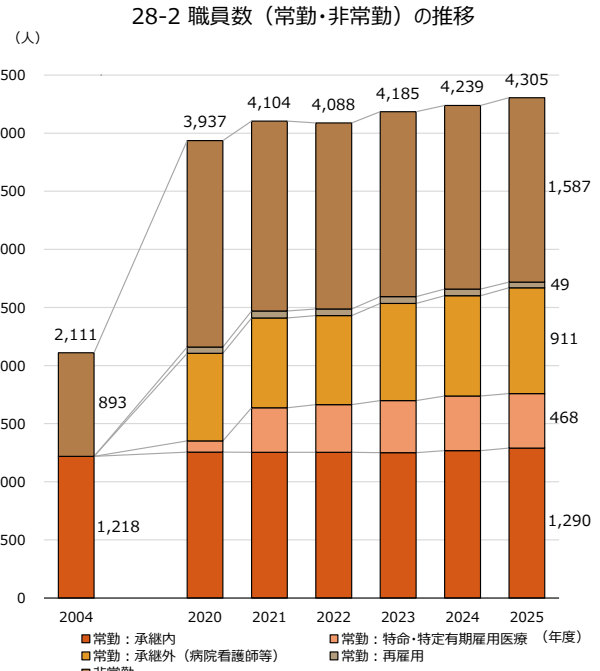
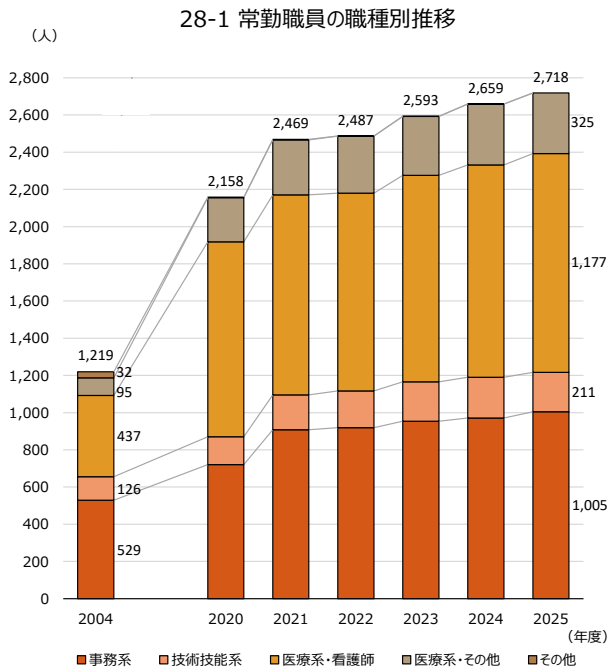


# 28. 職員

- 職種別（28-1）では、法人化した2004年度と比べ、医療系職員が大幅に増加している。
- 雇用形態別（28-2）では、法人化時と比べ、非常勤職員が大幅に増加している。また、雇用形態の多様化により常勤職員も増加している。
- 女性職員（28-4）については、法人化時と比べ、人数・割合ともに大幅に増加しており、近年も増加し続けている。

## 職員（神戸大学）

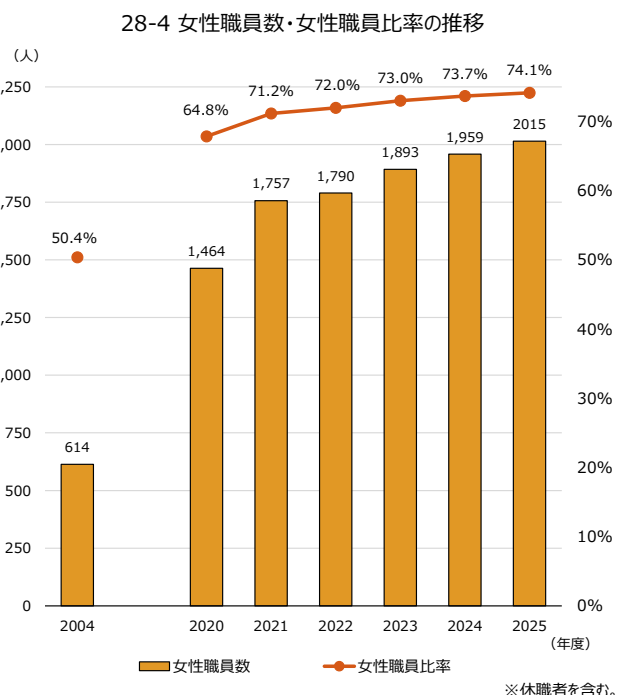
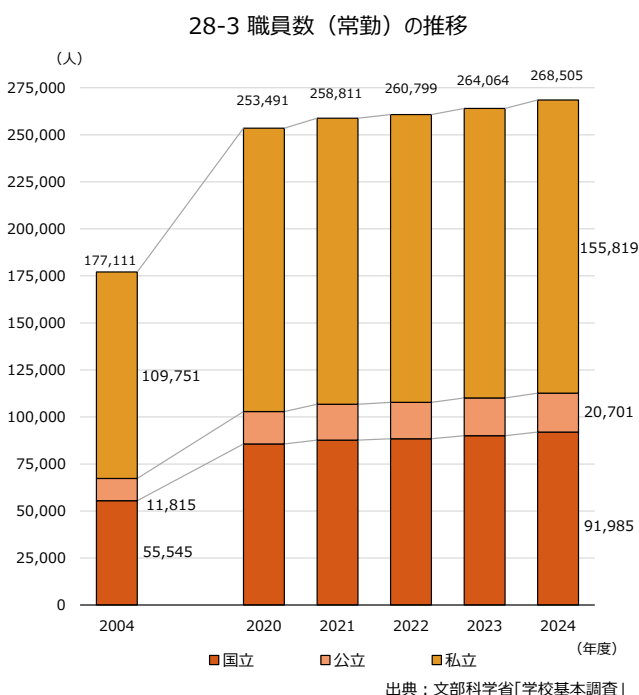
各年度5月1日現在



※（28-2）2004年度のみ休職者を含まない現員数を記載している。

## 職員（全国）

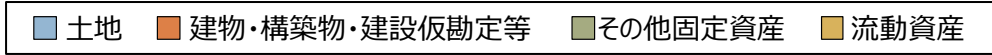
## 女性職員数・女性職員比率の推移（神戸大学）



# 29. 財務

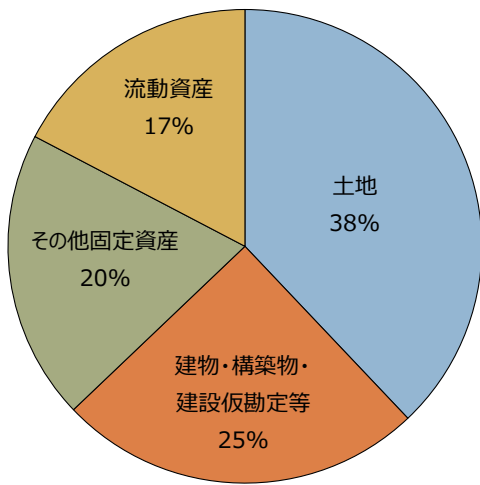
## 29-1 貸借対照表の概要

○ 土地・建物等が総資産に占める割合は約63%となっている。2004年度と比較して建物等が大きく減少する一方、近年、特に流動資産が増加している。



29-1-1 2024年度 総資産額

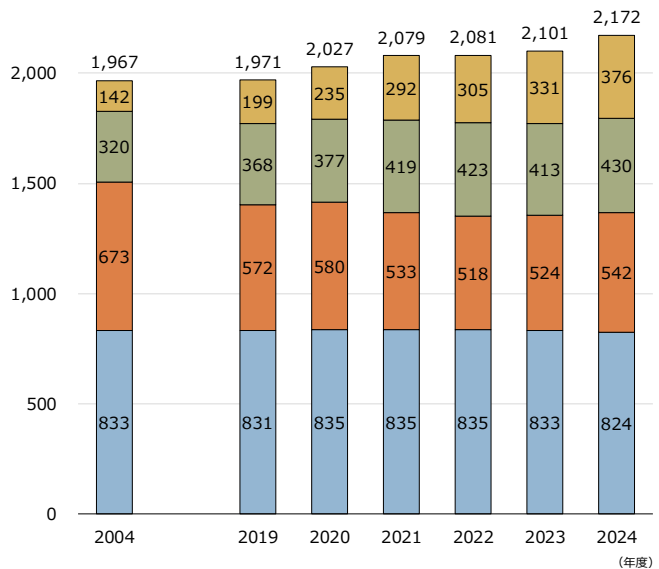
2,172億円



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

29-1-2 総資産額の推移

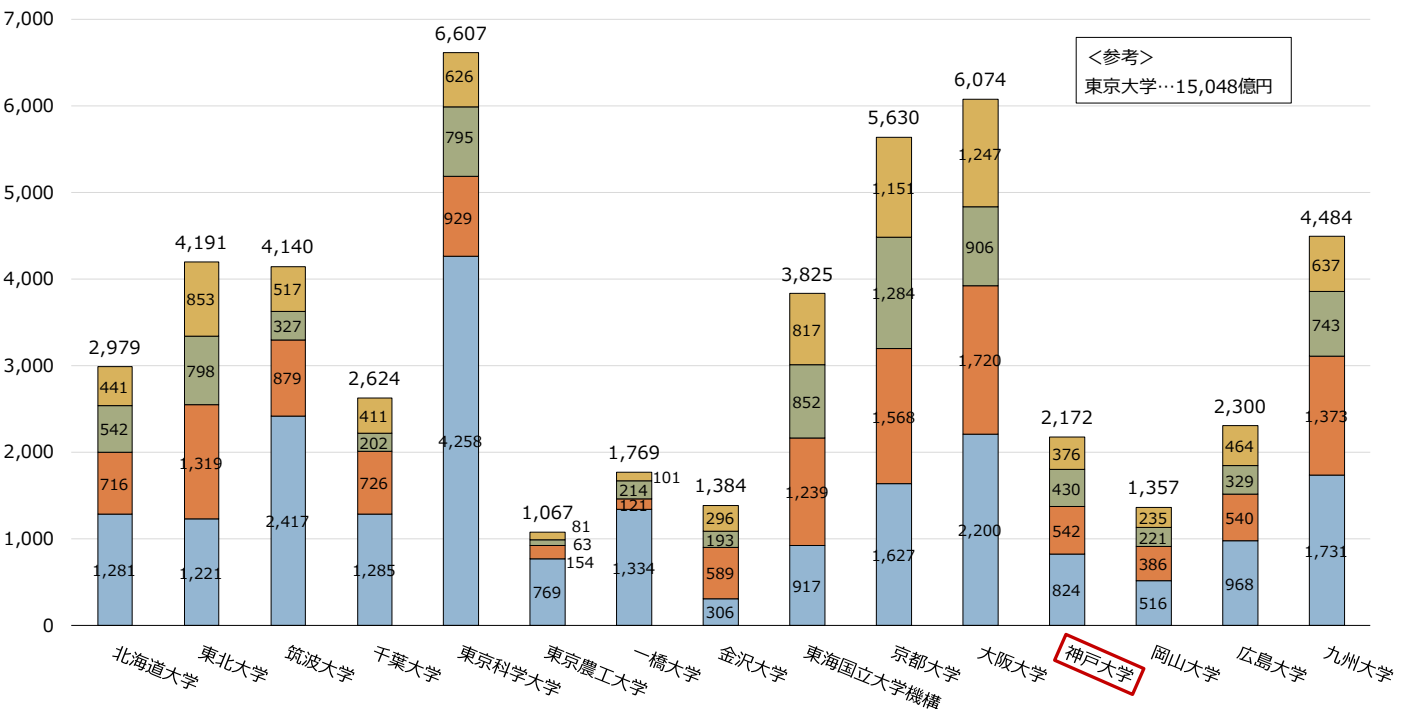
(億円)



(2025年3月31日時点)

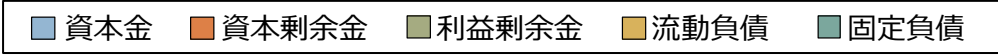
29-1-3 16大学間の比較 (総資産)

(億円)

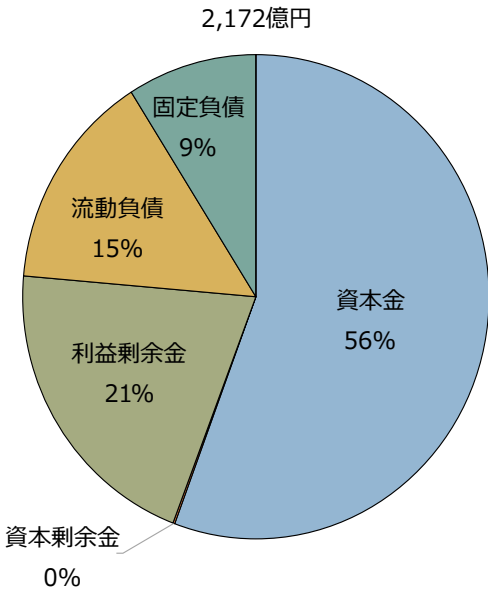


※2024年10月より東京医科歯科大学と東京工業大学が統合。東京科学大学となる。  
参考：東京大学 令和6年度財務諸表

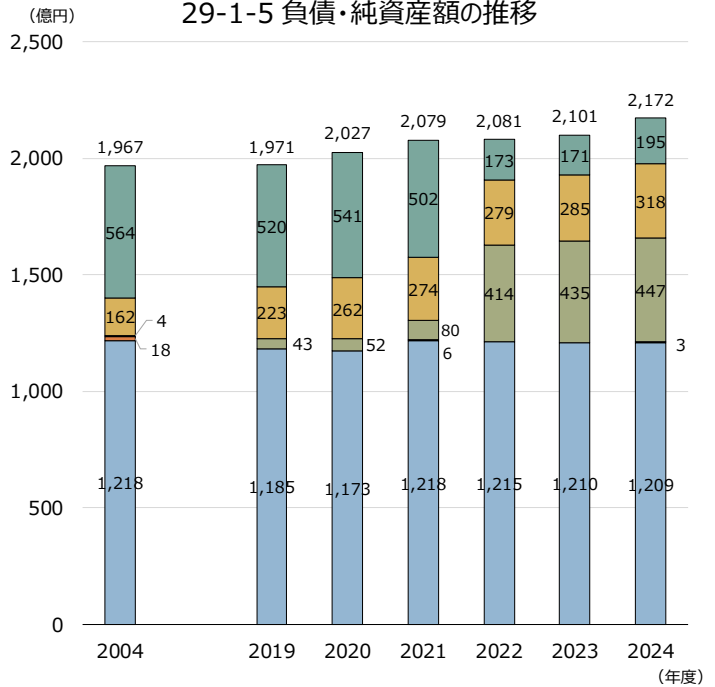
- 資本金は全額、国からの出資であり、法人化以降で大きな変動はない。
- 負債は2022年度の会計基準の改訂に伴い、資産見返負債を臨時利益に振り替えたため、固定負債が減少している。



29-1-4 2024年度 負債・純資産の内訳



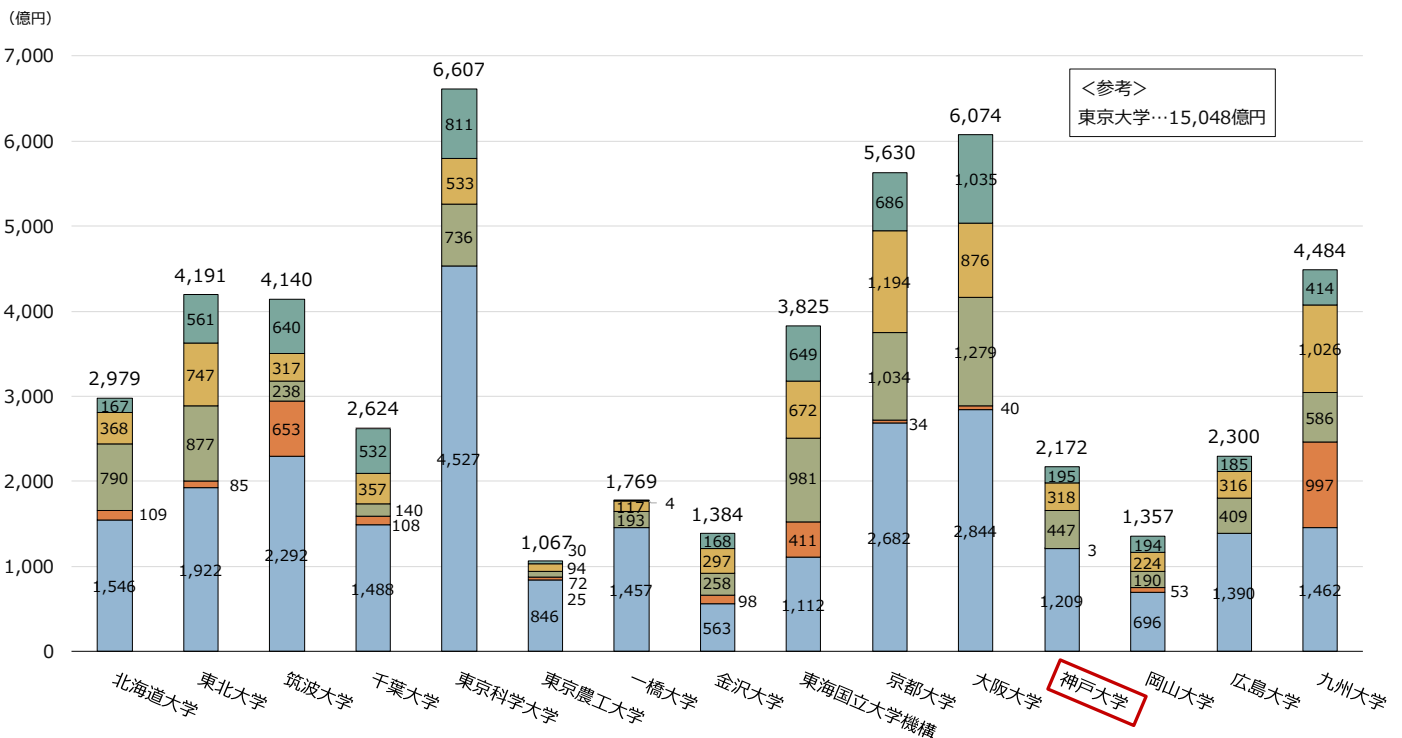
29-1-5 負債・純資産額の推移



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

(2025年3月31日時点)

29-1-6 16大学間の比較 (負債・純資産)



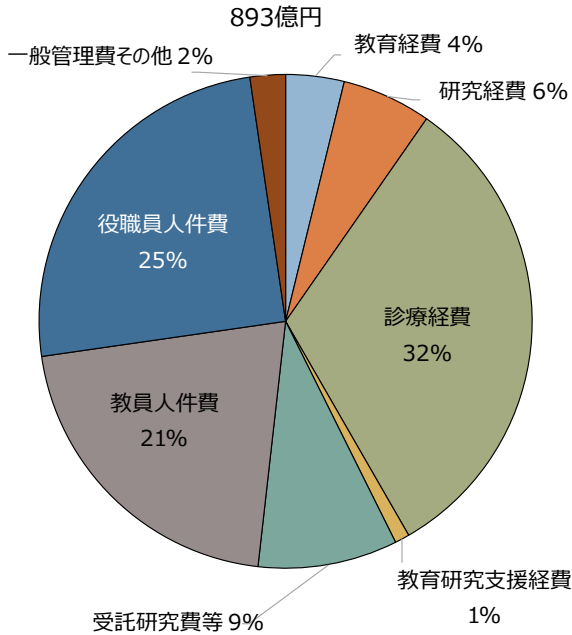
※資本剰余金がマイナスの大学は、グラフ上では資本金から除いて表示。  
 ※2024年10月より東京医科歯科大学と東京工業大学が統合。東京科学大学となる。  
 参考：東京大学 令和6年度財務諸表

## 29-2 損益計算書の概要

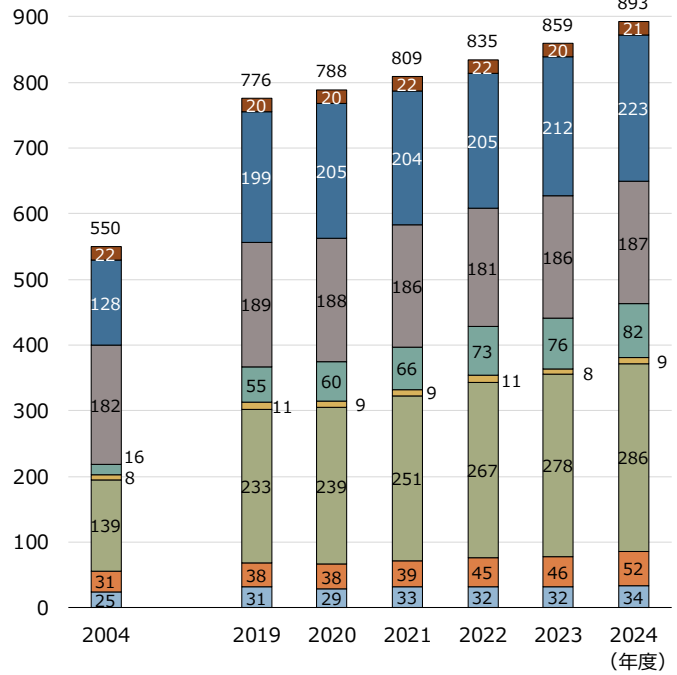
○ 2004年度と比較すると、診療経費、受託研究費等、役職員人件費の増加に伴い、経常費用の規模が約1.6倍に増加している。



29-2-1 2024年度 経常費用の内訳



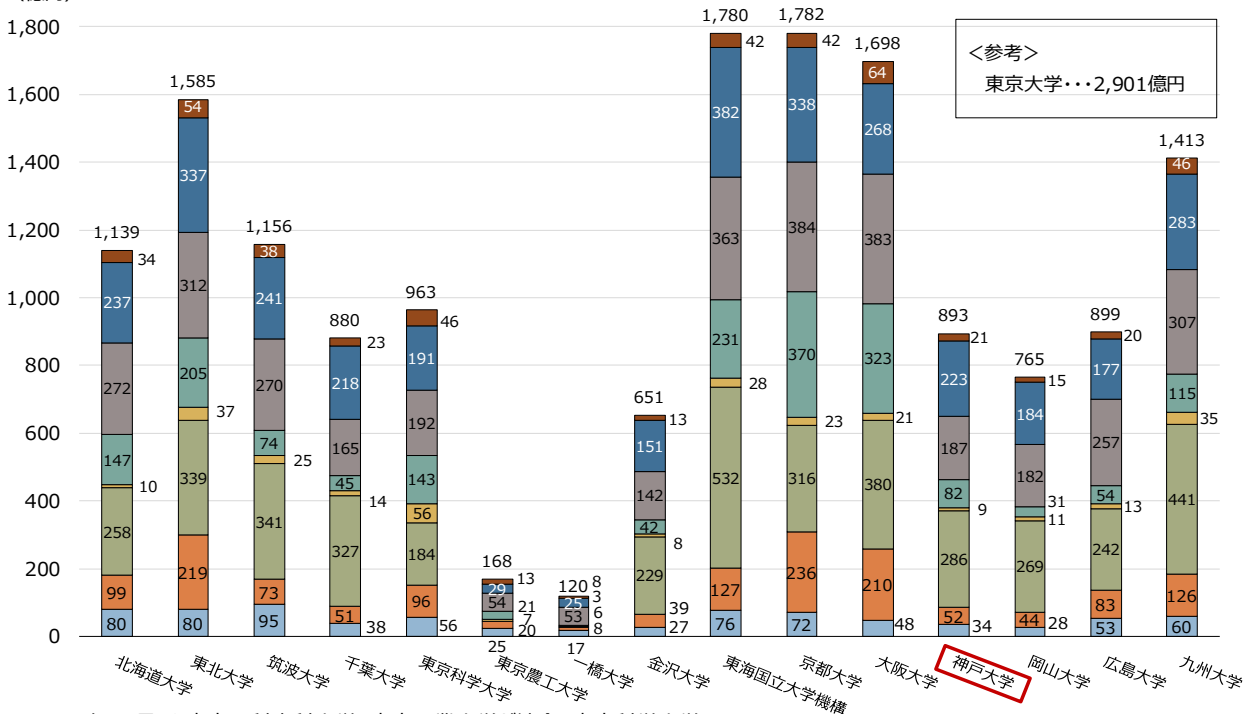
29-2-2 経常費用の推移 (億円)



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

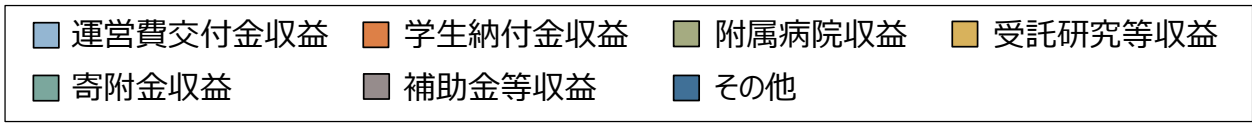
(2024年度)

29-2-3 16大学間の比較 (経常費用)

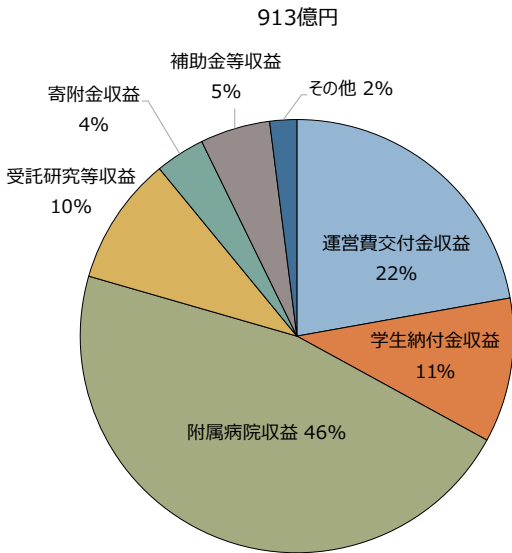


※2024年10月より東京医科歯科大学と東京工業大学が統合。東京科学大学となる。

○ 2004年度と比較すると、附属病院収益や受託研究等収益の増加に伴い、経常収益の規模が約1.7倍に増加している。

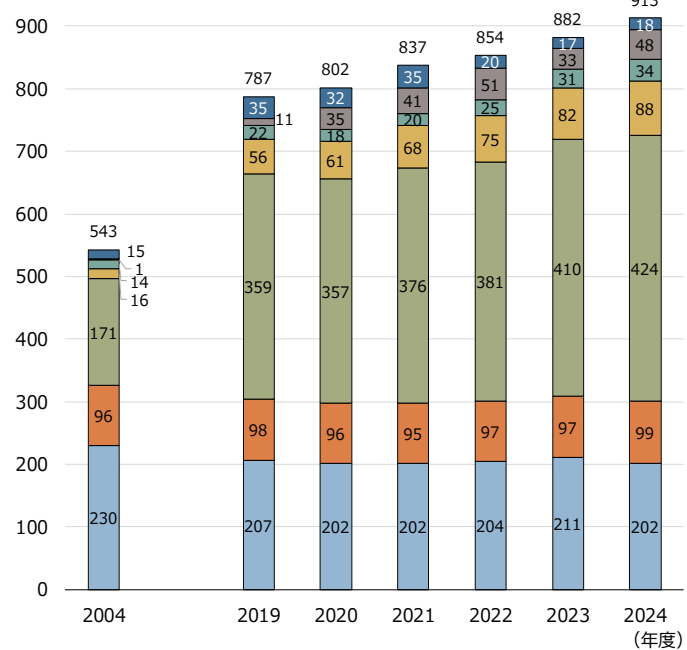


29-2-4 2024年度 経常収益の内訳



(億円)

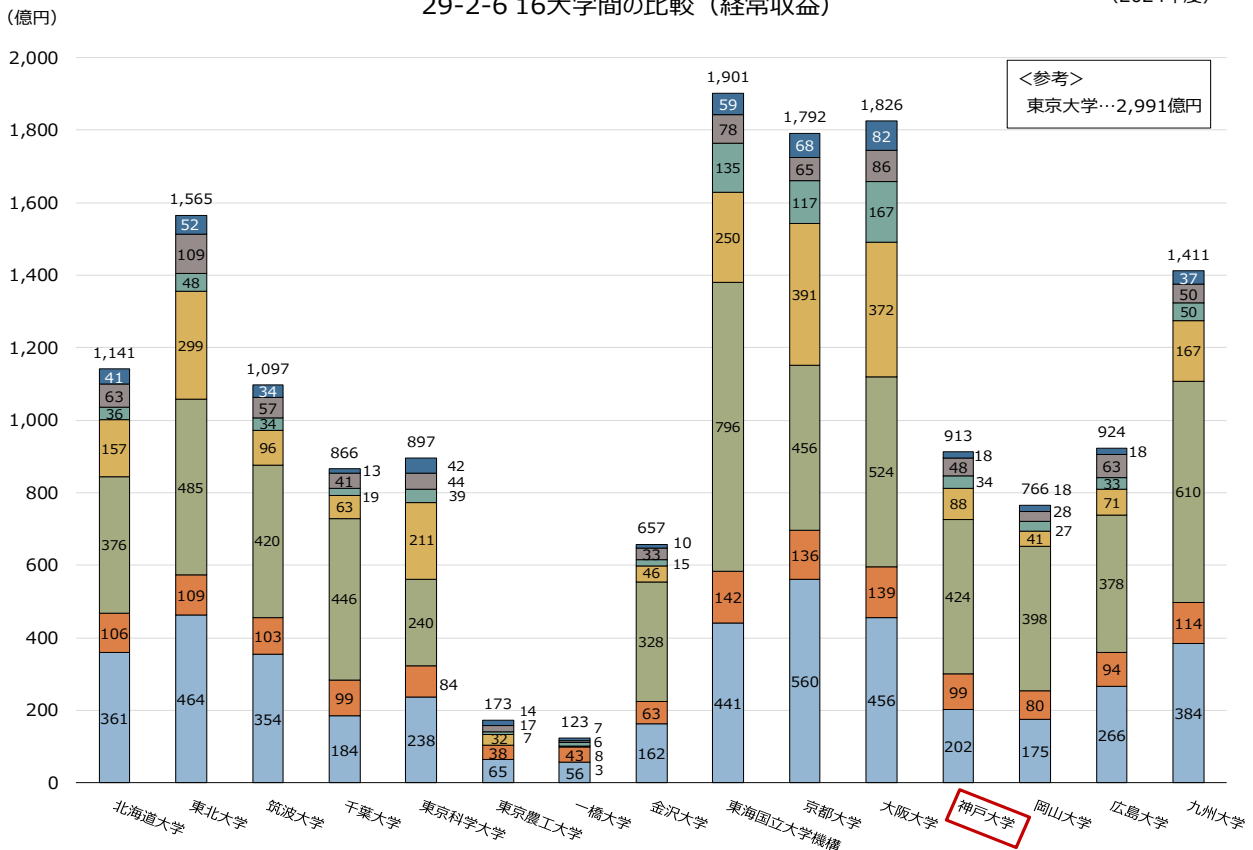
29-2-5 経常収益の推移



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

29-2-6 16大学間の比較 (経常収益)

(2024年度)



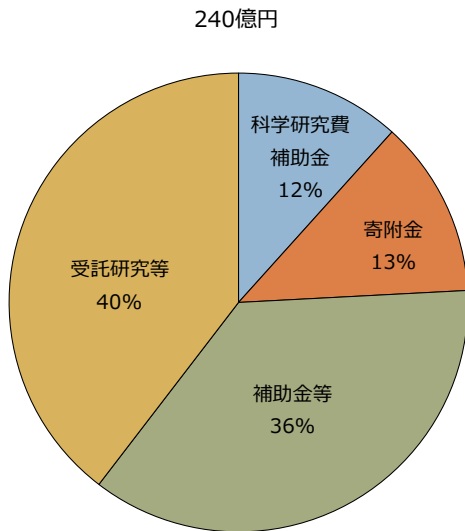
※2024年10月より東京医科歯科大学と東京工業大学が統合。東京科学大学となる。

## 29-3 外部資金受入れ状況

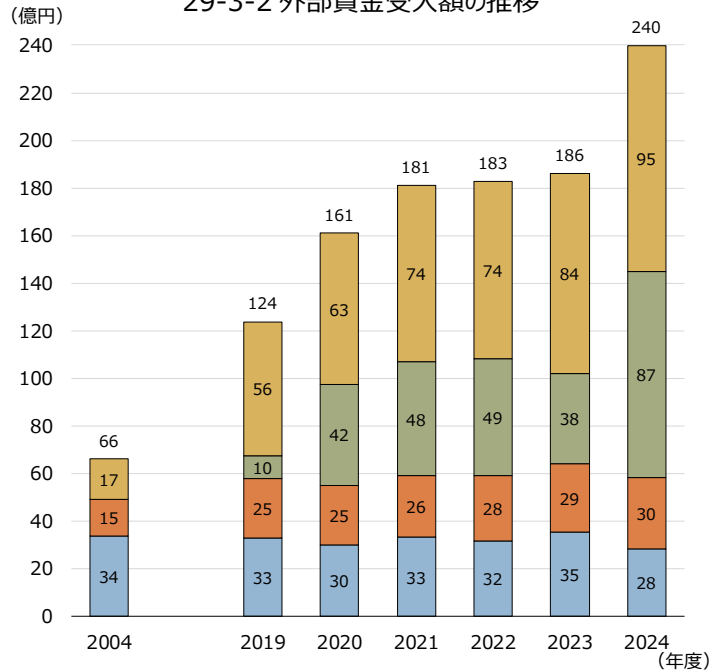
○ 2024年度の外部資金受入額は、前年度と比較すると大きく増加しており、特に受託研究等、補助金等の増加が顕著である。



29-3-1 2024年度外部資金受入額の内訳



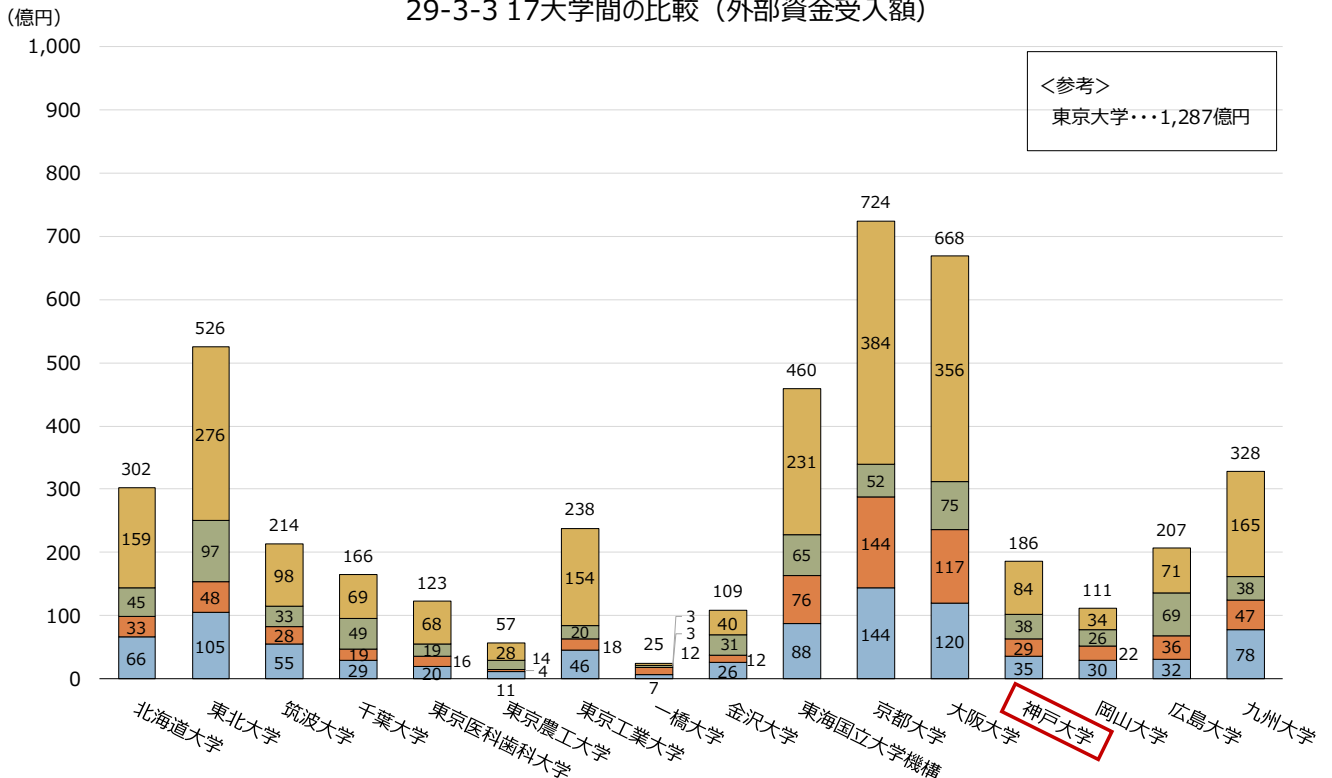
29-3-2 外部資金受入額の推移



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

29-3-3 17大学間の比較 (外部資金受入額)

(2023年度)



※2024年10月より東京医科歯科大学と東京工業大学が統合。東京科学大学となるが、本データは2023年度のため、統合前を表示している。

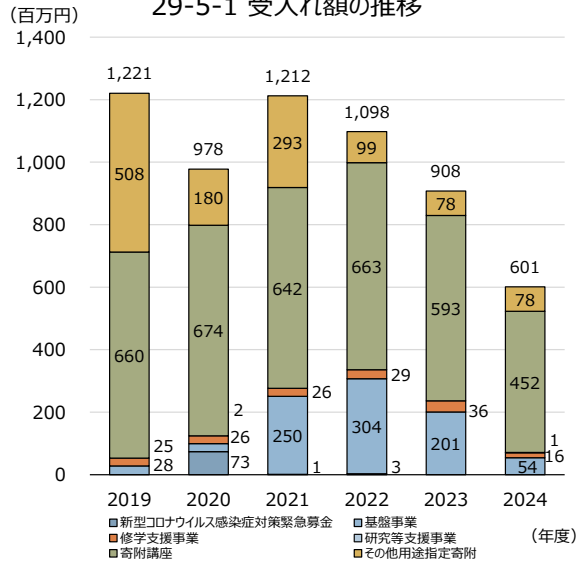
## 29-4 補助金・受託研究等による主な採択プログラム一覧

事業・プログラム名/取組名	実施担当部局	代表者名	2024年度 受入金額 (千円)	採択期間 (年度)
人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業				
地域/社会課題を解決する対話型ビジネス価値共創人材養成のための価値創発から社会実装までの一貫教育プログラム	経営学研究科	國部 克彦	40,000	2023～2028
国際協力における価値共創高度人材育成に向けたグローバルネットワーク型共同教育研究プログラム	国際協力研究科、 国際文化学研究科	玉置 久	40,000	2024～2029
大学の世界展開力強化事業				
異分野共創によるリスク・マネジメント専門家養成共同教育プログラム	国際協力研究科	木村 幹	11,109	2021～2025
世界的課題解決に向けた工学系グローバル人材育成のための国際共修/協働学修プログラム	工学研究科	大村 直人	14,953	2022～2026
「食」を通して持続可能な世界を実現する グローバル人材育成のための異分野共修型国際プログラム	農学研究科 ほか	玉置 久	33,190	2023～2027
大学の世界展開力強化事業（補正予算事業） ASEAN諸国からの留学生受入、定着促進のためのシステム構築等支援				
平和のための国際開発協力	国際協力研究科	木村 幹	45,000	2024
質の高い臨床教育・研究の確保事業				
ICTの包括的導入による業務最適化に時短女性医療者活用とシミュレーション教育の拡充を組み合わせた次世代の医学部教育・研究体制の確立	医学研究科	村上 卓道	30,000	2023～2025
次世代研究者挑戦的研究プログラム				
次世代研究者挑戦的研究プログラム異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト	キャリアセンター	神戸大学長	687,300	2021～2026
国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業 次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）				
異分野協働・共創による次世代AI卓越博士人材育成プロジェクト	キャリアセンター	神戸大学長	7,800	2024～2028
地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）				
バイオものづくりの卓越した基礎研究と社会実装の両輪で世界をリードするイノベーションを継続的に創出する地域中核のグローバル・イノベーション・キャンパス	産官学連携本部	河端 俊典	5,579,000	2023～2028
ムーンショット型研究開発事業				
こころの可視化と操作を可能にする脳科学的基盤開発	医学研究科	内匠 透	42,000	2022～2024
子どもの虐待・自殺ゼロ化社会	医学研究科	菱本 明豊	27,920	2023～2024
国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）				
フードエステート廃棄物の変換技術によるバイオ循環経済の樹立	工学研究科	荻野 千秋	17,009	2024～2028
国立大学経営改革促進事業				
社会変革を先導する「異分野共創研究教育グローバル拠点」の形成に向けた経営改革	-	神戸大学長	306,500	2022～2025
大学・高専機能強化支援事業				
神戸大学システム情報学カレッジ構想による高度情報専門人材の育成	-	神戸大学長	385,200	2023～2032
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業				
ADRESサイクルによる輝く女性リーダー活躍促進プログラム	女性リーダー育成推進室	神戸大学長	24,622	2024～2029

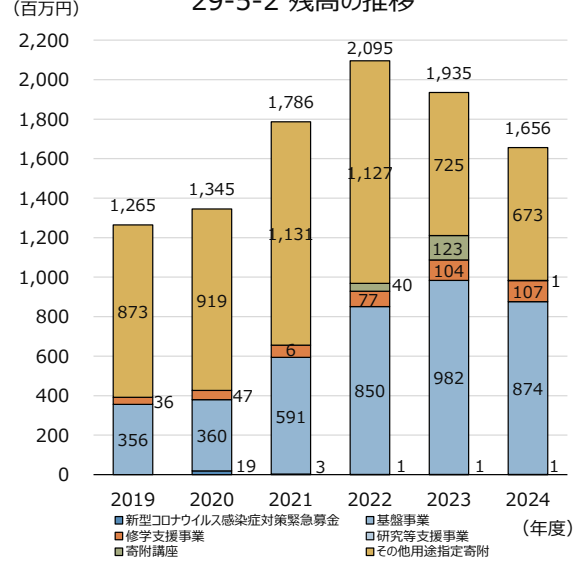
## 29-5 神戸大学基金

○ 2006年12月に設置された「神戸大学基金」で多くの支援を賜り、様々な分野において活用されている。2024年度は、2019年度から2023年度まで実施した「創立120周年記念募金」の終了に伴い、前年度に比べ寄附受入れ額が減少した。

29-5-1 受入れ額の推移



29-5-2 残高の推移



※2019年度は神戸大学創立120周年記念事業「神戸大学パリュースクール」設立に伴う寄附金により、一時的にその用途指定寄附が増加。  
 ※2022年は神戸大学創立120周年の年であったことから、2021年度から2023年度にかけて募集した120周年記念基盤事業への寄附が増加。  
 ※2025年1月より研究等支援事業への寄附受入れを開始。

※寄附講座については、原則、年度ごとに全額予算振替のため残高に計上されない。  
 ※2022年度はコロナ禍の影響等で支出が抑えられたことにより寄付金残高が増加。  
 ※その他用途指定寄附についてはクラウドファンディングにかかる寄附金を含む。  
 (2019年度：2百万円、2020年度：30百万円、2021年度：14百万円、2022年度：2百万円、2023年度：4百万円、2024年度：11百万円)

### 「基盤事業（120周年記念基盤事業含む）」及び「修学支援事業」による学生への支援実績

#### 基盤事業（120周年記念基盤事業含む）による支援【3,323万円】

- 課外活動支援  
【支援数 38団体】
- 学生の国際化対応（海外留学・派遣支援）  
【利用者数 15名】
- 災害関連ボランティア活動支援  
【派遣学生数 延べ480名／年間】
- 海外からの優秀な留学生の受入  
【利用者数 155名】

#### 修学支援事業による支援【1,295万円】

- 「神戸大学基金」緊急奨学金  
【支給者数 5名】
- 「神戸大学基金」奨学金（学部新1年次生対象）  
【支給者数 78名】

#### 参考：ネーミングライツによる外部資金（2018年度～2024年度）【累計10,231万円】

※近年、積極的に実施しているネーミングライツ事業による外部資金は、神戸大学基金ではないが基金に類するものとして記載した。

2018年度：【196万円】	延べ3件実施	2022年度：【2,515万円】	延べ11件実施
2019年度：【474万円】	延べ4件実施	2023年度：【2,874万円】	延べ13件実施
2020年度：【745万円】	延べ6件実施	2024年度：【2,279万円】	延べ11件実施
2021年度：【1,149万円】	延べ8件実施		

# 30. 附属図書館・その他一般開放施設

## 30-1 附属図書館

- 4つのキャンパスに9つの館室を配置し教育研究支援を展開している。
- 入館者数(30-1-3)は、2020年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響で激減したが、その後は年々増加しており回復傾向にある。
- 貸出冊数(30-1-4)は、学生・教職員ともに2019年度(新型コロナウイルス感染拡大前)より上回っている。

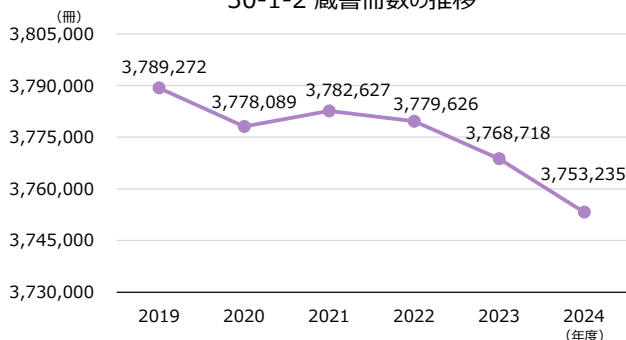
### 基本データ

30-1-1 蔵書冊数・貸出冊数・入館者数

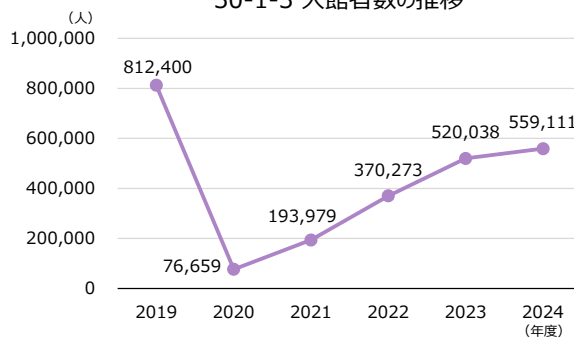
(2024年度実績)

区分	蔵書冊数			貸出冊数					入館者数
	和漢書	洋書	合計	学生院生	教職員	その他	学外者	合計	
総合・国際文化学図書館	356,872	141,936	498,808	49,246	5,333	1,817	1,250	57,646	132,631
社会科学系図書館	691,233	734,245	1,425,478	54,763	5,070	2,547	747	63,127	111,896
自然科学系図書館	219,270	215,729	434,999	55,208	2,878	2,735	356	61,177	144,282
人文科学図書館	217,185	118,418	335,603	52,460	4,850	1,311	133	58,754	48,506
人間科学図書館	261,808	73,904	335,712	26,105	1,186	1,134	193	28,618	27,918
経済経営研究所図書館	121,194	147,801	268,995	1,148	279	67	23	1,517	851
医学分館	75,517	82,654	158,171	7,130	287	4,331	178	11,926	39,330
保健科学図書室	51,208	7,359	58,567	13,418	665	195	66	14,344	31,057
海事科学分館	184,305	52,597	236,902	16,253	1,920	630	442	19,245	22,640
合計	2,178,592	1,574,643	3,753,235	275,731	22,468	14,767	3,388	316,354	559,111

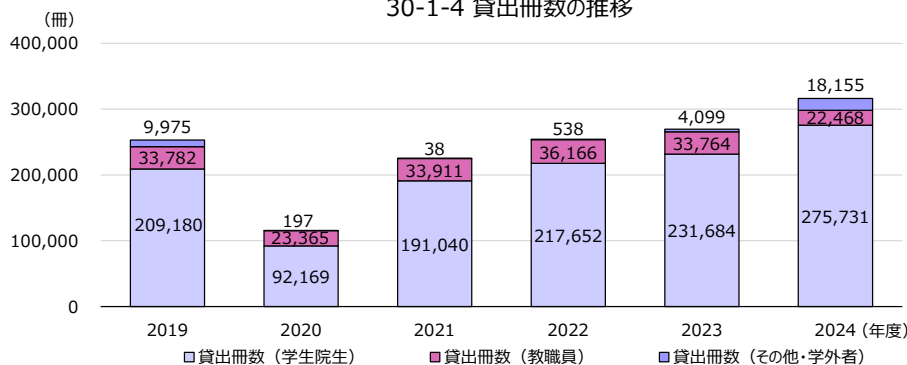
30-1-2 蔵書冊数の推移



30-1-3 入館者数の推移



30-1-4 貸出冊数の推移



30-1-5 17大学間での蔵書冊数の比較

(2023年度)

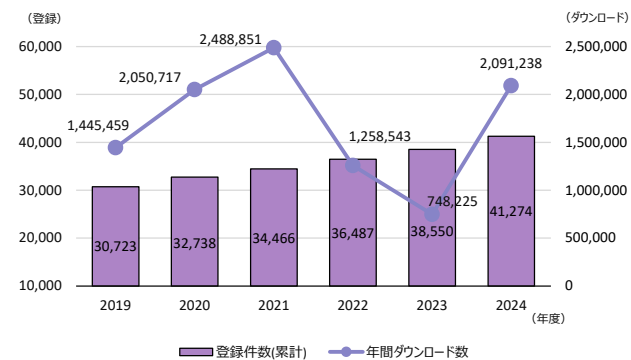
大学名	冊	大学名	冊	大学名	冊
北海道大	3,721,497	東京農工大	517,753	大阪大	3,673,043
東北大	4,207,170	東京工業大	755,997	神戸大	3,768,718
筑波大	2,751,456	一橋大	2,089,347	岡山大	1,953,050
千葉大	1,248,453	金沢大	1,943,945	広島大	3,407,882
東京大	10,039,322	名古屋大	3,393,905	九州大	4,249,934
東京医科歯科大	270,024	京都大	7,408,269		

※各大学のホームページで公開されている2023年度中の蔵書冊数をもとに本学が作成

※東京医科歯科大は2020年度、東京工業大は2022年度のもの

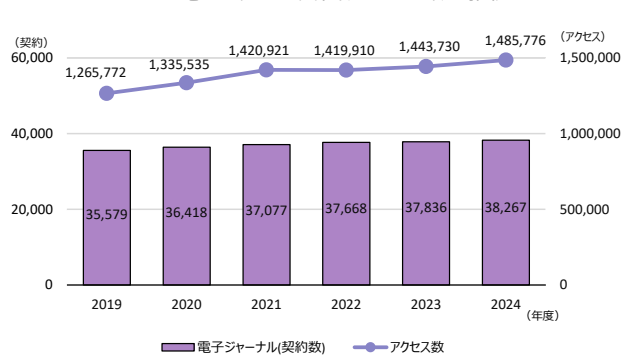
## リポジトリ・電子ジャーナルの活用状況

30-1-6 リポジトリ登録件数と年間ダウンロード数の推移



※2022.9図書館システム改修により集計方法変更

30-1-7 電子ジャーナル契約数とアクセス数の推移



## 地域・社会との連携協力



令和6年度神戸大学附属図書館資料展



阪神・淡路大震災30年

### あの日の神戸 — 記憶の継承 —



地域・社会との連携協力の一環として、2004年度より毎年資料展を実施している。2024年度は「阪神・淡路大震災30年 あの日の神戸-記憶の継承-」として当時の写真や地図などの資料と復興を遂げた現在の写真を展示した。

また、震災文庫デジタルアーカイブから、1月17日～20日までのサンテレビジョンの震災取材映像519件をはじめ、動画・写真等を公開している。

## 30-2 その他一般開放施設



### 大学文書史料室 (<https://lib.kobe-u.ac.jp/archives/>)

**(2024年度来場者数：8,035人(常設展・特別展))**

特定歴史公文書等その他神戸大学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することを目的とする施設(「国立公文書館等」指定施設)。神戸大学の伝統ある120年余の歴史を貴重な歴史資料や写真等で振り返ることができる展示を実施。

常設の展示会だけでなく、年1回の特別展や東京等での巡回展も開催。



### 海事博物館 (<http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/>)

**(2024年度来館者数：2,286人)**

海事に関する資料を幅広く収集展示して教育研究の資に供し、あわせて海事の啓発に寄与することを目的とする施設。

和船模型と和船の部分実物や航路図、近代から現代の船舶模型や航海用具、船絵馬の他、寄贈コレクションや書籍など約4万点を収蔵する。

毎週、月・水・金の午後に開館。年末年始と夏季休館有り。ほか臨時休館有り。



### 山口誓子記念館

**(2024年度来館者数：730人)**

近代俳句に大きな足跡を残した山口誓子氏の居宅の母屋をほぼ忠実に復元した施設。

俳句俳諧文学を中心とする国文学研究の振興や海外との学術交流等に広く寄与することを目的とし、句会や茶会等にも利用できる。



**神戸大学企画部企画課**

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL: (078) 803-5020